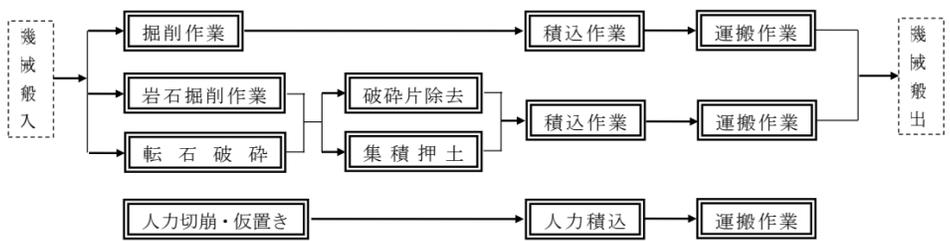
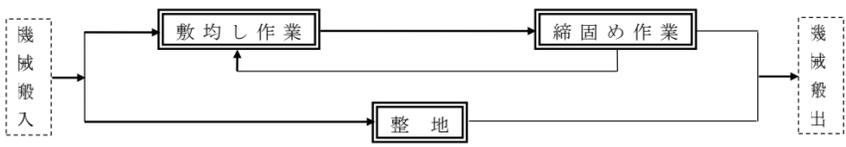
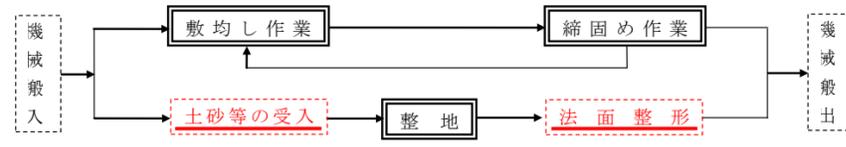


工 種	土工
-----	----

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	現 行	改 正	
	<p>② 土工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、施工パッケージによる土工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 掘削</p> <p>(1) 土砂、岩塊・玉石、軟岩、硬岩の掘削</p> <p>(2) 掘削深さが5m以内のバックホウ掘削の場合</p> <p>(3) 陸上掘削でクラムシエルによる水中掘削積込を行う場合</p> <p>(4) 破砕片除去を伴う際は、掘削面と機械基面の高低差が5mまでの場合</p> <p>(5) 岩石(軟岩)の床掘りで施工数量が5,000m³未満の場合</p> <p>1-1-2 土砂等運搬</p> <p>(1) 自工区内の土砂等の運搬</p> <p>(2) 土取場(仮置場)から採取する土砂等の運搬</p> <p>(3) 構造物築造のために行う作業土工で生じた残土の処分場又は他工区までの運搬</p> <p>(4) 掘削工で生じた残土の処分場又は他工区までの運搬</p> <p>1-1-3 整地</p> <p>(1) 構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地(仮置場)、土取場での整地</p> <p>1-1-4 路体(築堤)盛土</p> <p>(1) 自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路体(築堤)盛土</p> <p>(2) 他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路体(築堤)盛土</p> <p>(3) 土取場(仮置場)で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路体(築堤)盛土</p> <p>(4) 購入土を使用した路体(築堤)盛土</p> <p>1-1-5 路床盛土</p> <p>(1) 自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路床盛土</p> <p>(2) 他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土</p> <p>(3) 土取場(仮置場)で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土</p> <p>(4) 購入土を使用した路床盛土</p> <p>1-1-6 押土(レーズ)</p> <p>(1) 運搬距離60m以下の押土による土砂等の運搬作業の場合</p> <p>(2) 運搬距離30m以下の岩掘削後の集積用押土の場合</p> <p>1-1-7 積込(レーズ)</p> <p>(1) 土取場(仮置場)から採取する場合の土砂等の積込み</p> <p>(2) 仮置きされた土砂等の積込み</p> <p>(3) 破砕片除去の場合</p> <p>1-1-8 人力積込</p> <p>(1) 仮置きされた土砂等の人力による積込み</p> <p>1-1-9 転石破碎</p> <p>(1) 道路、河川工事等の岩掘削に伴う転石破碎</p> <p>1-1-10 土材料</p> <p>(1) 道路土工、河川土工における土材料(現場渡し単価又は土場渡し単価)を購入する場合</p> <p>1-1-11 残土等処分</p> <p>(1) 残土運搬された土砂等の残土の処分場での処分</p> <p>(2) 泥水運搬された汚泥、泥水等の受入れ地での処分</p> <p style="text-align: right;">1・②・1</p>	<p>現行どおり</p> <p>(5) <u>岩石(軟岩)、硬岩の床掘りで施工数量が5,000m³未満の場合</u> <u>(軟岩の場合、施工数量が5,000m³未満)</u></p> <p>現行どおり</p>	記載の追加・修正
積算上の注意事項			(控え頁) 1/13

工種	土工
----	----

改正理由	一部改正	改正 現行	
現行	改正		備考
<p>1-2 適用出来ない範囲（土木工事標準積算基準書等により別途計上するもの）</p> <p>1-2-1 掘削</p> <p>(1) 海上・水上作業におけるクラムシェル水中掘削積込</p> <p>(2) クラムシェルによる床掘り(作業土工)</p> <p>(3) 深礎工、鋼管矢板基礎工、共同溝工、地すべり防止工におけるクラムシェル掘削積込</p> <p>(4) 河川堤防に布設する光ケーブル配管工事の掘削（土の状態を問わない）を行う場合</p> <p>(5) 掘削（砂防）</p> <p>(6) 情報ボックス工の設置工事の掘削</p> <p>(7) 掘削（トンネル工）</p> <p>(8) 電線共同溝工事における掘削</p> <p>(9) 砂防、ダム、トンネルの本体工事の岩掘削及び水中掘削</p> <p>(10) 3D-MG又はMCバックホウによる土砂、岩塊・玉石の掘削積込</p> <p>(11) 3D-MG又はMCバックホウによる土砂の片切掘削</p> <p>1-2-2 土砂等運搬</p> <p>(1) 土砂等運搬（砂防）</p> <p>(2) 河床等沈殿物、底沼等軟弱土を除去した後の運搬作業</p> <p>(3) 機械運搬が使用出来ない箇所での人力運搬</p> <p>1-2-3 整地</p> <p>(1) 締固めを含む場合</p> <p>1-2-4 路体（築堤）盛土</p> <p>(1) 路床盛土工</p> <p>(2) 3D-MG又はMCブルドーザによる土砂等を使用した路体（築堤）盛土</p> <p>1-2-5 路床盛土</p> <p>(1) 凍上抑制層を有する場合</p> <p>(2) 路体盛土工</p> <p>(3) 3D-MG又はMCブルドーザによる土砂等を使用した路床盛土</p> <p>1-2-6 押土（ルーズ）</p> <p>(1) 地山の掘削を伴う押土の場合</p> <p>1-2-7 積込（ルーズ）</p> <p>(1) 地山を掘削した土砂等を直接運搬車両等に投入する場合</p> <p>(2) 積込（ルーズ）（砂防）</p> <p>(3) 人力による積込み</p> <p>1-3 適用出来ない範囲（別途考慮するもの）</p> <p>1-3-1 土砂等運搬</p> <p>(1) 自動車専用道路を利用する場合</p> <p>(2) 運搬距離が60kmを超える場合</p> <p style="text-align: center;">1・②・2</p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">(2) 硬岩の場合</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		<p style="text-align: center;">記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			<p style="text-align: right;">(控え頁)</p> <p style="text-align: right;">2/13</p>

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
<p>2. 施工概要</p> <p>2-1 施工フロー</p> <p>2-1-1 「掘削」、「転石破碎」、「押土（ルーズ）」「積込（ルーズ）」、「人力積込」、「土砂等運搬」</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 破砕片除去、集積押土は必要な場合計上する（岩石掘削においては条件区分「有」を選択し、転石破碎においては「積込（ルーズ）」又は「押土（ルーズ）」を別途計上する）。 3. 積込み、運搬は必要な場合計上する（積込みについては表「(参考) ダンプトラックによる土砂等運搬時に積込（ルーズ）の計上が必要な掘削の積算条件」による）。 4. 人力切崩は現場制約有り（機械施工が出来ない箇所の人力施工）に適用する。 5. 各作業の対象となる施工パッケージは「2-2 土の流れ概念図及び対応施工パッケージ」による。</p> <p>2-1-2 「路体(築堤)盛土」、「路床盛土」、「整地」</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 残土受入れ地での整地は、土砂、中硬岩、硬岩Ⅰにかかわらず適用出来る。</p> <p style="text-align: center;">1・②・3</p>		<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>2-1-2 「路体(築堤)盛土」、「路床盛土」、「整地」</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 残土受入れ地での整地は、土砂、<u>岩塊・玉石、硬岩Ⅰ軟岩</u>、中硬岩にかかわらず適用出来る。</p>	<p>記載の追加</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の追加・修正</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 3/13

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
<p>2-2 土の流れ概念図及び対応施工パッケージ (1) 道路土工, 河川土工等</p> <p>凡例 * 掘削等施工パッケージ名称を斜体で示した。 * 土砂等運搬, 押土(ルース)を実線で示した。 * 土材料(購入土)は通常現場着単価であり運搬は土材料に含まれるため破線で示した。(図中⑥) ただし、土材料(購入土)を土場渡し単価で積算する場合は土砂等運搬を計上する。 * 作業土工(床掘り・埋戻し・工区内運搬)における土の流れを一点鎖線で示した。(図中⑤)</p> <p>(注) 1. 掘削に含まれる自工区内の運搬について(図中①, ②) (1)土質が土砂, 岩塊・玉石の場合 ・掘削において, 押土「有り」を選択した場合, 60m以内の工区内運搬を含む。 (2)土質が軟岩又は硬岩の場合 ・掘削において, 以下の条件を選択した場合, 30m以内の工区内運搬を含む。 { 「軟岩」で施工数量「500m3以上」又は集積押土「有り」を選択した場合 { 「硬岩」で火薬使用「可」又は集積押土「有り」を選択した場合</p> <p>2. 土砂等運搬時の積込作業について(図中①~③) ・掘削において, 条件区分により積込作業を含まない場合がある。 ・積込(ルース)を別途計上する必要がある条件区分は、「(参考)ダンプトラックによる土砂等運搬時に積込(ルース)の計上が必要な掘削の積算条件」参照のこと。 3. 地山状態の土を掘削する場合は, 掘削を使用する。(図中④)</p>		<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 4/13

改正理由	一部改正	改正 現行	備考	
現	行	改 正	備 考	
<p>(注) 1. 表3.1は、土砂、岩塊・玉石の掘削、積込み（掘削と同時に行う積込み）、運搬（掘削と同時に行う押土による運搬）、軟岩・硬岩の掘削、積込み、破砕片除去及び集積押土（積込みは含まないため、別途計上）等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>2. 土量は、地山土量とする。</p> <p>3. 施工方法は、掘削箇所の地形により「オープンカット」、「片切り」に区分する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>図3.1</p> <p>(オープンカット)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>図3.2</p> <p>(片切り)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>図3.3</p> <p>(片切り)</p> </div> </div> <p>①オープンカット 図3.1に示すような切取面が、水平もしくは緩傾斜をなすように施工が出来る場合で、切取幅5m以上、かつ延長20m以上を標準とする。</p> <p>②片切掘削 図3.2及び図3.3に示すような切取幅5m未満の領域Bとする。なお、図3.2に示すような箇所にあっても、地形及び工事量などの現場条件等を十分考慮のうえ、前述のオープンカットが可能と判断される場合はオープンカットを適用する。</p> <p>③水中掘削 土留・仮締切工の施工条件において掘削深さが5mを超える場合、又は掘削深さが5m以内でも土留・仮締切工の切梁等のためバックホウが使用出来ない場合で水中の掘削・積込作業。</p> <p>④現場制約あり 機械施工が困難な場合。 土砂は、直接積込み出来ない箇所の人力による片切部分等の切崩し作業。 岩石は、人力により片切掘削及び床掘りした岩を距離3m程度までの範囲で投棄し、掘削面の法面整形を含む作業。</p> <p>⑤上記以外（小規模） ※1 標準：1箇所当りの施工土量が100m³以下、又は100m³以上で現場が狭隘な場合 2 標準以外：構造物及び建造物等の障害物により施工条件が制限されるような狭隘な場合、又は1箇所当りの施工土量が50m³以下の場合</p> <p>4. 押土の有無 ①有り：土砂、岩塊・玉石の場合は、60mまでの運搬を含む。ただし、軟岩のオープンカットかつ掘削土量500m³以上を選択した場合及び硬岩のオープンカットで火薬使用「可」を選択した場合、30mまでの押土を含む。</p> <p>5. 障害の有無 土質：土砂、岩塊・玉石の場合 ①無し：構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されず、連続掘削作業が出来る場合 ②有り：掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり（例えば作業障害が多い場合）連続掘削作業が出来ない場合。掘削深さ5m以内で掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削（溝掘り、基礎掘削）を行う場合 土質：軟岩の場合 ①無し：掘削量が5,000m³未満で掘削箇所に大型ブレーカが入り作業出来る場合、もしくは掘削量が5,000m³以上の場合 ②有り：掘削量が5,000m³未満で掘削箇所に大型ブレーカが入れない場合で、掘削箇所の外から作業する場合</p> <p style="text-align: center;">1・②・9</p>		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>④現場制約あり 機械施工が困難な場合。 土砂、<u>岩塊・玉石</u>は、直接積込み出来ない箇所の人力による片切部分等の切崩し作業。 <u>岩石軟岩、硬岩</u>は、人力により片切掘削及び床掘りした岩を距離3m程度までの範囲で投棄し、掘削面の法面整形を含む作業。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>4. 押土の有無 ①有り：土砂、岩塊・玉石の場合は、60mまでの運搬を含む。ただし、軟岩のオープンカットかつ掘削土量<u>5005,000</u>m³以上を選択した場合及び硬岩のオープンカットで火薬使用「可」を選択した場合、30mまでの押土を含む。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の追加・修正・削除</p> <p>語句の修正</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 5/13	

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>※3. 掘削（軟岩、オープンカット）は、条件区分が「軟岩」かつ施工方法「オープンカット」について合計した施工数量にて判断する（下図破線部）。ただし、「①：5,000m³未満」でかつ「b：障害無し」の（掘削箇所に大型ブレーカが入って作業が出来る）場合は、「5,000m³未満」かつ「障害無し」の施工数量によって積算条件区分を判断する（下図一点鎖線部）。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>②掘削（ICT）は、同一の施工箇所において3D-MG又はMCバックホウ（以下、「ICT建機」という。）と通常建機（ICT建機を使用しない通常機種のバックホウ）を組合せて施工する場合、両者を合計した掘削土量をその箇所の施工数量とする。</p> <p>③施工方法「上記以外（小規模）」の施工数量における「1箇所」とは、目的物（構造物・掘削等）1箇所当りのことであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を1箇所とする。</p> <p>④湿地軟弱土での作業の施工数量は、1工事当りの取扱い土量に含めない。</p> <p>⑤土質「軟岩」、「硬岩」における床掘平均掘削幅 2m未満の場合の破砕片除去及び積込みは、破砕片除去「無」を選択の上、「3-7 積込(ルーズ)」により別途計上する。</p> <p>⑥掘削（土砂及び岩塊・玉石、オープンカット、集積押土無）には、掘削と同時に行う積込みを含む。</p> </div> <p>7. 火薬の標準的な使用量は、オープンカットでは1日当り含水爆薬 13.4 kg、AN-F019.5 kg、片切掘削では1日当り含水爆薬 1.8 kgとし、これにより難い場合は別途計上する。</p> <p>8. 集積押土の有無 ①有り：集積押土の距離は 30mまでとする。</p> <p>9. 軟岩又は硬岩の場合で、盛土等に流用するための小割りに破砕が再度必要となった場合は、小割りに要する費用は別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">1・②・11</p>	<p>現行どおり</p>	
		<p>現行どおり</p> <p>②軟岩及び硬岩の掘削、床掘りは、土質及び作業内容ごとの「施工数量」で判断する。</p> <p>②③掘削（ICT）は、同一の施工箇所において3D-MG又はMCバックホウ（以下、「ICT建機」という。）と通常建機（ICT建機を使用しない通常機種のバックホウ）を組合せて施工する場合、両者を合計した掘削土量をその箇所の施工数量とする。</p> <p>④④施工方法「上記以外（小規模）」の施工数量における「1箇所」とは、目的物（構造物・掘削等）1箇所当りのことであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を1箇所とする。</p> <p>④⑤湿地軟弱土での作業の施工数量は、1工事当りの取扱い土量に含めない。</p> <p>⑤⑥土質「軟岩」、「硬岩」における床掘平均掘削幅 2m未満の場合の破砕片除去及び積込みは、破砕片除去「無」を選択の上、「3-7 積込(ルーズ)」により別途計上する。</p> <p>⑥⑦掘削（土砂及び岩塊・玉石、オープンカット、集積押土無）には、掘削と同時に行う積込みを含む。</p>	<p>記載の追加 語句の修正</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 6/13

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

3-2 土砂等運搬
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表3.4 土砂等運搬 積算条件区分一覧

(積算単位：m3)

土砂等発生現場	積込機種・規格	土質	DID区間の有無	運搬距離
標準	バックホウ山積 0.8m3 (平積0.6m3)	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.5)
			有り	(表3.6)
		軟岩	無し	(表3.5)
			有り	(表3.6)
		硬岩	無し	(表3.5)
			有り	(表3.6)
	バックホウ山積 1.4m3 (平積1.0m3)	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.7)
			有り	(表3.8)
		軟岩	無し	(表3.7)
			有り	(表3.8)
		硬岩	無し	(表3.7)
			有り	(表3.8)
バックホウ山積 0.45m3 (平積0.35m3)	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.9)	
		有り	(表3.10)	
	軟岩	無し	(表3.9)	
		有り	(表3.10)	
	硬岩	無し	(表3.9)	
		有り	(表3.10)	
現場制約あり	人力	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.11)
			有り	(表3.12)
		軟岩	無し	(表3.11)
			有り	(表3.12)
		硬岩	無し	(表3.11)
			有り	(表3.12)
小規模	バックホウ山積 0.28m3 (平積0.2m3)	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.13)
			有り	(表3.14)
	バックホウ山積 0.13m3 (平積0.1m3)	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.15)
			有り	(表3.16)
現場制約あり	人力	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.17)
			有り	(表3.18)
		軟岩	無し	(表3.17)
			有り	(表3.18)
		硬岩	無し	(表3.17)
			有り	(表3.18)

- (注) 1. 上表は、掘削工又は作業土工における土砂・軟岩・硬岩の運搬、路体・路床盛土工又は置換工等における土取場（仮置場）から採取する場合の土砂等の運搬、構造物築造のために行う作業土工で生じた残土の処分場までの運搬又は掘削工で生じた残土の処分場までの運搬の他、運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛かる費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。
2. DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
3. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。
4. 運搬土量は地山の土量とする。
5. 小規模は、1箇所当りの施工土量が100m3以下、又は100m3以上で現場が狭隘な場合とする。また、構造物及び建物の障害物により施工条件が制限されるような狭隘な場合、又は1箇所当りの施工土量が、50m3以下の場合とする。
6. 現場制約有りとは、現場狭小のため機械搬入が不可な場合。
7. 標準とは、「小規模」、「現場制約有り」に該当しない場合。

3-2 土砂等運搬
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表3.4 土砂等運搬 積算条件区分一覧

(積算単位：m3)

土砂等発生現場	積込機種・規格	土質	DID区間の有無	運搬距離
標準	バックホウ山積 0.8m3 (平積0.6m3)	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.5)
			有り	(表3.6)
		軟岩	無し	(表3.5)
			有り	(表3.6)
		硬岩	無し	(表3.5)
			有り	(表3.6)
	バックホウ山積 1.4m3 (平積1.0m3)	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.7)
			有り	(表3.8)
		軟岩	無し	(表3.7)
			有り	(表3.8)
		硬岩	無し	(表3.7)
			有り	(表3.8)
バックホウ山積 0.45m3 (平積0.35m3)	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.9)	
		有り	(表3.10)	
	軟岩	無し	(表3.9)	
		有り	(表3.10)	
	硬岩	無し	(表3.9)	
		有り	(表3.10)	
現場制約あり	人力	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.11)
			有り	(表3.12)
		軟岩	無し	(表3.11)
			有り	(表3.12)
		硬岩	無し	(表3.11)
			有り	(表3.12)
小規模	バックホウ山積 0.28m3 (平積0.2m3)	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.13)
			有り	(表3.14)
	バックホウ山積 0.13m3 (平積0.1m3)	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.15)
			有り	(表3.16)
現場制約あり	人力	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)	無し	(表3.17)
			有り	(表3.18)
		軟岩	無し	(表3.17)
			有り	(表3.18)
		硬岩	無し	(表3.17)
			有り	(表3.18)

- (注) 1. 上表は、掘削工又は作業土工における土砂・軟岩・硬岩の運搬、路体・路床盛土工又は置換工等における土取場（仮置場）から採取する場合の土砂等の運搬、構造物築造のために行う作業土工で生じた残土の処分場までの運搬又は掘削工で生じた残土の処分場までの運搬の他、運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛かる費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。
2. タイヤ損耗の「良好」「普通」「不良」にかかわらず適用出来る。
3. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。
4. DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
5. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。
6. 運搬土量は地山の土量とする。

積算上の注意事項		(控え頁)	7/13
----------	--	-------	------

記載の追加

記載の追加・削除

語句の修正

改正理由	一部改正	改正 現行																																																												
現行		改正																																																												
<p>前頁から移動</p> <p>表3.5 運搬距離(1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="15">運搬距離</td><td>0.3km以下</td></tr> <tr><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>3.0km以下</td></tr> <tr><td>4.0km以下</td></tr> <tr><td>5.5km以下</td></tr> <tr><td>6.5km以下</td></tr> <tr><td>7.5km以下</td></tr> <tr><td>9.5km以下</td></tr> <tr><td>11.5km以下</td></tr> <tr><td>15.5km以下</td></tr> <tr><td>22.5km以下</td></tr> <tr><td>49.5km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table> <p>表3.6 運搬距離(2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="15">運搬距離</td><td>0.3km以下</td></tr> <tr><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>3.0km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>5.0km以下</td></tr> <tr><td>6.0km以下</td></tr> <tr><td>7.0km以下</td></tr> <tr><td>8.5km以下</td></tr> <tr><td>11.0km以下</td></tr> <tr><td>14.0km以下</td></tr> <tr><td>19.5km以下</td></tr> <tr><td>31.5km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table> <p>表3.7 運搬距離(3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="15">運搬距離</td><td>0.3km以下</td></tr> <tr><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.0km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>4.5km以下</td></tr> <tr><td>6.0km以下</td></tr> <tr><td>7.0km以下</td></tr> <tr><td>8.5km以下</td></tr> <tr><td>10.0km以下</td></tr> <tr><td>12.5km以下</td></tr> <tr><td>16.5km以下</td></tr> <tr><td>23.5km以下</td></tr> <tr><td>51.5km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table> <p>1・②・14</p>		積算条件	区分	運搬距離	0.3km以下	0.5km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.0km以下	3.0km以下	4.0km以下	5.5km以下	6.5km以下	7.5km以下	9.5km以下	11.5km以下	15.5km以下	22.5km以下	49.5km以下	60.0km以下	積算条件	区分	運搬距離	0.3km以下	0.5km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.0km以下	3.0km以下	3.5km以下	5.0km以下	6.0km以下	7.0km以下	8.5km以下	11.0km以下	14.0km以下	19.5km以下	31.5km以下	60.0km以下	積算条件	区分	運搬距離	0.3km以下	0.5km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.0km以下	2.5km以下	3.0km以下	3.5km以下	4.5km以下	6.0km以下	7.0km以下	8.5km以下	10.0km以下	12.5km以下	16.5km以下	23.5km以下	51.5km以下	60.0km以下	<p>次頁へ移動</p> <p>現行どおり</p> <p>5.7. 小規模は、1箇所当りの施工土量が100m³以下、又は100m³以上で現場が狭隘な場合とする。また、構造物及び建造物の障害物により施工条件が制限されるような狭隘な場合、又は1箇所当りの施工土量が、50m³以下の場合とする。</p> <p>5.8. 現場制約有りとは、現場狭小のため機械搬入が不可な場合。</p> <p>5.9. 標準とは、「小規模」、「現場制約有り」に該当しない場合。</p>	
積算条件	区分																																																													
運搬距離	0.3km以下																																																													
	0.5km以下																																																													
	1.0km以下																																																													
	1.5km以下																																																													
	2.0km以下																																																													
	3.0km以下																																																													
	4.0km以下																																																													
	5.5km以下																																																													
	6.5km以下																																																													
	7.5km以下																																																													
	9.5km以下																																																													
	11.5km以下																																																													
	15.5km以下																																																													
	22.5km以下																																																													
	49.5km以下																																																													
60.0km以下																																																														
積算条件	区分																																																													
運搬距離	0.3km以下																																																													
	0.5km以下																																																													
	1.0km以下																																																													
	1.5km以下																																																													
	2.0km以下																																																													
	3.0km以下																																																													
	3.5km以下																																																													
	5.0km以下																																																													
	6.0km以下																																																													
	7.0km以下																																																													
	8.5km以下																																																													
	11.0km以下																																																													
	14.0km以下																																																													
	19.5km以下																																																													
	31.5km以下																																																													
60.0km以下																																																														
積算条件	区分																																																													
運搬距離	0.3km以下																																																													
	0.5km以下																																																													
	1.0km以下																																																													
	1.5km以下																																																													
	2.0km以下																																																													
	2.5km以下																																																													
	3.0km以下																																																													
	3.5km以下																																																													
	4.5km以下																																																													
	6.0km以下																																																													
	7.0km以下																																																													
	8.5km以下																																																													
	10.0km以下																																																													
	12.5km以下																																																													
	16.5km以下																																																													
23.5km以下																																																														
51.5km以下																																																														
60.0km以下																																																														
積算上の注意事項		備考	<p>語句の修正</p> <p>(控え頁)</p> <p>8/13</p>																																																											

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																												
現行		改正																																																																												
<p>前頁から移動</p> <table border="1"> <caption>表3.8 運搬距離(4)</caption> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16">運搬距離</td><td>0.3km以下</td></tr> <tr><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.0km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>4.5km以下</td></tr> <tr><td>5.5km以下</td></tr> <tr><td>6.5km以下</td></tr> <tr><td>8.0km以下</td></tr> <tr><td>9.5km以下</td></tr> <tr><td>11.5km以下</td></tr> <tr><td>15.0km以下</td></tr> <tr><td>20.5km以下</td></tr> <tr><td>33.0km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>表3.9 運搬距離(5)</caption> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="12">運搬距離</td><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>4.5km以下</td></tr> <tr><td>6.0km以下</td></tr> <tr><td>7.5km以下</td></tr> <tr><td>10.0km以下</td></tr> <tr><td>13.5km以下</td></tr> <tr><td>19.5km以下</td></tr> <tr><td>39.0km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>表3.10 運搬距離(6)</caption> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="12">運搬距離</td><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>3.0km以下</td></tr> <tr><td>4.0km以下</td></tr> <tr><td>5.5km以下</td></tr> <tr><td>7.0km以下</td></tr> <tr><td>9.0km以下</td></tr> <tr><td>12.0km以下</td></tr> <tr><td>17.5km以下</td></tr> <tr><td>28.5km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table> <p>1・②・15</p>		積算条件	区分	運搬距離	0.3km以下	0.5km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.0km以下	2.5km以下	3.0km以下	3.5km以下	4.5km以下	5.5km以下	6.5km以下	8.0km以下	9.5km以下	11.5km以下	15.0km以下	20.5km以下	33.0km以下	60.0km以下	積算条件	区分	運搬距離	0.5km以下	1.0km以下	2.0km以下	2.5km以下	3.5km以下	4.5km以下	6.0km以下	7.5km以下	10.0km以下	13.5km以下	19.5km以下	39.0km以下	60.0km以下	積算条件	区分	運搬距離	0.5km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.0km以下	3.0km以下	4.0km以下	5.5km以下	7.0km以下	9.0km以下	12.0km以下	17.5km以下	28.5km以下	60.0km以下	<p>表3.7 運搬距離(3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16">運搬距離</td><td>0.3km以下</td></tr> <tr><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.0km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>4.5km以下</td></tr> <tr><td>6.0km以下</td></tr> <tr><td>7.0km以下</td></tr> <tr><td>8.5km以下</td></tr> <tr><td>10.0km以下</td></tr> <tr><td>12.5km以下</td></tr> <tr><td>16.5km以下</td></tr> <tr><td>23.5km以下</td></tr> <tr><td>51.5km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p> <p>次頁へ移動</p>		積算条件	区分	運搬距離	0.3km以下	0.5km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.0km以下	2.5km以下	3.0km以下	3.5km以下	4.5km以下	6.0km以下	7.0km以下	8.5km以下	10.0km以下	12.5km以下	16.5km以下	23.5km以下	51.5km以下	60.0km以下	備考
積算条件	区分																																																																													
運搬距離	0.3km以下																																																																													
	0.5km以下																																																																													
	1.0km以下																																																																													
	1.5km以下																																																																													
	2.0km以下																																																																													
	2.5km以下																																																																													
	3.0km以下																																																																													
	3.5km以下																																																																													
	4.5km以下																																																																													
	5.5km以下																																																																													
	6.5km以下																																																																													
	8.0km以下																																																																													
	9.5km以下																																																																													
	11.5km以下																																																																													
	15.0km以下																																																																													
	20.5km以下																																																																													
33.0km以下																																																																														
60.0km以下																																																																														
積算条件	区分																																																																													
運搬距離	0.5km以下																																																																													
	1.0km以下																																																																													
	2.0km以下																																																																													
	2.5km以下																																																																													
	3.5km以下																																																																													
	4.5km以下																																																																													
	6.0km以下																																																																													
	7.5km以下																																																																													
	10.0km以下																																																																													
	13.5km以下																																																																													
	19.5km以下																																																																													
	39.0km以下																																																																													
60.0km以下																																																																														
積算条件	区分																																																																													
運搬距離	0.5km以下																																																																													
	1.0km以下																																																																													
	1.5km以下																																																																													
	2.0km以下																																																																													
	3.0km以下																																																																													
	4.0km以下																																																																													
	5.5km以下																																																																													
	7.0km以下																																																																													
	9.0km以下																																																																													
	12.0km以下																																																																													
	17.5km以下																																																																													
	28.5km以下																																																																													
60.0km以下																																																																														
積算条件	区分																																																																													
運搬距離	0.3km以下																																																																													
	0.5km以下																																																																													
	1.0km以下																																																																													
	1.5km以下																																																																													
	2.0km以下																																																																													
	2.5km以下																																																																													
	3.0km以下																																																																													
	3.5km以下																																																																													
	4.5km以下																																																																													
	6.0km以下																																																																													
	7.0km以下																																																																													
	8.5km以下																																																																													
	10.0km以下																																																																													
	12.5km以下																																																																													
	16.5km以下																																																																													
	23.5km以下																																																																													
51.5km以下																																																																														
60.0km以下																																																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 9/13																																																																											

改正理由	一部改正	改正 現行																																																												
現行		改正																																																												
<p style="text-align: center;">前頁から移動 →</p> <table border="1"> <caption>表3.11 運搬距離(7)</caption> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10">運搬距離</td><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>4.0km以下</td></tr> <tr><td>5.5km以下</td></tr> <tr><td>7.5km以下</td></tr> <tr><td>10.5km以下</td></tr> <tr><td>16.0km以下</td></tr> <tr><td>30.0km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>表3.12 運搬距離(8)</caption> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10">運搬距離</td><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>5.0km以下</td></tr> <tr><td>7.0km以下</td></tr> <tr><td>10.0km以下</td></tr> <tr><td>14.5km以下</td></tr> <tr><td>24.5km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>表3.13 運搬距離(9)</caption> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="14">運搬距離</td><td>0.2km以下</td></tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>4.0km以下</td></tr> <tr><td>5.0km以下</td></tr> <tr><td>6.0km以下</td></tr> <tr><td>7.5km以下</td></tr> <tr><td>10.0km以下</td></tr> <tr><td>13.0km以下</td></tr> <tr><td>19.0km以下</td></tr> <tr><td>35.0km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table>		積算条件	区分	運搬距離	0.5km以下	2.0km以下	2.5km以下	4.0km以下	5.5km以下	7.5km以下	10.5km以下	16.0km以下	30.0km以下	60.0km以下	積算条件	区分	運搬距離	0.5km以下	2.0km以下	2.5km以下	3.5km以下	5.0km以下	7.0km以下	10.0km以下	14.5km以下	24.5km以下	60.0km以下	積算条件	区分	運搬距離	0.2km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.5km以下	3.5km以下	4.0km以下	5.0km以下	6.0km以下	7.5km以下	10.0km以下	13.0km以下	19.0km以下	35.0km以下	60.0km以下	<table border="1"> <caption>表3.10 運搬距離(6)</caption> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="13">運搬距離</td><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>3.0km以下</td></tr> <tr><td>4.0km以下</td></tr> <tr><td>5.5km以下</td></tr> <tr><td>7.0km以下</td></tr> <tr><td>9.0km以下</td></tr> <tr><td>12.0km以下</td></tr> <tr><td>17.5km以下</td></tr> <tr><td>28.5km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		積算条件	区分	運搬距離	0.5km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.0km以下	3.0km以下	4.0km以下	5.5km以下	7.0km以下	9.0km以下	12.0km以下	17.5km以下	28.5km以下	60.0km以下
積算条件	区分																																																													
運搬距離	0.5km以下																																																													
	2.0km以下																																																													
	2.5km以下																																																													
	4.0km以下																																																													
	5.5km以下																																																													
	7.5km以下																																																													
	10.5km以下																																																													
	16.0km以下																																																													
	30.0km以下																																																													
	60.0km以下																																																													
積算条件	区分																																																													
運搬距離	0.5km以下																																																													
	2.0km以下																																																													
	2.5km以下																																																													
	3.5km以下																																																													
	5.0km以下																																																													
	7.0km以下																																																													
	10.0km以下																																																													
	14.5km以下																																																													
	24.5km以下																																																													
	60.0km以下																																																													
積算条件	区分																																																													
運搬距離	0.2km以下																																																													
	1.0km以下																																																													
	1.5km以下																																																													
	2.5km以下																																																													
	3.5km以下																																																													
	4.0km以下																																																													
	5.0km以下																																																													
	6.0km以下																																																													
	7.5km以下																																																													
	10.0km以下																																																													
	13.0km以下																																																													
	19.0km以下																																																													
	35.0km以下																																																													
	60.0km以下																																																													
積算条件	区分																																																													
運搬距離	0.5km以下																																																													
	1.0km以下																																																													
	1.5km以下																																																													
	2.0km以下																																																													
	3.0km以下																																																													
	4.0km以下																																																													
	5.5km以下																																																													
	7.0km以下																																																													
	9.0km以下																																																													
	12.0km以下																																																													
	17.5km以下																																																													
	28.5km以下																																																													
	60.0km以下																																																													
1・②・16																																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 10/13																																																											

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3. 21 整地 代表機材規格一覧

作業区分	項目	代表機材規格	備考	
残土受け 入れ地での処理	機械	K 1	ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 15t 級	
		K 2	-	
		K 3	-	
	労務	R 1	運転手 (特殊)	
		R 2	-	
		R 3	-	
		R 4	-	
	材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油	
		Z 2	-	
		Z 3	-	
Z 4		-		
市場単価	S	-		
敷均し (ルーズ)	機械	K 1	ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 15t 級 敷均し作業内容が標準の場合	
		K 1	ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 21t 級 敷均し作業内容が標準以外の場合	
		K 1	ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 3t 級 敷均し作業内容が狭小幅員 (幅 2.5m 以上 4m 未満) の場合	
		K 1	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 級 敷均し作業内容がトラフィカビリティが確保出来ない場合	
	K 2	-		
	K 3	-		
	労務	R 1	普通作業員	
		R 2	運転手 (特殊)	
		R 3	-	
		R 4	-	
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		
	Z 2	-		
	Z 3	-		
	Z 4	-		
市場単価	S	-		

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3. 21 整地 代表機材規格一覧

作業区分	項目	代表機材規格	備考	
残土受け 入れ地での処理	機械	K 1	ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 15t 級 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 賃料	
		K 2	-	
		K 3	-	
	労務	R 1	運転手 (特殊)	
		R 2	-	
		R 3	-	
		R 4	-	
	材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油	
		Z 2	-	
		Z 3	-	
Z 4		-		
市場単価	S	-		
敷均し (ルーズ)	機械	K 1	ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 15t 級 敷均し作業内容が標準の場合	
		K 1	ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 21t 級 敷均し作業内容が標準以外の場合	
		K 1	ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 3t 級 敷均し作業内容が狭小幅員 (幅 2.5m 以上 4m 未満) の場合	
		K 1	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 級 敷均し作業内容がトラフィカビリティが確保出来ない場合	
	K 2	-		
	K 3	-		
	労務	R 1	普通作業員	
		R 2	運転手 (特殊)	
		R 3	-	
		R 4	-	
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		
	Z 2	-		
	Z 3	-		
	Z 4	-		
市場単価	S	-		

記載の追加・修正
(歩掛り改定に伴う)

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																		
現	行	改 正	備 考																		
<p>3-4 路体(築堤)盛土 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.22 路体(築堤)盛土 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">施工幅員</th> <th style="text-align: center;">施工数量</th> <th style="text-align: center;">障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2.5m未満</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2.5m以上4.0m未満</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">4.0m以上</td> <td style="text-align: center;">10,000m3未満</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10,000m3以上</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、路体又は築堤の自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等の敷均し・締固め、他工事で発生し運搬されてくる土砂等の敷均し・締固め、土取場(仮置場)で採取し運搬して来る土砂等の敷均し・締固め等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 施工数量は、1工事当りの全体盛土量(施工幅員4.0m以上の合計盛土量)とする。なお、ICT施工による盛土量は含めないものとする。 3. 土量は締固め後の土量とする。 4. 障害の有無 ①無し：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合(例えば、新設のバイパス工事、築堤工事等) ②有り：作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合(例えば、現道上の工事、一車線程度の現道拡幅工事、拡築(腹付、嵩上)工事等)</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 2px;"> <p>5. 湿地ブルドーザでの敷均しに適さない作業条件の場合や、振動ローラの締固めに適さない土質の場合は別途考慮する。</p> </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>6. 敷均し・締固め作業の一層の仕上り厚は30cm以下とする。</p> </div>		施工幅員	施工数量	障害の有無	2.5m未満	-	-	2.5m以上4.0m未満	-	-	4.0m以上	10,000m3未満	無し		有り	10,000m3以上	無し		有り	<p>現行どおり</p>	<p>記載の修正</p> <p>記載の追加</p>
施工幅員	施工数量	障害の有無																			
2.5m未満	-	-																			
2.5m以上4.0m未満	-	-																			
4.0m以上	10,000m3未満	無し																			
		有り																			
	10,000m3以上	無し																			
		有り																			
積算上の注意事項			(控え頁) 12/13																		

改正理由	一部改正	改正 現行																	
現行		改正																	
	<p>3-5 路床盛土 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.24 路床盛土 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>施工幅員</th> <th>施工数量</th> <th>障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5m未満</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2.5m以上4.0m未満</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">4.0m以上</td> <td rowspan="2">10,000m3未満</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10,000m3以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、路床の自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等の敷均し・締固め、他工事で発生し運搬されてくる土砂等の敷均し・締固め、土取場（仮置場）で採取し運搬して来る土砂等の敷均し・締固め等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 施工数量は、1工事当りの全体盛土量（施工幅員4.0m以上の合計盛土量）とする。なお、ICT施工による盛土量は含めないものとする。 3. 土量は締固め後の土量とする。 4. 障害の有無 ①無し：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合（例えば、新設のバイパス工事、あるいは新設の築堤工事等） ②有り：作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合（例えば、現道上の工事、一車線程度の現道拡幅工事、あるいは拡築（腹付、嵩上）工事等）</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>5. 湿地ブルドーザでの敷均しに適さない作業条件の場合や、振動ローラの締固めに適さない土質の場合は別途考慮する。</p> </div> <p style="text-align: center;">1・②・24</p>	施工幅員	施工数量	障害の有無	2.5m未満	—	—	2.5m以上4.0m未満	—	—	4.0m以上	10,000m3未満	無し	有り	10,000m3以上	無し	有り	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>5. <u>湿地ブルドーザ（湿地）</u>での敷均しに適さない作業条件の場合や、振動ローラの締固めに適さない土質の場合は別途考慮する。</p> <p>6. <u>敷均し・締固め作業の一層の仕上り厚は20cm以下とする。</u></p>	<p>記載の修正 記載の追加</p>
施工幅員	施工数量	障害の有無																	
2.5m未満	—	—																	
2.5m以上4.0m未満	—	—																	
4.0m以上	10,000m3未満	無し																	
		有り																	
	10,000m3以上	無し																	
		有り																	
積算上の注意事項			<p>(控え頁) 13/13</p>																

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																															
現	行	改 正	備 考																																																															
<p>6. 障害の有無</p> <p>①無し：構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されず、連続掘削作業が出来る場合</p> <p>②有り：掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり（例えば作業障害が多い場合）連続掘削作業が出来ない場合。掘削深さ 5m以内で掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削（溝掘り、基礎掘削）を行う場合</p> <p>7. ICT建機使用割合は、上記（注）2. 又は3. の1工事当りの全体掘削土量に対する1工事当りのICT建機による掘削土量の割合である。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p>		<p>現行どおり</p>																																																																
<p style="text-align: center;">表3.2 掘削(ICT)※[ICT建機使用割合 100%] 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ICTバックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（2011年規制）] 山積 0.8m3（平積 0.6m3）</td> <td>・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m3 未満の場合 ・「片切掘削」の場合</td> </tr> <tr> <td>K1 バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 1.4m3（平積 1.0m3）</td> <td>「オープンカット」で施工数量 50,000m3 以上の場合</td> </tr> <tr> <td>K2 ICT建設機械経費加算額（バックホウ）</td> <td>・賃料 ・「オープンカット」で施工数量 50,000m3 以上の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1 運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td>片切掘削の場合</td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ICT建設機械経費加算額（バックホウ）は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用である。なお、ICTバックホウについては、機械経費に含まれているため、ICT建設機械経費加算額は計上しない。</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ICTバックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（2011年規制）] 山積 0.8m3（平積 0.6m3）	・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m3 未満の場合 ・「片切掘削」の場合	K1 バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 1.4m3（平積 1.0m3）	「オープンカット」で施工数量 50,000m3 以上の場合	K2 ICT建設機械経費加算額（バックホウ）	・賃料 ・「オープンカット」で施工数量 50,000m3 以上の場合	労務	K3 -		R1 運転手（特殊）		R2 普通作業員	片切掘削の場合	R3 -		材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">表3.2 掘削(ICT)※[ICT建機使用割合 100%] 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td><u>K1 ICTバックホウ（クローラ型）[標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）] 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t</u></td> <td>・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m3 未満の場合 ・「片切掘削」の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 1.4m3（平積 1.0m3）</td> <td>「オープンカット」で施工数量 50,000m3 以上の場合</td> </tr> <tr> <td><u>K2 ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型））</u></td> <td>・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m3 未満の場合 ・「片切掘削」の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1 運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td>片切掘削の場合</td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) <u>1. ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型））は、地上の基準局・管理局の賃貸費用である。</u> <u>2. ICT建設機械経費損料加算額（バックホウ）は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用である。なお、ICTバックホウについては、機械経費に含まれているため、ICT建設機械経費加算額は計上しない。</u></p>		項目	代表機材規格	備考	機械	<u>K1 ICTバックホウ（クローラ型）[標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）] 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t</u>	・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m3 未満の場合 ・「片切掘削」の場合	バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 1.4m3（平積 1.0m3）	「オープンカット」で施工数量 50,000m3 以上の場合	<u>K2 ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型））</u>	・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m3 未満の場合 ・「片切掘削」の場合	労務	K3 -		R1 運転手（特殊）		R2 普通作業員	片切掘削の場合	R3 -		材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>代表機械の修正</p> <p>代表機械の追加</p> <p>代表機械の修正</p> <p>記載の追加・削除</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																
機械	K1 ICTバックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（2011年規制）] 山積 0.8m3（平積 0.6m3）	・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m3 未満の場合 ・「片切掘削」の場合																																																																
	K1 バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 1.4m3（平積 1.0m3）	「オープンカット」で施工数量 50,000m3 以上の場合																																																																
	K2 ICT建設機械経費加算額（バックホウ）	・賃料 ・「オープンカット」で施工数量 50,000m3 以上の場合																																																																
労務	K3 -																																																																	
	R1 運転手（特殊）																																																																	
	R2 普通作業員	片切掘削の場合																																																																
	R3 -																																																																	
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																	
	Z2 -																																																																	
	Z3 -																																																																	
	Z4 -																																																																	
市場単価	S -																																																																	
項目	代表機材規格	備考																																																																
機械	<u>K1 ICTバックホウ（クローラ型）[標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）] 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t</u>	・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m3 未満の場合 ・「片切掘削」の場合																																																																
	バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 1.4m3（平積 1.0m3）	「オープンカット」で施工数量 50,000m3 以上の場合																																																																
	<u>K2 ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型））</u>	・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m3 未満の場合 ・「片切掘削」の場合																																																																
労務	K3 -																																																																	
	R1 運転手（特殊）																																																																	
	R2 普通作業員	片切掘削の場合																																																																
	R3 -																																																																	
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																	
	Z2 -																																																																	
	Z3 -																																																																	
	Z4 -																																																																	
市場単価	S -																																																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 1/5																																																															

改正理由	一部改正	改正 現行									
現行	改正		備考								
<p>3-2 路体(築堤)盛土(ICT)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 路体(築堤)盛土(ICT) 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1" data-bbox="400 688 1193 831"> <thead> <tr> <th>施工数量</th> <th>障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">10,000m3未満</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10,000m3以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、路体又は築堤の自区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等の敷均し・締固め、他工事で発生し運搬されてくる土砂等の敷均し・締固め、土取場(仮置場)で採取し運搬してくる土砂等の敷均し・締固め等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 施工数量は、ICT施工による1工事当りの全体盛土量(施工幅員4.0m以上の合計盛土量)とする。</p> <p>3. 土量は締固め後の土量とする。</p> <p>4. 障害の有無</p> <p>①無し: 作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合(例えば、新設のバイパス工事、築堤工事等)</p> <p>②有り: 作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合(例えば、現道上の工事、一車線程度の現道拡幅工事、拡築(腹付、嵩上)工事等)</p> <p>5. ICT湿地ブルドーザでの敷均しに適さない作業条件の場合や、振動ローラ(土工用)の締固めに適さない土質の場合は別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">1・③・4</p>	施工数量	障害の有無	10,000m3未満	無し	有り	10,000m3以上	無し	有り	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>5. ICT湿地ブルドーザ(湿地・ICT施工対応型)での敷均しに適さない作業条件の場合や、振動ローラ(土工用)の締固めに適さない土質の場合は別途考慮する。</p>		<p>記載の修正</p>
施工数量	障害の有無										
10,000m3未満	無し										
	有り										
10,000m3以上	無し										
	有り										
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>2/5</p>								

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

施工数量	項目	代表機材規格	備考
10,000m ³ 未満	機械	K1 ICTブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2011年規制)] 7t 級	賃料
		K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t	賃料
		K3 -	
	労務	R1 運転手 (特殊)	
		R2 -	
		R3 -	
		R4 -	
	材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油	
		Z2 -	
		Z3 -	
Z4 -			
市場単価	S -		
10,000m ³ 以上	機械	K1 ICTブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2011年規制)] 16t 級	賃料
		K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t	賃料
		K3 -	
	労務	R1 運転手 (特殊)	
		R2 -	
		R3 -	
		R4 -	
	材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油	
		Z2 -	
		Z3 -	
Z4 -			
市場単価	S -		

現行どおり

施工数量	項目	代表機材規格	備考
10,000m ³ 未満	機械	K1 ICT ブルドーザ [湿地・ICT施工対応型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 7t 級	賃料
		振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t ICT建設機械経費賃料加算額 (ブルドーザ (ICT施工対応型))	賃料
		振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t	賃料
	労務	R1 運転手 (特殊)	
		R2 -	
		R3 -	
		R4 -	
	材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油	
		Z2 -	
		Z3 -	
Z4 -			
市場単価	S -		
10,000m ³ 以上	機械	K1 ICT ブルドーザ [湿地・ICT施工対応型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 16t 級	賃料
		振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t ICT建設機械経費賃料加算額 (ブルドーザ (ICT施工対応型))	賃料
		振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t	賃料
	労務	R1 運転手 (特殊)	
		R2 -	
		R3 -	
		R4 -	
	材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油	
		Z2 -	
		Z3 -	
Z4 -			
市場単価	S -		

(注) ICT建設機械経費賃料加算額 (ブルドーザ (ICT施工対応型)) は、地上の基準局・管理局の賃料費用である。

代表機械の修正

代表機械の修正

記載の追加

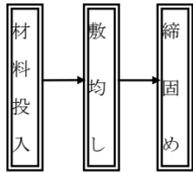
積算上の注意事項			(控え頁) 3/5
----------	--	--	--------------

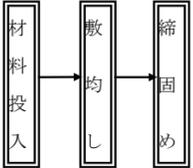
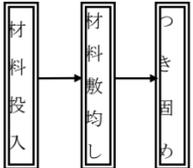
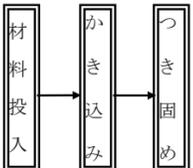
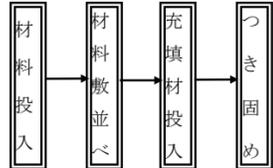
改正理由	一部改正	改正 現行								
現行	改正	備考								
<p>3-3 路床盛土 (ICT)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 路床盛土(ICT) 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1" data-bbox="400 688 1193 831"> <thead> <tr> <th>施工数量</th> <th>障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">10,000m3未満</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10,000m3以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、路床の自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等の敷均し・締固め、他工事で発生し運搬されてくる土砂等の敷均し・締固め、土取場(仮置場)で採取し運搬して来る土砂等の敷均し・締固め等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 施工数量は、ICT施工による1工事当りの全体盛土量(施工幅員4.0m以上の合計盛土量)とする。 3. 土量は締固め後の土量とする。 4. 障害の有無 ①無し:作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合(例えば、新設のバイパス工事、あるいは新設の築堤工事等) ②有り:作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合(例えば、現道上の工事、一車線程度の現道拡幅工事、あるいは拡築(腹付、嵩上)工事等)</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 2px;"> <p>5. ICT湿地ブルドーザでの敷均しに適さない作業条件の場合や、振動ローラ(土工用)の締固めに適さない土質の場合は別途考慮する。</p> </div> <p style="text-align: center;">1・③・6</p>	施工数量	障害の有無	10,000m3未満	無し	有り	10,000m3以上	無し	有り	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>5. <u>ICT湿地</u>ブルドーザ(<u>湿地・ICT施工対応型</u>)での敷均しに適さない作業条件の場合や、振動ローラ(土工用)の締固めに適さない土質の場合は別途考慮する。</p>	<p>記載の修正</p>
施工数量	障害の有無									
10,000m3未満	無し									
	有り									
10,000m3以上	無し									
	有り									
積算上の注意事項			(控え頁) 4/5							

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																																																																
	現 行	改 正																																																																																																																																																																	
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="border: 2px solid red;"> <caption>表3.6 路床盛土(ICT) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>施工数量</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">10,000m3 未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ICTブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2011年規制)] 7t級</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手 (特殊)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="13">10,000m3 以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ICTブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2011年規制)] 16t級</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手 (特殊)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工数量	項目	代表機材規格	備考	10,000m3 未満	機械	K1 ICTブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2011年規制)] 7t級	賃料	K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t	賃料	K3 -		労務	R1 運転手 (特殊)			R2 -			R3 -			R4 -			材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油			Z2 -			Z3 -			Z4 -			市場単価	S	-		10,000m3 以上	機械	K1 ICTブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2011年規制)] 16t級	賃料	K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t	賃料	K3 -		労務	R1 運転手 (特殊)			R2 -			R3 -			R4 -			材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油			Z2 -			Z3 -			Z4 -			市場単価	S	-		<p>現行どおり</p> <table border="1"> <caption>表3.6 路床盛土(ICT) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>施工数量</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">10,000m3 未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ICTブルドーザ [湿地・<u>ICT施工対応型</u>・排出ガス対策型 (2011年規制)] 7t級</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t <u>ICT建設機械経費賃料加算額 (ブルドーザ (ICT施工対応型))</u></td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t <u>賃料</u></td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手 (特殊)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="13">10,000m3 以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ICTブルドーザ [湿地・<u>ICT施工対応型</u>・排出ガス対策型 (2011年規制)] 16t級</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t <u>ICT建設機械経費賃料加算額 (ブルドーザ (ICT施工対応型))</u></td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t <u>賃料</u></td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手 (特殊)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><small>(注) ICT建設機械経費賃料加算額 (ブルドーザ (ICT施工対応型)) は、地上の基準局・管理局の賃貸費用である。</small></p>	施工数量	項目	代表機材規格	備考	10,000m3 未満	機械	K1 ICT ブルドーザ [湿地・ <u>ICT施工対応型</u> ・排出ガス対策型 (2011年規制)] 7t級	賃料	K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t <u>ICT建設機械経費賃料加算額 (ブルドーザ (ICT施工対応型))</u>	賃料	K3 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t <u>賃料</u>	賃料	労務	R1 運転手 (特殊)			R2 -			R3 -			R4 -			材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油			Z2 -			Z3 -			Z4 -			市場単価	S	-		10,000m3 以上	機械	K1 ICT ブルドーザ [湿地・ <u>ICT施工対応型</u> ・排出ガス対策型 (2011年規制)] 16t級	賃料	K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t <u>ICT建設機械経費賃料加算額 (ブルドーザ (ICT施工対応型))</u>	賃料	K3 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t <u>賃料</u>	賃料	労務	R1 運転手 (特殊)			R2 -			R3 -			R4 -			材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油			Z2 -			Z3 -			Z4 -			市場単価	S	-		<p>代表機械の修正</p> <p>代表機械の修正</p> <p>記載の追加</p>
施工数量	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																
10,000m3 未満	機械	K1 ICTブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2011年規制)] 7t級	賃料																																																																																																																																																																
		K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t	賃料																																																																																																																																																																
		K3 -																																																																																																																																																																	
	労務	R1 運転手 (特殊)																																																																																																																																																																	
		R2 -																																																																																																																																																																	
		R3 -																																																																																																																																																																	
		R4 -																																																																																																																																																																	
	材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																	
		Z2 -																																																																																																																																																																	
		Z3 -																																																																																																																																																																	
		Z4 -																																																																																																																																																																	
	市場単価	S	-																																																																																																																																																																
	10,000m3 以上	機械	K1 ICTブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2011年規制)] 16t級	賃料																																																																																																																																																															
K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t			賃料																																																																																																																																																																
K3 -																																																																																																																																																																			
労務		R1 運転手 (特殊)																																																																																																																																																																	
		R2 -																																																																																																																																																																	
		R3 -																																																																																																																																																																	
		R4 -																																																																																																																																																																	
材料		Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																	
		Z2 -																																																																																																																																																																	
		Z3 -																																																																																																																																																																	
		Z4 -																																																																																																																																																																	
市場単価		S	-																																																																																																																																																																
施工数量		項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																															
10,000m3 未満	機械	K1 ICT ブルドーザ [湿地・ <u>ICT施工対応型</u> ・排出ガス対策型 (2011年規制)] 7t級	賃料																																																																																																																																																																
		K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t <u>ICT建設機械経費賃料加算額 (ブルドーザ (ICT施工対応型))</u>	賃料																																																																																																																																																																
		K3 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t <u>賃料</u>	賃料																																																																																																																																																																
	労務	R1 運転手 (特殊)																																																																																																																																																																	
		R2 -																																																																																																																																																																	
		R3 -																																																																																																																																																																	
		R4 -																																																																																																																																																																	
	材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																	
		Z2 -																																																																																																																																																																	
		Z3 -																																																																																																																																																																	
		Z4 -																																																																																																																																																																	
	市場単価	S	-																																																																																																																																																																
	10,000m3 以上	機械	K1 ICT ブルドーザ [湿地・ <u>ICT施工対応型</u> ・排出ガス対策型 (2011年規制)] 16t級	賃料																																																																																																																																																															
K2 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t <u>ICT建設機械経費賃料加算額 (ブルドーザ (ICT施工対応型))</u>			賃料																																																																																																																																																																
K3 振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 11~12t <u>賃料</u>			賃料																																																																																																																																																																
労務		R1 運転手 (特殊)																																																																																																																																																																	
		R2 -																																																																																																																																																																	
		R3 -																																																																																																																																																																	
		R4 -																																																																																																																																																																	
材料		Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																	
		Z2 -																																																																																																																																																																	
		Z3 -																																																																																																																																																																	
		Z4 -																																																																																																																																																																	
市場単価		S	-																																																																																																																																																																
積算上の注意事項				(控え頁) 5/5																																																																																																																																																															

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																				
現	行	改	正																																																																																																																																																																																																																																																																				
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 安定処理 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用機種</th> <th>施工箇所</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">スタビライザ</td> <td rowspan="3">機械</td> <td rowspan="2">K1</td> <td>スタビライザ【路床改良用】処理深さ0.6m×幅2.0m</td> <td>混合深さ0.6m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>スタビライザ【路床改良用】処理深さ1.2m×幅2.0m</td> <td>混合深さ0.6mを超え1m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>モータグレーダ【土工用・排出ガス対策型(第1次基準値)】ブレード幅3.1m</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">K3</td> <td>タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】</td> <td>運転質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R4</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z1</td> <td>セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">Z4</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S</td> <td>市場単価</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">バックホウ</td> <td rowspan="3">路床</td> <td rowspan="2">K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.45m3(平積0.35m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】</td> <td>運転質量 8~20t</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.28m3(平積0.2m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">Z1</td> <td>セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S</td> <td>市場単価</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="15">バックホウ</td> <td rowspan="3">機械</td> <td rowspan="2">K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ(舗装用)【ハンドガイド式】運転質量0.8~1.1t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R1</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">Z1</td> <td>セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S</td> <td>市場単価</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考	スタビライザ	機械	K1	スタビライザ【路床改良用】処理深さ0.6m×幅2.0m	混合深さ0.6m以下の場合	スタビライザ【路床改良用】処理深さ1.2m×幅2.0m	混合深さ0.6mを超え1m以下の場合	K2	モータグレーダ【土工用・排出ガス対策型(第1次基準値)】ブレード幅3.1m		K3	タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】	運転質量 8~20t		R1	運転手(特殊)		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—			Z1	セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック		Z2	軽油1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—			S	市場単価		バックホウ	路床	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.45m3(平積0.35m3)	賃料	K2	タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】	運転質量 8~20t	K3	バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.28m3(平積0.2m3)	賃料	R1	運転手(特殊)			R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		Z1	セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック			Z2	軽油1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		S	市場単価			バックホウ	機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	賃料	K2	振動ローラ(舗装用)【ハンドガイド式】運転質量0.8~1.1t	賃料	K3	—		R1	土木一般世話役			R2	運転手(特殊)		R3	特殊作業員		R4	普通作業員		Z1	セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック			Z2	軽油1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		S	市場単価			<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 安定処理 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用機種</th> <th>施工箇所</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">スタビライザ</td> <td rowspan="3">機械</td> <td rowspan="2">K1</td> <td>スタビライザ【路床改良用・排出ガス対策型(第2次基準値)】処理深さ0.6m×幅2.0m</td> <td>混合深さ0.6m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>スタビライザ【路床改良用・排出ガス対策型(第2次基準値)】処理深さ1.2m×幅2.0m</td> <td>混合深さ0.6mを超え1m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>モータグレーダ【土工用・排出ガス対策型(第1次基準値)】ブレード幅3.1m</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">K3</td> <td>タイヤローラ【普通型・低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】7t級</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R4</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z1</td> <td>セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">Z4</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S</td> <td>市場単価</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">バックホウ</td> <td rowspan="3">路床</td> <td rowspan="2">K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>タイヤローラ【普通型・低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】</td> <td>運転質量 8~20t</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">Z1</td> <td>セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S</td> <td>市場単価</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="15">バックホウ</td> <td rowspan="3">機械</td> <td rowspan="2">K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ(舗装用)【ハンドガイド式・低騒音型】</td> <td>運転質量0.8~1.1t</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R1</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">Z1</td> <td>セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S</td> <td>市場単価</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考	スタビライザ	機械	K1	スタビライザ【路床改良用・排出ガス対策型(第2次基準値)】処理深さ0.6m×幅2.0m	混合深さ0.6m以下の場合	スタビライザ【路床改良用・排出ガス対策型(第2次基準値)】処理深さ1.2m×幅2.0m	混合深さ0.6mを超え1m以下の場合	K2	モータグレーダ【土工用・排出ガス対策型(第1次基準値)】ブレード幅3.1m		K3	タイヤローラ【普通型・低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】7t級			R1	運転手(特殊)		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—			Z1	セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック		Z2	軽油1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—			S	市場単価		バックホウ	路床	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・ 低騒音型 ・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	賃料	K2	タイヤローラ【普通型・ 低騒音型 ・排出ガス対策型(第2次基準値)】	運転質量 8~20t	K3	—		R1	運転手(特殊)			R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		Z1	セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック			Z2	軽油1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		S	市場単価			バックホウ	機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・ 低騒音型 ・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	賃料	K2	振動ローラ(舗装用)【ハンドガイド式・ 低騒音型 】	運転質量0.8~1.1t	K3	—		R1	土木一般世話役			R2	運転手(特殊)		R3	特殊作業員		R4	普通作業員		Z1	セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック			Z2	軽油1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		S	市場単価			<p>語句の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																																																																																																			
スタビライザ	機械	K1	スタビライザ【路床改良用】処理深さ0.6m×幅2.0m	混合深さ0.6m以下の場合																																																																																																																																																																																																																																																																			
			スタビライザ【路床改良用】処理深さ1.2m×幅2.0m	混合深さ0.6mを超え1m以下の場合																																																																																																																																																																																																																																																																			
		K2	モータグレーダ【土工用・排出ガス対策型(第1次基準値)】ブレード幅3.1m																																																																																																																																																																																																																																																																				
	K3	タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】	運転質量 8~20t																																																																																																																																																																																																																																																																				
		R1	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																																																																																																				
		R2	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																																				
		R3	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																																				
	R4	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
		Z1	セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック																																																																																																																																																																																																																																																																				
		Z2	軽油1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																																				
		Z3	—																																																																																																																																																																																																																																																																				
	Z4	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
		S	市場単価																																																																																																																																																																																																																																																																				
		バックホウ	路床	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.45m3(平積0.35m3)	賃料																																																																																																																																																																																																																																																																	
					K2	タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】	運転質量 8~20t																																																																																																																																																																																																																																																																
K3	バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.28m3(平積0.2m3)			賃料																																																																																																																																																																																																																																																																			
R1	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																																																																																																						
	R2	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																																					
	R3	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																																					
	R4	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
Z1	セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック																																																																																																																																																																																																																																																																						
	Z2	軽油1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																																					
	Z3	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
	Z4	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
S	市場単価																																																																																																																																																																																																																																																																						
バックホウ	機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	賃料																																																																																																																																																																																																																																																																			
			K2	振動ローラ(舗装用)【ハンドガイド式】運転質量0.8~1.1t	賃料																																																																																																																																																																																																																																																																		
		K3	—																																																																																																																																																																																																																																																																				
	R1	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																																					
		R2	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																																																																																																				
		R3	特殊作業員																																																																																																																																																																																																																																																																				
		R4	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																																				
	Z1	セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック																																																																																																																																																																																																																																																																					
		Z2	軽油1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																																				
		Z3	—																																																																																																																																																																																																																																																																				
		Z4	—																																																																																																																																																																																																																																																																				
	S	市場単価																																																																																																																																																																																																																																																																					
	使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																																																																																																		
	スタビライザ	機械	K1	スタビライザ【路床改良用・排出ガス対策型(第2次基準値)】処理深さ0.6m×幅2.0m	混合深さ0.6m以下の場合																																																																																																																																																																																																																																																																		
				スタビライザ【路床改良用・排出ガス対策型(第2次基準値)】処理深さ1.2m×幅2.0m	混合深さ0.6mを超え1m以下の場合																																																																																																																																																																																																																																																																		
K2			モータグレーダ【土工用・排出ガス対策型(第1次基準値)】ブレード幅3.1m																																																																																																																																																																																																																																																																				
K3		タイヤローラ【普通型・低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】7t級																																																																																																																																																																																																																																																																					
		R1	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																																																																																																				
		R2	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																																				
		R3	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																																				
R4		—																																																																																																																																																																																																																																																																					
		Z1	セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック																																																																																																																																																																																																																																																																				
		Z2	軽油1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																																				
		Z3	—																																																																																																																																																																																																																																																																				
Z4		—																																																																																																																																																																																																																																																																					
		S	市場単価																																																																																																																																																																																																																																																																				
		バックホウ	路床	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・ 低騒音型 ・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	賃料																																																																																																																																																																																																																																																																	
					K2	タイヤローラ【普通型・ 低騒音型 ・排出ガス対策型(第2次基準値)】	運転質量 8~20t																																																																																																																																																																																																																																																																
K3	—																																																																																																																																																																																																																																																																						
R1	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																																																																																																						
	R2	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																																					
	R3	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																																					
	R4	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
Z1	セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック																																																																																																																																																																																																																																																																						
	Z2	軽油1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																																					
	Z3	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
	Z4	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
S	市場単価																																																																																																																																																																																																																																																																						
バックホウ	機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・ 低騒音型 ・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	賃料																																																																																																																																																																																																																																																																			
			K2	振動ローラ(舗装用)【ハンドガイド式・ 低騒音型 】	運転質量0.8~1.1t																																																																																																																																																																																																																																																																		
		K3	—																																																																																																																																																																																																																																																																				
	R1	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																																					
		R2	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																																																																																																				
		R3	特殊作業員																																																																																																																																																																																																																																																																				
		R4	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																																				
	Z1	セメント系固化工材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック																																																																																																																																																																																																																																																																					
		Z2	軽油1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																																				
		Z3	—																																																																																																																																																																																																																																																																				
		Z4	—																																																																																																																																																																																																																																																																				
	S	市場単価																																																																																																																																																																																																																																																																					
	積算上の注意事項		1・⑦・3	(控え頁) 1/1																																																																																																																																																																																																																																																																			

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																												
現	行	改 正	備 考																																												
<p>4. 施工パッケージ</p> <p>4-1 法面整形 (ICT)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 法面整形(ICT) 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整形箇所</th> <th>法面締固めの有無</th> <th>土質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">盛土部</td> <td>有り</td> <td>レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">切土部</td> <td rowspan="2">-</td> <td>レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土</td> </tr> <tr> <td>軟岩 I</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、切土法面の表層部を削取りながらの法面整形又は盛土法面の表層部を削取りながらの法面整形及び築立てながらの法面(土羽)整形, 土羽土の現場内小運搬(20m程度)の他, その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 残土の積み込み, 工区外の運搬, 並びに法面保護工は含まない。 3. 土羽土の搬入等は含まない。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">表4.2 法面整形(ICT) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ICTバックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center;">2・②・2</p>		整形箇所	法面締固めの有無	土質	盛土部	有り	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土	無し	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土	切土部	-	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土	軟岩 I	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ICTバックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	賃料	K2 -		K3 -		労務	R1 運転手(特殊)		R2 土木一般世話役		R3 普通作業員		R4 -		材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>現行どおり</p>		<p>代表機械の修正</p>
整形箇所	法面締固めの有無	土質																																													
盛土部	有り	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土																																													
	無し	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土																																													
切土部	-	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土																																													
		軟岩 I																																													
項目	代表機材規格	備考																																													
機械	K1 ICTバックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	賃料																																													
	K2 -																																														
	K3 -																																														
労務	R1 運転手(特殊)																																														
	R2 土木一般世話役																																														
	R3 普通作業員																																														
	R4 -																																														
材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油																																														
	Z2 -																																														
	Z3 -																																														
	Z4 -																																														
市場単価	S -																																														
<p style="text-align: center;">表4.2 法面整形(ICT) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>ICTバックホウ(クローラ型) [標準型・<u>ICT施工対応型</u>・超低騒音型・<u>クレーン機能付き</u>・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m³(平積0.6m³) <u>吊能力2.9t</u></td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td><u>ICT建設機械経費賃料加算額</u> (バックホウ(ICT施工対応型))</td> <td><u>賃料</u></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) <u>ICT建設機械経費賃料加算額(バックホウ(ICT施工対応型))は、地上の基準局・管理局の賃料費用である。</u></p>		項目	代表機材規格	備考	機械	ICT バックホウ(クローラ型) [標準型・ <u>ICT施工対応型</u> ・超低騒音型・ <u>クレーン機能付き</u> ・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) <u>吊能力2.9t</u>	賃料	<u>ICT建設機械経費賃料加算額</u> (バックホウ(ICT施工対応型))	<u>賃料</u>	K3 -		労務	R1 運転手(特殊)		R2 土木一般世話役		R3 普通作業員		R4 -		材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>記載の追加</p>														
項目	代表機材規格	備考																																													
機械	ICT バックホウ(クローラ型) [標準型・ <u>ICT施工対応型</u> ・超低騒音型・ <u>クレーン機能付き</u> ・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) <u>吊能力2.9t</u>	賃料																																													
	<u>ICT建設機械経費賃料加算額</u> (バックホウ(ICT施工対応型))	<u>賃料</u>																																													
	K3 -																																														
労務	R1 運転手(特殊)																																														
	R2 土木一般世話役																																														
	R3 普通作業員																																														
	R4 -																																														
材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油																																														
	Z2 -																																														
	Z3 -																																														
	Z4 -																																														
市場単価	S -																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																												

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考
現	行	改 正	考
	<p>⑦ 基礎・裏込砕石工, 基礎・裏込栗石工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は, 無筋構造物, 鉄筋構造物, 小型構造物の基礎・裏込砕石工及び基礎・裏込栗石工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 基礎砕石 (1) 厚さが 30cm 以下の基礎砕石の敷均し及び締固め作業の場合 (2) 再生資材を用いる場合</p> <p>1-1-2 裏込砕石 (1) 裏込砕石の敷均し及び締固め作業の場合 (2) 再生資材を用いる場合</p> <p>1-1-3 基礎栗石 (1) 厚さが 30cm 以下の基礎栗石の敷均し及び敷並べ作業の場合 (2) 再生資材を用いる場合</p> <p>1-1-4 裏込栗石 (1) 裏込栗石のかき込み及び築立て作業の場合 (2) 再生資材を用いる場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 基礎砕石 (1)「2章①場所打擁壁工(1), ②函渠工(1)」, 「土木工事標準歩掛第2編 14章共同溝①-1共同溝工(1)(構造物単位), ①-2共同溝工(2)」, 「土木工事標準歩掛第2編 16章橋梁⑧-1橋台・橋脚工(1)(構造物単位)」の場合</p>	<p>⑦ 基礎・裏込砕石工, 基礎・裏込栗石工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は, 無筋構造物, 鉄筋構造物, 小型構造物の基礎・裏込砕石工及び基礎・裏込栗石工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 基礎砕石 (1) 厚さが 30cm 以下の基礎砕石の敷均し及び締固め作業の場合 (2) 再生資材を用いる場合</p> <p>1-1-2 裏込砕石 (1) 裏込砕石の敷均し及び締固め作業の場合 (2) 再生資材を用いる場合</p> <p>1-1-3 基礎栗石 (1) 厚さが 30cm 以下の基礎栗石の敷均し及び敷並べ作業の場合 (2) 再生資材を用いる場合</p> <p>1-1-4 裏込栗石 (1) 裏込栗石のかき込み及び築立て作業の場合 (2) 再生資材を用いる場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 基礎砕石 (1)「2章①場所打擁壁工(1), ②函渠工(1)」, 「土木工事標準歩掛第2編 14章共同溝①-1共同溝工(1)(構造物単位), ①-2共同溝工(2)」, 「土木工事標準歩掛第2編 16章橋梁⑧-1橋台・橋脚工(1)(構造物単位)」の場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは, 下記を標準とする。</p> <p>基礎・裏込砕石工</p>  <p>(注) 上本施工パッケージは, 上記フローの全ての作業に対応している。</p>	<p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項	2・⑦・1	次頁より移動	(控え頁) 1/7

改正理由	一部改正	改正 現行	
現行	改正	備考	
<div data-bbox="270 548 1308 852" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>基礎・裏込砕石工</p>  </div> <div data-bbox="308 863 1308 1266" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>基礎栗石工 (敷均し) </p> <p>裏込栗石工 (かき込み) </p> <p>(敷並べ) </p> <p>(築立て) </p> </div> <div data-bbox="308 1287 1308 1528" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(注) 1. 本施工パッケージは、上記フローの全ての作業に対応している。 2. 「敷均し」とは、掘削整形された床に栗石を機械投入し、所定の厚さに敷均し、つき固め仕上げる工法をいう。 3. 「敷並べ」とは、掘削整形された床に栗石を機械投入し、人力により敷並べ、間隙充填材料を入れ、つき固め仕上げる工法をいう。 4. 「かき込み」とは、構造物と切土又は盛土との間に栗石を機械投入し、つき固め仕上げる工法をいう。 5. 「築立て」とは、構造物の裏側に栗石を積上げ盛土を行う工法又は切土面に裏型枠代りとして栗石を積上げる工法をいう。</p> </div> <p style="text-align: center;">2・⑦・2</p>	<p>→ 前頁へ移動</p> <p>→ 削除</p> <p>→ 前頁へ移動</p> <p>→ 削除</p>	<p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p>	
積算上の注意事項			(控え頁) 2/7

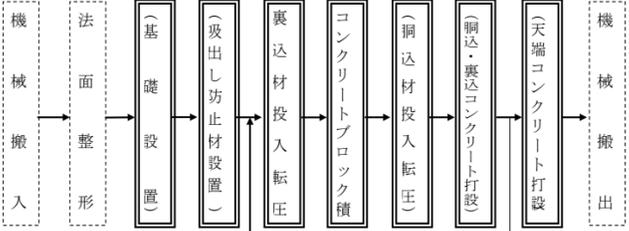
改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																											
現	行	改 正	備 考																																																																																																																											
<p>3. 施工パッケージ 3-1 基礎砕石 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 基礎砕石 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>砕石の厚さ</th> <th>砕石の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>7.5cm 以下</td><td rowspan="7" style="text-align: center;">(表 3.2)</td></tr> <tr><td>7.5cm を超え 12.5cm 以下</td></tr> <tr><td>12.5cm を超え 17.5cm 以下</td></tr> <tr><td>17.5cm を超え 20.0cm 以下</td></tr> <tr><td>20.0cm を超え 22.5cm 以下</td></tr> <tr><td>22.5cm を超え 27.5cm 以下</td></tr> <tr><td>27.5cm を超え 30.0cm 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は基礎砕石工における材料の投入、敷均し、締固め及び 20m 程度の現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 砕石の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.20) 3. 基礎砕石の敷均し厚は 30cm を上限とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 砕石の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th colspan="2">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10" style="text-align: center;">砕石の種類</td><td>クラッシュラン</td><td>40～0</td></tr> <tr><td>クラッシュラン</td><td>30～0</td></tr> <tr><td>クラッシュラン</td><td>20～0</td></tr> <tr><td>高炉スラグ</td><td>CS-40</td></tr> <tr><td>高炉スラグ</td><td>MS-25</td></tr> <tr><td>高炉スラグ</td><td>HMS-25</td></tr> <tr><td>クラッシュラン</td><td>80～0</td></tr> <tr><td>再生クラッシュラン</td><td>40～0</td></tr> <tr><td>再生クラッシュラン</td><td>80～0</td></tr> <tr><td>砕石 (各種)</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 基礎砕石 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</td><td>賃料</td></tr> <tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R 2</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr><td>R 4</td><td>運転手 (特殊)</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td><td>Z 1</td><td>再生クラッシュラン RC-40</td><td></td></tr> <tr><td>Z 2</td><td>軽油 1.2 号 バトロール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑦・3</p>		砕石の厚さ	砕石の種類	7.5cm 以下	(表 3.2)	7.5cm を超え 12.5cm 以下	12.5cm を超え 17.5cm 以下	17.5cm を超え 20.0cm 以下	20.0cm を超え 22.5cm 以下	22.5cm を超え 27.5cm 以下	27.5cm を超え 30.0cm 以下	積算条件	区分		砕石の種類	クラッシュラン	40～0	クラッシュラン	30～0	クラッシュラン	20～0	高炉スラグ	CS-40	高炉スラグ	MS-25	高炉スラグ	HMS-25	クラッシュラン	80～0	再生クラッシュラン	40～0	再生クラッシュラン	80～0	砕石 (各種)		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	運転手 (特殊)		材料	Z 1	再生クラッシュラン RC-40		Z 2	軽油 1.2 号 バトロール給油		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は基礎砕石工における材料の投入、敷均し、締固め及び <u>20m 程度の</u>現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.3 基礎砕石 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (<u>第2次基準値-2011年規制</u>)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</td><td>賃料</td></tr> <tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R 2</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr><td>R 4</td><td>運転手 (特殊)</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td><td>Z 1</td><td>再生クラッシュラン RC-40</td><td></td></tr> <tr><td>Z 2</td><td>軽油 1.2 号 バトロール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑦・2</p>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (<u>第2次基準値-2011年規制</u>)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	運転手 (特殊)		材料	Z 1	再生クラッシュラン RC-40		Z 2	軽油 1.2 号 バトロール給油		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
砕石の厚さ	砕石の種類																																																																																																																													
7.5cm 以下	(表 3.2)																																																																																																																													
7.5cm を超え 12.5cm 以下																																																																																																																														
12.5cm を超え 17.5cm 以下																																																																																																																														
17.5cm を超え 20.0cm 以下																																																																																																																														
20.0cm を超え 22.5cm 以下																																																																																																																														
22.5cm を超え 27.5cm 以下																																																																																																																														
27.5cm を超え 30.0cm 以下																																																																																																																														
積算条件	区分																																																																																																																													
砕石の種類	クラッシュラン	40～0																																																																																																																												
	クラッシュラン	30～0																																																																																																																												
	クラッシュラン	20～0																																																																																																																												
	高炉スラグ	CS-40																																																																																																																												
	高炉スラグ	MS-25																																																																																																																												
	高炉スラグ	HMS-25																																																																																																																												
	クラッシュラン	80～0																																																																																																																												
	再生クラッシュラン	40～0																																																																																																																												
	再生クラッシュラン	80～0																																																																																																																												
	砕石 (各種)																																																																																																																													
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																											
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料																																																																																																																											
	K 2	—																																																																																																																												
	K 3	—																																																																																																																												
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																												
	R 2	特殊作業員																																																																																																																												
	R 3	土木一般世話役																																																																																																																												
	R 4	運転手 (特殊)																																																																																																																												
材料	Z 1	再生クラッシュラン RC-40																																																																																																																												
	Z 2	軽油 1.2 号 バトロール給油																																																																																																																												
	Z 3	—																																																																																																																												
	Z 4	—																																																																																																																												
市場単価	S	—																																																																																																																												
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																											
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (<u>第2次基準値-2011年規制</u>)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料																																																																																																																											
	K 2	—																																																																																																																												
	K 3	—																																																																																																																												
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																												
	R 2	特殊作業員																																																																																																																												
	R 3	土木一般世話役																																																																																																																												
	R 4	運転手 (特殊)																																																																																																																												
材料	Z 1	再生クラッシュラン RC-40																																																																																																																												
	Z 2	軽油 1.2 号 バトロール給油																																																																																																																												
	Z 3	—																																																																																																																												
	Z 4	—																																																																																																																												
市場単価	S	—																																																																																																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 3/7																																																																																																																											

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																					
現	行	改	正																																																																																					
<p>3-2 裏込砕石 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 裏込砕石 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr><th>砕石の種類</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>クラッシュラン</td><td>40~0</td></tr> <tr><td>クラッシュラン</td><td>30~0</td></tr> <tr><td>クラッシュラン</td><td>20~0</td></tr> <tr><td>高炉スラグ</td><td>CS-40</td></tr> <tr><td>高炉スラグ</td><td>MS-25</td></tr> <tr><td>高炉スラグ</td><td>HMS-25</td></tr> <tr><td>クラッシュラン</td><td>80~0</td></tr> <tr><td>再生クラッシュラン</td><td>40~0</td></tr> <tr><td>再生クラッシュラン</td><td>80~0</td></tr> <tr><td>砕石(各種)</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">(注) 1. 上表は裏込砕石工における材料の投入、敷均し、締固めおよび20m程度の現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 砕石の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.20)</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 裏込砕石 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border: 1px solid red;"> <thead> <tr><th>項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3 (平積0.6m3)</td><td>賃料</td></tr> <tr><td>K 2 -</td><td></td></tr> <tr><td>K 3 -</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R 2 特殊作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R 3 運転手(特殊)</td><td></td></tr> <tr><td>R 4 土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1 再生クラッシュラン RC-40</td><td></td></tr> <tr><td>Z 2 軽油1.2号 パトロール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z 3 -</td><td></td></tr> <tr><td>Z 4 -</td><td></td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S -</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑦・4</p>		砕石の種類		クラッシュラン	40~0	クラッシュラン	30~0	クラッシュラン	20~0	高炉スラグ	CS-40	高炉スラグ	MS-25	高炉スラグ	HMS-25	クラッシュラン	80~0	再生クラッシュラン	40~0	再生クラッシュラン	80~0	砕石(各種)		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3 (平積0.6m3)	賃料	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 特殊作業員		R 3 運転手(特殊)		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1 再生クラッシュラン RC-40		Z 2 軽油1.2号 パトロール給油		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は裏込砕石工における材料の投入、敷均し、締固めおよび20m程度の現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.5 裏込砕石 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr><th>項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値-2011年規制)] 山積0.8m3 (平積0.6m3)</td><td>賃料</td></tr> <tr><td>K 2 -</td><td></td></tr> <tr><td>K 3 -</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R 2 特殊作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R 3 運転手(特殊)</td><td></td></tr> <tr><td>R 4 土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1 再生クラッシュラン RC-40</td><td></td></tr> <tr><td>Z 2 軽油1.2号 パトロール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z 3 -</td><td></td></tr> <tr><td>Z 4 -</td><td></td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S -</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑦・3</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値-2011年規制)] 山積0.8m3 (平積0.6m3)	賃料	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 特殊作業員		R 3 運転手(特殊)		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1 再生クラッシュラン RC-40		Z 2 軽油1.2号 パトロール給油		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>記載の削除・修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
砕石の種類																																																																																								
クラッシュラン	40~0																																																																																							
クラッシュラン	30~0																																																																																							
クラッシュラン	20~0																																																																																							
高炉スラグ	CS-40																																																																																							
高炉スラグ	MS-25																																																																																							
高炉スラグ	HMS-25																																																																																							
クラッシュラン	80~0																																																																																							
再生クラッシュラン	40~0																																																																																							
再生クラッシュラン	80~0																																																																																							
砕石(各種)																																																																																								
項目	代表機材規格	備考																																																																																						
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3 (平積0.6m3)	賃料																																																																																						
	K 2 -																																																																																							
	K 3 -																																																																																							
労務	R 1 普通作業員																																																																																							
	R 2 特殊作業員																																																																																							
	R 3 運転手(特殊)																																																																																							
	R 4 土木一般世話役																																																																																							
材料	Z 1 再生クラッシュラン RC-40																																																																																							
	Z 2 軽油1.2号 パトロール給油																																																																																							
	Z 3 -																																																																																							
	Z 4 -																																																																																							
市場単価	S -																																																																																							
項目	代表機材規格	備考																																																																																						
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値-2011年規制)] 山積0.8m3 (平積0.6m3)	賃料																																																																																						
	K 2 -																																																																																							
	K 3 -																																																																																							
労務	R 1 普通作業員																																																																																							
	R 2 特殊作業員																																																																																							
	R 3 運転手(特殊)																																																																																							
	R 4 土木一般世話役																																																																																							
材料	Z 1 再生クラッシュラン RC-40																																																																																							
	Z 2 軽油1.2号 パトロール給油																																																																																							
	Z 3 -																																																																																							
	Z 4 -																																																																																							
市場単価	S -																																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 4/7																																																																																					

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																										
現	行	改 正	備 考																																										
<p>3-3 基礎栗石 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 基礎栗石 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>栗石の厚さ</th> <th>栗石の種類</th> <th>作業区分</th> <th>敷並べ間隙充填材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">17.5cm 以下</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">(表 3.7)</td> <td>敷均し</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>敷並べ</td> <td>(表 3.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">17.5cm を超え 22.5cm 以下</td> <td>敷均し</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>敷並べ</td> <td>(表 3.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">22.5cm を超え 27.5cm 以下</td> <td>敷均し</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>敷並べ</td> <td>(表 3.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">27.5cm を超え 30.0cm 以下</td> <td>敷均し</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>敷並べ</td> <td>(表 3.8)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は基礎栗石工における材料の投入、敷均し、敷並べ、充填材の投入、つき固めおよび20m程度の現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 栗石の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.14) 3. 基礎栗石の敷均し及び敷並べ厚は、30cmを上限とする。 4. 護岸工の裏込栗石工において、護岸平場は本施工パッケージを適用する。 5. 間隙充填材は作業区分が「敷並べ」にのみ適用する。 6. 間隙充填材の標準使用量は、栗石使用量の20%とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 栗石の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">栗石の種類</td> <td>栗石 (50 ~ 150 mm)</td> </tr> <tr> <td>割栗石 (50 ~ 150 mm)</td> </tr> <tr> <td>割栗石 (150 ~ 200 mm)</td> </tr> <tr> <td>栗石 (各種)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3.8 間隙充填材料の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">敷並べ間隙充填材料</td> <td>クラッシュラン 40~0</td> </tr> <tr> <td>クラッシュラン 30~0</td> </tr> <tr> <td>クラッシュラン 20~0</td> </tr> <tr> <td>再生クラッシュラン 40~0</td> </tr> <tr> <td>碎石 (各種)</td> </tr> <tr> <td>栗石 (各種)</td> </tr> <tr> <td>不要</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑦・5</p>		栗石の厚さ	栗石の種類	作業区分	敷並べ間隙充填材料	17.5cm 以下	(表 3.7)	敷均し	—	敷並べ	(表 3.8)	17.5cm を超え 22.5cm 以下	敷均し	—	敷並べ	(表 3.8)	22.5cm を超え 27.5cm 以下	敷均し	—	敷並べ	(表 3.8)	27.5cm を超え 30.0cm 以下	敷均し	—	敷並べ	(表 3.8)	積算条件	区分	栗石の種類	栗石 (50 ~ 150 mm)	割栗石 (50 ~ 150 mm)	割栗石 (150 ~ 200 mm)	栗石 (各種)	積算条件	区分	敷並べ間隙充填材料	クラッシュラン 40~0	クラッシュラン 30~0	クラッシュラン 20~0	再生クラッシュラン 40~0	碎石 (各種)	栗石 (各種)	不要	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">削除</div>	<p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
栗石の厚さ	栗石の種類	作業区分	敷並べ間隙充填材料																																										
17.5cm 以下	(表 3.7)	敷均し	—																																										
		敷並べ	(表 3.8)																																										
17.5cm を超え 22.5cm 以下		敷均し	—																																										
		敷並べ	(表 3.8)																																										
22.5cm を超え 27.5cm 以下		敷均し	—																																										
		敷並べ	(表 3.8)																																										
27.5cm を超え 30.0cm 以下		敷均し	—																																										
		敷並べ	(表 3.8)																																										
積算条件	区分																																												
栗石の種類	栗石 (50 ~ 150 mm)																																												
	割栗石 (50 ~ 150 mm)																																												
	割栗石 (150 ~ 200 mm)																																												
	栗石 (各種)																																												
積算条件	区分																																												
敷並べ間隙充填材料	クラッシュラン 40~0																																												
	クラッシュラン 30~0																																												
	クラッシュラン 20~0																																												
	再生クラッシュラン 40~0																																												
	碎石 (各種)																																												
	栗石 (各種)																																												
	不要																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 5/7																																										

改正理由	一部改正	改正 現行																																																										
現 行		改 正																																																										
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 基礎栗石 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>割栗石 50～150mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> <td>敷並べ間隙充填材料がある場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4 裏込栗石 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 裏込栗石 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>栗 石 の 種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">かき込み</td> <td>栗 石 (50～150mm)</td> </tr> <tr> <td>割栗石 (50～150mm)</td> </tr> <tr> <td>割栗石 (150～200mm)</td> </tr> <tr> <td>栗 石 (各種)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">築立て</td> <td>栗 石 (50～150mm)</td> </tr> <tr> <td>割栗石 (50～150mm)</td> </tr> <tr> <td>割栗石 (150～200mm)</td> </tr> <tr> <td>栗 石 (各種)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は裏込栗石工における材料の投入、かき込み、つき固め、積上げおよび20m程度の現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 栗石の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.14) 3. 護岸工の裏込栗石工において、護岸平場は、「3-3 基礎栗石」を適用する。</p>		項目	代表機材規格		備考	機械	K1	バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	土木一般世話役		R4	運転手（特殊）		材料	Z1	割栗石 50～150mm		Z2	再生クラッシュラン RC-40	敷並べ間隙充填材料がある場合	Z3	軽油 1.2号 パトロール給油		Z4	—		市場単価	S	—		作業区分	栗 石 の 種 類	かき込み	栗 石 (50～150mm)	割栗石 (50～150mm)	割栗石 (150～200mm)	栗 石 (各種)	築立て	栗 石 (50～150mm)	割栗石 (50～150mm)	割栗石 (150～200mm)	栗 石 (各種)	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">削除</div>		備考 記載の削除 (歩掛り改定に伴う)
項目	代表機材規格		備考																																																									
機械	K1	バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	賃料																																																									
	K2	—																																																										
	K3	—																																																										
労務	R1	普通作業員																																																										
	R2	特殊作業員																																																										
	R3	土木一般世話役																																																										
	R4	運転手（特殊）																																																										
材料	Z1	割栗石 50～150mm																																																										
	Z2	再生クラッシュラン RC-40	敷並べ間隙充填材料がある場合																																																									
	Z3	軽油 1.2号 パトロール給油																																																										
	Z4	—																																																										
市場単価	S	—																																																										
作業区分	栗 石 の 種 類																																																											
かき込み	栗 石 (50～150mm)																																																											
	割栗石 (50～150mm)																																																											
	割栗石 (150～200mm)																																																											
	栗 石 (各種)																																																											
築立て	栗 石 (50～150mm)																																																											
	割栗石 (50～150mm)																																																											
	割栗石 (150～200mm)																																																											
	栗 石 (各種)																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 6/7																																																									

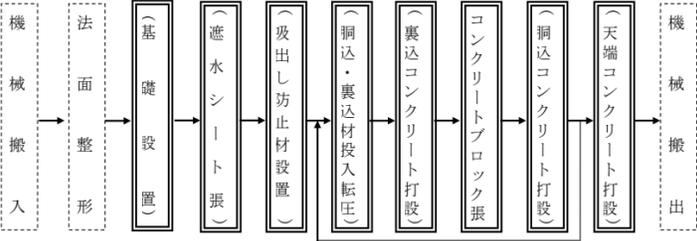
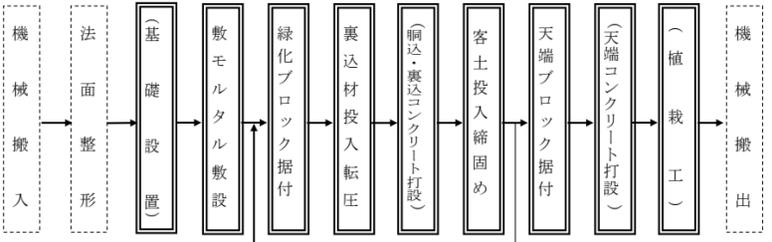
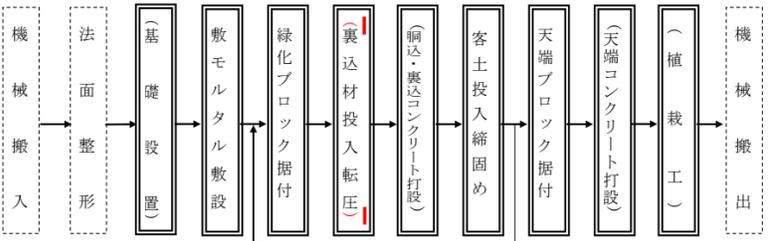
改正理由	一部改正	改正 現行																																
現 行		改 正																																
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.11 裏込栗石 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>・賃料 ・作業区分がかき込みの場合</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td>作業区分がかき込みの場合</td> </tr> <tr> <td>R3 運転手(特殊)</td> <td>作業区分がかき込みの場合</td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td>作業区分がかき込みの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 割栗石 50~150mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油1.2号 バトロール給油</td> <td>作業区分がかき込みの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	・賃料 ・作業区分がかき込みの場合	K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員	作業区分がかき込みの場合	R3 運転手(特殊)	作業区分がかき込みの場合	R4 土木一般世話役	作業区分がかき込みの場合	材料	Z1 割栗石 50~150mm		Z2 軽油1.2号 バトロール給油	作業区分がかき込みの場合	Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; width: 100px; margin: auto;">削除</div>	
項目	代表機材規格	備考																																
機械	K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	・賃料 ・作業区分がかき込みの場合																																
	K2 -																																	
	K3 -																																	
労務	R1 普通作業員																																	
	R2 特殊作業員	作業区分がかき込みの場合																																
	R3 運転手(特殊)	作業区分がかき込みの場合																																
	R4 土木一般世話役	作業区分がかき込みの場合																																
材料	Z1 割栗石 50~150mm																																	
	Z2 軽油1.2号 バトロール給油	作業区分がかき込みの場合																																
	Z3 -																																	
	Z4 -																																	
市場単価	S -																																	
		備考																																
		記載の削除 (歩掛り改定に伴う)																																
積算上の注意事項			(控え頁) 7/7																															

改正理由	一部改正	改正 現行	
現 行		改 正	
		備 考	
<p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 コンクリートブロック積</p> <p>(1) 土木工事標準単価方式による間知ブロック積工 (勾配1割未満, ブロック質量 150 kg/個未満) の場合</p> <p>(2) 作業半径が 8.5m を超える場合又は吊上げ高さが 5.8m を超える場合</p> <p>1-2-2 大型ブロック積</p> <p>(1) 作業半径が 12m を超える場合又は吊上げ高さが 30m を超える場合</p> <p>1-2-3 間知ブロック張</p> <p>(1) 作業半径が 8.5m を超える場合又は吊上げ高さが 5.8m を超える場合</p> <p>1-2-4 平ブロック張</p> <p>(1) 作業半径が 8.5m を超える場合又は吊上げ高さが 5.8m を超える場合</p> <p>1-2-5 連節ブロック張</p> <p>(1) 連結金具を使用する場合</p> <p>(2) 作業半径が 8.5m を超える場合又は吊上げ高さが 5.8m を超える場合</p> <p>1-2-6 緑化ブロック積</p> <p>(1) 作業半径が 8.5m を超える場合又は吊上げ高さが 5.8m を超える場合</p> <p>1-2-7 胴込・裏込コンクリート</p> <p>(1) 石積(張)における胴込・裏込コンクリート打設の場合</p> <p>(2) 大型ブロック以外の胴込・裏込コンクリート打設は, 作業半径が 8.5m を超える場合又は吊上げ高さが 5.8m を超える場合, 大型ブロックの胴込・裏込コンクリート打設は, 作業半径が 12m を超える場合又は吊上げ高さが 30m を超える場合</p> <p>1-2-8 胴込・裏込材(砕石)</p> <p>(1) 石積(張)における砕石等の胴込・裏込材設置の場合</p> <p>(2) 作業半径が 8.5m を超える場合又は吊上げ高さが 5.8m を超える場合</p> <p>1-2-9 現場打基礎コンクリート</p> <p>(1) 作業半径が 8.5m を超える場合又は吊上げ高さが 5.8m を超える場合</p> <p>1-2-10 天端コンクリート</p> <p>(1) 作業半径が 8.5m を超える場合又は吊上げ高さが 5.8m を超える場合</p> <p>1-2-11 ブレキャスト基礎ブロック</p> <p>(1) 作業半径が 8.5m を超える場合又は吊上げ高さが 5.8m を超える場合</p> <p>2. 施 工 概 要</p> <p>施工フローは, 下記を標準とする。</p> <p>2-1 コンクリートブロック積工 (コンクリートブロック積, 大型ブロック積)</p>  <p>図2-1 施工フロー(コンクリートブロック積工)</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは, 二重実線部分のみである。 2. () 書きは必要な場合計上する。 3. 間知ブロックの場合, 水抜きパイプ設置の有無にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。 4. 基礎設置は, 現場打ち基礎又はプレキャスト基礎にかかわらず適用出来る。</p> <p>2・⑧・2</p>		<p>現行どおり</p> <p>次頁へ移動</p>	
積算上の注意事項			(控え頁) 1/11

工 種	コンクリートブロック積(張)工
-----	-----------------

改正理由	一部改正	改正 現行	
現 行	改 正		
前頁より移動 →		<p>2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 2-1 コンクリートブロック積工 (コンクリートブロック積, 大型ブロック積)</p> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー(コンクリートブロック積工)</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. () 書きは必要な場合計上する。 3. 間知ブロックの場合、水抜きパイプ設置の有無にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。 4. 基礎設置は、現場打ち基礎又はプレキャスト基礎にかかわらず適用出来る。<u>なお、現場打ち基礎は「3-14 現場打基礎コンクリート」、プレキャスト基礎は「3-16 プレキャスト基礎ブロック」より計上する。</u> 5. 吸出し防止材設置は、「3-12 吸出し防止材(全面)設置」より計上する。 6. 裏込材投入転圧又は胴込材投入転圧は、「3-10 胴込・裏込材(砕石)」より計上する。 7. 胴込・裏込コンクリート打設は、「3-9 胴込・裏込コンクリート」より計上する。 8. 天端コンクリート打設は、「3-15 天端コンクリート」より計上する。</p> <p style="text-align: center;">2・⑧・3</p>	
		記載の追記	記載の追記
積算上の注意事項			(控え頁) 2/11

工 種	コンクリートブロック積(張)工
-----	-----------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>2-2 コンクリートブロック張工(間知ブロック張, 平ブロック張, 連節ブロック張)</p>  <p style="text-align: center;">図2-2 施工フロー(コンクリートブロック張工)</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. () 書きは必要な場合計上する。 3. 間知ブロック張は、吸出し防止材設置の有無にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。 4. 基礎設置は、現場打ち基礎又はプレキャスト基礎にかかわらず適用出来る。</p> <p>2-3 緑化ブロック積工</p>  <p style="text-align: center;">図2-3 施工フロー(緑化ブロック積工)</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. () 書きは必要な場合計上する。 3. 客土投入締固めの有無にかかわらず適用出来る。 4. 基礎設置は、現場打ち基礎又はプレキャスト基礎にかかわらず適用出来る。</p> <p style="text-align: right;">2・⑧・3</p>	<p style="text-align: center;">改 正</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. () 書きは必要な場合計上する。 <u>4.3. 基礎設置は、現場打ち基礎又はプレキャスト基礎にかかわらず適用出来る。なお、現場打ち基礎は「3-14 現場打基礎コンクリート」、プレキャスト基礎は「3-16 プレキャスト基礎ブロック」より計上する。</u> <u>4. 天端コンクリート打設は、「3-15 天端コンクリート」より計上する。</u> <u>4.5. 間知ブロック張は、吸出し防止材設置の有無にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。</u> <u>6. 平ブロック張は、裏込コンクリート打設及び胴込コンクリート打設を含まない。</u> <u>7. 連節ブロック張は、胴込・裏込材投入転圧、裏込コンクリート打設及び胴込コンクリート打設を含まない。</u></p> <p>2-3 緑化ブロック積工</p>  <p style="text-align: center;">図2-3 施工フロー(緑化ブロック積工)</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. () 書きは必要な場合計上する。 <u>4.3. 基礎設置は、現場打ち基礎又はプレキャスト基礎にかかわらず適用出来る。なお、現場打ち基礎は「3-14 現場打基礎コンクリート」、プレキャスト基礎は「3-16 プレキャスト基礎ブロック」より計上する。</u> <u>4.4. 客土投入締固めの有無にかかわらず適用出来る。</u> <u>5. 天端ブロック据付の有無にかかわらず適用出来る。</u> <u>6. 天端コンクリート打設は、「3-15 天端コンクリート」より計上する。</u> <u>7. 植栽工は、「3-13 植樹」より計上する。</u></p> <p style="text-align: right;">2・⑧・4</p>	<p style="text-align: center;">備 考</p> <p style="text-align: center;">記載の修正・追記</p> <p style="text-align: center;">記載の追記</p> <p style="text-align: center;">記載の修正・追記</p>	
積算上の注意事項			(控え頁) 3/11

改正理由	一部改正	改正 現行																																															
現	行	改	正																																														
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 コンクリートブロック積</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 コンクリートブロック積 積算条件区分一覧 (積算単位:m2)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th style="width: 30%;">鉄筋規格</th> <th style="width: 70%;">鉄筋10m2当り使用量</th> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(表3.2)</td> <td style="text-align: center;">0.1t以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.1tを超え0.2t以下</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、間知ブロック(勾配1割未満・ブロック質量150kg/個以上450kg/個以下)の設置、鉄筋(加工・組立)、目地材の設置、調整コンクリートの打設(材料費を含む)、現場内小運搬(50mまで)の他、水抜きパイプ(水抜き孔用吸出し防止材を含む)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、目地材料費は含まない。</p> <p>2. 鉄筋の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.03)</p> <p>3. 現場条件により足場が必要な場合は別途計上する。</p> <p>4. 目地材料費は必要量を別途計上する。</p> <p style="border: 2px solid red; padding: 2px;">5. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。</p> <p>(4. 参考図 4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート参照)</p> <p style="text-align: center;">表3.2 鉄筋規格</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区 分</th> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">鉄筋規格</td> <td style="text-align: center;">SD295A D13</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SD295A D16</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SD345 D13</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SD345 D16~25</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">鉄筋コンクリート用棒鋼 各種</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">不要</td> </tr> </table> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 コンクリートブロック積 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td style="text-align: center;">K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td style="text-align: center;">R 1</td> <td>運転手(特殊)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 2</td> <td>ブロック工</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 3</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 4</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">Z 1</td> <td>間知ブロック 高250×幅400×控350 滑面</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 3</td> <td>軽油1.2号 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑧・4</p>		鉄筋規格	鉄筋10m2当り使用量	(表3.2)	0.1t以下	0.1tを超え0.2t以下	積算条件	区 分	鉄筋規格	SD295A D13	SD295A D16	SD345 D13	SD345 D16~25	鉄筋コンクリート用棒鋼 各種	不要	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	K 2	-	K 3	-	労務	R 1	運転手(特殊)	R 2	ブロック工	R 3	普通作業員	R 4	土木一般世話役	材料	Z 1	間知ブロック 高250×幅400×控350 滑面	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16	Z 3	軽油1.2号 バトロール給油	Z 4	-	市場単価	S	-	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">5. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">2・⑧・5</p>		<p style="text-align: center;">備考</p> <p style="text-align: center;">記載の修正</p>
鉄筋規格	鉄筋10m2当り使用量																																																
(表3.2)	0.1t以下																																																
	0.1tを超え0.2t以下																																																
積算条件	区 分																																																
鉄筋規格	SD295A D13																																																
	SD295A D16																																																
	SD345 D13																																																
	SD345 D16~25																																																
	鉄筋コンクリート用棒鋼 各種																																																
	不要																																																
項目	代表機材規格	備考																																															
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t																																															
	K 2	-																																															
	K 3	-																																															
労務	R 1	運転手(特殊)																																															
	R 2	ブロック工																																															
	R 3	普通作業員																																															
	R 4	土木一般世話役																																															
材料	Z 1	間知ブロック 高250×幅400×控350 滑面																																															
	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16																																															
	Z 3	軽油1.2号 バトロール給油																																															
	Z 4	-																																															
市場単価	S	-																																															
積算上の注意事項			(控え頁) 4/11																																														

改正理由	一部改正	改正 現行																																																
現 行	改 正	備 考																																																
<p>3-2 大型ブロック積 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 大型ブロック積 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">水抜きパイプの有無</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">有り</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">無し</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、大型ブロック (勾配1割未満, ブロック質量4,600kg/個以下, 控え長500mm以上) の設置, 鉄筋 (加工・組立), 目地材の設置, 調整コンクリートの打設 (材料費を含む), 現場内小運搬 (50m まで) の他, 水抜きパイプ (水抜き孔用吸出し防止材を含む) 等, その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし, 鉄筋材料費及び目地材料費は含まない。 2. 鉄筋材料費は必要量を別途計上する。 3. 現場条件により足場が必要な場合は別途計上する。 4. 目地材料費は, 実数量 (材料ロスを含んだ数量) を別途計上する。 5. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし, 小口止, 天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図 4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート参照)</p> <p style="text-align: center;">表3.5 大型ブロック積 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>大型ブロック 控え 500mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">2・⑧・5</p>	水抜きパイプの有無	有り	無し	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]25t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	ブロック工		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	大型ブロック 控え 500mm		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">5. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし, 小口止, 天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図 4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート参照)</p> <p style="text-align: center;">(2) 代表機材規格 下表機材は, 当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: right;">2・⑧・6</p>	<p style="text-align: center;">記載の修正</p> <p style="text-align: center;">記載の追記</p>	
水抜きパイプの有無																																																		
有り																																																		
無し																																																		
項目	代表機材規格		備考																																															
機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]25t 吊	賃料																																															
	K 2	—																																																
	K 3	—																																																
労務	R 1	普通作業員																																																
	R 2	ブロック工																																																
	R 3	土木一般世話役																																																
	R 4	特殊作業員																																																
材料	Z 1	大型ブロック 控え 500mm																																																
	Z 2	—																																																
	Z 3	—																																																
	Z 4	—																																																
市場単価	S	—																																																
積算上の注意事項			(控え頁) 5/11																																															

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

3-3 間知ブロック張
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

間知ブロック規格	裏込材規格	裏込材 10m2 当り使用量	胴込・裏込コンクリート規格	胴込・裏込コンクリート 10m2 当り使用量	遮水シート規格
150kg/個未満 控え 350(m2) 滑面タイプ	(表 3.7)	-	(表 3.9)	-	(表 3.11)
150kg/個未満 各種(m2)		(表 3.8)		(表 3.10)	
150kg/個以上 各種(m2)					

- (注) 1. 上表は、間知ブロック(勾配1割以上・ブロック質量770kg/個以下)の設置、裏込材設置、胴込・裏込コンクリート打設、調整コンクリートの打設(材料費を含む)、吸出し防止材、遮水シート張(ブロック背面、基礎、隔壁、小口止の端部継手)、現場内小運搬(50mまで)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。
2. 裏込材、胴込・裏込コンクリート、遮水シート、吸出し防止材の材料ロスを含む。標準ロス率は、裏込材、胴込・裏込コンクリート及び吸出し防止材が+0.12、遮水シートが+0.08とする。
3. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、横帯、天端コンクリートは別途計上する。
- (4. 参考図 4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート参照)
4. 目地材は必要に応じて「2章◎目地・止水板設置工」により別途計上する。
5. 水抜きパイプが必要な場合には、設置手間・材料費を別途計上する。
6. 間知ブロック張と遮水シート張(ブロック背面)は、同施工面積とする。

積算条件	区 分
裏込材規格	再生砕石 RC-40
	再生砕石 RC-80
	砕石 C-40
	砕石 C-80
	砕石各種
	不要

積算条件	区 分
裏込材10m ² 当り使用量	1.0m ³ 以下
	1.0m ³ を超え 3.0m ³ 以下
	3.0m ³ を超え 5.0m ³ 以下
	5.0m ³ を超え 7.0m ³ 以下

2・⑧・6

現行どおり

現行どおり

現行どおり

3. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、横帯、天端コンクリートは別途計上する。

表3.6 間知ブロック張 積算条件区分一覧 (積算単位: m2)

間知ブロック規格	裏込材規格	裏込材 10m2 当り使用量	胴込・裏込コンクリート規格	胴込・裏込コンクリート 10m2 当り使用量	遮水シート規格
150kg/個未満 控え 350mm(m2) 滑面タイプ	(表 3.7)	-	(表 3.9)	-	(表 3.11)
150kg/個未満 各種(m2)		(表 3.8)		(表 3.10)	
150kg/個以上 各種(m2)					

記載の追加・削除

記載の修正

積算上の注意事項			(控え頁) 6/11
----------	--	--	---------------

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																																																																
現 行		改 正																																																																																																																																																
<p>3-4 平ブロック張 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.13 平ブロック張 積算条件区分一覧 (積算単位：m2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ブロックの 質量</th> <th rowspan="2">平ブロック 規格</th> <th rowspan="2">裏込材 規格</th> <th rowspan="2">裏込材 10m2 当り使用量</th> <th rowspan="2">遮水シート 規格</th> <th colspan="2">吸出し防止 材の有無</th> <th colspan="2">連結金具 の有無</th> </tr> <tr> <th>有</th> <th>無</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">150kg/個 未満</td> <td rowspan="4">平ブロック 控 180(m2)</td> <td rowspan="12">(表 3.7)</td> <td rowspan="12">(表 3.14)</td> <td rowspan="12">(表 3.11)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td rowspan="12">(表 3.15)</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>有</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>無</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">平ブロック 控 120(m2)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>有</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>無</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">平ブロック 各種(m2)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>有</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>無</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">150kg/個 以上</td> <td rowspan="4">平ブロック 各種(m2)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>有</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>無</td> <td>無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、平ブロック(勾配1割以上・ブロック質量770kg/個以下)の設置、連結金具組立、裏込材(砕石)投入、調整コンクリートの打設(材料費を含む)、吸出し防止材、遮水シート張(ブロック背面、基礎、隔壁、小口止の端部継手)、現場内小運搬(50mまで)の他、タンバ締固めの損料、目地モルタルを使用した場合の材料費・設置手間等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 裏込材、遮水シート、吸出し防止材の材料ロスを含む。標準ロス率は、裏込材及び吸出し防止材が+0.12、遮水シートが+0.08とする。 3. 目地モルタルの有無にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。 4. 平ブロック張と遮水シート張(ブロック背面)は、同施工面積とする。 5. 現場条件により足場が必要な場合は別途計上する。 6. 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図 4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート参照)</p> <p style="text-align: center;">2・⑧・8</p>		ブロックの 質量	平ブロック 規格	裏込材 規格	裏込材 10m2 当り使用量	遮水シート 規格	吸出し防止 材の有無		連結金具 の有無		有	無	有	無	150kg/個 未満	平ブロック 控 180(m2)	(表 3.7)	(表 3.14)	(表 3.11)	有	有	有	(表 3.15)	無	無	有	有	有	無	無	無	無	平ブロック 控 120(m2)	有	有	有	無	無	有	有	有	無	無	無	無	平ブロック 各種(m2)	有	有	有	無	無	有	有	有	無	無	無	無	150kg/個 以上	平ブロック 各種(m2)	有	有	有	無	無	有	有	有	無	無	無	無	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.13 平ブロック張 積算条件区分一覧 (積算単位：m2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ブロックの 質量</th> <th rowspan="2">平ブロック 規格</th> <th rowspan="2">裏込材 規格</th> <th rowspan="2">裏込材 10m2 当り使用量</th> <th rowspan="2">遮水シート 規格</th> <th colspan="2">吸出し防止 材の有無</th> <th colspan="2">連結金具 の有無</th> </tr> <tr> <th>有</th> <th>無</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">150kg/個 未満</td> <td rowspan="4">平ブロック 控 <u>180mm(m2)</u></td> <td rowspan="12">(表 3.7)</td> <td rowspan="12">(表 3.14)</td> <td rowspan="12">(表 3.11)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td rowspan="12">(表 3.15)</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>有</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>無</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">平ブロック 控 <u>120mm(m2)</u></td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>有</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>無</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">平ブロック 各種(<u>m2</u>)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>有</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>無</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">150kg/個 以上</td> <td rowspan="4">平ブロック 各種(<u>m2</u>)</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>有</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>無</td> <td>無</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑧・9</p>		ブロックの 質量	平ブロック 規格	裏込材 規格	裏込材 10m2 当り使用量	遮水シート 規格	吸出し防止 材の有無		連結金具 の有無		有	無	有	無	150kg/個 未満	平ブロック 控 <u>180mm(m2)</u>	(表 3.7)	(表 3.14)	(表 3.11)	有	有	有	(表 3.15)	無	無	有	有	有	無	無	無	無	平ブロック 控 <u>120mm(m2)</u>	有	有	有	無	無	有	有	有	無	無	無	無	平ブロック 各種(<u>m2</u>)	有	有	有	無	無	有	有	有	無	無	無	無	150kg/個 以上	平ブロック 各種(<u>m2</u>)	有	有	有	無	無	有	有	有	無	無	無	無	記載の追加・削除
ブロックの 質量	平ブロック 規格						裏込材 規格	裏込材 10m2 当り使用量	遮水シート 規格	吸出し防止 材の有無		連結金具 の有無																																																																																																																																						
		有	無	有	無																																																																																																																																													
150kg/個 未満	平ブロック 控 180(m2)	(表 3.7)	(表 3.14)	(表 3.11)	有	有	有	(表 3.15)																																																																																																																																										
					無	無	有																																																																																																																																											
					有	有	無																																																																																																																																											
					無	無	無																																																																																																																																											
	平ブロック 控 120(m2)				有	有	有																																																																																																																																											
					無	無	有																																																																																																																																											
					有	有	無																																																																																																																																											
					無	無	無																																																																																																																																											
	平ブロック 各種(m2)				有	有	有																																																																																																																																											
					無	無	有																																																																																																																																											
					有	有	無																																																																																																																																											
					無	無	無																																																																																																																																											
150kg/個 以上	平ブロック 各種(m2)	有	有	有																																																																																																																																														
		無	無	有																																																																																																																																														
		有	有	無																																																																																																																																														
		無	無	無																																																																																																																																														
ブロックの 質量	平ブロック 規格	裏込材 規格	裏込材 10m2 当り使用量	遮水シート 規格	吸出し防止 材の有無		連結金具 の有無																																																																																																																																											
					有	無	有	無																																																																																																																																										
150kg/個 未満	平ブロック 控 <u>180mm(m2)</u>	(表 3.7)	(表 3.14)	(表 3.11)	有	有	有	(表 3.15)																																																																																																																																										
					無	無	有																																																																																																																																											
					有	有	無																																																																																																																																											
					無	無	無																																																																																																																																											
	平ブロック 控 <u>120mm(m2)</u>				有	有	有																																																																																																																																											
					無	無	有																																																																																																																																											
					有	有	無																																																																																																																																											
					無	無	無																																																																																																																																											
	平ブロック 各種(<u>m2</u>)				有	有	有																																																																																																																																											
					無	無	有																																																																																																																																											
					有	有	無																																																																																																																																											
					無	無	無																																																																																																																																											
150kg/個 以上	平ブロック 各種(<u>m2</u>)	有	有	有																																																																																																																																														
		無	無	有																																																																																																																																														
		有	有	無																																																																																																																																														
		無	無	無																																																																																																																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 7/11																																																																																																																																															

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																								
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.19 連節ブロック張 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>連節ブロック 厚さ 220mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SR235 φ13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>遮水シート 厚 1.0+10.0mm</td> <td>遮水シート規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m</td> <td>吸出し防止材有りの場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-6 緑化ブロック積 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.20 緑化ブロック積 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>緑化ブロックの質量</th> <th>裏込材規格</th> <th>裏込材 10m² 当り 使用量</th> <th>胴込・裏込 コンクリート規格</th> <th>胴込・裏込コンクリート 10m² 当り使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>150kg/個未満</td> <td rowspan="2">(表 3. 7)</td> <td rowspan="2">(表 3. 21)</td> <td rowspan="2">(表 3. 9)</td> <td>(表 3. 22)</td> </tr> <tr> <td>150kg/個以上</td> <td>(表 3. 23)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、緑化ブロック (勾配 1 割未満・ブロック質量 980kg/個以下) の設置、裏込材 (砕石) 投入、調整コンクリートの打設 (材料費を含む)、胴込・裏込コンクリート打設、天端ブロック、客土投入・締固め、現場内小運搬 (50m まで) の他、敷モルタル・目地モルタルの材料費及び設置手間、タンバ締固めの損料及び油脂類の費用、コンクリートバケット、コンクリートパイプレータ、電力に関する経費、型枠の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、緑化ブロック及び天端ブロックの材料費は含まない。 2. 裏込材、胴込・裏込コンクリート、客土材の材料ロスを含む。標準ロス率は、裏込材及び胴込・裏込コンクリートが+0.12、客土材が+0.07 とする。 3. 現場条件により足場が必要な場合は別途計上することが出来る。 4. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図 4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート参照) 5. 緑化ブロック、天端ブロックの材料費は別途計上する。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	ブロック工		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	運転手 (特殊)		材料	Z 1	連節ブロック 厚さ 220mm		Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SR235 φ13		Z 3	遮水シート 厚 1.0+10.0mm	遮水シート規格「不要」の場合を除く	Z 4	吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	吸出し防止材有りの場合	市場単価	S	—		緑化ブロックの質量	裏込材規格	裏込材 10m ² 当り 使用量	胴込・裏込 コンクリート規格	胴込・裏込コンクリート 10m ² 当り使用量	150kg/個未満	(表 3. 7)	(表 3. 21)	(表 3. 9)	(表 3. 22)	150kg/個以上	(表 3. 23)	<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>2・⑧・11</p> <p>2・⑧・12</p>	<p>記載の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																								
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	賃料																																																								
	K 2	—																																																									
	K 3	—																																																									
労務	R 1	ブロック工																																																									
	R 2	普通作業員																																																									
	R 3	土木一般世話役																																																									
	R 4	運転手 (特殊)																																																									
材料	Z 1	連節ブロック 厚さ 220mm																																																									
	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SR235 φ13																																																									
	Z 3	遮水シート 厚 1.0+10.0mm	遮水シート規格「不要」の場合を除く																																																								
	Z 4	吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	吸出し防止材有りの場合																																																								
市場単価	S	—																																																									
緑化ブロックの質量	裏込材規格	裏込材 10m ² 当り 使用量	胴込・裏込 コンクリート規格	胴込・裏込コンクリート 10m ² 当り使用量																																																							
150kg/個未満	(表 3. 7)	(表 3. 21)	(表 3. 9)	(表 3. 22)																																																							
150kg/個以上				(表 3. 23)																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 8/11																																																								

改正理由	一部改正	改正 現行																																																
現 行	改 正	備 考																																																
<p>3-11 遮水シート張 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.29 遮水シート張 積算条件区分一覧 (積算単位：m2)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">遮水シート規格</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">遮水シートA (厚1.0+10.0mm)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">遮水シート各種</td></tr> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(注) 1. コンクリートブロック張におけるブロック背面部の遮水シートの設置の他、基礎・隔壁・小口手部の遮水シート及び接着剤の費用等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料を含む)を含む。</p> </div> <p>2. 遮水シートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.08)</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.30 遮水シート張 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>遮水シート 厚1.0+10.0mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">2・⑧・16</p>	遮水シート規格	遮水シートA (厚1.0+10.0mm)	遮水シート各種	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	遮水シート 厚1.0+10.0mm		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p>	<p style="text-align: center;">記載の修正</p> <p>(注) 1. コンクリートブロック張におけるブロック背面部の遮水シートの設置の他、基礎・隔壁・小口手止部の遮水シート及び接着剤の費用等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料を含む)を含む。</p> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">2・⑧・17</p>	
遮水シート規格																																																		
遮水シートA (厚1.0+10.0mm)																																																		
遮水シート各種																																																		
項目	代表機材規格		備考																																															
機械	K 1	—																																																
	K 2	—																																																
	K 3	—																																																
労務	R 1	普通作業員																																																
	R 2	土木一般世話役																																																
	R 3	—																																																
	R 4	—																																																
材料	Z 1	遮水シート 厚1.0+10.0mm																																																
	Z 2	—																																																
	Z 3	—																																																
	Z 4	—																																																
市場単価	S	—																																																
積算上の注意事項			(控え頁) 9/11																																															

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																		
現	行	改 正	備 考																																																		
<p>3-14 現場打基礎コンクリート</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.33 現場打基礎コンクリート 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>生コンクリート規格</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表 3.34)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>養生工なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>養生工なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、コンクリート、基礎材、目地板、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、さん木、洋釘、はく離剤、電気ドリル、電動ノコギリ、コンクリートパイプレータ、コンクリートバケット損料、コンクリート打設、養生等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.06) 3. 基礎碎石の幅は控長 35cm 以下、裏込めコンクリート厚さ 150mm 以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。 4. 目地の有無、材料の種類にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。 5. 特殊養生(ジェットヒータ養生)の場合は、養生工の種類を「養生なし」として、「4章①コンクリート工」により別途計上すること。 6. 均しコンクリートは別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.34 生コンクリート規格</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">生コンクリート規格</td> <td>18-8-25(普通)</td> </tr> <tr> <td>18-8-40(普通)</td> </tr> <tr> <td>18-8-25(高炉)</td> </tr> <tr> <td>18-8-40(高炉)</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート各種</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.35 現場打基礎コンクリート 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m3(平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3(平積 0.6m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑧・19</p> </div>		生コンクリート規格	基礎碎石の有無	養生工の種類	(表 3.34)	有り	一般養生・特殊養生(練炭)	養生工なし	無し	一般養生・特殊養生(練炭)	養生工なし	積算条件	区 分	生コンクリート規格	18-8-25(普通)	18-8-40(普通)	18-8-25(高炉)	18-8-40(高炉)	生コンクリート各種	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m3(平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	賃料	K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3(平積 0.6m3)	賃料	K 3 -		労務	R 1 型わく工		R 2 普通作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>現行どおり</p>		<p>記載の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
生コンクリート規格	基礎碎石の有無	養生工の種類																																																			
(表 3.34)	有り	一般養生・特殊養生(練炭)																																																			
		養生工なし																																																			
	無し	一般養生・特殊養生(練炭)																																																			
		養生工なし																																																			
積算条件	区 分																																																				
生コンクリート規格	18-8-25(普通)																																																				
	18-8-40(普通)																																																				
	18-8-25(高炉)																																																				
	18-8-40(高炉)																																																				
	生コンクリート各種																																																				
項目	代表機材規格	備考																																																			
機械	K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m3(平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	賃料																																																			
	K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3(平積 0.6m3)	賃料																																																			
	K 3 -																																																				
労務	R 1 型わく工																																																				
	R 2 普通作業員																																																				
	R 3 土木一般世話役																																																				
	R 4 特殊作業員																																																				
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																				
	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																				
	Z 3 -																																																				
	Z 4 -																																																				
市場単価	S -																																																				
<p style="text-align: center;">表3.35 現場打基礎コンクリート 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m3(平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値2011年規制)]山積 0.8m3(平積 0.6m3)</td> <td>・賃料 ・基礎碎石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑧・20</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m3(平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	賃料	K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値2011年規制)]山積 0.8m3(平積 0.6m3)	・賃料 ・基礎碎石有りの場合	K 3 -		労務	R 1 型わく工		R 2 普通作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -																						
項目	代表機材規格	備考																																																			
機械	K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m3(平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	賃料																																																			
	K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値2011年規制)]山積 0.8m3(平積 0.6m3)	・賃料 ・基礎碎石有りの場合																																																			
	K 3 -																																																				
労務	R 1 型わく工																																																				
	R 2 普通作業員																																																				
	R 3 土木一般世話役																																																				
	R 4 特殊作業員																																																				
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																				
	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																				
	Z 3 -																																																				
	Z 4 -																																																				
市場単価	S -																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 10/11																																																		

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																												
現	行	改 正	備 考																																												
<p>3-16 プレキャスト基礎ブロック</p> <p>(1) 条件区分 プレキャスト基礎ブロックの積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 1. プレキャスト基礎ブロックにおけるブロックの設置、連結等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、プレキャスト基礎ブロック(材料費)は含まない。 2. 中詰コンクリートを打設する場合は、材料費・打設手間を別途計上する。 3. 基礎材は必要に応じて、「2章⑦基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石工」により別途計上する。 4. 目地材は必要に応じて、「2章⑨目地・止水板設置工」により別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.38 プレキャスト基礎ブロック 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td style="text-align: center;">K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m³(平積0.6m³) 吊能力2.9t</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 2</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td style="text-align: center;">R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">Z 1</td> <td>軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 2</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料	K 2	-		K 3	-		労務	R 1	普通作業員		R 2	運転手(特殊)		R 3	特殊作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	軽油1.2号 バトロール給油		Z 2	-		Z 3	-		Z 4	-		市場単価	S	-		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">3. 基礎材は必要に応じて、「2章⑦基礎・裏込砕石工、<u>基礎・裏込栗石工</u>」により別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格		備考																																												
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料																																												
	K 2	-																																													
	K 3	-																																													
労務	R 1	普通作業員																																													
	R 2	運転手(特殊)																																													
	R 3	特殊作業員																																													
	R 4	土木一般世話役																																													
材料	Z 1	軽油1.2号 バトロール給油																																													
	Z 2	-																																													
	Z 3	-																																													
	Z 4	-																																													
市場単価	S	-																																													
2・⑧・21		2・⑧・22																																													
積算上の注意事項			(控え頁) 11/11																																												

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																
現	行	改 正	備 考																
<p>3-7 化粧型枠 「4章②型枠工」による。</p> <p>3-8 化粧型枠(材料費) 「4章②型枠工」による。</p> <p>3-9 ペーラインコンクリート(材料費) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.18 ペーラインコンクリート(材料費) 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>擁壁種類</th> <th>コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型擁壁</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> </tr> <tr> <td>重力式・もたれ式擁壁</td> </tr> <tr> <td>逆T型・L型擁壁</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工費は、⑪場所打擁壁工(1)の各種擁壁工の積算条件区分に含まれる。 2. 上表は、場所打擁壁工におけるペーラインコンクリートの材料費(ロス等含む)を含む。 3. ペーラインコンクリートのロス率は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.19 ロス率</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>擁壁種類</th> <th>ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ペーラインコンクリート</td> <td>小型擁壁</td> <td>+0.06</td> </tr> <tr> <td>重力式・もたれ式擁壁</td> <td>+0.04</td> </tr> <tr> <td>逆T型・L型擁壁</td> <td>+0.02</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-10 止水板設置 止水板が必要な場合は、別途計上する。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 2px;"> <p>3-11 裏込砕石 裏込砕石が必要な場合は、「⑦基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石工」により別途計上する。</p> </div> <p style="text-align: center;">2・⑩・17</p>	擁壁種類	コンクリート規格	小型擁壁	(表 3.3)	重力式・もたれ式擁壁	逆T型・L型擁壁	材料	擁壁種類	ロス率	ペーラインコンクリート	小型擁壁	+0.06	重力式・もたれ式擁壁	+0.04	逆T型・L型擁壁	+0.02	<p>現行どおり</p>	<p>3-11 裏込砕石 裏込砕石が必要な場合は、「⑦基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石工」により別途計上する。</p>	<p>語句の削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
擁壁種類	コンクリート規格																		
小型擁壁	(表 3.3)																		
重力式・もたれ式擁壁																			
逆T型・L型擁壁																			
材料	擁壁種類	ロス率																	
ペーラインコンクリート	小型擁壁	+0.06																	
	重力式・もたれ式擁壁	+0.04																	
	逆T型・L型擁壁	+0.02																	
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																

改正理由	一部改正	改正 現行																									
現 行		改 正																									
備 考																											
<p>⑫ 場所打擁壁工(2)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、場所打擁壁工(1)の適用範囲を外れた擁壁工(表1.1)のコンクリート打設に適用する。</p> <p style="text-align: center;">表1.1 場所打擁壁工(1)の適用範囲を外れた擁壁工</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>・重力式擁壁[擁壁平均高さ5mを超えるもの]</td></tr> <tr><td>・もたれ式擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは8mを超えるもの]</td></tr> <tr><td>・逆T型擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは10mを超えるもの]</td></tr> <tr><td>・L型擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは7mを超えるもの]</td></tr> <tr><td>・重力式擁壁、もたれ式擁壁、逆T型擁壁、L型擁壁以外の形式の現場打擁壁</td></tr> </table> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (2) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm、粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>2. 施工パッケージ 2-1 コンクリート(場所打擁壁) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 コンクリート(場所打擁壁) 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>生コンクリート規格</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表2.2)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">一般養生</td> <td style="text-align: center;">延長無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90m以上180m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">180m以上280m以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> <td style="text-align: center;">延長無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90m以上180m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">180m以上280m以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">仮囲い内ジェットヒータ養生</td> <td style="text-align: center;">延長無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90m以上180m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">180m以上280m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、場所打擁壁のコンクリート打設、ホースの筒先作業等を行う機械付補助労務、養生、圧送管組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、コンクリートパイプレタ損料及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.02) 3. ペーラインコンクリートの材料費については、「⑩場所打擁壁工(1)」3-9ペーラインコンクリート(材料費)により別途計上する。 4. 作業範囲(30m)を超えて圧送管を延長する場合は、超えた部分の延長距離を90m未満、90m以上180m未満、180m以上280m以下から該当する区分を選択する。 5. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断する。</p> <div style="border: 2px solid red; width: 200px; height: 15px; margin: 10px auto;"></div>		・重力式擁壁[擁壁平均高さ5mを超えるもの]	・もたれ式擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは8mを超えるもの]	・逆T型擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは10mを超えるもの]	・L型擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは7mを超えるもの]	・重力式擁壁、もたれ式擁壁、逆T型擁壁、L型擁壁以外の形式の現場打擁壁	生コンクリート規格	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表2.2)	一般養生	延長無し	90m未満	90m以上180m未満	180m以上280m以下	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	延長無し	90m未満	90m以上180m未満	180m以上280m以下	仮囲い内ジェットヒータ養生	延長無し	90m未満	90m以上180m未満	180m以上280m以下	<p>現行どおり</p> <p style="color: red; font-size: small;">6. 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合は、足場費を「土木工事標準歩掛第2編6章仮設工⑫-2雪寒仮囲い工」により別途計上する。</p>	
・重力式擁壁[擁壁平均高さ5mを超えるもの]																											
・もたれ式擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは8mを超えるもの]																											
・逆T型擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは10mを超えるもの]																											
・L型擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは7mを超えるもの]																											
・重力式擁壁、もたれ式擁壁、逆T型擁壁、L型擁壁以外の形式の現場打擁壁																											
生コンクリート規格	養生工の種類	圧送管延長距離区分																									
(表2.2)	一般養生	延長無し																									
		90m未満																									
		90m以上180m未満																									
		180m以上280m以下																									
	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	延長無し																									
		90m未満																									
		90m以上180m未満																									
		180m以上280m以下																									
	仮囲い内ジェットヒータ養生	延長無し																									
		90m未満																									
		90m以上180m未満																									
		180m以上280m以下																									
2・⑫・1		記載の追加																									
積算上の注意事項		(控え頁) 1/1																									

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																																																																																																																					
	現 行	改 正																																																																																																																																																																																						
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 プレキャスト擁壁設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プレキャスト 擁壁高さ</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">0.5m以上 2.0m以下</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8m³（平積0.6m^{3 <td>賃料</td>}</td></tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td rowspan="2">Z1</td> <td>コンクリート擁壁 宅認（q=10kN/m²）1000型（L=2.0m）</td> <td>プレキャスト擁壁高さ0.5m以上1.0m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリート擁壁 宅認（q=10kN/m²）1600型（L=2.0m）</td> <td>プレキャスト擁壁高さ1.0mを超え2.0m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">2.0mを超え 5.0m以下</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕25t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td rowspan="2">Z1</td> <td>コンクリート擁壁 宅認（q=10kN/m²）2500型（L=2.0m）</td> <td>プレキャスト擁壁高さ2.0mを超え3.5m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリート擁壁 ハイタッチウォール宅認（q=10kN/m²）4250型（L=2.0m）</td> <td>プレキャスト擁壁高さ3.5mを超え5.0m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	プレキャスト 擁壁高さ	項目	代表機材規格	備考	0.5m以上 2.0m以下	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8m ³ （平積0.6m ^{3 <td>賃料</td>}	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	特殊作業員		R4	運転手（特殊）		材料	Z1	コンクリート擁壁 宅認（q=10kN/m ² ）1000型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高さ0.5m以上1.0m以下の場合	コンクリート擁壁 宅認（q=10kN/m ² ）1600型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高さ1.0mを超え2.0m以下の場合	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		2.0mを超え 5.0m以下	機械	K1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕25t吊	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	特殊作業員		R4	—		材料	Z1	コンクリート擁壁 宅認（q=10kN/m ² ）2500型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高さ2.0mを超え3.5m以下の場合	コンクリート擁壁 ハイタッチウォール宅認（q=10kN/m ² ）4250型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高さ3.5mを超え5.0m以下の場合	Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 プレキャスト擁壁設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プレキャスト 擁壁高さ</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">0.5m以上 2.0m以下</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8m³（平積0.6m^{3 <td>賃料</td>}</td></tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td rowspan="2">Z1</td> <td>コンクリート擁壁（中地震対応型）宅認（q=10kN/m²）1000型（L=2.0m）</td> <td>プレキャスト擁壁高さ0.5m以上1.0m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリート擁壁（中地震対応型）宅認（q=10kN/m²）1600型（L=2.0m）</td> <td>プレキャスト擁壁高さ1.0mを超え2.0m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">2.0mを超え 5.0m以下</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕25t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td rowspan="2">Z1</td> <td>コンクリート擁壁（中地震対応型）宅認（q=10kN/m²）2500型（L=2.0m）</td> <td>プレキャスト擁壁高さ2.0mを超え3.5m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリート擁壁（中地震対応型）ハイタッチウォール宅認（q=10kN/m²）4250型（L=2.0m）</td> <td>プレキャスト擁壁高さ3.5mを超え5.0m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	プレキャスト 擁壁高さ	項目	代表機材規格	備考	0.5m以上 2.0m以下	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8m ³ （平積0.6m ^{3 <td>賃料</td>}	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	特殊作業員		R4	運転手（特殊）		材料	Z1	コンクリート擁壁（ 中地震対応型 ）宅認（q=10kN/m ² ）1000型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高さ0.5m以上1.0m以下の場合	コンクリート擁壁（ 中地震対応型 ）宅認（q=10kN/m ² ）1600型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高さ1.0mを超え2.0m以下の場合	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		2.0mを超え 5.0m以下	機械	K1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕25t吊	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	特殊作業員		R4	—		材料	Z1	コンクリート擁壁（ 中地震対応型 ）宅認（q=10kN/m ² ）2500型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高さ2.0mを超え3.5m以下の場合	コンクリート擁壁（ 中地震対応型 ）ハイタッチウォール宅認（q=10kN/m ² ）4250型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高さ3.5mを超え5.0m以下の場合	Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		→	<p style="text-align: center;">記載の追加</p> <p style="text-align: center;">記載の追加</p>
プレキャスト 擁壁高さ	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																					
0.5m以上 2.0m以下	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8m ³ （平積0.6m ^{3 <td>賃料</td>}	賃料																																																																																																																																																																																				
		K2	—																																																																																																																																																																																					
		K3	—																																																																																																																																																																																					
	労務	R1	普通作業員																																																																																																																																																																																					
		R2	土木一般世話役																																																																																																																																																																																					
		R3	特殊作業員																																																																																																																																																																																					
		R4	運転手（特殊）																																																																																																																																																																																					
	材料	Z1	コンクリート擁壁 宅認（q=10kN/m ² ）1000型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高さ0.5m以上1.0m以下の場合																																																																																																																																																																																				
			コンクリート擁壁 宅認（q=10kN/m ² ）1600型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高さ1.0mを超え2.0m以下の場合																																																																																																																																																																																				
		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																					
		Z3	—																																																																																																																																																																																					
		Z4	—																																																																																																																																																																																					
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																						
2.0mを超え 5.0m以下	機械	K1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕25t吊	賃料																																																																																																																																																																																				
		K2	—																																																																																																																																																																																					
		K3	—																																																																																																																																																																																					
	労務	R1	普通作業員																																																																																																																																																																																					
		R2	土木一般世話役																																																																																																																																																																																					
		R3	特殊作業員																																																																																																																																																																																					
		R4	—																																																																																																																																																																																					
	材料	Z1	コンクリート擁壁 宅認（q=10kN/m ² ）2500型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高さ2.0mを超え3.5m以下の場合																																																																																																																																																																																				
			コンクリート擁壁 ハイタッチウォール宅認（q=10kN/m ² ）4250型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高さ3.5mを超え5.0m以下の場合																																																																																																																																																																																				
		Z2	—																																																																																																																																																																																					
		Z3	—																																																																																																																																																																																					
		Z4	—																																																																																																																																																																																					
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																						
プレキャスト 擁壁高さ	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																					
0.5m以上 2.0m以下	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）山積0.8m ³ （平積0.6m ^{3 <td>賃料</td>}	賃料																																																																																																																																																																																				
		K2	—																																																																																																																																																																																					
		K3	—																																																																																																																																																																																					
	労務	R1	普通作業員																																																																																																																																																																																					
		R2	土木一般世話役																																																																																																																																																																																					
		R3	特殊作業員																																																																																																																																																																																					
		R4	運転手（特殊）																																																																																																																																																																																					
	材料	Z1	コンクリート擁壁（ 中地震対応型 ）宅認（q=10kN/m ² ）1000型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高さ0.5m以上1.0m以下の場合																																																																																																																																																																																				
			コンクリート擁壁（ 中地震対応型 ）宅認（q=10kN/m ² ）1600型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高さ1.0mを超え2.0m以下の場合																																																																																																																																																																																				
		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																					
		Z3	—																																																																																																																																																																																					
		Z4	—																																																																																																																																																																																					
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																						
2.0mを超え 5.0m以下	機械	K1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕25t吊	賃料																																																																																																																																																																																				
		K2	—																																																																																																																																																																																					
		K3	—																																																																																																																																																																																					
	労務	R1	普通作業員																																																																																																																																																																																					
		R2	土木一般世話役																																																																																																																																																																																					
		R3	特殊作業員																																																																																																																																																																																					
		R4	—																																																																																																																																																																																					
	材料	Z1	コンクリート擁壁（ 中地震対応型 ）宅認（q=10kN/m ² ）2500型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高さ2.0mを超え3.5m以下の場合																																																																																																																																																																																				
			コンクリート擁壁（ 中地震対応型 ）ハイタッチウォール宅認（q=10kN/m ² ）4250型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高さ3.5mを超え5.0m以下の場合																																																																																																																																																																																				
		Z2	—																																																																																																																																																																																					
		Z3	—																																																																																																																																																																																					
		Z4	—																																																																																																																																																																																					
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																						
積算上の注意事項			（控え頁） 1 / 1																																																																																																																																																																																					

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
<p>⑩ 排水構造物工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、プレキャスト製排水構造物の据付け、撤去、据付け・撤去作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 ヒューム管（B形管）</p> <p>(1) ヒューム管，B形管（ソケット管）の据付け，撤去，据付け・撤去の場合</p> <p>(2) ヒューム管，B形管（ソケット管）を仮設に使用する場合</p> <p>1-1-2 ボックスカルバート</p> <p>(1) 1ブロックを1部材で構成するプレキャスト製ボックスカルバート（内空断面が台形タイプの物を含む）の据付け，撤去，据付け・撤去の場合</p> <p>1-1-3 暗渠排水管</p> <p>(1) 硬質塩化ビニル管，ポリエチレン管等の有孔・無孔管の据付け，撤去，据付け・撤去の場合</p> <p>1-1-4 フィルター材</p> <p>(1) 暗渠排水管の敷設に伴うフィルター材（クラッシュラン・単粒度砕石等）の敷設の場合</p> <p>1-1-5 管（函）渠型側溝</p> <p>(1) <u>車道部，歩道部等の側溝を兼ねた排水構造物の据付け，撤去，据付け・撤去の場合</u></p> <p>1-1-6 プレキャスト集水樹</p> <p>(1) プレキャスト製集水樹の据付け，撤去，据付け・撤去の場合</p> <p>(2) プレキャスト製集水樹の質量（蓋版除く）が50kg/基以上2,800kg/基以下の場合</p> <p>1-1-7 鉄筋コンクリート台付管</p> <p>(1) 管断面の内側の形状が円形又は卵形であって，かつ，管断面の外側の下部もしくは上下部の一部がフラットになっている（管断面の外側の形状が方形もしくは六角形になっているものを含む）プレキャスト製鉄筋コンクリート台付管の据付け，撤去，据付け・撤去の場合</p> <p>1-1-8 プレキャストL形側溝</p> <p>(1) プレキャスト製L形側溝の据付け，撤去，据付け・撤去の場合</p> <p>1-1-9 プレキャストマンホール</p> <p>(1) プレキャスト製マンホールの据付け，撤去，据付け・撤去の場合</p> <p>(2) プレキャスト製マンホールの内径が1,500mm以下の場合</p> <p>1-1-10 PC管</p> <p>(1) PC管の据付け，撤去，据付け・撤去の場合</p> <p>(2) PC管を仮設に使用する場合</p> <p>1-1-11 コルゲートパイプ</p> <p>(1) コルゲートパイプの据付け，撤去，据付け・撤去の場合</p> <p>(2) コルゲートパイプを仮設に使用する場合</p> <p>1-1-12 コルゲートフリューム</p> <p>(1) コルゲートフリュームの据付け，撤去，据付け・撤去の場合</p> <p>(2) コルゲートフリュームを仮設に使用する場合</p> <p style="text-align: right;">2・⑩・1</p>		<p>現行どおり</p> <p><u>(2) 製品長が2m/個以下かつ内径又は内空幅が200mm以上400mm以下の場合</u></p> <p><u>(3) 製品長が2m/個かつ内径又は内空幅が400mmを超え600mm以下の場合</u></p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/9

改正理由	一部改正	改正 現行	
現 行	改 正		備 考
<p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 ヒューム管 (B形管)</p> <p>(1) 巻きコンクリート (固定基礎) を含む撤去, 据付け・撤去の場合</p> <p>1-2-2 ボックスカルパート</p> <p>(1) グラウトを使用しないPCアンボンドケーブル等による施工の場合</p> <p>(2) 製品長 1.0m/個で縦締めを行う場合</p> <p><u>(3) 曲線部における縦締め施工の場合</u></p> <p>1-2-3 暗渠排水管</p> <p>(1) 持上げ高が 2 m 以上の場合</p> <p>(2) 埋設を行わない地上露出配管の敷設の場合</p> <p>1-2-4 フィルター材</p> <p>(1) 暗渠排水管の敷設を行わない場合</p> <p>1-2-5 管 (函) 渠型側溝</p> <p><u>(1) 土中に全体埋設される場合</u></p> <p>1-2-6 プレキャスト集水樹</p> <p>(1) プレキャスト製集水樹の質量 (蓋版除く) が 50kg/基未満及び 2,800kg/基を超える場合</p> <p>(2) 組立式プレキャスト製集水樹の場合</p> <p>1-2-7 プレキャストマンホール</p> <p>(1) 円形断面以外の基礎砕石の場合</p> <p>1-2-8 PC管</p> <p>(1) 巻きコンクリート (固定基礎) を含む撤去, 据付・撤去の場合</p> <p>(2) 管径 1,800mm を超える PC 管の据付, 据付・撤去の場合</p> <p>1-2-9 コルゲートパイプ</p> <p>(1) 持上げ高が 2 m 以上の場合</p> <p>(2) 規格が「フランジ型」で型式が「アーチ形」の場合</p> <p>1-2-10 コルゲートフリューム</p> <p>(1) 持上げ高が 2 m 以上の場合</p>	<p>現行どおり</p> <p><u>(4) コンクリート養生で、特殊な養生を必要とする場合</u></p> <p>現行どおり</p> <p><u>(2) 内径又は内空幅が 200mm 未満又は 600mm を超える場合</u></p> <p><u>(3) 製品長が 2 m を超える場合</u></p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の追加</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>	
積算上の注意事項	2・⑩・2		(控え頁) 2/9

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

3. 施工パッケージ
 3-1 ヒューム管 (B形管)
 (1) 条件区分
 条件区分は、次表を標準とする。

表3.1 ヒューム管(B形管) 積算条件区分一覧 (積算単位: m)

作業区分	管径	固定基礎	基礎砕石	規格	生コンクリート規格
据付	(表3.2)	90° 巻き	(表3.4)	外圧管1種	(表3.5)
				外圧管2種	
				各種	
		180° 巻き		外圧管1種	
				外圧管2種	
				各種	
	360° 巻き	外圧管1種			
		外圧管2種			
		各種			
	(表3.3)	90° 巻き	(表3.4)	外圧管1種	
				外圧管2種	
				各種	
180° 巻き		外圧管1種			
		外圧管2種			
		各種			
無し	外圧管1種				
	外圧管2種				
	各種				
撤去	(表3.2)	-	-	-	-
	(表3.3)	-	-	-	-
据付・撤去	(表3.2) (表3.3)	-	-	外圧管1種	-
				外圧管2種	
				各種	

(注) 1. 上表は、ヒューム管の設置、基礎砕石、鉄筋、ヒューム管の運搬距離30m程度までの現場内小運搬、コンクリートの15m以下の現場内小運搬、巻きコンクリート、型枠(はく離材塗布及びケレン作業を含む)の他、緊結用器具、コンクリートカッタ運転、目地モルタルの費用、ヒューム管損失分の費用、カッタブレードの損耗費、レバーブロック損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。
 2. 砕石、鉄筋、コンクリートの材料ロスを含む。標準ロス率は、鉄筋が+0.03、コンクリートが+0.06とする。
 3. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。
 4. 基礎砕石は、材料の種別・規格にかかわらず適用出来る。
 5. 固定基礎無しは、基礎砕石を含まないため必要な場合は別途計上する。
 6. 撤去作業、据付・撤去作業は、ヒューム管のみを対象としている。
 7. コンクリートの養生は、一般養生及び特殊養生にかかわらず適用出来る。
 8. 基面整正は含まない。

2・⑩・5



現行どおり



表3.1 ヒューム管(B形管) 積算条件区分一覧 (積算単位: m)

作業区分	管径	固定基礎	基礎砕石の有無	規格	生コンクリート規格
据付	(表3.2)	90° 巻き	(表3.4)	外圧管1種	(表3.5)
				外圧管2種	
				各種	
		180° 巻き		外圧管1種	
				外圧管2種	
				各種	
	360° 巻き	外圧管1種			
		外圧管2種			
		各種			
	(表3.3)	90° 巻き	(表3.4)	外圧管1種	
				外圧管2種	
				各種	
180° 巻き		外圧管1種			
		外圧管2種			
		各種			
無し	外圧管1種				
	外圧管2種				
	各種				
撤去	(表3.2)	-	-	-	-
	(表3.3)	-	-	-	-
据付・撤去	(表3.2) (表3.3)	-	-	外圧管1種	-
				外圧管2種	
				各種	



現行どおり

記載の追加・修正

積算上の注意事項			(控え頁) 3/9
----------	--	--	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行																																																				
現 行		改 正																																																				
<p>表3.2 管径①</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="12">管径</td><td>200mm</td></tr> <tr><td>250mm</td></tr> <tr><td>300mm</td></tr> <tr><td>350mm</td></tr> <tr><td>400mm</td></tr> <tr><td>450mm</td></tr> <tr><td>500mm</td></tr> <tr><td>600mm</td></tr> <tr><td>700mm</td></tr> <tr><td>800mm</td></tr> <tr><td>900mm</td></tr> <tr><td>1,000mm</td></tr> </tbody> </table> <p>表3.3 管径②</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">管径</td><td>1,100mm</td></tr> <tr><td>1,200mm</td></tr> <tr><td>1,350mm</td></tr> </tbody> </table> <p>表3.4 基礎碎石</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2">基礎碎石</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> </tbody> </table> <p>表3.5 生コンクリート規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="8">生コンクリート規格</td><td>18-8-40 (高炉)</td></tr> <tr><td>18-12-40 (高炉)</td></tr> <tr><td>18-8-25(20) (高炉)</td></tr> <tr><td>18-12-25(20) (高炉)</td></tr> <tr><td>18-8-40 (普通)</td></tr> <tr><td>18-12-40 (普通)</td></tr> <tr><td>各種</td></tr> </tbody> </table>		積算条件	区分	管径	200mm	250mm	300mm	350mm	400mm	450mm	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm	積算条件	区分	管径	1,100mm	1,200mm	1,350mm	積算条件	区分	基礎碎石	有り	無し	積算条件	区分	生コンクリート規格	18-8-40 (高炉)	18-12-40 (高炉)	18-8-25(20) (高炉)	18-12-25(20) (高炉)	18-8-40 (普通)	18-12-40 (普通)	各種	<p>現行どおり</p> <p>表3.4 基礎碎石の有無</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2">基礎碎石の有無</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> </tbody> </table> <p>表3.5 生コンクリート規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="8">生コンクリート規格</td><td>18-8-40 (高炉)</td></tr> <tr><td>18-12-40 (高炉)</td></tr> <tr><td>18-8-25(20) (高炉)</td></tr> <tr><td>18-12-25(20) (高炉)</td></tr> <tr><td>18-8-40 (普通)</td></tr> <tr><td>18-12-40 (普通)</td></tr> <tr><td>各種</td></tr> </tbody> </table>		積算条件	区分	基礎碎石の有無	有り	無し	積算条件	区分	生コンクリート規格	18-8-40 (高炉)	18-12-40 (高炉)	18-8-25(20) (高炉)	18-12-25(20) (高炉)	18-8-40 (普通)	18-12-40 (普通)	各種
積算条件	区分																																																					
管径	200mm																																																					
	250mm																																																					
	300mm																																																					
	350mm																																																					
	400mm																																																					
	450mm																																																					
	500mm																																																					
	600mm																																																					
	700mm																																																					
	800mm																																																					
	900mm																																																					
	1,000mm																																																					
積算条件	区分																																																					
管径	1,100mm																																																					
	1,200mm																																																					
	1,350mm																																																					
積算条件	区分																																																					
基礎碎石	有り																																																					
	無し																																																					
積算条件	区分																																																					
生コンクリート規格	18-8-40 (高炉)																																																					
	18-12-40 (高炉)																																																					
	18-8-25(20) (高炉)																																																					
	18-12-25(20) (高炉)																																																					
	18-8-40 (普通)																																																					
	18-12-40 (普通)																																																					
	各種																																																					
	積算条件	区分																																																				
基礎碎石の有無	有り																																																					
	無し																																																					
積算条件	区分																																																					
生コンクリート規格	18-8-40 (高炉)																																																					
	18-12-40 (高炉)																																																					
	18-8-25(20) (高炉)																																																					
	18-12-25(20) (高炉)																																																					
	18-8-40 (普通)																																																					
	18-12-40 (普通)																																																					
	各種																																																					
	2・⑩・6		語句の追加																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 4/9																																																			

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考																																																			
現	行	改 正	備 考																																																			
<p>3-5 管(函)渠型側溝 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.15 管(函)渠型側溝 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</caption> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>内径又は内空幅(mm)</th> <th>基礎碎石の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">据付</td> <td>200mm 以上 400mm以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>400mmを超え600mm以下</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">撤去</td> <td>200mm 以上 400mm以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>400mmを超え600mm以下</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">据付・撤去</td> <td>200mm 以上 400mm以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>400mmを超え600mm以下</td> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、プレキャスト製管(函)渠型側溝の設置、基礎材、運搬距離30m程度までの現場内小運搬の他、コンクリートカット運搬経費、目地モルタル、敷モルタルの費用、カットブレードの損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 3. 撤去作業の場合、基礎碎石は含まない。 4. 基礎碎石は、材料の種別・規格にかかわらず適用出来る。 5. 基面整正は含まない。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.16 管(函)渠型側溝 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3(平積0.2m3)吊能力1.7t</td> <td>・賃料 ・内径又は内空幅が200mm以上400mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t</td> <td>・賃料 ・内径又は内空幅が400mmを超え600mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>Z 1 円形側溝 縦断用 内径300mm T-25</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が200mm以上400mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 円形側溝 縦断用 内径500mm T-25</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が400mmを超え600mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		作業区分	内径又は内空幅(mm)	基礎碎石の有無	据付	200mm 以上 400mm以下	有り	400mmを超え600mm以下	無し	撤去	200mm 以上 400mm以下	有り	400mmを超え600mm以下	無し	据付・撤去	200mm 以上 400mm以下	有り	400mmを超え600mm以下	無し	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3(平積0.2m3)吊能力1.7t	・賃料 ・内径又は内空幅が200mm以上400mm以下の場合	K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	・賃料 ・内径又は内空幅が400mmを超え600mm以下の場合	K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 特殊作業員		R 4 運転手(特殊)		材料	Z 1 円形側溝 縦断用 内径300mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が200mm以上400mm以下の場合	Z 1 円形側溝 縦断用 内径500mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が400mmを超え600mm以下の場合	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		現行どおり	<p>記載の追加・修正・削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>代表機械の修正</p> <p>代表材料の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
作業区分	内径又は内空幅(mm)	基礎碎石の有無																																																				
据付	200mm 以上 400mm以下	有り																																																				
	400mmを超え600mm以下	無し																																																				
撤去	200mm 以上 400mm以下	有り																																																				
	400mmを超え600mm以下	無し																																																				
据付・撤去	200mm 以上 400mm以下	有り																																																				
	400mmを超え600mm以下	無し																																																				
項目	代表機材規格	備考																																																				
機械	K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3(平積0.2m3)吊能力1.7t	・賃料 ・内径又は内空幅が200mm以上400mm以下の場合																																																				
	K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	・賃料 ・内径又は内空幅が400mmを超え600mm以下の場合																																																				
	K 3 -																																																					
労務	R 1 普通作業員																																																					
	R 2 土木一般世話役																																																					
	R 3 特殊作業員																																																					
	R 4 運転手(特殊)																																																					
材料	Z 1 円形側溝 縦断用 内径300mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が200mm以上400mm以下の場合																																																				
	Z 1 円形側溝 縦断用 内径500mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が400mmを超え600mm以下の場合																																																				
	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																					
	Z 3 -																																																					
	Z 4 -																																																					
市場単価	S -																																																					
<p>積算上の注意事項</p>		現行どおり	(控え頁) 5/9																																																			

改正理由	一部改正	改正 現行																									
現 行		改 正																									
備 考																											
<p>3-6 プレキャスト集水樹 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="border: 2px solid red; margin: 10px auto;"> <caption>表3.17 プレキャスト集水樹 積算条件区分一覧 (積算単位：基)</caption> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>製品質量(kg/基)</th> <th>基礎碎石の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">据付</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表3.18)</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">据付・撤去</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、プレキャスト集水樹（蓋版を含む）の設置、基礎材、敷砂又は敷モルタル、運搬距離 30m 程度までの現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 ただし、集水樹（材料費）は含まない。 2. 蓋版の有無にかかわらず適用出来る。 3. 基礎碎石の敷均し厚は、20 cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 4. 撤去作業の場合、基礎碎石は含まない。 5. 基礎碎石は、材料の種別・規格にかかわらず適用出来る。 6. 集水樹の材料費は、別途計上する。 7. 基面整正は含まない。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <caption>表3.18 製品質量</caption> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9" style="text-align: center;">製品質量 (kg/基)</td> <td>50kg 以上 80kg 以下</td> </tr> <tr> <td>80kg を超え 200kg 以下</td> </tr> <tr> <td>200kg を超え 400kg 以下</td> </tr> <tr> <td>400kg を超え 600kg 以下</td> </tr> <tr> <td>600kg を超え 800kg 以下</td> </tr> <tr> <td>800kg を超え 1,200kg 以下</td> </tr> <tr> <td>1,200kg を超え 1,600kg 以下</td> </tr> <tr> <td>1,600kg を超え 2,200kg 以下</td> </tr> <tr> <td>2,200kg を超え 2,800kg 以下</td> </tr> </tbody> </table>		作業区分	製品質量(kg/基)	基礎碎石の有無	据付	(表3.18)	有り	無し	撤去	—	据付・撤去	有り	無し	積算条件	区分	製品質量 (kg/基)	50kg 以上 80kg 以下	80kg を超え 200kg 以下	200kg を超え 400kg 以下	400kg を超え 600kg 以下	600kg を超え 800kg 以下	800kg を超え 1,200kg 以下	1,200kg を超え 1,600kg 以下	1,600kg を超え 2,200kg 以下	2,200kg を超え 2,800kg 以下	<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の修正</p>
作業区分	製品質量(kg/基)	基礎碎石の有無																									
据付	(表3.18)	有り																									
		無し																									
撤去		—																									
据付・撤去		有り																									
	無し																										
積算条件	区分																										
製品質量 (kg/基)	50kg 以上 80kg 以下																										
	80kg を超え 200kg 以下																										
	200kg を超え 400kg 以下																										
	400kg を超え 600kg 以下																										
	600kg を超え 800kg 以下																										
	800kg を超え 1,200kg 以下																										
	1,200kg を超え 1,600kg 以下																										
	1,600kg を超え 2,200kg 以下																										
	2,200kg を超え 2,800kg 以下																										
積算上の注意事項			(控え頁) 6/9																								

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																				
現	行	改 正	備 考																																																				
<p>3-9 プレキャストL形側溝 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="border: 2px solid red; margin: 10px auto;"> <caption style="text-align: center;">表3. 23 プレキャストL形側溝 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</caption> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>L形側溝の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">据 付</td> <td>有り</td> <td rowspan="2">(表3. 24)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>撤 去</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">据付・撤去</td> <td>有り</td> <td rowspan="2">(表3. 24)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、プレキャスト製品によるL型側溝の設置、基礎碎石、運搬距離30m程度までの現場内小運搬の他、コンクリートカット運転経費、目地モルタル、敷モルタルの費用、コンクリートカットブレードの損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。 3. 撤去作業の場合、基礎碎石は含まない。 4. 基礎碎石は、材料の種類・規格にかかわらず適用出来る。 5. 基面整正は含まない。 6. L型側溝の標準使用量は、16.5個/10mとする。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <caption style="text-align: center;">表3. 24 プレキャストL形側溝の種類</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">積算条件</th> <th colspan="2">区分</th> </tr> <tr> <th>呼び名</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">L形側溝の種類</td> <td>C250A</td> <td>コンクリートL形(350×175×600)</td> </tr> <tr> <td>C250B</td> <td>コンクリートL形(450×175×600)</td> </tr> <tr> <td>250A</td> <td>鉄筋コンクリートL形(350×155×600)</td> </tr> <tr> <td>250B</td> <td>鉄筋コンクリートL形(450×155×600)</td> </tr> <tr> <td>300</td> <td>鉄筋コンクリートL形(500×155×600)</td> </tr> <tr> <td>350</td> <td>鉄筋コンクリートL形(550×155×600)</td> </tr> <tr> <td>500A</td> <td>鉄筋コンクリートL形(665×270×600)</td> </tr> <tr> <td>500B</td> <td>鉄筋コンクリートL形(700×320×600)</td> </tr> <tr> <td>500C</td> <td>鉄筋コンクリートL形(705×370×600)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>各種</td> </tr> </tbody> </table>		作業区分	基礎碎石の有無	L形側溝の種類	据 付	有り	(表3. 24)	無し	撤 去	—	—	据付・撤去	有り	(表3. 24)	無し	積算条件	区分		呼び名	種類	L形側溝の種類	C250A	コンクリートL形(350×175×600)	C250B	コンクリートL形(450×175×600)	250A	鉄筋コンクリートL形(350×155×600)	250B	鉄筋コンクリートL形(450×155×600)	300	鉄筋コンクリートL形(500×155×600)	350	鉄筋コンクリートL形(550×155×600)	500A	鉄筋コンクリートL形(665×270×600)	500B	鉄筋コンクリートL形(700×320×600)	500C	鉄筋コンクリートL形(705×370×600)	—	各種	<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p>	<table border="1" style="margin: 10px auto;"> <caption style="text-align: center;">表3. 23 プレキャストL形側溝 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</caption> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>L形側溝の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>据 付</td> <td style="border: 2px solid red;">(表3. 4)</td> <td>(表3. 24)</td> </tr> <tr> <td>撤 去</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>据付・撤去</td> <td style="border: 2px solid red;">(表3. 4)</td> <td>(表3. 24)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">記載の修正</p>	作業区分	基礎碎石の有無	L形側溝の種類	据 付	(表3. 4)	(表3. 24)	撤 去	—	—	据付・撤去	(表3. 4)	(表3. 24)
作業区分	基礎碎石の有無	L形側溝の種類																																																					
据 付	有り	(表3. 24)																																																					
	無し																																																						
撤 去	—	—																																																					
据付・撤去	有り	(表3. 24)																																																					
	無し																																																						
積算条件	区分																																																						
	呼び名	種類																																																					
L形側溝の種類	C250A	コンクリートL形(350×175×600)																																																					
	C250B	コンクリートL形(450×175×600)																																																					
	250A	鉄筋コンクリートL形(350×155×600)																																																					
	250B	鉄筋コンクリートL形(450×155×600)																																																					
	300	鉄筋コンクリートL形(500×155×600)																																																					
	350	鉄筋コンクリートL形(550×155×600)																																																					
	500A	鉄筋コンクリートL形(665×270×600)																																																					
	500B	鉄筋コンクリートL形(700×320×600)																																																					
	500C	鉄筋コンクリートL形(705×370×600)																																																					
	—	各種																																																					
	作業区分	基礎碎石の有無	L形側溝の種類																																																				
	据 付	(表3. 4)	(表3. 24)																																																				
撤 去	—	—																																																					
据付・撤去	(表3. 4)	(表3. 24)																																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 7/9																																																				

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3. 25 プレキャストL形側溝 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.45m ³ （平積 0.35m ³ ）吊能力 2.9t	
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	運転手（特殊）	
	R 4	特殊作業員	
材料	Z 1	鉄筋コンクリートL形 300（500×155×600）	作業区分が据付又は据付・撤去の場合
	Z 2	軽油 1.2号 パトロール給油	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

3-10 プレキャストマンホール

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表3. 26 プレキャストマンホール 積算条件区分一覧

（積算単位：基）

作業区分	製品質量	基礎砕石の有無
据 付	2,000kg/基以下	有り(円形断面) 無し又は円形断面以外
	2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下	有り(円形断面) 無し又は円形断面以外
撤 去	2,000kg/基以下	—
	2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下	—
据付・撤去	2,000kg/基以下	有り(円形断面) 無し又は円形断面以外
	2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下	有り(円形断面) 無し又は円形断面以外

- (注) 1. 上表は、マンホール及び蓋の設置、基礎砕石、運搬距離 30m程度までの現場内小運搬の他、敷砂又は敷モルタル等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
2. 基礎砕石の敷均し厚は、20 cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。
3. 撤去作業の場合、基礎砕石は含まない。
4. 基礎砕石は、材料の種別・規格にかかわらず適用出来る。
5. 基面整正は含まない。

2・⑩・21

現行どおり

表3. 26 プレキャストマンホール 積算条件区分一覧

（積算単位：基）

作業区分	製品質量	基礎砕石の有無
据 付	2,000kg/基以下	有り(円形断面) 無し又は円形断面以外
	2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下	有り(円形断面) 無し又は円形断面以外
撤 去	2,000kg/基以下	—
	2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下	—
据付・撤去	2,000kg/基以下	有り(円形断面) 無し又は円形断面以外
	2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下	有り(円形断面) 無し又は円形断面以外

現行どおり

語句の削除

積算上の注意事項		(控え頁)	8/9
----------	--	-------	-----

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																																																										
現行		改正																																																																																																																																										
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.30 PC管 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">機械</td> <td>トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が 600mm の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が 700mm~1,350mm の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が 1,500mm~1,650mm の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が 1,800mm の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊</td> <td>・賃料 ・作業区分が撤去, 管径が 2,000mm の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">K 2</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</td> <td>・賃料 ・作業区分が据付の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・管径が 1,350mm~1,800mm, 固定基礎が 180° 巻きの場合</td> </tr> <tr> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R 2</td> <td>型わく工</td> <td>固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td>運転手 (特殊)</td> <td>上記以外の場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="13">材料</td> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 600mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 600mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 700mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 700mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 800mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 800mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 900mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 900mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 1,000mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,000mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 1,100mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,100mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 1,200mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,200mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 1,350mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,350mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 1,500mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,500mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 1,650mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,650mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 1,800mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,800mm の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊	・賃料 ・管径が 600mm の場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊	・賃料 ・管径が 700mm~1,350mm の場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊	・賃料 ・管径が 1,500mm~1,650mm の場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・管径が 1,800mm の場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊	・賃料 ・作業区分が撤去, 管径が 2,000mm の場合	K 2	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	・賃料 ・作業区分が据付の場合	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	・賃料 ・管径が 1,350mm~1,800mm, 固定基礎が 180° 巻きの場合	R 1	普通作業員		R 2	型わく工	固定基礎が有る場合	運転手 (特殊)	上記以外の場合	R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	PC管 1種 外圧S形 管径 600mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 600mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 700mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 700mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 800mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 800mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 900mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 900mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 1,000mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,000mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 1,100mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,100mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 1,200mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,200mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 1,350mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,350mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 1,500mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,500mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 1,650mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,650mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 1,800mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,800mm の場合	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	固定基礎が有る場合	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 4	-		市場単価	S	-	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.30 PC管 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">機械</td> <td>トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が 600mm の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が 700mm~1,350mm の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が 1,500mm~1,650mm の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が 1,800mm の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊</td> <td>・賃料 ・作業区分が撤去, 管径が 2,000mm の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値2011年規制)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</td> <td>・賃料 ・作業区分が据付の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・管径が 1,350mm~1,800mm, 固定基礎が 180° 巻きの場合</td> </tr> <tr> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R 2</td> <td>型わく工</td> <td>固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td>運転手 (特殊)</td> <td>上記以外の場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="13">材料</td> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 600mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 600mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 700mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 700mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 800mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 800mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 900mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 900mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 1,000mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,000mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 1,100mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,100mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 1,200mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,200mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 1,350mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,350mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 1,500mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,500mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 1,650mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,650mm の場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径 1,800mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,800mm の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊	・賃料 ・管径が 600mm の場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊	・賃料 ・管径が 700mm~1,350mm の場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊	・賃料 ・管径が 1,500mm~1,650mm の場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・管径が 1,800mm の場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊	・賃料 ・作業区分が撤去, 管径が 2,000mm の場合	K 2	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	・賃料 ・作業区分が据付の場合	K 3	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	・賃料 ・管径が 1,350mm~1,800mm, 固定基礎が 180° 巻きの場合	R 1	普通作業員		R 2	型わく工	固定基礎が有る場合	運転手 (特殊)	上記以外の場合	R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	PC管 1種 外圧S形 管径 600mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 600mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 700mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 700mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 800mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 800mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 900mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 900mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 1,000mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,000mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 1,100mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,100mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 1,200mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,200mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 1,350mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,350mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 1,500mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,500mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 1,650mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,650mm の場合	PC管 1種 外圧S形 管径 1,800mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,800mm の場合	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	固定基礎が有る場合	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 4	-		市場単価	S	-	<p>代表機械の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																										
機械	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊	・賃料 ・管径が 600mm の場合																																																																																																																																										
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊	・賃料 ・管径が 700mm~1,350mm の場合																																																																																																																																										
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊	・賃料 ・管径が 1,500mm~1,650mm の場合																																																																																																																																										
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・管径が 1,800mm の場合																																																																																																																																										
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊	・賃料 ・作業区分が撤去, 管径が 2,000mm の場合																																																																																																																																										
K 2	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	・賃料 ・作業区分が据付の場合																																																																																																																																										
	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	・賃料 ・管径が 1,350mm~1,800mm, 固定基礎が 180° 巻きの場合																																																																																																																																										
	R 1	普通作業員																																																																																																																																										
R 2	型わく工	固定基礎が有る場合																																																																																																																																										
	運転手 (特殊)	上記以外の場合																																																																																																																																										
	R 3	土木一般世話役																																																																																																																																										
	R 4	特殊作業員																																																																																																																																										
材料	PC管 1種 外圧S形 管径 600mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 600mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 700mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 700mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 800mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 800mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 900mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 900mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 1,000mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,000mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 1,100mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,100mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 1,200mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,200mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 1,350mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,350mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 1,500mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,500mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 1,650mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,650mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 1,800mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,800mm の場合																																																																																																																																										
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	固定基礎が有る場合																																																																																																																																									
	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																										
Z 4	-																																																																																																																																											
市場単価	S	-																																																																																																																																										
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																										
機械	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊	・賃料 ・管径が 600mm の場合																																																																																																																																										
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊	・賃料 ・管径が 700mm~1,350mm の場合																																																																																																																																										
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊	・賃料 ・管径が 1,500mm~1,650mm の場合																																																																																																																																										
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・管径が 1,800mm の場合																																																																																																																																										
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊	・賃料 ・作業区分が撤去, 管径が 2,000mm の場合																																																																																																																																										
K 2	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	・賃料 ・作業区分が据付の場合																																																																																																																																										
K 3	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	・賃料 ・管径が 1,350mm~1,800mm, 固定基礎が 180° 巻きの場合																																																																																																																																										
R 1	普通作業員																																																																																																																																											
R 2	型わく工	固定基礎が有る場合																																																																																																																																										
	運転手 (特殊)	上記以外の場合																																																																																																																																										
	R 3	土木一般世話役																																																																																																																																										
	R 4	特殊作業員																																																																																																																																										
材料	PC管 1種 外圧S形 管径 600mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 600mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 700mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 700mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 800mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 800mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 900mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 900mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 1,000mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,000mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 1,100mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,100mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 1,200mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,200mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 1,350mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,350mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 1,500mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,500mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 1,650mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,650mm の場合																																																																																																																																										
	PC管 1種 外圧S形 管径 1,800mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去, 管径が 1,800mm の場合																																																																																																																																										
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	固定基礎が有る場合																																																																																																																																									
	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																										
Z 4	-																																																																																																																																											
市場単価	S	-																																																																																																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 9/9																																																																																																																																									

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																																																								
現	行	改	正																																																																																								
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 現場打ち水路(本体) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td>鉄筋有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td>鉄筋有りの場合</td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料	K 2	バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合	K 3	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合	労務	R 1	普通作業員		R 2	型わく工		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋有りの場合	Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	鉄筋有りの場合	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 現場打ち水路(本体) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td>鉄筋有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td>鉄筋有りの場合</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料	K 2	バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合	K 3	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合	労務	R 1	普通作業員		R 2	型わく工		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋有りの場合	Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	鉄筋有りの場合	<p>代表機械の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料																																																																																								
	K 2	バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合																																																																																								
	K 3	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																																								
労務	R 1	普通作業員																																																																																									
	R 2	型わく工																																																																																									
	R 3	土木一般世話役																																																																																									
	R 4	特殊作業員																																																																																									
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																									
	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋有りの場合																																																																																								
	Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																																								
	Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																									
市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	鉄筋有りの場合																																																																																								
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料																																																																																								
	K 2	バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合																																																																																								
	K 3	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																																								
労務	R 1	普通作業員																																																																																									
	R 2	型わく工																																																																																									
	R 3	土木一般世話役																																																																																									
	R 4	特殊作業員																																																																																									
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																									
	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋有りの場合																																																																																								
	Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																																								
	Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																									
市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	鉄筋有りの場合																																																																																								
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																								

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																				
現 行		改 正																																																																				
<p style="text-align: center;">表3.4 コンクリート打設工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンクリート打設工法</td> <td>バックホウ(クレーン機能付)打設</td> </tr> <tr> <td>人力打設</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="border: 2px solid red;"> <caption>表3.5 現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m³(平積 0.6m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m³(平積 0.6m³) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3 業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		積算条件	区分	コンクリート打設工法	バックホウ(クレーン機能付)打設	人力打設	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料	K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合	K 3 業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z 4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">表3.5 現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値2011年規制)] 山積 0.8m³(平積 0.6m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m³(平積 0.6m³) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3 業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料	K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合	K 3 業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z 4 -		市場単価	S -	
積算条件	区分																																																																					
コンクリート打設工法	バックホウ(クレーン機能付)打設																																																																					
	人力打設																																																																					
項目	代表機材規格	備考																																																																				
機械	K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料																																																																				
	K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合																																																																				
	K 3 業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																				
労務	R 1 普通作業員																																																																					
	R 2 型わく工																																																																					
	R 3 土木一般世話役																																																																					
	R 4 特殊作業員																																																																					
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																					
	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																					
	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																				
	Z 4 -																																																																					
市場単価	S -																																																																					
項目	代表機材規格	備考																																																																				
機械	K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料																																																																				
	K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合																																																																				
	K 3 業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																				
労務	R 1 普通作業員																																																																					
	R 2 型わく工																																																																					
	R 3 土木一般世話役																																																																					
	R 4 特殊作業員																																																																					
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																					
	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																					
	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																				
	Z 4 -																																																																					
市場単価	S -																																																																					
		代表機械の修正 (歩掛り改定に伴う)																																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																			

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																												
	<p>現 行</p> <p>3-6 コンクリート工 基礎コンクリート部におけるコンクリート工については、「4章①コンクリート工」により別途計上する。</p> <p>3-7 型枠工 基礎コンクリート部における型枠工については、「4章②型枠工」により別途計上する。</p> <p>3-8 鉄筋工 基礎コンクリート部における鉄筋工については、「市場単価 鉄筋工」により別途計上する。</p> <p>3-9 基礎砕石工 基礎コンクリート部における基礎砕石工については、「⑦基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石工」により別途計上する。</p> <p>3-10 支柱設置 (1) 条件区分 支柱設置における積算条件区分はない。 積算単位は、本とする。 (注) 1. ベースプレート式H形鋼支柱(H形鋼規格はH300mm×300mm以下、長さ9m以下)を基礎コンクリートにアンカーボルトで固定する作業の他、アンカーボルトにかかわる労務・材料費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、支柱(材料費)は含まない。 2. 支柱の材料費は別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 支柱設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-11 支柱(材料費) (1) 条件区分 支柱(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、本とする。</p> <p style="text-align: center;">2・㉘・7</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t吊	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>改 正</p> <p>現 行</p> <p>3-9 基礎砕石工 基礎コンクリート部における基礎砕石工については、「⑦基礎・裏込砕石工、<u>基礎・裏込栗石工</u>」により別途計上する。</p>	<p>備 考</p> <p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>語句の削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格		備考																																												
機械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t吊	賃料																																												
	K2	—																																													
	K3	—																																													
労務	R1	普通作業員																																													
	R2	特殊作業員																																													
	R3	土木一般世話役																																													
	R4	—																																													
材料	Z1	—																																													
	Z2	—																																													
	Z3	—																																													
	Z4	—																																													
市場単価	S	—																																													
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																												

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																
現 行		改 正																																																																
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.13 裏込砕石(軽量盛土) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊</td> <td>・賃料 ・盛土高が 6m 以下を除く</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 再生クラッシュラン RC-40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・盛土高が 6m 以下を除く	K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料	K3		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 運転手 (特殊)		R4 土木一般世話役		材料	Z1 再生クラッシュラン RC-40		Z2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z3		Z4		市場単価	S		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.13 裏込砕石(軽量盛土) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊</td> <td>・賃料 ・盛土高が 6m 以下を除く</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (<u>第2次基準値-2011年規制</u>)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 再生クラッシュラン RC-40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・盛土高が 6m 以下を除く	K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (<u>第2次基準値-2011年規制</u>)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料	K3		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 運転手 (特殊)		R4 土木一般世話役		材料	Z1 再生クラッシュラン RC-40		Z2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z3		Z4		市場単価	S		備考
項目	代表機材規格	備考																																																																
機械	K1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・盛土高が 6m 以下を除く																																																																
	K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料																																																																
	K3																																																																	
労務	R1 普通作業員																																																																	
	R2 特殊作業員																																																																	
	R3 運転手 (特殊)																																																																	
	R4 土木一般世話役																																																																	
材料	Z1 再生クラッシュラン RC-40																																																																	
	Z2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																	
	Z3																																																																	
	Z4																																																																	
市場単価	S																																																																	
項目	代表機材規格	備考																																																																
機械	K1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・盛土高が 6m 以下を除く																																																																
	K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (<u>第2次基準値-2011年規制</u>)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料																																																																
	K3																																																																	
労務	R1 普通作業員																																																																	
	R2 特殊作業員																																																																	
	R3 運転手 (特殊)																																																																	
	R4 土木一般世話役																																																																	
材料	Z1 再生クラッシュラン RC-40																																																																	
	Z2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																	
	Z3																																																																	
	Z4																																																																	
市場単価	S																																																																	
2・28・10		代表機械の修正 (歩掛り改定に伴う)																																																																
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																																															

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																															
現	行	改 正	備 考																																															
<p>2. 施工パッケージ 2-1 コンクリート(場所打函渠) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 コンクリート(場所打函渠) 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生コンクリート規格</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表2.2)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">一般養生</td> <td>延長無し</td> </tr> <tr> <td>110m未満</td> </tr> <tr> <td>110m以上 220m未満</td> </tr> <tr> <td>220m以上 340m以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> <td>延長無し</td> </tr> <tr> <td>110m未満</td> </tr> <tr> <td>110m以上 220m未満</td> </tr> <tr> <td>220m以上 340m以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">仮囲い内ジェットヒータ養生</td> <td>延長無し</td> </tr> <tr> <td>110m未満</td> </tr> <tr> <td>110m以上 220m未満</td> </tr> <tr> <td>220m以上 340m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、場所打函渠のコンクリート打設、ホースの簡先作業等を行う機械付補助労務、養生、圧送管組立・撤去の他、コンクリートパイプレタ損料及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 設計数量は、ウイング、段落ち防止用枕を含む本体コンクリートの数量とする。 3. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.02) 4. 作業範囲(30m)を超えて圧送管を延長する場合は、超えた部分の延長距離を110m未満、110m以上220m未満、220m以上340m以下から該当する区分を選択する。</p> <p style="text-align: center;">表2.2 生コンクリート規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th colspan="2">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13" style="text-align: center;">生コンクリート規格</td> <td>21-8-25(20)(普通)</td> <td>21-8-40(高炉)</td> </tr> <tr> <td>21-12-25(20)(普通)</td> <td>21-12-40(高炉)</td> </tr> <tr> <td>24-8-25(20)(普通)</td> <td>24-8-40(高炉)</td> </tr> <tr> <td>24-12-25(20)(普通)</td> <td>24-12-40(高炉)</td> </tr> <tr> <td>21-8-40(普通)</td> <td>21-8-25(早強)</td> </tr> <tr> <td>21-12-40(普通)</td> <td>21-12-25(早強)</td> </tr> <tr> <td>24-8-40(普通)</td> <td>24-8-25(早強)</td> </tr> <tr> <td>24-12-40(普通)</td> <td>24-12-25(早強)</td> </tr> <tr> <td>21-8-25(20)(高炉)</td> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>21-12-25(20)(高炉)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>24-8-25(20)(高炉)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>24-12-25(20)(高炉)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑩・2</p>		生コンクリート規格	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表2.2)	一般養生	延長無し	110m未満	110m以上 220m未満	220m以上 340m以下	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	延長無し	110m未満	110m以上 220m未満	220m以上 340m以下	仮囲い内ジェットヒータ養生	延長無し	110m未満	110m以上 220m未満	220m以上 340m以下	積算条件	区分		生コンクリート規格	21-8-25(20)(普通)	21-8-40(高炉)	21-12-25(20)(普通)	21-12-40(高炉)	24-8-25(20)(普通)	24-8-40(高炉)	24-12-25(20)(普通)	24-12-40(高炉)	21-8-40(普通)	21-8-25(早強)	21-12-40(普通)	21-12-25(早強)	24-8-40(普通)	24-8-25(早強)	24-12-40(普通)	24-12-25(早強)	21-8-25(20)(高炉)	各種	21-12-25(20)(高炉)		24-8-25(20)(高炉)		24-12-25(20)(高炉)		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>4. 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合は、足場費を「土木工事標準歩掛第2編6章仮設工⑩-2雪寒仮囲い工」により別途計上する。 4.5. 作業範囲(30m)を超えて圧送管を延長する場合は、超えた部分の延長距離を110m未満、110m以上220m未満、220m以上340m以下から該当する区分を選択する。</p>	記載の追加・修正
生コンクリート規格	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																
(表2.2)	一般養生	延長無し																																																
		110m未満																																																
		110m以上 220m未満																																																
		220m以上 340m以下																																																
	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	延長無し																																																
		110m未満																																																
		110m以上 220m未満																																																
		220m以上 340m以下																																																
	仮囲い内ジェットヒータ養生	延長無し																																																
		110m未満																																																
		110m以上 220m未満																																																
		220m以上 340m以下																																																
積算条件	区分																																																	
生コンクリート規格	21-8-25(20)(普通)	21-8-40(高炉)																																																
	21-12-25(20)(普通)	21-12-40(高炉)																																																
	24-8-25(20)(普通)	24-8-40(高炉)																																																
	24-12-25(20)(普通)	24-12-40(高炉)																																																
	21-8-40(普通)	21-8-25(早強)																																																
	21-12-40(普通)	21-12-25(早強)																																																
	24-8-40(普通)	24-8-25(早強)																																																
	24-12-40(普通)	24-12-25(早強)																																																
	21-8-25(20)(高炉)	各種																																																
	21-12-25(20)(高炉)																																																	
	24-8-25(20)(高炉)																																																	
	24-12-25(20)(高炉)																																																	
	積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																														

改正理由	一部改正	改正 現行																																									
現 行	改 正		備 考																																								
<table border="1" data-bbox="293 416 909 1106"> <thead> <tr> <th>発生作業</th> <th>積込工法区分</th> <th>DID区間の有無</th> <th>運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="28">吹付法面取壊し (モルタル)</td> <td rowspan="28">機械積込</td> <td rowspan="14">無し</td> <td>0.5km以下</td> </tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>4.5km以下</td></tr> <tr><td>6.0km以下</td></tr> <tr><td>7.0km以下</td></tr> <tr><td>8.5km以下</td></tr> <tr><td>9.0km以下</td></tr> <tr><td>10.5km以下</td></tr> <tr><td>13.5km以下</td></tr> <tr><td>18.0km以下</td></tr> <tr><td>27.5km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> <tr><td rowspan="14">有り</td> <td>0.5km以下</td> </tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>4.0km以下</td></tr> <tr><td>5.0km以下</td></tr> <tr><td>6.0km以下</td></tr> <tr><td>7.0km以下</td></tr> <tr><td>8.0km以下</td></tr> <tr><td>9.0km以下</td></tr> <tr><td>12.0km以下</td></tr> <tr><td>16.0km以下</td></tr> <tr><td>23.0km以下</td></tr> <tr><td>43.0km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="293 1110 927 1305"> <small>(注) 1. 上表は、既設構造物等ととりこわし、舗装版の破砕によって発生するコンクリート殻又はアスファルト殻の運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。なお、積込作業は含まない。 2. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理にかかる費用を含む。 3. タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。 4. 有料道路を利用する場合には、別途考慮する。 5. DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 6. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。 7. 設計数量は、構造物をとりこわす前の体積とする。</small> </p>	発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離	吹付法面取壊し (モルタル)	機械積込	無し	0.5km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.0km以下	2.5km以下	3.5km以下	4.5km以下	6.0km以下	7.0km以下	8.5km以下	9.0km以下	10.5km以下	13.5km以下	18.0km以下	27.5km以下	60.0km以下	有り	0.5km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.0km以下	2.5km以下	3.5km以下	4.0km以下	5.0km以下	6.0km以下	7.0km以下	8.0km以下	9.0km以下	12.0km以下	16.0km以下	23.0km以下	43.0km以下	60.0km以下	<p>現行どおり</p>	<p>記載の追加・修正</p>
発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離																																								
吹付法面取壊し (モルタル)	機械積込	無し	0.5km以下																																								
			1.0km以下																																								
			1.5km以下																																								
			2.0km以下																																								
			2.5km以下																																								
			3.5km以下																																								
			4.5km以下																																								
			6.0km以下																																								
			7.0km以下																																								
			8.5km以下																																								
			9.0km以下																																								
			10.5km以下																																								
			13.5km以下																																								
			18.0km以下																																								
		27.5km以下																																									
		60.0km以下																																									
		有り	0.5km以下																																								
			1.0km以下																																								
			1.5km以下																																								
			2.0km以下																																								
			2.5km以下																																								
			3.5km以下																																								
			4.0km以下																																								
			5.0km以下																																								
			6.0km以下																																								
			7.0km以下																																								
			8.0km以下																																								
			9.0km以下																																								
12.0km以下																																											
16.0km以下																																											
23.0km以下																																											
43.0km以下																																											
60.0km以下																																											
積算上の注意事項	<p>2・㉔・6</p>		<p>(控え頁) 1/1</p>																																								

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																
現	行	改 正	備 考																																																																																															
<p>3. 施工パッケージ 3-1 消波根固めブロック製作 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="border: 2px solid red; margin: 10px auto;"> <caption style="text-align: center;">表3.1 消波根固めブロック製作 積算条件区分一覧 (積算単位：個)</caption> <thead> <tr> <th>消波根固めブロック規格</th> <th>型枠の種類</th> <th>生コンクリート規格</th> <th>1個当りコンクリート体積 (m3/個)</th> <th>1個当り型枠面積 (m2/個)</th> <th>養生工の種類別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2.5t以下</td> <td rowspan="2">鋼製型枠・FRP製型枠</td> <td rowspan="8">(表 3.2)</td> <td rowspan="4">(表 3.3)</td> <td rowspan="4">(表 3.3)</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td>給熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直積ブロック用鋼製型枠</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td>給熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2.5tを超え5.5t以下</td> <td rowspan="2">鋼製型枠・FRP製型枠</td> <td rowspan="4">(表 3.4)</td> <td rowspan="4">(表 3.4)</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td>給熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直積ブロック用鋼製型枠</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td>給熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">5.5tを超え11.0t以下</td> <td rowspan="2">鋼製型枠・FRP製型枠</td> <td rowspan="4">(表 3.5)</td> <td rowspan="4">(表 3.5)</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td>給熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直積ブロック用鋼製型枠</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td>給熱</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、消波根固めブロックの製作(現地で製作するコンクリート投入打設、型枠の清掃及び組立・脱型、はく離剤塗布)、養生(給熱養生を含む)の他、コンクリート打設小器材、型枠はく離剤、インパクトレンチ損料、養生シート、練炭火鉢及び養生囲い材料(シート、さん木等)、電力に関する経費等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.01) 3. 鉄筋(連結用フック含む)の加工・組立費用及び材料費は、「市場単価 鉄筋工」による。 4. 給熱養生は、練炭を使用した場合である。 5. 給熱養生は、養生期間を3日程度としたもので、養生囲いの設置・撤去を含む。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <caption style="text-align: center;">表3.2 生コンクリート規格</caption> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>種 別</th> <th>種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18-5-40 (普通)</td> <td>21-8-40 (普通)</td> <td>21-5-40 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>18-8-25(20) (普通)</td> <td>21-12-25(20) (普通)</td> <td>21-8-25(20) (高炉)</td> </tr> <tr> <td>18-8-40 (普通)</td> <td>21-12-40 (普通)</td> <td>21-8-40 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>18-12-25(20) (普通)</td> <td>18-5-40 (高炉)</td> <td>24-8-25(20) (高炉)</td> </tr> <tr> <td>18-12-40 (普通)</td> <td>18-8-40 (高炉)</td> <td>27-5-40 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>19.5-8-40 (普通)</td> <td>19.5-5-40 (高炉)</td> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>21-8-25(20) (普通)</td> <td>19.5-8-40 (高炉)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">5・①・3</p>		消波根固めブロック規格	型枠の種類	生コンクリート規格	1個当りコンクリート体積 (m3/個)	1個当り型枠面積 (m2/個)	養生工の種類別	2.5t以下	鋼製型枠・FRP製型枠	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.3)	一般	給熱	直積ブロック用鋼製型枠	一般	給熱	2.5tを超え5.5t以下	鋼製型枠・FRP製型枠	(表 3.4)	(表 3.4)	一般	給熱	直積ブロック用鋼製型枠	一般	給熱	5.5tを超え11.0t以下	鋼製型枠・FRP製型枠	(表 3.5)	(表 3.5)	一般	給熱	直積ブロック用鋼製型枠	一般	給熱	種 別	種 別	種 別	18-5-40 (普通)	21-8-40 (普通)	21-5-40 (高炉)	18-8-25(20) (普通)	21-12-25(20) (普通)	21-8-25(20) (高炉)	18-8-40 (普通)	21-12-40 (普通)	21-8-40 (高炉)	18-12-25(20) (普通)	18-5-40 (高炉)	24-8-25(20) (高炉)	18-12-40 (普通)	18-8-40 (高炉)	27-5-40 (高炉)	19.5-8-40 (普通)	19.5-5-40 (高炉)	各種	21-8-25(20) (普通)	19.5-8-40 (高炉)		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <caption style="text-align: center;">表3.1 消波根固めブロック製作 積算条件区分一覧 (積算単位：個)</caption> <thead> <tr> <th>消波根固めブロック規格</th> <th>型枠の種類</th> <th>生コンクリート規格</th> <th>1個当りコンクリート体積 (m3/個)</th> <th>1個当り型枠面積 (m2/個)</th> <th>養生工の種類別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">2.5t以下</td> <td>鋼製型枠 10t未満</td> <td rowspan="8">(表 3.2)</td> <td rowspan="4">(表 3.3)</td> <td rowspan="4">(表 3.3)</td> <td rowspan="8">(表 3.6)</td> </tr> <tr> <td>FRP製型枠</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直積ブロック用鋼製型枠</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td>給熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.5tを超え5.5t以下</td> <td>鋼製型枠 10t未満</td> <td rowspan="4">(表 3.4)</td> <td rowspan="4">(表 3.4)</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td>FRP製型枠</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直積ブロック用鋼製型枠</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td>給熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">5.5tを超え11.0t以下</td> <td>鋼製型枠 10t未満</td> <td rowspan="4">(表 3.5)</td> <td rowspan="4">(表 3.5)</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td>鋼製型枠</td> </tr> <tr> <td>10t以上20t未満</td> </tr> <tr> <td>FRP製型枠</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直積ブロック用鋼製型枠</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td>給熱</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		消波根固めブロック規格	型枠の種類	生コンクリート規格	1個当りコンクリート体積 (m3/個)	1個当り型枠面積 (m2/個)	養生工の種類別	2.5t以下	鋼製型枠 10t未満	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.3)	(表 3.6)	FRP製型枠	直積ブロック用鋼製型枠	一般	給熱	2.5tを超え5.5t以下	鋼製型枠 10t未満	(表 3.4)	(表 3.4)	一般	FRP製型枠	直積ブロック用鋼製型枠	一般	給熱	5.5tを超え11.0t以下	鋼製型枠 10t未満	(表 3.5)	(表 3.5)	一般	鋼製型枠	10t以上20t未満	FRP製型枠	直積ブロック用鋼製型枠	一般	給熱	記載の追加・修正
消波根固めブロック規格	型枠の種類	生コンクリート規格	1個当りコンクリート体積 (m3/個)	1個当り型枠面積 (m2/個)	養生工の種類別																																																																																													
2.5t以下	鋼製型枠・FRP製型枠	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.3)	一般																																																																																													
					給熱																																																																																													
	直積ブロック用鋼製型枠				一般																																																																																													
					給熱																																																																																													
2.5tを超え5.5t以下	鋼製型枠・FRP製型枠		(表 3.4)	(表 3.4)	一般																																																																																													
					給熱																																																																																													
	直積ブロック用鋼製型枠				一般																																																																																													
					給熱																																																																																													
5.5tを超え11.0t以下	鋼製型枠・FRP製型枠	(表 3.5)	(表 3.5)	一般																																																																																														
				給熱																																																																																														
	直積ブロック用鋼製型枠			一般																																																																																														
				給熱																																																																																														
種 別	種 別	種 別																																																																																																
18-5-40 (普通)	21-8-40 (普通)	21-5-40 (高炉)																																																																																																
18-8-25(20) (普通)	21-12-25(20) (普通)	21-8-25(20) (高炉)																																																																																																
18-8-40 (普通)	21-12-40 (普通)	21-8-40 (高炉)																																																																																																
18-12-25(20) (普通)	18-5-40 (高炉)	24-8-25(20) (高炉)																																																																																																
18-12-40 (普通)	18-8-40 (高炉)	27-5-40 (高炉)																																																																																																
19.5-8-40 (普通)	19.5-5-40 (高炉)	各種																																																																																																
21-8-25(20) (普通)	19.5-8-40 (高炉)																																																																																																	
消波根固めブロック規格	型枠の種類	生コンクリート規格	1個当りコンクリート体積 (m3/個)	1個当り型枠面積 (m2/個)	養生工の種類別																																																																																													
2.5t以下	鋼製型枠 10t未満	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.3)	(表 3.6)																																																																																													
	FRP製型枠																																																																																																	
直積ブロック用鋼製型枠	一般																																																																																																	
	給熱																																																																																																	
2.5tを超え5.5t以下	鋼製型枠 10t未満		(表 3.4)	(表 3.4)		一般																																																																																												
	FRP製型枠																																																																																																	
直積ブロック用鋼製型枠	一般																																																																																																	
	給熱																																																																																																	
5.5tを超え11.0t以下	鋼製型枠 10t未満	(表 3.5)	(表 3.5)	一般																																																																																														
	鋼製型枠																																																																																																	
	10t以上20t未満																																																																																																	
	FRP製型枠																																																																																																	
直積ブロック用鋼製型枠	一般																																																																																																	
	給熱																																																																																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 1/9																																																																																															

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現行	改正	備考
----	----	----

表3.5 1個当りコンクリート体積-1個当り型枠面積の区分表
【消波根固めブロック規格:5.5tを超え11.0t以下】

1個当り コンクリート 体積(m ³)	1個当り型枠面積(m ²)	1個当り コンクリート 体積(m ³)	1個当り型枠面積(m ²)
2.20m ³ 以上 2.40m ³ 以下	10.01m ² 以上11.59m ² 以下	3.45m ³ を超え 3.70m ³ 以下	12.23m ² 以上14.51m ² 以下
	11.59m ² を超え13.15m ² 以下 13.15m ² を超え14.73m ² 以下		14.51m ² を超え16.79m ² 以下 16.79m ² を超え19.07m ² 以下
2.40m ³ を超え 2.60m ³ 以下	10.38m ² 以上12.08m ² 以下	3.70m ³ を超え 3.96m ³ 以下	12.86m ² 以上15.28m ² 以下
	12.08m ² を超え13.76m ² 以下 13.76m ² を超え15.46m ² 以下		15.28m ² を超え17.70m ² 以下 17.70m ² を超え20.12m ² 以下
2.60m ³ を超え 2.80m ³ 以下	10.74m ² 以上12.56m ² 以下	3.96m ³ を超え 4.23m ³ 以下	13.33m ² 以上15.93m ² 以下
	12.56m ² を超え14.36m ² 以下 14.36m ² を超え16.18m ² 以下		15.93m ² を超え18.51m ² 以下 18.51m ² を超え21.11m ² 以下
2.80m ³ を超え 3.00m ³ 以下	11.12m ² 以上13.04m ² 以下	4.23m ³ を超え 4.53m ³ 以下	21.11m ² を超え23.71m ² 以下
	13.04m ² を超え14.96m ² 以下 14.96m ² を超え16.88m ² 以下		13.87m ² 以上16.61m ² 以下 16.61m ² を超え19.35m ² 以下
3.00m ³ を超え 3.22m ³ 以下	11.51m ² 以上13.53m ² 以下	4.53m ³ を超え 4.84m ³ 以下	19.35m ² を超え22.09m ² 以下
	13.53m ² を超え15.55m ² 以下 15.55m ² を超え17.57m ² 以下 17.57m ² を超え19.59m ² 以下		22.09m ² を超え24.83m ² 以下 14.45m ² 以上17.37m ² 以下 17.37m ² を超え20.27m ² 以下
3.22m ³ を超え 3.45m ³ 以下	11.94m ² 以上14.10m ² 以下		20.27m ² を超え23.19m ² 以下
	14.10m ² を超え16.24m ² 以下 16.24m ² を超え18.40m ² 以下		

現行どおり

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.6 消波根固めブロック製作 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕25t吊	賃料
	K2	-	
	K3	-	
労務	R1	普通作業員	
	R2	特殊作業員	
	R3	土木一般世話役	
	R4	-	
材料	Z1	生コンクリート 高炉 21-8-25(20) W/C 55%	
	Z2	鋼製型枠 異形ブロック 30t未満	賃料
	Z3	練炭 高4号	給熱養生の場合
	Z4	-	
市場単価	S	-	

表3.6 養生工の種別

積算条件	区分
養生工の種別	一般 給熱

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.6Z 消波根固めブロック製作 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕25t吊	賃料
	K2	-	
	K3	-	
労務	R1	普通作業員	
	R2	特殊作業員	
	R3	土木一般世話役	
	R4	-	
材料	Z1	生コンクリート 高炉 21-8-25(20) W/C 55%	
	Z2	鋼製型枠 異形ブロック 30 10t未満	賃料
	Z3	練炭 高4号	給熱養生の場合
	Z4	-	
市場単価	S	-	

記載の追加

代表材料の修正

積算上の注意事項	(控え頁) 2/9
----------	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																									
現	行	改 正	備 考																																																									
<p>3-2 消波根固めブロック横取り (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption style="text-align: center;">表3.7 消波根固めブロック横取り積算条件区分一覧 (積算単位：個)</caption> <thead> <tr> <th>消波根固めブロック規格</th> <th>クレーン機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5 t 以下</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表 3.8)</td> </tr> <tr> <td>2.5 t を超え 5.5 t 以下</td> </tr> <tr> <td>5.5 t を超え 11.0 t 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、消波根固めブロックの横取り、ワイヤーロープ等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. クレーンによるブロックの移動距離 50m 未満の範囲とする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption style="text-align: center;">表3.8 クレーン機種</caption> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">クレーン機種</td> <td>ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 25 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 35 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 45 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 50 t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption style="text-align: center;">表3.9 消波根固めブロック横取り 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">機械</td> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 50 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 1 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>R 3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 1 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">市場単価</td> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		消波根固めブロック規格	クレーン機種	2.5 t 以下	(表 3.8)	2.5 t を超え 5.5 t 以下	5.5 t を超え 11.0 t 以下	積算条件	区分	クレーン機種	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 25 t 吊	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 35 t 吊	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 45 t 吊	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 50 t 吊	項目	代表機材規格	備考	機械	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 50 t 吊	賃料	労務	K 2 -		K 3 -		R 1 土木一般世話役		R 2 特殊作業員		材料	R 3 普通作業員		R 4 -		Z 1 -		Z 2 -		市場単価	Z 3 -		Z 4 -		S -			<p>現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.78 消波根固めブロック横取り積算条件区分一覧 (積算単位：個)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>消波根固めブロック規格</th> <th>クレーン機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5 t 以下</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表 3.89)</td> </tr> <tr> <td>2.5 t を超え 5.5 t 以下</td> </tr> <tr> <td>5.5 t を超え 11.0 t 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.89 クレーン機種</p> <p>現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.910 消波根固めブロック横取り 代表機材規格一覧</p> <p>現行どおり</p>	消波根固めブロック規格	クレーン機種	2.5 t 以下	(表 3.89)	2.5 t を超え 5.5 t 以下	5.5 t を超え 11.0 t 以下	<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
消波根固めブロック規格	クレーン機種																																																											
2.5 t 以下	(表 3.8)																																																											
2.5 t を超え 5.5 t 以下																																																												
5.5 t を超え 11.0 t 以下																																																												
積算条件	区分																																																											
クレーン機種	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 25 t 吊																																																											
	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 35 t 吊																																																											
	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 45 t 吊																																																											
	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 50 t 吊																																																											
項目	代表機材規格	備考																																																										
機械	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊	賃料																																																										
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35 t 吊	賃料																																																										
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45 t 吊	賃料																																																										
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 50 t 吊	賃料																																																										
労務	K 2 -																																																											
	K 3 -																																																											
	R 1 土木一般世話役																																																											
	R 2 特殊作業員																																																											
材料	R 3 普通作業員																																																											
	R 4 -																																																											
	Z 1 -																																																											
	Z 2 -																																																											
市場単価	Z 3 -																																																											
	Z 4 -																																																											
S -																																																												
消波根固めブロック規格	クレーン機種																																																											
2.5 t 以下	(表 3.89)																																																											
2.5 t を超え 5.5 t 以下																																																												
5.5 t を超え 11.0 t 以下																																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 3/9																																																									

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																			
<p>3-3 消波根固めブロック積込み (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.10 消波根固めブロック積込み積算条件区分一覧 (積算単位：個)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">消波根固めブロック規格</th> <th style="text-align: center;">クレーン機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2.5 t 以下</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表 3.8)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2.5 t を超え 5.5 t 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5.5 t を超え 11.0 t 以下</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>(注) 上表は、消波根固めブロックの積込み、ワイヤーロープ等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.11 消波根固めブロック積込み 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">機 械</td> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 50 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労 務</td> <td>R 1 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材 料</td> <td>Z 1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> </div>		消波根固めブロック規格	クレーン機種	2.5 t 以下	(表 3.8)	2.5 t を超え 5.5 t 以下	5.5 t を超え 11.0 t 以下	項目	代表機材規格	備考	機 械	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 50 t 吊	賃料		K 2	-		K 3	-	労 務	R 1 土木一般世話役		R 2 特殊作業員		R 3 普通作業員		R 4		材 料	Z 1	-	Z 2	-	Z 3	-	Z 4	-	市場単価	S	-	<p style="text-align: center;">現 行 ど お り</p> <p style="text-align: center;">表3. 1011 消波根固めブロック積込み積算条件区分一覧 (積算単位：個)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">消波根固めブロック規格</th> <th style="text-align: center;">クレーン機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2.5 t 以下</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表 3. 89)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2.5 t を超え 5.5 t 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5.5 t を超え 11.0 t 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現 行 ど お り</p> <p style="text-align: center;">表3. 1112 消波根固めブロック積込み 代表機材規格一覧</p> <p style="text-align: center;">現 行 ど お り</p>	消波根固めブロック規格	クレーン機種	2.5 t 以下	(表 3. 8 9)	2.5 t を超え 5.5 t 以下	5.5 t を超え 11.0 t 以下	<p style="text-align: center;">語句の修正</p> <p style="text-align: center;">語句の修正</p>
消波根固めブロック規格	クレーン機種																																																					
2.5 t 以下	(表 3.8)																																																					
2.5 t を超え 5.5 t 以下																																																						
5.5 t を超え 11.0 t 以下																																																						
項目	代表機材規格	備考																																																				
機 械	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊	賃料																																																				
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35 t 吊	賃料																																																				
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45 t 吊	賃料																																																				
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 50 t 吊	賃料																																																				
	K 2	-																																																				
	K 3	-																																																				
労 務	R 1 土木一般世話役																																																					
	R 2 特殊作業員																																																					
	R 3 普通作業員																																																					
	R 4																																																					
材 料	Z 1	-																																																				
	Z 2	-																																																				
	Z 3	-																																																				
	Z 4	-																																																				
市場単価	S	-																																																				
消波根固めブロック規格	クレーン機種																																																					
2.5 t 以下	(表 3. 8 9)																																																					
2.5 t を超え 5.5 t 以下																																																						
5.5 t を超え 11.0 t 以下																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 4/9																																																			

改正理由	一部改正	改正 現行																																																									
現 行		改 正																																																									
<p>3-5 消波根固めブロック据付け (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.14 消波根固めブロック据付け 積算条件区分一覧 (積算単位：個)</caption> <thead> <tr> <th>消波根固めブロック規格</th> <th>据付場所</th> <th>消波根固めブロック 10個当り連結金具 設置数量</th> <th>据付方法</th> <th>クレーン 機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2.5t以下</td> <td rowspan="2">陸上</td> <td rowspan="8">実数入力</td> <td>乱積</td> <td rowspan="8">(表3.8)</td> </tr> <tr> <td>層積</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水中</td> <td>乱積</td> </tr> <tr> <td>層積</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2.5tを超え5.5t以下</td> <td rowspan="2">陸上</td> <td>乱積</td> </tr> <tr> <td>層積</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水中</td> <td>乱積</td> </tr> <tr> <td>層積</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">5.5tを超え11.0t以下</td> <td rowspan="2">陸上</td> <td>乱積</td> </tr> <tr> <td>層積</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水中</td> <td>乱積</td> </tr> <tr> <td>層積</td> </tr> </tbody> </table>		消波根固めブロック規格	据付場所	消波根固めブロック 10個当り連結金具 設置数量	据付方法	クレーン 機種	2.5t以下	陸上	実数入力	乱積	(表3.8)	層積	水中	乱積	層積	2.5tを超え5.5t以下	陸上	乱積	層積	水中	乱積	層積	5.5tを超え11.0t以下	陸上	乱積	層積	水中	乱積	層積	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.4415 消波根固めブロック据付け 積算条件区分一覧 (積算単位：個)</caption> <thead> <tr> <th>消波根固めブロック規格</th> <th>据付場所</th> <th>消波根固めブロック 10個当り連結金具 設置数量</th> <th>据付方法</th> <th>クレーン 機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2.5t以下</td> <td rowspan="2">陸上</td> <td rowspan="8">実数入力</td> <td>乱積</td> <td rowspan="8">(表3.89)</td> </tr> <tr> <td>層積</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水中</td> <td>乱積</td> </tr> <tr> <td>層積</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2.5tを超え5.5t以下</td> <td rowspan="2">陸上</td> <td>乱積</td> </tr> <tr> <td>層積</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水中</td> <td>乱積</td> </tr> <tr> <td>層積</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">5.5tを超え11.0t以下</td> <td rowspan="2">陸上</td> <td>乱積</td> </tr> <tr> <td>層積</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水中</td> <td>乱積</td> </tr> <tr> <td>層積</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	消波根固めブロック規格	据付場所	消波根固めブロック 10個当り連結金具 設置数量	据付方法	クレーン 機種	2.5t以下	陸上	実数入力	乱積	(表3.89)	層積	水中	乱積	層積	2.5tを超え5.5t以下	陸上	乱積	層積	水中	乱積	層積	5.5tを超え11.0t以下	陸上	乱積	層積	水中	乱積	層積	<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
消波根固めブロック規格	据付場所	消波根固めブロック 10個当り連結金具 設置数量	据付方法	クレーン 機種																																																							
2.5t以下	陸上	実数入力	乱積	(表3.8)																																																							
			層積																																																								
	水中		乱積																																																								
			層積																																																								
2.5tを超え5.5t以下	陸上		乱積																																																								
			層積																																																								
	水中		乱積																																																								
			層積																																																								
5.5tを超え11.0t以下	陸上	乱積																																																									
		層積																																																									
	水中	乱積																																																									
		層積																																																									
消波根固めブロック規格	据付場所	消波根固めブロック 10個当り連結金具 設置数量	据付方法	クレーン 機種																																																							
2.5t以下	陸上	実数入力	乱積	(表3.89)																																																							
			層積																																																								
	水中		乱積																																																								
			層積																																																								
2.5tを超え5.5t以下	陸上		乱積																																																								
			層積																																																								
	水中		乱積																																																								
			層積																																																								
5.5tを超え11.0t以下	陸上	乱積																																																									
		層積																																																									
	水中	乱積																																																									
		層積																																																									
積算上の注意事項	5・①・10		(控え頁) 6/9																																																								

改正理由	一部改正	改正 現行																																												
現 行		改 正																																												
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="border: 2px solid red; display: inline-block; padding: 2px;">表3. 15 消波根固めブロック据付け 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">代表機材規格</th> <th style="width: 80%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">機械</td> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 50 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td>据付場所が「陸上」の場合</td> </tr> <tr> <td>潜水士</td> <td>据付場所が「水中」の場合</td> </tr> <tr> <td>R 3 特殊作業員</td> <td>据付場所が「陸上」の場合</td> </tr> <tr> <td>潜水連絡員</td> <td>据付場所が「水中」の場合</td> </tr> <tr> <td>R 4 潜水送気員</td> <td>据付場所が「水中」の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1 連結金具(根固めブロック用) φ16mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 50 t 吊	賃料	K 2	-		K 3	-		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役	据付場所が「陸上」の場合	潜水士	据付場所が「水中」の場合	R 3 特殊作業員	据付場所が「陸上」の場合	潜水連絡員	据付場所が「水中」の場合	R 4 潜水送気員	据付場所が「水中」の場合	材料	Z 1 連結金具(根固めブロック用) φ16mm		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3. 1516 消波根固めブロック据付け 代表機材規格一覧</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	
項目	代表機材規格	備考																																												
機械	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊	賃料																																												
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35 t 吊	賃料																																												
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45 t 吊	賃料																																												
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 50 t 吊	賃料																																												
K 2	-																																													
K 3	-																																													
労務	R 1 普通作業員																																													
	R 2 土木一般世話役	据付場所が「陸上」の場合																																												
	潜水士	据付場所が「水中」の場合																																												
	R 3 特殊作業員	据付場所が「陸上」の場合																																												
潜水連絡員	据付場所が「水中」の場合																																													
R 4 潜水送気員	据付場所が「水中」の場合																																													
材料	Z 1 連結金具(根固めブロック用) φ16mm																																													
	Z 2 -																																													
	Z 3 -																																													
	Z 4 -																																													
市場単価	S -																																													
		備考																																												
		語句の修正																																												
5・①・11																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 7/9																																											

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																							
現	行	改 正	備 考																							
<p>3-6 消波根固めブロック運搬 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">表3.16 消波根固めブロック運搬 積算条件区分一覧 (積算単位:個)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>消波根固めブロック規格</th> <th>作業区分</th> <th>トラック1台当りブロック積載個数</th> <th>トラック1台当り運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">2.5t以下</td> <td>積み込み・荷卸</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">(表3.17)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">(表3.18)</td> </tr> <tr> <td>積み込み・据付け(乱積)</td> </tr> <tr> <td>積み込み・据付け(層積)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2.5tを超え5.5t以下</td> <td>積み込み・荷卸</td> </tr> <tr> <td>積み込み・据付け(乱積)</td> </tr> <tr> <td>積み込み・据付け(層積)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">5.5tを超え11.0t以下</td> <td>積み込み・荷卸</td> </tr> <tr> <td>積み込み・据付け(乱積)</td> </tr> <tr> <td>積み込み・据付け(層積)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は、消波根固めブロックの仮置き時又は据付け時の運搬、ワイヤーロープ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> </div>		消波根固めブロック規格	作業区分	トラック1台当りブロック積載個数	トラック1台当り運搬距離	2.5t以下	積み込み・荷卸	(表3.17)	(表3.18)	積み込み・据付け(乱積)	積み込み・据付け(層積)	2.5tを超え5.5t以下	積み込み・荷卸	積み込み・据付け(乱積)	積み込み・据付け(層積)	5.5tを超え11.0t以下	積み込み・荷卸	積み込み・据付け(乱積)	積み込み・据付け(層積)	<p>現行どおり</p>						
消波根固めブロック規格	作業区分	トラック1台当りブロック積載個数	トラック1台当り運搬距離																							
2.5t以下	積み込み・荷卸	(表3.17)	(表3.18)																							
	積み込み・据付け(乱積)																									
	積み込み・据付け(層積)																									
2.5tを超え5.5t以下	積み込み・荷卸																									
	積み込み・据付け(乱積)																									
	積み込み・据付け(層積)																									
5.5tを超え11.0t以下	積み込み・荷卸																									
	積み込み・据付け(乱積)																									
	積み込み・据付け(層積)																									
<p style="text-align: center;">表3.17 トラック1台当りブロック積載個数(n)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>2.5t以下</th> <th>2.5tを超え5.5t以下</th> <th>5.5tを超え11.0t以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">トラック1台当り ブロック積載個数</td> <td>1個</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">1個</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">1個</td> </tr> <tr> <td>2個</td> </tr> <tr> <td>3個</td> </tr> <tr> <td>4個</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">2個</td> </tr> <tr> <td>5個</td> </tr> <tr> <td>6個</td> </tr> <tr> <td>7個</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">3個</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">2個</td> </tr> <tr> <td>8個</td> </tr> <tr> <td>9個</td> </tr> <tr> <td>10個</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">4個</td> </tr> <tr> <td>11個以上15個以下</td> </tr> <tr> <td>15個を超え23個以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) トラック1台当りブロック積載個数(n)はブロックの形状、寸法及びトラック等の荷台寸法、積載質量を考慮して決定するが、一般の場合は下記による。 $n = X / W$ (小数以下切り捨て) X : トラック等の積載質量 (t) W : ブロック1個当りの質量(実質量) (t)</p>		積算条件	2.5t以下	2.5tを超え5.5t以下	5.5tを超え11.0t以下	トラック1台当り ブロック積載個数	1個	1個	1個	2個	3個	4個	2個	5個	6個	7個	3個	2個	8個	9個	10個	4個	11個以上15個以下	15個を超え23個以下	<p>現行どおり</p>	
積算条件	2.5t以下	2.5tを超え5.5t以下	5.5tを超え11.0t以下																							
トラック1台当り ブロック積載個数	1個	1個	1個																							
	2個																									
	3個																									
	4個	2個																								
	5個																									
	6個																									
	7個	3個	2個																							
	8個																									
	9個																									
	10個	4個																								
	11個以上15個以下																									
	15個を超え23個以下																									
<p style="text-align: center;">表3.16 消波根固めブロック運搬 積算条件区分一覧 (積算単位:個)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>消波根固めブロック規格</th> <th>作業区分</th> <th>トラック1台当りブロック積載個数</th> <th>トラック1台当り運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">2.5t以下</td> <td>積み込み・荷卸</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">(表3.1718)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">(表3.1819)</td> </tr> <tr> <td>積み込み・据付け(乱積)</td> </tr> <tr> <td>積み込み・据付け(層積)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2.5tを超え5.5t以下</td> <td>積み込み・荷卸</td> </tr> <tr> <td>積み込み・据付け(乱積)</td> </tr> <tr> <td>積み込み・据付け(層積)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">5.5tを超え11.0t以下</td> <td>積み込み・荷卸</td> </tr> <tr> <td>積み込み・据付け(乱積)</td> </tr> <tr> <td>積み込み・据付け(層積)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) <u>1.</u> 上表は、消波根固めブロックの仮置き時又は据付け時の運搬、ワイヤーロープ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 <u>2.</u> 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。 <u>3.</u> 片道運搬距離が15kmを超える場合は、別途考慮すること。</p>		消波根固めブロック規格	作業区分	トラック1台当りブロック積載個数	トラック1台当り運搬距離	2.5t以下	積み込み・荷卸	(表3.1718)	(表3.1819)	積み込み・据付け(乱積)	積み込み・据付け(層積)	2.5tを超え5.5t以下	積み込み・荷卸	積み込み・据付け(乱積)	積み込み・据付け(層積)	5.5tを超え11.0t以下	積み込み・荷卸	積み込み・据付け(乱積)	積み込み・据付け(層積)	<p>現行どおり</p>						
消波根固めブロック規格	作業区分	トラック1台当りブロック積載個数	トラック1台当り運搬距離																							
2.5t以下	積み込み・荷卸	(表3.1718)	(表3.1819)																							
	積み込み・据付け(乱積)																									
	積み込み・据付け(層積)																									
2.5tを超え5.5t以下	積み込み・荷卸																									
	積み込み・据付け(乱積)																									
	積み込み・据付け(層積)																									
5.5tを超え11.0t以下	積み込み・荷卸																									
	積み込み・据付け(乱積)																									
	積み込み・据付け(層積)																									
<p>積算上の注意事項</p>		<p>(控え頁) 8/9</p>																								

語句の修正

語句の修正

記載の追加・修正
(次頁から移動)

語句の修正

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																									
現	行	改 正	備 考																																																									
<p style="text-align: center;">表3.18 <u>トラック1台当り運搬距離</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">積算条件</th> <th style="text-align: center;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="15" style="text-align: center;">トラック1台当り 運搬距離</td><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.0km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>4.0km以下</td></tr> <tr><td>4.5km以下</td></tr> <tr><td>5.0km以下</td></tr> <tr><td>5.5km以下</td></tr> <tr><td>6.0km以下</td></tr> <tr><td>6.5km以下</td></tr> <tr><td>7.0km以下</td></tr> <tr><td>7.5km以下</td></tr> <tr><td>8.5km以下</td></tr> <tr><td>9.5km以下</td></tr> <tr><td>10.5km以下</td></tr> <tr><td>11.5km以下</td></tr> <tr><td>12.5km以下</td></tr> <tr><td>14.0km以下</td></tr> <tr><td>15.0km以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。 2. 片道運搬距離が15kmを超える場合は、別途考慮すること。</p> <p>(2) 代表機労材規格 次表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.19 <u>消波根固めブロック運搬 代表機労材規格一覧</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機労材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K 1</td> <td>トラック [普通型] 11 t 積</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手 (一般)</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2 号 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">5・①・13</p>		積算条件	区分	トラック1台当り 運搬距離	0.5km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.0km以下	2.5km以下	3.0km以下	3.5km以下	4.0km以下	4.5km以下	5.0km以下	5.5km以下	6.0km以下	6.5km以下	7.0km以下	7.5km以下	8.5km以下	9.5km以下	10.5km以下	11.5km以下	12.5km以下	14.0km以下	15.0km以下	項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1	トラック [普通型] 11 t 積	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	運転手 (一般)	R 2	—	R 3	—	R 4	—	材料	Z 1	軽油 1.2 号 バトロール給油	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p style="text-align: center;">表3.1819 <u>トラック1台当り運搬距離</u></p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">(注) 1. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。 2. 片道運搬距離が15kmを超える場合は、別途考慮すること。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.1920 <u>消波根固めブロック運搬 代表機労材規格一覧</u></p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		<p>語句の修正</p> <p>記載の削除 (前頁へ移動)</p> <p>語句の修正</p>
積算条件	区分																																																											
トラック1台当り 運搬距離	0.5km以下																																																											
	1.0km以下																																																											
	1.5km以下																																																											
	2.0km以下																																																											
	2.5km以下																																																											
	3.0km以下																																																											
	3.5km以下																																																											
	4.0km以下																																																											
	4.5km以下																																																											
	5.0km以下																																																											
	5.5km以下																																																											
	6.0km以下																																																											
	6.5km以下																																																											
	7.0km以下																																																											
	7.5km以下																																																											
8.5km以下																																																												
9.5km以下																																																												
10.5km以下																																																												
11.5km以下																																																												
12.5km以下																																																												
14.0km以下																																																												
15.0km以下																																																												
項目	代表機労材規格	備考																																																										
機械	K 1	トラック [普通型] 11 t 積																																																										
	K 2	—																																																										
	K 3	—																																																										
労務	R 1	運転手 (一般)																																																										
	R 2	—																																																										
	R 3	—																																																										
	R 4	—																																																										
材料	Z 1	軽油 1.2 号 バトロール給油																																																										
	Z 2	—																																																										
	Z 3	—																																																										
	Z 4	—																																																										
市場単価	S	—																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 9/9																																																									

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																							
現	行	改	正																																																																																							
<p>3-2 除根（伐木除根）</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>除根（伐木除根）における積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。</p> <p>(注) 1. 除根作業の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 対象面積は、「3-1 伐木・伐竹（伐木除根）」の伐木、伐竹面積と同面積とする。 3. 除根した根の集積は含まない。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p>		<p>現行どおり</p>	<p>代表機械の修正</p>																																																																																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表3.3 除根(伐木除根) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m³ (平積 0.35m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>バックホウ用アタッチメント [掘み装置] 最大把持外径(開口幅) 0.7m級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目		代表機材規格		備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)		K2	バックホウ用アタッチメント [掘み装置] 最大把持外径(開口幅) 0.7m級		K3	—		労務	R1	運転手(特殊)		R2	土木一般世話役		R3	—		R4	—		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表3.3 除根(伐木除根) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m³ (平積 0.35m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>バックホウ用アタッチメント [掘み装置] <u>最大把持外径(開口幅) 0.7m級</u> <u>開口幅 1,700~2,000mm 爪幅 400~750mm</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)		K2	バックホウ用アタッチメント [掘み装置] <u>最大把持外径(開口幅) 0.7m級</u> <u>開口幅 1,700~2,000mm 爪幅 400~750mm</u>		K3	—		労務	R1	運転手(特殊)		R2	土木一般世話役		R3	—		R4	—		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)																																																																																								
	K2	バックホウ用アタッチメント [掘み装置] 最大把持外径(開口幅) 0.7m級																																																																																								
	K3	—																																																																																								
労務	R1	運転手(特殊)																																																																																								
	R2	土木一般世話役																																																																																								
	R3	—																																																																																								
	R4	—																																																																																								
材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																								
	Z2	—																																																																																								
	Z3	—																																																																																								
	Z4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)																																																																																								
	K2	バックホウ用アタッチメント [掘み装置] <u>最大把持外径(開口幅) 0.7m級</u> <u>開口幅 1,700~2,000mm 爪幅 400~750mm</u>																																																																																								
	K3	—																																																																																								
労務	R1	運転手(特殊)																																																																																								
	R2	土木一般世話役																																																																																								
	R3	—																																																																																								
	R4	—																																																																																								
材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																								
	Z2	—																																																																																								
	Z3	—																																																																																								
	Z4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3																																																																																							

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																															
	<p>3-4 集積積込み(機械施工)(伐木除根)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 集積積込み(機械施工)(伐木除根) 積算条件区分一覧 (積算単位: m2)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">除根作業の有無</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">有り</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">無し</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、伐木・伐竹・除根後の機械施工による集積、伐木、伐竹面積内の除草(下草刈)にかかわる集積、人力による補助作業、現場内小運搬(200m程度)、現場外搬出の積込み作業の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 対象面積は、「3-1 伐木・伐竹(伐木除根)」の伐木、伐竹面積と同面積とする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.6 集積積込み(機械施工)(伐木除根) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m³ (平積 0.35m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ用アタッチメント [掴み装置] 最大把持外径(開口幅) 0.7m 級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center;">6・④・5</p>	除根作業の有無	有り	無し	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)		K 2	バックホウ用アタッチメント [掴み装置] 最大把持外径(開口幅) 0.7m 級		K 3	—		労務	R 1	運転手(特殊)		R 2	土木一般世話役		R 3	普通作業員		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>現行どおり</p>	<p>代表機械の修正</p>
除根作業の有無																																																		
有り																																																		
無し																																																		
項目	代表機材規格		備考																																															
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)																																																
	K 2	バックホウ用アタッチメント [掴み装置] 最大把持外径(開口幅) 0.7m 級																																																
	K 3	—																																																
労務	R 1	運転手(特殊)																																																
	R 2	土木一般世話役																																																
	R 3	普通作業員																																																
	R 4	—																																																
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																
	Z 2	—																																																
	Z 3	—																																																
	Z 4	—																																																
市場単価	S	—																																																
積算上の注意事項			(控え頁) 2/3																																															

工 種	伐木除根工
-----	-------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																										
	<p>3-8 伐木・伐竹（複合） （1）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.17 伐木・伐竹（複合） 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>樹木・竹の区分</th> <th>樹木密度</th> <th>除根作業の有無</th> <th>集積積込み作業の区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">伐木(粗) (10本/100m²未満)</td> <td rowspan="2"></td> <td>有り</td> <td>機械施工</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>機械施工 人力施工</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">伐木(中) (10本/100m²以上 50本/100m²未満)</td> <td rowspan="2"></td> <td>有り</td> <td>機械施工</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>機械施工 人力施工</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">伐木(密) (50本/100m²以上)</td> <td rowspan="2"></td> <td>有り</td> <td>機械施工</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>機械施工 人力施工</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">伐竹</td> <td rowspan="2"></td> <td>有り</td> <td>機械施工</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>機械施工 人力施工</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は、伐木・伐竹、除草(下草刈)、伐木・伐竹を運搬可能な大きさに切断する作業、除根、除根後の整地、集積、集積時の人力による補助作業、集積時の現場内小運搬(人力施工の場合100m程度、機械施工の場合200m程度)、現場外搬出時の積込み作業の他、草刈機(肩掛式)、チェーンソーの運転経費、損耗費、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.18 伐木・伐竹（複合） 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m³ (平積 0.35m³)</td> <td>集積積込み作業が機械施工の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</td> <td>・除根作業が有りの場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3 バックホウ用アタッチメント [掴み装置] 最大把持外径(開口幅) 0.7m級</td> <td>集積積込み作業が機械施工の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>集積積込み作業が機械施工の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">表3.18 伐木・伐竹（複合） 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m³ (平積 0.35m³)</td> <td>集積積込み作業が機械施工の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</td> <td>・除根作業が有りの場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td style="border: 2px solid red;">K 3 バックホウ用アタッチメント [掴み装置] <u>最大把持外径(開口幅) 0.7m級</u> <u>開口幅 1,700~2,000mm 爪幅 400~750mm</u></td> <td style="border: 2px solid red;">集積積込み作業が機械施工の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>集積積込み作業が機械施工の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	樹木・竹の区分	樹木密度	除根作業の有無	集積積込み作業の区分	伐木(粗) (10本/100m ² 未満)		有り	機械施工	無し	機械施工 人力施工	伐木(中) (10本/100m ² 以上 50本/100m ² 未満)		有り	機械施工	無し	機械施工 人力施工	伐木(密) (50本/100m ² 以上)		有り	機械施工	無し	機械施工 人力施工	伐竹		有り	機械施工	無し	機械施工 人力施工	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	集積積込み作業が機械施工の場合	K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	・除根作業が有りの場合 ・賃料	K 3 バックホウ用アタッチメント [掴み装置] 最大把持外径(開口幅) 0.7m級	集積積込み作業が機械施工の場合	労務	R 1 特殊作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 運転手(特殊)		R 4 普通作業員		材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油	集積積込み作業が機械施工の場合	Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	集積積込み作業が機械施工の場合	K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	・除根作業が有りの場合 ・賃料	K 3 バックホウ用アタッチメント [掴み装置] <u>最大把持外径(開口幅) 0.7m級</u> <u>開口幅 1,700~2,000mm 爪幅 400~750mm</u>	集積積込み作業が機械施工の場合	労務	R 1 特殊作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 運転手(特殊)		R 4 普通作業員		材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油	集積積込み作業が機械施工の場合	Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>→</p>	<p>代表機械の修正</p>
樹木・竹の区分	樹木密度	除根作業の有無	集積積込み作業の区分																																																																																										
伐木(粗) (10本/100m ² 未満)		有り	機械施工																																																																																										
		無し	機械施工 人力施工																																																																																										
伐木(中) (10本/100m ² 以上 50本/100m ² 未満)		有り	機械施工																																																																																										
		無し	機械施工 人力施工																																																																																										
伐木(密) (50本/100m ² 以上)		有り	機械施工																																																																																										
		無し	機械施工 人力施工																																																																																										
伐竹		有り	機械施工																																																																																										
		無し	機械施工 人力施工																																																																																										
項目	代表機材規格	備考																																																																																											
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	集積積込み作業が機械施工の場合																																																																																											
	K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	・除根作業が有りの場合 ・賃料																																																																																											
	K 3 バックホウ用アタッチメント [掴み装置] 最大把持外径(開口幅) 0.7m級	集積積込み作業が機械施工の場合																																																																																											
労務	R 1 特殊作業員																																																																																												
	R 2 土木一般世話役																																																																																												
	R 3 運転手(特殊)																																																																																												
	R 4 普通作業員																																																																																												
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油	集積積込み作業が機械施工の場合																																																																																											
	Z 2 -																																																																																												
	Z 3 -																																																																																												
	Z 4 -																																																																																												
市場単価	S -																																																																																												
項目	代表機材規格	備考																																																																																											
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	集積積込み作業が機械施工の場合																																																																																											
	K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	・除根作業が有りの場合 ・賃料																																																																																											
	K 3 バックホウ用アタッチメント [掴み装置] <u>最大把持外径(開口幅) 0.7m級</u> <u>開口幅 1,700~2,000mm 爪幅 400~750mm</u>	集積積込み作業が機械施工の場合																																																																																											
労務	R 1 特殊作業員																																																																																												
	R 2 土木一般世話役																																																																																												
	R 3 運転手(特殊)																																																																																												
	R 4 普通作業員																																																																																												
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油	集積積込み作業が機械施工の場合																																																																																											
	Z 2 -																																																																																												
	Z 3 -																																																																																												
	Z 4 -																																																																																												
市場単価	S -																																																																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 3/3																																																																																										

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	現 行	改 正	備 考
	<p>⑤ 塵芥処理工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川堤防、高水敷又は中州等の陸上部にある塵芥の収集・集積、現場外搬出に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 散在塵芥収集</p> <p>(1) 散在している塵芥（空き缶・木片等）を人力によりビニール袋等に拾い集める場合</p> <p>(2) 作業場所の草丈が、0.5m程度以下の場合</p> <p>(3) 塵芥量が1m³/1,000m²程度以下の場合</p> <p>(4) 散在塵芥収集により集積された塵芥を運搬する場合</p> <p>1-1-2 堆積塵芥収集（機械処理）</p> <p>(1) 塵芥量が1m³/1,000m²程度以上を機械により収集・集積する場合</p> <p>(2) 堆積塵芥収集により集積された塵芥を運搬する場合</p> <p>1-1-3 堆積塵芥収集（人力処理）</p> <p>(1) 塵芥量が1m³/1,000m²程度以上を人力により収集・集積する場合</p> <p>(2) 堆積塵芥収集により集積された塵芥を運搬する場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) 運搬距離が60kmを超える場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="font-size: small;">(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> </div> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">6・⑤・1</p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川堤防、高水敷又は中州等の陸上部にある塵芥の収集・集積、積込み、現場外搬出に適用する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="font-size: small;">(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> </div>	<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/8

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																									
現	行	改 正	備 考																																																									
<p>3. 施工パッケージ 3-1 散在塵芥収集 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.1 散在塵芥収集 積算条件区分一覧 (積算単位：m2)</caption> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>DID区間の有無</th> <th>運搬距離</th> <th>ダンプトラック持込み・貸与</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収集・集積のみ</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">収集・集積・運搬</td> <td style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">(表 3.2)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表 3.4)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">(表 3.3)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">運搬のみ</td> <td style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">(表 3.2)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">(表 3.3)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、散在塵芥の収集・集積、現場内小運搬(30m程度)、分別作業、運搬車への積込み、積込まれた塵芥の処分場までの運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。ただし、運搬のみの場合は、運搬車への積込みを別途計上する。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。 3. DID(人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 4. 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。 5. 集積物の処分費は、別途計上する。 6. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理にかかる費用を含む 7. タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。 8. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.2 運搬距離(1)</caption> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="14" style="text-align: center;">運搬距離</td><td style="text-align: center;">1.0km以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">2.0km以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3.0km以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4.5km以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">6.0km以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">7.5km以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">9.5km以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">12.0km以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">14.5km以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">17.5km以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">21.5km以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">26.5km以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">34.5km以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">46.0km以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">60.0km以下</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">6・⑤・2</p>		作業区分	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック持込み・貸与	収集・集積のみ	-	-	-	収集・集積・運搬	無し	(表 3.2)	(表 3.4)	有り	(表 3.3)	運搬のみ	無し	(表 3.2)	有り	(表 3.3)	積算条件	区分	運搬距離	1.0km以下	2.0km以下	3.0km以下	4.5km以下	6.0km以下	7.5km以下	9.5km以下	12.0km以下	14.5km以下	17.5km以下	21.5km以下	26.5km以下	34.5km以下	46.0km以下	60.0km以下	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.1 散在塵芥収集 積算条件区分一覧 (積算単位：m2)</caption> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>DID区間の有無</th> <th>運搬距離</th> <th>ダンプトラック持込み・貸与</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収集・集積・<u>積込み</u>のみ</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">収集・集積・<u>積込み</u>・運搬</td> <td style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">(表 3.2)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表 3.4)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">(表 3.3)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">運搬のみ</td> <td style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">(表 3.2)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">(表 3.3)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		作業区分	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック持込み・貸与	収集・集積・ <u>積込み</u> のみ	-	-	-	収集・集積・ <u>積込み</u> ・運搬	無し	(表 3.2)	(表 3.4)	有り	(表 3.3)	運搬のみ	無し	(表 3.2)	有り	(表 3.3)	<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
作業区分	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック持込み・貸与																																																									
収集・集積のみ	-	-	-																																																									
収集・集積・運搬	無し	(表 3.2)	(表 3.4)																																																									
	有り	(表 3.3)																																																										
運搬のみ	無し	(表 3.2)																																																										
	有り	(表 3.3)																																																										
積算条件	区分																																																											
運搬距離	1.0km以下																																																											
	2.0km以下																																																											
	3.0km以下																																																											
	4.5km以下																																																											
	6.0km以下																																																											
	7.5km以下																																																											
	9.5km以下																																																											
	12.0km以下																																																											
	14.5km以下																																																											
	17.5km以下																																																											
	21.5km以下																																																											
	26.5km以下																																																											
	34.5km以下																																																											
	46.0km以下																																																											
60.0km以下																																																												
作業区分	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック持込み・貸与																																																									
収集・集積・ <u>積込み</u> のみ	-	-	-																																																									
収集・集積・ <u>積込み</u> ・運搬	無し	(表 3.2)	(表 3.4)																																																									
	有り	(表 3.3)																																																										
運搬のみ	無し	(表 3.2)																																																										
	有り	(表 3.3)																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 2/8																																																									

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																											
現	行	改	正																																																																										
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">表3.3 運搬距離(2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16" style="text-align: center; vertical-align: middle;">運搬距離</td><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.0km 以下</td></tr> <tr><td>4.0km 以下</td></tr> <tr><td>5.0km 以下</td></tr> <tr><td>7.0km 以下</td></tr> <tr><td>8.5km 以下</td></tr> <tr><td>10.5km 以下</td></tr> <tr><td>13.0km 以下</td></tr> <tr><td>15.5km 以下</td></tr> <tr><td>18.0km 以下</td></tr> <tr><td>22.5km 以下</td></tr> <tr><td>25.5km 以下</td></tr> <tr><td>29.5km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">表3.4 ダンプトラック持込・貸与</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">ダンプトラック持込み・貸与</td> <td>持込</td> </tr> <tr> <td>貸与</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 散在塵芥収集 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K 1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級</td> <td>・運搬を含む場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1 運転手(一般)</td> <td>運搬を含む場合</td> </tr> <tr> <td>R 2 軽作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>運搬を含む場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">6・⑤・3</p>		積算条件	区分	運搬距離	1.0km 以下	2.0km 以下	3.0km 以下	4.0km 以下	5.0km 以下	7.0km 以下	8.5km 以下	10.5km 以下	13.0km 以下	15.5km 以下	18.0km 以下	22.5km 以下	25.5km 以下	29.5km 以下	60.0km 以下	積算条件	区分	ダンプトラック持込み・貸与	持込	貸与	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	・運搬を含む場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 運転手(一般)	運搬を含む場合	R 2 軽作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 -		材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油	運搬を含む場合	Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">表3.3 運搬距離(2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16" style="text-align: center; vertical-align: middle;">運搬距離</td><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.0km 以下</td></tr> <tr><td>4.0km 以下</td></tr> <tr><td>5.05.5km 以下</td></tr> <tr><td>7.0km 以下</td></tr> <tr><td>8.5km 以下</td></tr> <tr><td>10.5km 以下</td></tr> <tr><td>13.0km 以下</td></tr> <tr><td>15.5km 以下</td></tr> <tr><td>18.018.5km 以下</td></tr> <tr><td>22.5km 以下</td></tr> <tr><td>25.527.0km 以下</td></tr> <tr><td>29.533.0km 以下</td></tr> <tr><td>42.042km 以下</td></tr> <tr><td>49.549.5km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>現行どおり</p> </div>	積算条件	区分	運搬距離	1.0km 以下	2.0km 以下	3.0km 以下	4.0km 以下	5.0 5.5km 以下	7.0km 以下	8.5km 以下	10.5km 以下	13.0km 以下	15.5km 以下	18.0 18.5km 以下	22.5km 以下	25.5 27.0km 以下	29.5 33.0km 以下	42.0 42km 以下	49.5 49.5km 以下	60.0km 以下	<p style="text-align: center;">備考</p> <p style="text-align: center;">記載の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算条件	区分																																																																												
運搬距離	1.0km 以下																																																																												
	2.0km 以下																																																																												
	3.0km 以下																																																																												
	4.0km 以下																																																																												
	5.0km 以下																																																																												
	7.0km 以下																																																																												
	8.5km 以下																																																																												
	10.5km 以下																																																																												
	13.0km 以下																																																																												
	15.5km 以下																																																																												
	18.0km 以下																																																																												
	22.5km 以下																																																																												
	25.5km 以下																																																																												
	29.5km 以下																																																																												
	60.0km 以下																																																																												
	積算条件	区分																																																																											
ダンプトラック持込み・貸与	持込																																																																												
	貸与																																																																												
項目	代表機材規格	備考																																																																											
機械	K 1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	・運搬を含む場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																																											
	K 2 -																																																																												
	K 3 -																																																																												
労務	R 1 運転手(一般)	運搬を含む場合																																																																											
	R 2 軽作業員																																																																												
	R 3 土木一般世話役																																																																												
	R 4 -																																																																												
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油	運搬を含む場合																																																																											
	Z 2 -																																																																												
	Z 3 -																																																																												
	Z 4 -																																																																												
市場単価	S -																																																																												
積算条件	区分																																																																												
運搬距離	1.0km 以下																																																																												
	2.0km 以下																																																																												
	3.0km 以下																																																																												
	4.0km 以下																																																																												
	5.0 5.5km 以下																																																																												
	7.0km 以下																																																																												
	8.5km 以下																																																																												
	10.5km 以下																																																																												
	13.0km 以下																																																																												
	15.5km 以下																																																																												
	18.0 18.5km 以下																																																																												
	22.5km 以下																																																																												
	25.5 27.0km 以下																																																																												
	29.5 33.0km 以下																																																																												
	42.0 42km 以下																																																																												
	49.5 49.5km 以下																																																																												
60.0km 以下																																																																													
積算上の注意事項			(控え頁) 3/8																																																																										

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																			
現	行	改	正																																																																			
<p>3-2 堆積塵芥収集（機械処理） （1）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.6 堆積塵芥収集（機械処理）積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</caption> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>塵芥の種類</th> <th>DID区間の有無</th> <th>運搬距離</th> <th>ダンプトラック 持込・貸与</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収集・集積のみ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">収集・集積・運搬</td> <td rowspan="2">木片、空き缶、枯草等の かさ高物</td> <td>無し</td> <td>(表 3.7)</td> <td rowspan="8">(表 3.4)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表 3.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート塊等の重量 物</td> <td>無し</td> <td>(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表 3.10)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">運搬のみ</td> <td rowspan="2">木片、空き缶、枯草等の かさ高物</td> <td>無し</td> <td>(表 3.7)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表 3.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート塊等の重量 物</td> <td>無し</td> <td>(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表 3.10)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、堆積した塵芥の収集・集積、現場内小運搬（30m程度）、分別作業、運搬車への積込み、機械処理による堆積塵芥収集で積まれた塵芥の処分場までの運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。ただし、運搬のみの場合は、運搬車への積込みを別途計上する。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。 3. DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 4. 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。 5. 集積物の処分費は、別途計上とする。 6. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理にかかる費用を含む 7. タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。 8. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。</p>		作業区分	塵芥の種類	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック 持込・貸与	収集・集積のみ	-	-	-	-	収集・集積・運搬	木片、空き缶、枯草等の かさ高物	無し	(表 3.7)	(表 3.4)	有り	(表 3.8)	コンクリート塊等の重量 物	無し	(表 3.9)	有り	(表 3.10)	運搬のみ	木片、空き缶、枯草等の かさ高物	無し	(表 3.7)	有り	(表 3.8)	コンクリート塊等の重量 物	無し	(表 3.9)	有り	(表 3.10)	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.6 堆積塵芥収集（機械処理）積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</caption> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>塵芥の種類</th> <th>DID区間の有無</th> <th>運搬距離</th> <th>ダンプトラック 持込・貸与</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収集・集積・<u>積込み</u>のみ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">収集・集積・<u>積込み</u>・運搬</td> <td rowspan="2">木片、空き缶、枯草等の かさ高物<u>や軽量物</u></td> <td>無し</td> <td>(表 3.7)</td> <td rowspan="8">(表 3.4)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表 3.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート塊等の重量 物</td> <td>無し</td> <td>(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表 3.10)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">運搬のみ</td> <td rowspan="2">木片、空き缶、枯草等の かさ高物<u>や軽量物</u></td> <td>無し</td> <td>(表 3.7)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表 3.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート塊等の重量 物</td> <td>無し</td> <td>(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表 3.10)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		作業区分	塵芥の種類	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック 持込・貸与	収集・集積・ <u>積込み</u> のみ	-	-	-	-	収集・集積・ <u>積込み</u> ・運搬	木片、空き缶、枯草等の かさ高物 <u>や軽量物</u>	無し	(表 3.7)	(表 3.4)	有り	(表 3.8)	コンクリート塊等の重量 物	無し	(表 3.9)	有り	(表 3.10)	運搬のみ	木片、空き缶、枯草等の かさ高物 <u>や軽量物</u>	無し	(表 3.7)	有り	(表 3.8)	コンクリート塊等の重量 物	無し	(表 3.9)	有り	(表 3.10)	<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
作業区分	塵芥の種類	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック 持込・貸与																																																																		
収集・集積のみ	-	-	-	-																																																																		
収集・集積・運搬	木片、空き缶、枯草等の かさ高物	無し	(表 3.7)	(表 3.4)																																																																		
		有り	(表 3.8)																																																																			
	コンクリート塊等の重量 物	無し	(表 3.9)																																																																			
		有り	(表 3.10)																																																																			
運搬のみ	木片、空き缶、枯草等の かさ高物	無し	(表 3.7)																																																																			
		有り	(表 3.8)																																																																			
	コンクリート塊等の重量 物	無し	(表 3.9)																																																																			
		有り	(表 3.10)																																																																			
作業区分	塵芥の種類	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック 持込・貸与																																																																		
収集・集積・ <u>積込み</u> のみ	-	-	-	-																																																																		
収集・集積・ <u>積込み</u> ・運搬	木片、空き缶、枯草等の かさ高物 <u>や軽量物</u>	無し	(表 3.7)	(表 3.4)																																																																		
		有り	(表 3.8)																																																																			
	コンクリート塊等の重量 物	無し	(表 3.9)																																																																			
		有り	(表 3.10)																																																																			
運搬のみ	木片、空き缶、枯草等の かさ高物 <u>や軽量物</u>	無し	(表 3.7)																																																																			
		有り	(表 3.8)																																																																			
	コンクリート塊等の重量 物	無し	(表 3.9)																																																																			
		有り	(表 3.10)																																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 4/8																																																																			

改正理由	一部改正	改正 現行																								
現 行	改 正	備 考																								
<p style="text-align: center;">表3.7 運搬距離(1)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16" style="text-align: center;">運搬距離</td><td>0.5km 以下</td></tr> <tr><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.0km 以下</td></tr> <tr><td>4.0km 以下</td></tr> <tr><td>5.0km 以下</td></tr> <tr><td>6.5km 以下</td></tr> <tr><td>8.0km 以下</td></tr> <tr><td>9.5km 以下</td></tr> <tr><td>11.5km 以下</td></tr> <tr><td>13.5km 以下</td></tr> <tr><td>16.0km 以下</td></tr> <tr><td>19.0km 以下</td></tr> <tr><td>22.5km 以下</td></tr> <tr><td>27.5km 以下</td></tr> <tr><td>35.0km 以下</td></tr> <tr><td>46.0km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table>		積算条件	区分	運搬距離	0.5km 以下	1.0km 以下	2.0km 以下	3.0km 以下	4.0km 以下	5.0km 以下	6.5km 以下	8.0km 以下	9.5km 以下	11.5km 以下	13.5km 以下	16.0km 以下	19.0km 以下	22.5km 以下	27.5km 以下	35.0km 以下	46.0km 以下	60.0km 以下	<p>現行どおり</p>			
積算条件	区分																									
運搬距離	0.5km 以下																									
	1.0km 以下																									
	2.0km 以下																									
	3.0km 以下																									
	4.0km 以下																									
	5.0km 以下																									
	6.5km 以下																									
	8.0km 以下																									
	9.5km 以下																									
	11.5km 以下																									
	13.5km 以下																									
	16.0km 以下																									
	19.0km 以下																									
	22.5km 以下																									
	27.5km 以下																									
	35.0km 以下																									
46.0km 以下																										
60.0km 以下																										
<p style="text-align: center;">表3.8 運搬距離(2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border: 2px solid red;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16" style="text-align: center;">運搬距離</td><td>0.5km 以下</td></tr> <tr><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.0km 以下</td></tr> <tr><td>4.0km 以下</td></tr> <tr><td>5.0km 以下</td></tr> <tr><td>6.0km 以下</td></tr> <tr><td>7.5km 以下</td></tr> <tr><td>8.5km 以下</td></tr> <tr><td>10.5km 以下</td></tr> <tr><td>12.0km 以下</td></tr> <tr><td>14.5km 以下</td></tr> <tr><td>16.5km 以下</td></tr> <tr><td>19.0km 以下</td></tr> <tr><td>23.0km 以下</td></tr> <tr><td>27.0km 以下</td></tr> <tr><td>29.5km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table>		積算条件	区分	運搬距離	0.5km 以下	1.0km 以下	2.0km 以下	3.0km 以下	4.0km 以下	5.0km 以下	6.0km 以下	7.5km 以下	8.5km 以下	10.5km 以下	12.0km 以下	14.5km 以下	16.5km 以下	19.0km 以下	23.0km 以下	27.0km 以下	29.5km 以下	60.0km 以下				
積算条件	区分																									
運搬距離	0.5km 以下																									
	1.0km 以下																									
	2.0km 以下																									
	3.0km 以下																									
	4.0km 以下																									
	5.0km 以下																									
	6.0km 以下																									
	7.5km 以下																									
	8.5km 以下																									
	10.5km 以下																									
	12.0km 以下																									
	14.5km 以下																									
	16.5km 以下																									
	19.0km 以下																									
	23.0km 以下																									
	27.0km 以下																									
29.5km 以下																										
60.0km 以下																										
<p style="text-align: center;">表3.8 運搬距離(2)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16" style="text-align: center;">運搬距離</td><td>0.5km 以下</td></tr> <tr><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.0km 以下</td></tr> <tr><td>4.0km 以下</td></tr> <tr><td>5.0km 以下</td></tr> <tr><td>6.0km 以下</td></tr> <tr><td>7.5km 以下</td></tr> <tr><td style="color: red;">8-59.0km 以下</td></tr> <tr><td>10.5km 以下</td></tr> <tr><td style="color: red;">12-12.5km 以下</td></tr> <tr><td>14.5km 以下</td></tr> <tr><td>16.5km 以下</td></tr> <tr><td style="color: red;">17-19.5km 以下</td></tr> <tr><td>23.0km 以下</td></tr> <tr><td>27.0km 以下</td></tr> <tr><td style="color: red;">29-32.0km 以下</td></tr> <tr><td style="color: red;">33.0km 以下</td></tr> <tr><td style="color: red;">53.0km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table>		積算条件	区分	運搬距離	0.5km 以下	1.0km 以下	2.0km 以下	3.0km 以下	4.0km 以下	5.0km 以下	6.0km 以下	7.5km 以下	8-59.0km 以下	10.5km 以下	12-12.5km 以下	14.5km 以下	16.5km 以下	17-19.5km 以下	23.0km 以下	27.0km 以下	29-32.0km 以下	33.0km 以下	53.0km 以下	60.0km 以下	<p>記載の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p>	
積算条件	区分																									
運搬距離	0.5km 以下																									
	1.0km 以下																									
	2.0km 以下																									
	3.0km 以下																									
	4.0km 以下																									
	5.0km 以下																									
	6.0km 以下																									
	7.5km 以下																									
	8-59.0km 以下																									
	10.5km 以下																									
	12-12.5km 以下																									
	14.5km 以下																									
	16.5km 以下																									
	17-19.5km 以下																									
	23.0km 以下																									
	27.0km 以下																									
29-32.0km 以下																										
33.0km 以下																										
53.0km 以下																										
60.0km 以下																										
積算上の注意事項	6・⑤・5																									
			(控え頁) 5/8																							

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																
現	行	改	正																																																																																															
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">表3.9 運搬距離(3)</th> </tr> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> <tr><td rowspan="16" style="text-align: center;">運搬距離</td><td>0.5km 以下</td></tr> <tr><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.0km 以下</td></tr> <tr><td>4.0km 以下</td></tr> <tr><td>5.0km 以下</td></tr> <tr><td>6.0km 以下</td></tr> <tr><td>7.5km 以下</td></tr> <tr><td>9.0km 以下</td></tr> <tr><td>11.0km 以下</td></tr> <tr><td>13.0km 以下</td></tr> <tr><td>15.5km 以下</td></tr> <tr><td>18.5km 以下</td></tr> <tr><td>22.0km 以下</td></tr> <tr><td>26.5km 以下</td></tr> <tr><td>33.0km 以下</td></tr> <tr><td>46.0km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">表 3.10 運搬距離(4)</th> </tr> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> <tr><td rowspan="16" style="text-align: center;">運搬距離</td><td>0.5km 以下</td></tr> <tr><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.0km 以下</td></tr> <tr><td>4.0km 以下</td></tr> <tr><td>5.0km 以下</td></tr> <tr><td>6.0km 以下</td></tr> <tr><td>7.0km 以下</td></tr> <tr><td>8.5km 以下</td></tr> <tr><td>10.5km 以下</td></tr> <tr><td>12.0km 以下</td></tr> <tr><td>14.0km 以下</td></tr> <tr><td>17.0km 以下</td></tr> <tr><td>19.5km 以下</td></tr> <tr><td>22.5km 以下</td></tr> <tr><td>26.5km 以下</td></tr> <tr><td>29.5km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </table>		表3.9 運搬距離(3)		積算条件	区分	運搬距離	0.5km 以下	1.0km 以下	2.0km 以下	3.0km 以下	4.0km 以下	5.0km 以下	6.0km 以下	7.5km 以下	9.0km 以下	11.0km 以下	13.0km 以下	15.5km 以下	18.5km 以下	22.0km 以下	26.5km 以下	33.0km 以下	46.0km 以下	60.0km 以下	表 3.10 運搬距離(4)		積算条件	区分	運搬距離	0.5km 以下	1.0km 以下	2.0km 以下	3.0km 以下	4.0km 以下	5.0km 以下	6.0km 以下	7.0km 以下	8.5km 以下	10.5km 以下	12.0km 以下	14.0km 以下	17.0km 以下	19.5km 以下	22.5km 以下	26.5km 以下	29.5km 以下	60.0km 以下	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">表3.9 運搬距離(3)</th> </tr> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> <tr><td rowspan="16" style="text-align: center;">運搬距離</td><td>0.5km 以下</td></tr> <tr><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.0km 以下</td></tr> <tr><td>4.0km 以下</td></tr> <tr><td>5.05.5km 以下</td></tr> <tr><td>6.07.0km 以下</td></tr> <tr><td>7.58.5km 以下</td></tr> <tr><td>9.010.0km 以下</td></tr> <tr><td>11.012.0km 以下</td></tr> <tr><td>13.014.0km 以下</td></tr> <tr><td>15.516.5km 以下</td></tr> <tr><td>18.519.5km 以下</td></tr> <tr><td>22.023.0km 以下</td></tr> <tr><td>26.527.5km 以下</td></tr> <tr><td>33.034.5km 以下</td></tr> <tr><td>46.0km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">表 3.10 運搬距離(4)</th> </tr> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> <tr><td rowspan="16" style="text-align: center;">運搬距離</td><td>0.5km 以下</td></tr> <tr><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.0km 以下</td></tr> <tr><td>4.0km 以下</td></tr> <tr><td>5.0km 以下</td></tr> <tr><td>6.06.5km 以下</td></tr> <tr><td>7.08.0km 以下</td></tr> <tr><td>8.59.5km 以下</td></tr> <tr><td>10.511.0km 以下</td></tr> <tr><td>12.013.0km 以下</td></tr> <tr><td>14.015.0km 以下</td></tr> <tr><td>17.017.5km 以下</td></tr> <tr><td>19.520.0km 以下</td></tr> <tr><td>22.523.0km 以下</td></tr> <tr><td>26.527.0km 以下</td></tr> <tr><td>29.532.0km 以下</td></tr> <tr><td>39.0km 以下</td></tr> <tr><td>53.0km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </table>		表3.9 運搬距離(3)		積算条件	区分	運搬距離	0.5km 以下	1.0km 以下	2.0km 以下	3.0km 以下	4.0km 以下	5.0 5.5km 以下	6.0 7.0km 以下	7.5 8.5km 以下	9.0 10.0km 以下	11.0 12.0km 以下	13.0 14.0km 以下	15.5 16.5km 以下	18.5 19.5km 以下	22.0 23.0km 以下	26.5 27.5km 以下	33.0 34.5km 以下	46.0km 以下	60.0km 以下	表 3.10 運搬距離(4)		積算条件	区分	運搬距離	0.5km 以下	1.0km 以下	2.0km 以下	3.0km 以下	4.0km 以下	5.0km 以下	6.0 6.5km 以下	7.0 8.0km 以下	8.5 9.5km 以下	10.5 11.0km 以下	12.0 13.0km 以下	14.0 15.0km 以下	17.0 17.5km 以下	19.5 20.0km 以下	22.5 23.0km 以下	26.5 27.0km 以下	29.5 32.0km 以下	39.0 km 以下	53.0 km 以下	60.0km 以下	備考
表3.9 運搬距離(3)																																																																																																		
積算条件	区分																																																																																																	
運搬距離	0.5km 以下																																																																																																	
	1.0km 以下																																																																																																	
	2.0km 以下																																																																																																	
	3.0km 以下																																																																																																	
	4.0km 以下																																																																																																	
	5.0km 以下																																																																																																	
	6.0km 以下																																																																																																	
	7.5km 以下																																																																																																	
	9.0km 以下																																																																																																	
	11.0km 以下																																																																																																	
	13.0km 以下																																																																																																	
	15.5km 以下																																																																																																	
	18.5km 以下																																																																																																	
	22.0km 以下																																																																																																	
	26.5km 以下																																																																																																	
	33.0km 以下																																																																																																	
46.0km 以下																																																																																																		
60.0km 以下																																																																																																		
表 3.10 運搬距離(4)																																																																																																		
積算条件	区分																																																																																																	
運搬距離	0.5km 以下																																																																																																	
	1.0km 以下																																																																																																	
	2.0km 以下																																																																																																	
	3.0km 以下																																																																																																	
	4.0km 以下																																																																																																	
	5.0km 以下																																																																																																	
	6.0km 以下																																																																																																	
	7.0km 以下																																																																																																	
	8.5km 以下																																																																																																	
	10.5km 以下																																																																																																	
	12.0km 以下																																																																																																	
	14.0km 以下																																																																																																	
	17.0km 以下																																																																																																	
	19.5km 以下																																																																																																	
	22.5km 以下																																																																																																	
	26.5km 以下																																																																																																	
29.5km 以下																																																																																																		
60.0km 以下																																																																																																		
表3.9 運搬距離(3)																																																																																																		
積算条件	区分																																																																																																	
運搬距離	0.5km 以下																																																																																																	
	1.0km 以下																																																																																																	
	2.0km 以下																																																																																																	
	3.0km 以下																																																																																																	
	4.0km 以下																																																																																																	
	5.0 5.5km 以下																																																																																																	
	6.0 7.0km 以下																																																																																																	
	7.5 8.5km 以下																																																																																																	
	9.0 10.0km 以下																																																																																																	
	11.0 12.0km 以下																																																																																																	
	13.0 14.0km 以下																																																																																																	
	15.5 16.5km 以下																																																																																																	
	18.5 19.5km 以下																																																																																																	
	22.0 23.0km 以下																																																																																																	
	26.5 27.5km 以下																																																																																																	
	33.0 34.5km 以下																																																																																																	
46.0km 以下																																																																																																		
60.0km 以下																																																																																																		
表 3.10 運搬距離(4)																																																																																																		
積算条件	区分																																																																																																	
運搬距離	0.5km 以下																																																																																																	
	1.0km 以下																																																																																																	
	2.0km 以下																																																																																																	
	3.0km 以下																																																																																																	
	4.0km 以下																																																																																																	
	5.0km 以下																																																																																																	
	6.0 6.5km 以下																																																																																																	
	7.0 8.0km 以下																																																																																																	
	8.5 9.5km 以下																																																																																																	
	10.5 11.0km 以下																																																																																																	
	12.0 13.0km 以下																																																																																																	
	14.0 15.0km 以下																																																																																																	
	17.0 17.5km 以下																																																																																																	
	19.5 20.0km 以下																																																																																																	
	22.5 23.0km 以下																																																																																																	
	26.5 27.0km 以下																																																																																																	
29.5 32.0km 以下																																																																																																		
39.0 km 以下																																																																																																		
53.0 km 以下																																																																																																		
60.0km 以下																																																																																																		
6・⑤・6		記載の修正 (歩掛り改定に伴う)	記載の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)																																																																																															
積算上の注意事項			(控え頁) 6/8																																																																																															

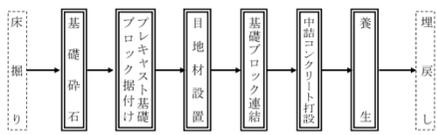
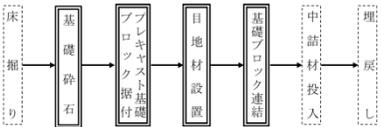
改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																									
現	行	改 正	備 考																																																																																									
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.11 堆積塵芥収集(機械処理) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.28m³(平積0.20m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>ダンプトラック【オンロード・ディーゼル】2t 積級</td> <td>・運搬を含む場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>運転手(一般)</td> <td>運搬を含む場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.28m ³ (平積0.20m ³)		K 2	ダンプトラック【オンロード・ディーゼル】2t 積級	・運搬を含む場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K 3	—		労務	R 1	運転手(特殊)		R 2	運転手(一般)	運搬を含む場合	R 3	普通作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	軽油1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.11 堆積塵芥収集(機械処理) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.2800.45m³(平積0.2000.35m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ用アタッチメント【掴み装置】<u>最大把持外径(開口幅)0.7m-強</u> <u>開口幅1.700~2.000mm 爪幅400~750mm</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td><u>ダンプトラック【オンロード・ディーゼル】1t 積級</u> ダンプトラック【オンロード・ディーゼル】2t 積級</td> <td>・運搬を含む場合 ・塵芥の種類が木片、空き缶、枯草等のかさ高物や軽量物の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>運転手(一般)</td> <td>運搬を含む場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積 0.280 0.45m ³ (平積 0.200 0.35m ³)		K 2	バックホウ用アタッチメント【掴み装置】 <u>最大把持外径(開口幅)0.7m-強</u> <u>開口幅1.700~2.000mm 爪幅400~750mm</u>		K 3	<u>ダンプトラック【オンロード・ディーゼル】1t 積級</u> ダンプトラック【オンロード・ディーゼル】2t 積級	・運搬を含む場合 ・塵芥の種類が木片、空き缶、枯草等のかさ高物や軽量物の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	労務	R 1	運転手(特殊)		R 2	運転手(一般)	運搬を含む場合	R 3	普通作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	軽油1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>代表機械の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積0.28m ³ (平積0.20m ³)																																																																																										
	K 2	ダンプトラック【オンロード・ディーゼル】2t 積級	・運搬を含む場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																																																									
	K 3	—																																																																																										
労務	R 1	運転手(特殊)																																																																																										
	R 2	運転手(一般)	運搬を含む場合																																																																																									
	R 3	普通作業員																																																																																										
	R 4	土木一般世話役																																																																																										
材料	Z 1	軽油1.2号 バトロール給油																																																																																										
	Z 2	—																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】山積 0.280 0.45m ³ (平積 0.200 0.35m ³)																																																																																										
	K 2	バックホウ用アタッチメント【掴み装置】 <u>最大把持外径(開口幅)0.7m-強</u> <u>開口幅1.700~2.000mm 爪幅400~750mm</u>																																																																																										
	K 3	<u>ダンプトラック【オンロード・ディーゼル】1t 積級</u> ダンプトラック【オンロード・ディーゼル】2t 積級	・運搬を含む場合 ・塵芥の種類が木片、空き缶、枯草等のかさ高物や軽量物の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																																																									
労務	R 1	運転手(特殊)																																																																																										
	R 2	運転手(一般)	運搬を含む場合																																																																																									
	R 3	普通作業員																																																																																										
	R 4	土木一般世話役																																																																																										
材料	Z 1	軽油1.2号 バトロール給油																																																																																										
	Z 2	—																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
<p>3-3 堆積塵芥収集(人力処理)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.12 堆積塵芥収集(人力処理) 積算条件区分一覧</p> <p style="text-align: right;">(積算単位:m³)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>塵芥の種類</th> <th>DID区間の有無</th> <th>運搬距離</th> <th>ダンプトラック持込・貸与</th> <th rowspan="2">(表3.4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収集・集積のみ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">収集・集積・運搬</td> <td>木片、空き缶、枯草等のかさ高物</td> <td>無し</td> <td>有り</td> <td>(表3.7)</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート塊等の重量物</td> <td>無し</td> <td>無し</td> <td>(表3.8)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>有り</td> <td>(表3.9)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">運搬のみ</td> <td>木片、空き缶、枯草等のかさ高物</td> <td>無し</td> <td>有り</td> <td>(表3.10)</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート塊等の重量物</td> <td>無し</td> <td>無し</td> <td>(表3.7)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>有り</td> <td>(表3.8)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>無し</td> <td>有り</td> <td>(表3.9)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>有り</td> <td>有り</td> <td>(表3.10)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、堆積した塵芥の収集・集積、現場内小運搬(30m程度)、分別作業、運搬車への積込み、人力処理による堆積塵芥収集で積込まれた塵芥の処分場までの運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。ただし、運搬のみの場合は、運搬車への積込みを別途計上する。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。 3. DID(人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 4. 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。 5. 集積物の処分費は、別途計上とする。 6. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理にかかる費用を含む 7. タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。 8. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。</p>		作業区分	塵芥の種類	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック持込・貸与	(表3.4)	収集・集積のみ	—	—	—	—		収集・集積・運搬	木片、空き缶、枯草等のかさ高物	無し	有り	(表3.7)		コンクリート塊等の重量物	無し	無し	(表3.8)	有り	有り	(表3.9)	運搬のみ	木片、空き缶、枯草等のかさ高物	無し	有り	(表3.10)		コンクリート塊等の重量物	無し	無し	(表3.7)	有り	有り	(表3.8)			無し	有り	(表3.9)				有り	有り	(表3.10)																																										
作業区分	塵芥の種類	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック持込・貸与	(表3.4)																																																																																							
収集・集積のみ	—	—	—	—																																																																																								
収集・集積・運搬	木片、空き缶、枯草等のかさ高物	無し	有り	(表3.7)																																																																																								
	コンクリート塊等の重量物	無し	無し	(表3.8)																																																																																								
		有り	有り	(表3.9)																																																																																								
運搬のみ	木片、空き缶、枯草等のかさ高物	無し	有り	(表3.10)																																																																																								
	コンクリート塊等の重量物	無し	無し	(表3.7)																																																																																								
		有り	有り	(表3.8)																																																																																								
		無し	有り	(表3.9)																																																																																								
		有り	有り	(表3.10)																																																																																								
積算上の注意事項			(控え頁) 7/8																																																																																									

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																												
現 行	改 正																																																																														
<p style="text-align: center;">前頁より移動</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.13 堆積塵芥収集(人力処理) 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級</td> <td>・運搬を含む場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手(一般)</td> <td>運搬を含む場合</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>軽作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>運搬を含む場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">6・⑤・8</p>	項目	代表機労材規格		備考	機械	K 1	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	・運搬を含む場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	運転手(一般)	運搬を含む場合	R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	軽作業員		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油	運搬を含む場合	Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>3-3 堆積塵芥収集(人力処理) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.12 堆積塵芥収集(人力処理) 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>塵芥の種類</th> <th>DID区間の有無</th> <th>運搬距離</th> <th>ダンプトラック 持込・貸与</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収集・集積・<u>積込み</u>のみ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">収集・集積・<u>積込み</u>・運搬</td> <td rowspan="2">木片、空き缶、枯草等の かさ高物 <u>軽量物</u></td> <td>無し</td> <td>(表 3.7)</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">(表 3.4)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表 3.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート塊等の重量物</td> <td>無し</td> <td>(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表 3.10)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">運搬のみ</td> <td rowspan="2">木片、空き缶、枯草等の かさ高物 <u>軽量物</u></td> <td>無し</td> <td>(表 3.7)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表 3.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート塊等の重量物</td> <td>無し</td> <td>(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表 3.10)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、堆積した塵芥の収集・集積、現場内小運搬(30m程度)、分別作業、運搬車への積込み、人力処理による堆積塵芥収集で積込まれた塵芥の処分場までの運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。ただし、運搬のみの場合は、運搬車への積込みを別途計上する。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。 3. DID(人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 4. 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。 5. 集積物の処分費は、別途計上とする。 6. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理にかかる費用を含む 7. タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。 8. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	作業区分	塵芥の種類	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック 持込・貸与	収集・集積・ <u>積込み</u> のみ	—	—	—	—	収集・集積・ <u>積込み</u> ・運搬	木片、空き缶、枯草等の かさ高物 <u>軽量物</u>	無し	(表 3.7)	(表 3.4)	有り	(表 3.8)	コンクリート塊等の重量物	無し	(表 3.9)	有り	(表 3.10)	運搬のみ	木片、空き缶、枯草等の かさ高物 <u>軽量物</u>	無し	(表 3.7)	有り	(表 3.8)	コンクリート塊等の重量物	無し	(表 3.9)	有り	(表 3.10)	<p style="text-align: center;">記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機労材規格		備考																																																																												
機械	K 1	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	・運搬を含む場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																																												
	K 2	—																																																																													
	K 3	—																																																																													
労務	R 1	運転手(一般)	運搬を含む場合																																																																												
	R 2	普通作業員																																																																													
	R 3	土木一般世話役																																																																													
	R 4	軽作業員																																																																													
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油	運搬を含む場合																																																																												
	Z 2	—																																																																													
	Z 3	—																																																																													
	Z 4	—																																																																													
市場単価	S	—																																																																													
作業区分	塵芥の種類	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック 持込・貸与																																																																											
収集・集積・ <u>積込み</u> のみ	—	—	—	—																																																																											
収集・集積・ <u>積込み</u> ・運搬	木片、空き缶、枯草等の かさ高物 <u>軽量物</u>	無し	(表 3.7)	(表 3.4)																																																																											
		有り	(表 3.8)																																																																												
	コンクリート塊等の重量物	無し	(表 3.9)																																																																												
		有り	(表 3.10)																																																																												
運搬のみ	木片、空き缶、枯草等の かさ高物 <u>軽量物</u>	無し	(表 3.7)																																																																												
		有り	(表 3.8)																																																																												
	コンクリート塊等の重量物	無し	(表 3.9)																																																																												
		有り	(表 3.10)																																																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 8/8																																																																												

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																											
	<p>3-2 軟弱土等運搬 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.2 軟弱土等運搬 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>DID 区間の有無</th> <th>運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="12">無し</td><td>0.3km以下</td></tr> <tr><td>0.8km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>6.5km以下</td></tr> <tr><td>9.0km以下</td></tr> <tr><td>13.0km以下</td></tr> <tr><td>19.5km以下</td></tr> <tr><td>40.0km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> <tr><td rowspan="12">有り</td><td>0.3km以下</td></tr> <tr><td>0.8km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>4.5km以下</td></tr> <tr><td>8.5km以下</td></tr> <tr><td>12.0km以下</td></tr> <tr><td>17.5km以下</td></tr> <tr><td>30.0km以下</td></tr> <tr><td>50.0km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去した後の運搬作業及び道路、河川工事におけるほぐした土の運搬作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは平均値とする。 3. DID (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 4. 現場条件により表3. 3で想定する機械により難い場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.3 軟弱土等運搬 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 運転手(一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>6・⑦・2</p>	DID 区間の有無	運搬距離	無し	0.3km以下	0.8km以下	1.5km以下	2.5km以下	3.5km以下	6.5km以下	9.0km以下	13.0km以下	19.5km以下	40.0km以下	60.0km以下	60.0km以下	有り	0.3km以下	0.8km以下	1.5km以下	2.5km以下	3.5km以下	4.5km以下	8.5km以下	12.0km以下	17.5km以下	30.0km以下	50.0km以下	60.0km以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 運転手(一般)		R 2 -		R 3 -		R 4 -		材料	Z 1 軽油 1.2号 バトルール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>現行どおり</p> <p>次頁へ移動</p> <p>2. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理にかかる費用を含む。 3. タイヤ損耗の「良好」「普通」「不良」にかかわらず適用出来る。 4. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは平均値とする。 5. DID (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 6. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。 7. 現場条件により表3. 3で想定する機械により難い場合は、別途考慮する。</p>	記載の追加
DID 区間の有無	運搬距離																																																													
無し	0.3km以下																																																													
	0.8km以下																																																													
	1.5km以下																																																													
	2.5km以下																																																													
	3.5km以下																																																													
	6.5km以下																																																													
	9.0km以下																																																													
	13.0km以下																																																													
	19.5km以下																																																													
	40.0km以下																																																													
	60.0km以下																																																													
	60.0km以下																																																													
有り	0.3km以下																																																													
	0.8km以下																																																													
	1.5km以下																																																													
	2.5km以下																																																													
	3.5km以下																																																													
	4.5km以下																																																													
	8.5km以下																																																													
	12.0km以下																																																													
	17.5km以下																																																													
	30.0km以下																																																													
	50.0km以下																																																													
	60.0km以下																																																													
項目	代表機材規格	備考																																																												
機械	K 1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																												
	K 2 -																																																													
	K 3 -																																																													
労務	R 1 運転手(一般)																																																													
	R 2 -																																																													
	R 3 -																																																													
	R 4 -																																																													
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトルール給油																																																													
	Z 2 -																																																													
	Z 3 -																																																													
	Z 4 -																																																													
市場単価	S -																																																													
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																																											

改正理由	一部改正		改正 現行																																													
現行	改正			備考																																												
	前頁から移動 →	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.3 軟弱土等運搬 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10 t 積載</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費 (良好)を含む</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手 (一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2 号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10 t 積載	タイヤ損耗費及び補修費 (良好)を含む	K 2	-		K 3	-		労務	R 1	運転手 (一般)		R 2	-		R 3	-		R 4	-		材料	Z 1	軽油 1.2 号 バトロール給油		Z 2	-		Z 3	-		Z 4	-		市場単価	S	-		
項目	代表機材規格		備考																																													
機械	K 1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10 t 積載	タイヤ損耗費及び補修費 (良好)を含む																																													
	K 2	-																																														
	K 3	-																																														
労務	R 1	運転手 (一般)																																														
	R 2	-																																														
	R 3	-																																														
	R 4	-																																														
材料	Z 1	軽油 1.2 号 バトロール給油																																														
	Z 2	-																																														
	Z 3	-																																														
	Z 4	-																																														
市場単価	S	-																																														
積算上の注意事項	6・⑦・3			(控え頁) 2/2																																												

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																										
現	行	改	正																																																																																									
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.11 巨石採取 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ用アタッチメント [掴み装置] 最大把持外径 1.0m 級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)		K 2	バックホウ用アタッチメント [掴み装置] 最大把持外径 1.0m 級		K 3	—		労務	R 1	運転手 (特殊)		R 2	土木一般世話役		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		→	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.11 巨石採取 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ用アタッチメント [掴み装置] <u>最大把持外径 1.0m 級</u> <u>開口幅 2,100～2,500mm 爪幅 450～1,000mm</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)		K 2	バックホウ用アタッチメント [掴み装置] <u>最大把持外径 1.0m 級</u> <u>開口幅 2,100～2,500mm 爪幅 450～1,000mm</u>		K 3	—		労務	R 1	運転手 (特殊)		R 2	土木一般世話役		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		代表機械の修正
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)																																																																																										
	K 2	バックホウ用アタッチメント [掴み装置] 最大把持外径 1.0m 級																																																																																										
	K 3	—																																																																																										
労務	R 1	運転手 (特殊)																																																																																										
	R 2	土木一般世話役																																																																																										
	R 3	—																																																																																										
	R 4	—																																																																																										
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																										
	Z 2	—																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)																																																																																										
	K 2	バックホウ用アタッチメント [掴み装置] <u>最大把持外径 1.0m 級</u> <u>開口幅 2,100～2,500mm 爪幅 450～1,000mm</u>																																																																																										
	K 3	—																																																																																										
労務	R 1	運転手 (特殊)																																																																																										
	R 2	土木一般世話役																																																																																										
	R 3	—																																																																																										
	R 4	—																																																																																										
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																										
	Z 2	—																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
3-7 巨石 (材料費) (1) 条件区分 巨石 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、m ² とする。																																																																																												
6・⑧・7																																																																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																									

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>⑩ 護岸基礎ブロック工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、護岸工のプレキャスト基礎ブロック（ブロック長2 m、3.3 m、4 m、5 m）の施工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 プレキャスト基礎</p> <p>(1) 中詰材の種類がコンクリートの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> - ブロック長が 2 m、3.3 m、5 m の場合 - ブロック下幅が 500mm 以上 1,100mm 以下の場合 <p>(2) 中詰材の種類がコンクリート以外又は無しの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> - ブロック長が 2 m、3.3 m、4 m、5 m の場合 - ブロック下幅が 400mm 以上 1,100mm 以下の場合 - 中詰材料にコンクリート以外のものを使用する場合 - 中詰作業を行わない場合（ただし、連結部分にだけ中詰作業を行うものは含む） <p>1-1-2 中詰コンクリート打設</p> <p>(1) 護岸基礎ブロック工における中詰（プレキャスト基礎）</p>	<p>現行どおり</p>	
	<p>2. 施工概要</p> <p>2-1 中詰材の種類（コンクリート） 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 目地材設置の有無にかかわらず適用出来る。 3. 一般養生、特殊養生にかかわらず適用出来る。</p> <p>2-2 中詰材の種類（コンクリート以外又は無し） 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">図2-2 施工フロー</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 目地材設置の有無にかかわらず適用出来る。 3. 一般養生、特殊養生にかかわらず適用出来る。 4. 中詰材は、必要に応じて許上する。</p> <p style="text-align: center;">6・⑩・1</p>		<p>次頁へ移動</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/5

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考
	前頁より移動 →	<p>2. 施 工 概 要</p> <p>2-1 中詰材の種類（コンクリート） 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 <u>2. 基礎砕石は、必要に応じて計上する。</u> <u>2.3. 目地材設置の有無にかかわらず適用出来る。</u> <u>2.4. 一般養生、特殊養生にかかわらず適用出来る。</u></p> <p>2-2 中詰材の種類（コンクリート以外又は無し） 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">図2-2 施工フロー</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 <u>2. 基礎砕石は、必要に応じて計上する。</u> <u>2.3. 目地材設置の有無にかかわらず適用出来る。</u> <u>2.4. 一般養生、特殊養生にかかわらず適用出来る。</u> <u>2.5. 中詰材は、必要に応じて計上する。</u></p> <p style="text-align: center;">6・⑩・2</p>	<p>記載の追加</p> <p>記載の追加</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 2/5

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																							
	<p>3. 施工パッケージ 3-1 プレキャスト基礎 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">表3.1 プレキャスト基礎 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>中詰材の種類</th> <th>ブロック製品長</th> <th>ブロック下幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">コンクリート</td> <td>2,000mm</td> <td rowspan="3">(表 3.2)</td> </tr> <tr> <td>3,300mm</td> </tr> <tr> <td>5,000mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">コンクリート以外 又は無し</td> <td>2,000mm</td> <td rowspan="4">(表 3.3)</td> </tr> <tr> <td>3,300mm</td> </tr> <tr> <td>4,000mm</td> </tr> <tr> <td>5,000mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、基礎材、プレキャスト基礎ブロック(据付け、連結、目地材)、中詰コンクリート打設、養生(中詰材の種類がコンクリートの場合)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、プレキャスト基礎(材料費)、中詰コンクリート(材料費)及び連結金具は含まない。 2. プレキャスト基礎ブロック、連結金具及び中詰コンクリートの材料費は別途計上する。</p> </div> <p style="text-align: center;">表3.2 ブロック下幅(中詰材の種類がコンクリートの場合)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">ブロック下幅</td> <td>500 mm以上 600 mm未満</td> </tr> <tr> <td>600 mm以上 700 mm未満</td> </tr> <tr> <td>700 mm以上 900 mm未満</td> </tr> <tr> <td>900 mm以上 1,100 mm未満</td> </tr> <tr> <td>1,100 mm</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3.3 ブロック下幅(中詰材の種類がコンクリート以外又は無しの場合)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">ブロック下幅</td> <td>400mm 以上 500mm 未満</td> </tr> <tr> <td>500 mm以上 600 mm未満</td> </tr> <tr> <td>600 mm以上 700 mm未満</td> </tr> <tr> <td>700 mm以上 900 mm未満</td> </tr> <tr> <td>900 mm以上 1,100 mm未満</td> </tr> <tr> <td>1,100 mm</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; width: 100px; height: 20px; margin-top: 10px;"></div> <p style="text-align: center;">6・⑩・2</p>	中詰材の種類	ブロック製品長	ブロック下幅	コンクリート	2,000mm	(表 3.2)	3,300mm	5,000mm	コンクリート以外 又は無し	2,000mm	(表 3.3)	3,300mm	4,000mm	5,000mm	積算条件	区 分	ブロック下幅	500 mm以上 600 mm未満	600 mm以上 700 mm未満	700 mm以上 900 mm未満	900 mm以上 1,100 mm未満	1,100 mm	積算条件	区 分	ブロック下幅	400mm 以上 500mm 未満	500 mm以上 600 mm未満	600 mm以上 700 mm未満	700 mm以上 900 mm未満	900 mm以上 1,100 mm未満	1,100 mm	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.1 プレキャスト基礎 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>中詰材の種類</th> <th>ブロック製品長</th> <th>ブロック下幅</th> <th>基礎碎石規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">コンクリート</td> <td>2,000mm</td> <td rowspan="3">(表 3.2)</td> <td rowspan="3" style="border: 2px solid red;">(表 3.4)</td> </tr> <tr> <td>3,300mm</td> </tr> <tr> <td>5,000mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">コンクリート以外 又は無し</td> <td>2,000mm</td> <td rowspan="4">(表 3.3)</td> <td rowspan="4" style="border: 2px solid red;">(表 3.4)</td> </tr> <tr> <td>3,300mm</td> </tr> <tr> <td>4,000mm</td> </tr> <tr> <td>5,000mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、基礎材、プレキャスト基礎ブロック(据付け、連結、目地材)、中詰コンクリート打設、養生(中詰材の種類がコンクリートの場合)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、プレキャスト基礎(材料費)、中詰コンクリート(材料費)及び連結金具は含まない。 2. プレキャスト基礎ブロック、連結金具及び中詰コンクリートの材料費は別途計上する。 <u>3. 基礎碎石の整均し厚は、20 cm以下を標準としており、これにより難しい場合は、基礎碎石規格は無しとし、「第II編第2章②基礎・裏込碎石工」より基礎碎石を別途計上する。</u></p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">表3.4 基礎碎石規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="border: 2px solid red;">基礎碎石規格</td> <td>クラッシュヤラン C-40</td> </tr> <tr> <td>再生クラッシュヤラン RC-40</td> </tr> <tr> <td>砕石(各種)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center;">6・⑩・3</p>	中詰材の種類	ブロック製品長	ブロック下幅	基礎碎石規格	コンクリート	2,000mm	(表 3.2)	(表 3.4)	3,300mm	5,000mm	コンクリート以外 又は無し	2,000mm	(表 3.3)	(表 3.4)	3,300mm	4,000mm	5,000mm	積算条件	区 分	基礎碎石規格	クラッシュヤラン C-40	再生クラッシュヤラン RC-40	砕石(各種)	無し	<p style="text-align: center;">記載の追加</p> <p style="text-align: center;">記載の追加</p> <p style="text-align: center;">記載の追加</p>
中詰材の種類	ブロック製品長	ブロック下幅																																																								
コンクリート	2,000mm	(表 3.2)																																																								
	3,300mm																																																									
	5,000mm																																																									
コンクリート以外 又は無し	2,000mm	(表 3.3)																																																								
	3,300mm																																																									
	4,000mm																																																									
	5,000mm																																																									
積算条件	区 分																																																									
ブロック下幅	500 mm以上 600 mm未満																																																									
	600 mm以上 700 mm未満																																																									
	700 mm以上 900 mm未満																																																									
	900 mm以上 1,100 mm未満																																																									
	1,100 mm																																																									
積算条件	区 分																																																									
ブロック下幅	400mm 以上 500mm 未満																																																									
	500 mm以上 600 mm未満																																																									
	600 mm以上 700 mm未満																																																									
	700 mm以上 900 mm未満																																																									
	900 mm以上 1,100 mm未満																																																									
1,100 mm																																																										
中詰材の種類	ブロック製品長	ブロック下幅	基礎碎石規格																																																							
コンクリート	2,000mm	(表 3.2)	(表 3.4)																																																							
	3,300mm																																																									
	5,000mm																																																									
コンクリート以外 又は無し	2,000mm	(表 3.3)	(表 3.4)																																																							
	3,300mm																																																									
	4,000mm																																																									
	5,000mm																																																									
積算条件	区 分																																																									
基礎碎石規格	クラッシュヤラン C-40																																																									
	再生クラッシュヤラン RC-40																																																									
	砕石(各種)																																																									
	無し																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 3/5																																																							

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																								
現	行	改	正																																																																																								
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 プレキャスト基礎 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料	K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)	賃料	K 3	—	—	労務	R 1	普通作業員	—	R 2	特殊作業員	—	R 3	土木一般世話役	—	R 4	運転手(特殊)	—	材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油	—	Z 2	—	—	Z 3	—	—	Z 4	—	—	市場単価	S	—	—	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.45 プレキャスト基礎 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値-2011年規制)]山積0.8m3(平積0.6m3)</td> <td>・賃料 ・基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油再生クラッシュヤラン RC-40</td> <td>基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料	K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値-2011年規制)]山積0.8m3(平積0.6m3)	・賃料 ・基礎砕石有りの場合	K 3	—	—	労務	R 1	普通作業員	—	R 2	特殊作業員	—	R 3	土木一般世話役	—	R 4	運転手(特殊)	基礎砕石有りの場合	材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油 再生クラッシュヤラン RC-40	基礎砕石有りの場合	Z 2	—軽油 1.2号 バトロール給油	基礎砕石有りの場合	Z 3	—	—	Z 4	—	—	市場単価	S	—	—	<p>記載の追加・修正</p> <p>記載の追加・修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料																																																																																								
	K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)	賃料																																																																																								
	K 3	—	—																																																																																								
労務	R 1	普通作業員	—																																																																																								
	R 2	特殊作業員	—																																																																																								
	R 3	土木一般世話役	—																																																																																								
	R 4	運転手(特殊)	—																																																																																								
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油	—																																																																																								
	Z 2	—	—																																																																																								
	Z 3	—	—																																																																																								
	Z 4	—	—																																																																																								
市場単価	S	—	—																																																																																								
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料																																																																																								
	K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値-2011年規制)]山積0.8m3(平積0.6m3)	・賃料 ・基礎砕石有りの場合																																																																																								
	K 3	—	—																																																																																								
労務	R 1	普通作業員	—																																																																																								
	R 2	特殊作業員	—																																																																																								
	R 3	土木一般世話役	—																																																																																								
	R 4	運転手(特殊)	基礎砕石有りの場合																																																																																								
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油 再生クラッシュヤラン RC-40	基礎砕石有りの場合																																																																																								
	Z 2	—軽油 1.2号 バトロール給油	基礎砕石有りの場合																																																																																								
	Z 3	—	—																																																																																								
	Z 4	—	—																																																																																								
市場単価	S	—	—																																																																																								
	<p>3-2 プレキャスト基礎(材料費)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 プレキャスト基礎(材料費) 積算条件区分一覧</p> <p style="text-align: center;">(積算単位: m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ブロック製品長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,000mm</td> </tr> <tr> <td>3,300mm</td> </tr> <tr> <td>4,000mm</td> </tr> <tr> <td>5,000mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は、プレキャスト基礎ブロック、連結金具及びコンクリート以外の中詰材の材料費を含む。</p>	ブロック製品長	2,000mm	3,300mm	4,000mm	5,000mm	<p>表3.56 プレキャスト基礎(材料費) 積算条件区分一覧</p> <p>表3.67 中詰コンクリート(材料費) 積算条件区分一覧</p>	<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>																																																																																		
ブロック製品長																																																																																											
2,000mm																																																																																											
3,300mm																																																																																											
4,000mm																																																																																											
5,000mm																																																																																											
	<p>3-3 中詰コンクリート(材料費)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 中詰コンクリート(材料費) 積算条件区分一覧</p> <p style="text-align: center;">(積算単位: m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(表3.8)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、プレキャスト基礎ブロックの中詰コンクリートに適用し、使用量はプレキャスト基礎ブロック1m当りの必要量を計上する。 2. レディーミクストコンクリートの使用量は、次式による。 使用量 (m³/m) = 設計量 (m³/m) × (1 + K) ……式3. 1 K: ロス率</p> <p style="text-align: center;">表3.7 ロス率(K)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料</th> <th>ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディーミクストコンクリート</td> <td>+0.05</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">6・⑩・3</p>	生コンクリート規格	(表3.8)	材 料	ロス率	レディーミクストコンクリート	+0.05	<p>表3.78 ロス率(K)</p>	<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>																																																																																	
生コンクリート規格																																																																																											
(表3.8)																																																																																											
材 料	ロス率																																																																																										
レディーミクストコンクリート	+0.05																																																																																										
	<p>積算上の注意事項</p>	<p>6・⑩・4</p>	<p>(控え頁)</p> <p>4/5</p>																																																																																								

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																	
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p style="text-align: center;">表3.8 生コンクリート規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">積算条件</th> <th colspan="3">区 分</th> </tr> <tr> <th>21-8-25 (20) (普通)</th> <th>24-8-40 (普通)</th> <th>24-8-40 (高炉)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">生コンクリート規格</td> <td>24-8-25(20) (普通)</td> <td>4.5-2.5-40 (普通)</td> <td>21-12-40 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>27-8-25 (20) (普通)</td> <td>21-8-25 (20) (高炉)</td> <td>40-8-25 (早強)</td> </tr> <tr> <td>30-8-25(20) (普通)</td> <td>24-8-25 (20) (高炉)</td> <td>21-8-25 (早強)</td> </tr> <tr> <td>40-8-25 (20) (普通)</td> <td>19.5-5-40 (高炉)</td> <td>24-8-25 (早強)</td> </tr> <tr> <td>18-8-40 (普通)</td> <td>19.5-8-40 (高炉)</td> <td>18-8-25 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>19.5-8-40 (普通)</td> <td>18-5-40 (高炉)</td> <td>21-5-80 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>21-8-40 (普通)</td> <td>21-5-40 (高炉)</td> <td>18-3-40 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>21-12-40(普通)</td> <td>18-8-40 (高炉)</td> <td>21-3-40 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>22.5-8-40 (普通)</td> <td>21-8-40 (高炉)</td> <td>(各種)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4 中詰コンクリート打設 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 中詰コンクリート打設 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(表3.8)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、中詰コンクリートクレーン車打設及び養生等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 養生は、養生材の被覆、散水養生、被覆養生程度とする。 3. レディーミクストコンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.05)</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 中詰コンクリート打設 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">6・⑩・4</p>	積算条件	区 分			21-8-25 (20) (普通)	24-8-40 (普通)	24-8-40 (高炉)	生コンクリート規格	24-8-25(20) (普通)	4.5-2.5-40 (普通)	21-12-40 (高炉)	27-8-25 (20) (普通)	21-8-25 (20) (高炉)	40-8-25 (早強)	30-8-25(20) (普通)	24-8-25 (20) (高炉)	21-8-25 (早強)	40-8-25 (20) (普通)	19.5-5-40 (高炉)	24-8-25 (早強)	18-8-40 (普通)	19.5-8-40 (高炉)	18-8-25 (高炉)	19.5-8-40 (普通)	18-5-40 (高炉)	21-5-80 (高炉)	21-8-40 (普通)	21-5-40 (高炉)	18-3-40 (高炉)	21-12-40(普通)	18-8-40 (高炉)	21-3-40 (高炉)	22.5-8-40 (普通)	21-8-40 (高炉)	(各種)	生コンクリート規格	(表3.8)	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">改 正</p> <p style="text-align: center;">現 行</p> <p style="text-align: center;">改 正</p> <p style="text-align: center;">表3.99 生コンクリート規格</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.910 中詰コンクリート打設 積算条件区分一覧</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.911 中詰コンクリート打設 代表機材規格一覧</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">6・⑩・5</p>	<p style="text-align: center;">備 考</p> <p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
積算条件	区 分																																																																																			
	21-8-25 (20) (普通)	24-8-40 (普通)	24-8-40 (高炉)																																																																																	
生コンクリート規格	24-8-25(20) (普通)	4.5-2.5-40 (普通)	21-12-40 (高炉)																																																																																	
	27-8-25 (20) (普通)	21-8-25 (20) (高炉)	40-8-25 (早強)																																																																																	
	30-8-25(20) (普通)	24-8-25 (20) (高炉)	21-8-25 (早強)																																																																																	
	40-8-25 (20) (普通)	19.5-5-40 (高炉)	24-8-25 (早強)																																																																																	
	18-8-40 (普通)	19.5-8-40 (高炉)	18-8-25 (高炉)																																																																																	
	19.5-8-40 (普通)	18-5-40 (高炉)	21-5-80 (高炉)																																																																																	
	21-8-40 (普通)	21-5-40 (高炉)	18-3-40 (高炉)																																																																																	
	21-12-40(普通)	18-8-40 (高炉)	21-3-40 (高炉)																																																																																	
	22.5-8-40 (普通)	21-8-40 (高炉)	(各種)																																																																																	
	生コンクリート規格																																																																																			
	(表3.8)																																																																																			
	項目	代表機材規格		備考																																																																																
機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊	賃料																																																																																	
	K 2	—																																																																																		
	K 3	—																																																																																		
労務	R 1	普通作業員																																																																																		
	R 2	特殊作業員																																																																																		
	R 3	土木一般世話役																																																																																		
	R 4	—																																																																																		
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																		
	Z 2	—																																																																																		
	Z 3	—																																																																																		
	Z 4	—																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 5/5																																																																																	

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
<p>⑩ 光ケーブル配管工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川堤防に布設する光ケーブル配管工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 掘削(光ケーブル配管) (1) 河川堤防に布設する光ケーブル配管工事の掘削(土の状態を問わない)を行う場合</p> <p>1-1-2 埋戻し締固め (1) 土質が、レキ質、砂・砂質土、粘性土の場合 (2) 保護砂の有無にかかわらず適用出来る</p> <p>1-1-3 配管設置(埋設部) (1) 設置条数(2~4条)の通常管(FEP管類、φ50~80程度)の埋設部における配管設置 (2) 合成樹脂多孔管(内管の設置条数2~4条、内管φ50~80程度)の埋設部における配管設置</p> <p>1-1-4 配管設置(露出部) (1) 設置条数(2~4条)の厚鋼電線管類(φ50~80程度)の露出部における配管設置 (2) 設置箇所が、橋梁添架部、橋梁横断部、堤防露出部、管渠部の場合</p> <p>1-1-5 ハンドホール (1) ハンドホール規格が、高さ1,500mm以下、質量2,500kg以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 配管設置(埋設部) (1) 露出部の配管 (2) 河川堤防における光ケーブル用以外の配管</p> <p>1-2-2 配管設置(露出部) (1) 埋設部の配管</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、次図を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 舗装版破砕積込は、「11章②舗装版破砕工」による。 3. 基礎砕石工は、「2章⑦基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石工」による。 4. 盛土法面整形は、「2章①法面整形工」による。 5. ダンプトラック運搬が必要な場合「1章②土工(土砂等運搬)」による。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 掘削(光ケーブル配管) (1) 条件区分 掘削(光ケーブル配管)の積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。 (注) 掘削(光ケーブル配管)は河川堤防での光ケーブルの設置における掘削、基面整正(床揃え又は敷砂)の他、基面整正作業時に必要な締固め機械の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p style="text-align: center;">6・⑩・1</p>		<p>現行どおり</p> <hr style="width: 100%;"/> <p>現行どおり</p>	<p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現 行	改 正	備 考	
7章. 砂 防			
① 土工			
1. 適用範囲			
本資料は、砂防工（本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸）の施工に適用する。			
1-1 適用出来る範囲			
<p>1-1-1 掘削（砂防）</p> <p>(1) 砂防工のうち、本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合</p> <p>(2) 土砂、岩塊・玉石、軟岩、硬岩、転石の掘削</p> <p>(3) 作業土工における床掘りの場合</p>		<p>1-1-1 掘削（砂防）</p> <p>(1) 砂防工のうち、本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合</p> <p>(2) 土砂、岩塊・玉石の掘削・積込、軟岩、硬岩、転石の掘削</p> <p>(3) 作業土工における床掘りの場合</p>	
<p>1-1-2 土砂等運搬（砂防）</p> <p>(1) 砂防工のうち、本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合</p> <p>(2) 運搬距離が片道7km以下の場合</p> <p>(3) 運搬路が砂利道、河床路等その他これに準ずる搬路が主で、舗装道路を含む場合は、舗装道路の走行距離が全体走行距離の半分に満たない場合</p>		<p>1-1-2 適用出来ない範囲（土木工事標準積算基準書等により別途計上するもの）</p> <p>1-2-1 掘削（砂防）</p> <p>(1) 軟岩、硬岩、転石において集積・積込又は集積・押土を含む場合</p> <p>(2) 硬岩Ⅱの掘削の場合</p> <p>(3) 砂防工のうち、河道掘削等の場合</p> <p>1-2-2 押土（ルーズ）（砂防）</p> <p>1-2-3 積込（ルーズ）（砂防）</p> <p>(1) 地山掘削した土砂等を、直接運搬車両等に投入する場合</p> <p>(2) 砂防工のうち、河道掘削等の場合</p>	
<p>1-1-3 積込（ルーズ）（砂防）</p> <p>(1) 砂防工のうち、本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合</p> <p>(2) 土取場（仮置場）から採取する場合の土砂等の積込みの場合</p> <p>(3) 作業土工で生じ、仮置きされた土砂等の積込みの場合</p> <p>(4) 掘削工、作業土工で生じた残土の仮置場での積込みの場合</p> <p>(5) 掘削工、作業土工において地山掘削後、一度ルーズな状態とした土砂等の積込みの場合</p> <p>(6) 締固めを伴わない埋戻作業の場合</p>		<p>1-2-2 土砂等運搬（砂防）</p> <p>(1) 小規模で土砂以外の場合</p> <p>1-2-3 積込（ルーズ）（砂防）</p> <p>(1) 地山掘削した土砂等を、直接運搬車両等に投入する場合</p> <p>(2) 砂防工のうち、河道掘削等の場合</p> <p>(3) 小規模で土砂以外の場合</p>	
<p>1-2 適用出来ない範囲（土木工事標準積算基準書等により別途計上するもの）</p> <p>1-2-1 掘削（砂防）</p> <p>(1) 軟岩、硬岩、転石において集積・積込又は集積・押土を含む場合</p> <p>(2) 硬岩Ⅱの掘削の場合</p> <p>(3) 砂防工のうち、河道掘削等の場合</p> <p>1-2-2 押土（ルーズ）（砂防）</p> <p>1-2-3 積込（ルーズ）（砂防）</p> <p>(1) 地山掘削した土砂等を、直接運搬車両等に投入する場合</p> <p>(2) 砂防工のうち、河道掘削等の場合</p>		<p>1-3 適用出来ない範囲（別途考慮するもの）</p> <p>1-3-1 土砂等運搬（砂防）</p> <p>(1) 自動車専用道路を利用する場合</p> <p>1-3-2 押土（ルーズ）（砂防）</p>	
<p>1-3 適用出来ない範囲（別途考慮するもの）</p> <p>1-3-1 土砂等運搬（砂防）</p> <p>(1) 自動車専用道路を利用する場合</p>		<p>1-3 適用出来ない範囲（別途考慮するもの）</p> <p>1-3-1 土砂等運搬（砂防）</p> <p>(1) 自動車専用道路を利用する場合</p>	
7・①・1			
積算上の注意事項		(控え頁)	
		1/6	

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

3. 施工パッケージ
 3-1 掘削(砂防)
 (1) 条件区分
 条件区分は、次表を標準とする。

表3.1 掘削(砂防) 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)

土質	施工数量	障害の有無	掘削範囲	火薬使用
土砂	3,000m3未満	無し	—	—
		有り	—	—
土砂	3,000m3以上	無し	—	—
		有り	—	—
岩塊・玉石	3,000m3未満	無し	—	—
		有り	—	—
岩塊・玉石	3,000m3以上	無し	—	—
		有り	—	—
軟岩	—	—	機械走行面より5m以内	—
			機械走行面より5m超	可 不可
硬岩	—	—	機械走行面より5m以内	—
			機械走行面より5m超	可 不可
転石	—	—	機械走行面より5m以内	—
			機械走行面より5m超	可 不可

(注) 1. 上表は、砂防工事における土砂及び岩塊・玉石の掘削・積込み・運搬、軟岩、硬岩及び転石の掘削等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、掘削と同時に進行する押土による運搬は含まない。
 2. 土量は、地山土量とする。
 3. 障害の有無
 ①無し: 作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合。なお標準内とは、作業範囲が機械走行面より上下に5m以内とする。
 ②有り: 作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合
 4. 掘削範囲
 ①機械走行面より5m以内: 作業範囲が機械走行面より上下に5m以内の場合は、機械による岩石掘削。
 ②機械走行面より5m超: 作業範囲が機械走行面より上下に5mを超える場合は、火薬又は人力による岩石掘削。
 5. 火薬使用は作業範囲が機械走行面より上下に5mを超える場合で、火薬が使用可能か否かにより区分する。
 6. 火薬の標準的な使用量は、含水爆薬とし、土質・岩分類毎に軟岩では1日当り4.5kg、硬岩では1日当り4.2kg、転石では1日当り1.5kgとし、これにより難い場合は別途計上する。
 7. 土砂の人力掘削については「1章②土工 3-1掘削の『現場制約あり』及び④床掘工 3-1床掘りの『現場制約あり』」を適用する。
 8. 機械による岩石掘削には、破砕片除去、法面整形を含まない。

7・①・5

現行どおり

表3.1 掘削(砂防) 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)

土質	施工数量	障害の有無	掘削範囲	火薬使用
土砂	3,000m3未満	無し	—	—
		有り	—	—
土砂	3,000m3以上	無し	—	—
		有り	—	—
岩塊・玉石	3,000m3未満	無し	—	—
		有り	—	—
岩塊・玉石	3,000m3以上	無し	—	—
		有り	—	—
軟岩	—	—	機械走行面より5m以内	—
			機械走行面より5m超	可 不可
硬岩	—	—	機械走行面より5m以内	—
			機械走行面より5m超	可 不可
転石	—	—	機械走行面より5m以内	—
			機械走行面より5m超	可 不可

(注) 1. 上表は、砂防工事における土砂及び岩塊・玉石の掘削・積込み・運搬、軟岩、硬岩及び転石の掘削等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、掘削と同時に進行する押土による運搬は含まない。
 2. 土量は、地山土量とする。
 3. 施工数量は「小規模」を除き、1工事当りの数量とする。
 4. 「小規模」は1箇所当りの施工数量が100m3未満または平均施工幅2m未満とする。なお、1箇所当りとは目的物(構造物・掘削等)1箇所当りのことであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を1箇所とする。
 5. 障害の有無
 ①無し: 作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合。なお標準内とは、作業範囲が機械走行面より上下に5m以内とする。
 ②有り: 作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合
 6. 掘削範囲
 ①機械走行面より5m以内: 作業範囲が機械走行面より上下に5m以内の場合は、機械による岩石掘削。
 ②機械走行面より5m超: 作業範囲が機械走行面より上下に5mを超える場合は、火薬又は人力による岩石掘削。
 7. 火薬使用は作業範囲が機械走行面より上下に5mを超える場合で、火薬が使用可能か否かにより区分する。
 8. 火薬の標準的な使用量は、含水爆薬とし、土質・岩分類毎に軟岩では1日当り4.5kg、硬岩では1日当り4.2kg、転石では1日当り1.5kgとし、これにより難い場合は別途計上する。

次頁へ移動

記載の追加
(歩掛り改定に伴う)

記載の追加・修正
(歩掛り改定に伴う)

積算上の注意事項		(控え頁) 2/6
----------	--	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

前頁から移動

~~7-9.~~ 土砂の人力掘削については「1章②土工 3-1掘削の『現場制約あり』及び④床掘工 3-1床掘りの『現場制約あり』」を適用する。
~~8-10.~~ 機械による岩石掘削には、破砕片除去、法面整形を含まない。

(2) 代表機材規格
 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.2 掘削(砂防) 代表機材規格一覧

土質	掘削範囲	項目	代表機材規格				
			項目	備考			
土砂 岩塊・ 玉石	-	機械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)	賃料		
			K2	-			
			K3	-			
		労務	R1	運転手(特殊)			
			R2	-			
			R3	-			
			R4	-			
		材料	Z1	軽油1.2号 バトロール給油			
			Z2	-			
			Z3	-			
			Z4	-			
		市場単価	S	-			
		軟岩 硬岩 転石	機械走行面 より5m以内	機械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)	
					K2	大型ブレーカ(ベアスマシン含まず)[油圧式]質量1,300kg級	
K3	-						
労務	R1			運転手(特殊)			
	R2			-			
	R3			-			
	R4			-			
材料	Z1			軽油1.2号 バトロール給油			
	Z2			-			
	Z3			-			
	Z4			-			
市場単価	S			-			
軟岩 硬岩 転石	機械走行面 より5m超			機械	K1	-	
					K2	-	
		K3	-				
		労務	R1	特殊作業員			
			R2	普通作業員			
			R3	土木一般世話役			
			R4	-	火薬使用不可の場合		
		材料	Z1	-	火薬使用不可の場合		
			Z2	-	火薬使用不可の場合		
			Z3	-	火薬使用不可の場合		
			Z4	-	火薬使用不可の場合		
		市場単価	S	-			

(2) 代表機材規格
 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.2 掘削(砂防) 代表機材規格一覧

土質	掘削範囲	項目	代表機材規格				
			項目	備考			
土砂 岩塊・ 玉石	-	機械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)	・賃料 ・小規模以外の場合		
			K2	-			
			K3	-			
		労務	R1	運転手(特殊)			
			R2	-			
			R3	-			
			R4	-			
		材料	Z1	軽油1.2号 バトロール給油			
			Z2	-			
			Z3	-			
			Z4	-			
		市場単価	S	-			
		軟岩 硬岩 転石	機械走行面 より5m以内	機械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)	
					K2	大型ブレーカ(ベアスマシン含まず)[油圧式]質量1,300kg級	
K3	-						
労務	R1			運転手(特殊)			
	R2			-			
	R3			-			
	R4			-			
材料	Z1			軽油1.2号 バトロール給油			
	Z2			-			
	Z3			-			
	Z4			-			
市場単価	S			-			
軟岩 硬岩 転石	機械走行面 より5m超			機械	K1	-	
					K2	-	
		K3	-				
		労務	R1	特殊作業員			
			R2	普通作業員			
			R3	土木一般世話役			
			R4	-	火薬使用不可の場合		
		材料	Z1	-	火薬使用不可の場合		
			Z2	-	火薬使用不可の場合		
			Z3	-	火薬使用不可の場合		
			Z4	-	火薬使用不可の場合		
		市場単価	S	-			

記載の追加
 (歩掛り改定に伴う)
 代表機械の追加
 (歩掛り改定に伴う)

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																
現 行		改 正																																																																
<p>3-2 土砂等運搬(砂防) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">表3.3 土砂等運搬(砂防) 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">運搬距離</th> <th style="width: 80%;">土質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2">0.5km以下</td><td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td></tr> <tr><td>軟岩</td></tr> <tr><td rowspan="2">1.0km以下</td><td>硬岩</td></tr> <tr><td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td></tr> <tr><td rowspan="2">1.5km以下</td><td>軟岩</td></tr> <tr><td>硬岩</td></tr> <tr><td rowspan="2">2.0km以下</td><td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td></tr> <tr><td>軟岩</td></tr> <tr><td rowspan="2">2.5km以下</td><td>硬岩</td></tr> <tr><td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td></tr> <tr><td rowspan="2">3.0km以下</td><td>軟岩</td></tr> <tr><td>硬岩</td></tr> <tr><td rowspan="2">4.0km以下</td><td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td></tr> <tr><td>軟岩</td></tr> <tr><td rowspan="2">5.0km以下</td><td>硬岩</td></tr> <tr><td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td></tr> <tr><td rowspan="2">6.0km以下</td><td>軟岩</td></tr> <tr><td>硬岩</td></tr> <tr><td rowspan="2">7.0km以下</td><td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td></tr> <tr><td>軟岩</td></tr> <tr><td></td><td>硬岩</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、砂防工事における土砂等の運搬の他、運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理にかかる費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。また、タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。 3. 運搬土量は地山の土量とする。</p> </div>		運搬距離	土質	0.5km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	軟岩	1.0km以下	硬岩	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	1.5km以下	軟岩	硬岩	2.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	軟岩	2.5km以下	硬岩	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	3.0km以下	軟岩	硬岩	4.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	軟岩	5.0km以下	硬岩	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	6.0km以下	軟岩	硬岩	7.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	軟岩		硬岩	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">表3.3 土砂等運搬(砂防) 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">土砂等発現場</th> <th style="width: 60%;">土質</th> <th style="width: 20%;">運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">標準</td> <td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表3.4)</td> </tr> <tr><td>軟岩</td></tr> <tr><td>硬岩</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">小規模</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">(表3.5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、砂防工事における土砂等の運搬の他、運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理にかかる費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。また、タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。 3. 運搬土量は地山の土量とする。 4. 「小規模」は1箇所当りの施工数量が100m3未満または平均施工幅2m未満とする。なお、1箇所当りとは目的物(構造物・掘削等)1箇所当りのことであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を1箇所とする。 5. 標準とは、「小規模」に該当しない場合。 6. 運搬距離が「標準」の場合7.0km、「小規模」の場合0.6kmを超える場合は、別途考慮する。</p> <div style="margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">表3.4 運搬距離(1)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">積算条件</th> <th style="width: 50%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="9" style="text-align: center;">運搬距離</td><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.0km以下</td></tr> <tr><td>4.0km以下</td></tr> <tr><td>5.0km以下</td></tr> <tr><td>6.0km以下</td></tr> <tr><td>7.0km以下</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3.5 運搬距離(2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">積算条件</th> <th style="width: 50%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2" style="text-align: center;">運搬距離</td><td>0.3km以下</td></tr> <tr><td>0.6km以下</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>	土砂等発現場	土質	運搬距離	標準	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	(表3.4)	軟岩	硬岩	小規模	-	(表3.5)	積算条件	区分	運搬距離	0.5km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.0km以下	2.5km以下	3.0km以下	4.0km以下	5.0km以下	6.0km以下	7.0km以下	積算条件	区分	運搬距離	0.3km以下	0.6km以下	<p>記載の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
運搬距離	土質																																																																	
0.5km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)																																																																	
	軟岩																																																																	
1.0km以下	硬岩																																																																	
	土砂(岩塊・玉石混り土含む)																																																																	
1.5km以下	軟岩																																																																	
	硬岩																																																																	
2.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)																																																																	
	軟岩																																																																	
2.5km以下	硬岩																																																																	
	土砂(岩塊・玉石混り土含む)																																																																	
3.0km以下	軟岩																																																																	
	硬岩																																																																	
4.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)																																																																	
	軟岩																																																																	
5.0km以下	硬岩																																																																	
	土砂(岩塊・玉石混り土含む)																																																																	
6.0km以下	軟岩																																																																	
	硬岩																																																																	
7.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)																																																																	
	軟岩																																																																	
	硬岩																																																																	
土砂等発現場	土質	運搬距離																																																																
標準	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	(表3.4)																																																																
	軟岩																																																																	
	硬岩																																																																	
小規模	-	(表3.5)																																																																
積算条件	区分																																																																	
運搬距離	0.5km以下																																																																	
	1.0km以下																																																																	
	1.5km以下																																																																	
	2.0km以下																																																																	
	2.5km以下																																																																	
	3.0km以下																																																																	
	4.0km以下																																																																	
	5.0km以下																																																																	
	6.0km以下																																																																	
7.0km以下																																																																		
積算条件	区分																																																																	
運搬距離	0.3km以下																																																																	
	0.6km以下																																																																	
7・①・7																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 4/6																																																															

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																
現 行		改 正																																																																
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1"> <caption>表3.4 土砂等運搬(砂防) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費(普通)を含む</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手(一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(普通)を含む	K2 -		K3 -		労務	R1 運転手(一般)		R2 -		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油1.2号 パトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>現行どおり</p> <table border="1"> <caption>表3.46 土砂等運搬(砂防) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級</td> <td>・土砂等発生現場が標準の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(普通)を含む</td> </tr> <tr> <td><u>ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級</u></td> <td>・土砂等発生現場が小規模の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(普通)を含む</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手(一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	・土砂等発生現場が標準の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(普通)を含む	<u>ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級</u>	・土砂等発生現場が小規模の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(普通)を含む	K2 -		労務	R1 運転手(一般)		R2 -		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油1.2号 パトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>語句の修正 記載の追加 (歩掛り改定に伴う) 代表機械の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																
機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(普通)を含む																																																																
	K2 -																																																																	
	K3 -																																																																	
労務	R1 運転手(一般)																																																																	
	R2 -																																																																	
	R3 -																																																																	
	R4 -																																																																	
材料	Z1 軽油1.2号 パトロール給油																																																																	
	Z2 -																																																																	
	Z3 -																																																																	
	Z4 -																																																																	
市場単価	S -																																																																	
項目	代表機材規格	備考																																																																
機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	・土砂等発生現場が標準の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(普通)を含む																																																																
	<u>ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級</u>	・土砂等発生現場が小規模の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(普通)を含む																																																																
	K2 -																																																																	
労務	R1 運転手(一般)																																																																	
	R2 -																																																																	
	R3 -																																																																	
	R4 -																																																																	
材料	Z1 軽油1.2号 パトロール給油																																																																	
	Z2 -																																																																	
	Z3 -																																																																	
	Z4 -																																																																	
市場単価	S -																																																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 5/6																																																															

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																												
現	行	改	正																																																																											
<p>3-3 積込(ルーズ)(砂防)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 積込(ルーズ)(砂防) 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">土質</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">土砂</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">岩塊・玉石</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">破砕岩</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、砂防工事における土取場(仮置場)から採取する場合の土砂等の積込み、掘削工又は作業土工で生じた土砂等の仮置場での積込み等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 土量は地山土量とする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 積込(ルーズ)(砂防) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		土質	土砂	岩塊・玉石	破砕岩	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)	賃料	K2 -		K3 -		労務	R1 運転手(特殊)		R2 -		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>3-3 積込(ルーズ)(砂防)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.57 積込(ルーズ)(砂防) 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;"><u>土砂等発生現場</u></td> <td style="text-align: center;">土質</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>標準</u></td> <td style="text-align: center;">土砂</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>小規模</u></td> <td style="text-align: center;">岩塊・玉石</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">破砕岩</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、砂防工事における土取場(仮置場)から採取する場合の土砂等の積込み、掘削工又は作業土工で生じた土砂等の仮置場での積込み等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 土量は地山土量とする。 <u>3. 「小規模」は1箇所当りの施工数量が100m3未満または平均施工幅2m未満とする。なお、1箇所当たりとは目的物(構造物・掘削等)1箇所当りのことであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を1箇所とする。</u> <u>4. 標準とは、「小規模」に該当しない場合。</u></p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.68 積込(ルーズ)(砂防) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)</td> <td>・賃料 ・<u>土砂等発生現場が標準の場合</u></td> </tr> <tr> <td><u>バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.5m3(平積0.4m3)</u></td> <td><u>土砂等発生現場が小規模の場合</u></td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		<u>土砂等発生現場</u>	土質	<u>標準</u>	土砂	<u>小規模</u>	岩塊・玉石		破砕岩	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)	・賃料 ・ <u>土砂等発生現場が標準の場合</u>	<u>バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.5m3(平積0.4m3)</u>	<u>土砂等発生現場が小規模の場合</u>	K2 -		労務	R1 運転手(特殊)		R2 -		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>語句の修正</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>代表機械の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
土質																																																																														
土砂																																																																														
岩塊・玉石																																																																														
破砕岩																																																																														
項目	代表機材規格	備考																																																																												
機械	K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)	賃料																																																																												
	K2 -																																																																													
	K3 -																																																																													
労務	R1 運転手(特殊)																																																																													
	R2 -																																																																													
	R3 -																																																																													
	R4 -																																																																													
材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油																																																																													
	Z2 -																																																																													
	Z3 -																																																																													
	Z4 -																																																																													
市場単価	S -																																																																													
<u>土砂等発生現場</u>	土質																																																																													
<u>標準</u>	土砂																																																																													
<u>小規模</u>	岩塊・玉石																																																																													
	破砕岩																																																																													
項目	代表機材規格	備考																																																																												
機械	K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)	・賃料 ・ <u>土砂等発生現場が標準の場合</u>																																																																												
	<u>バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.5m3(平積0.4m3)</u>	<u>土砂等発生現場が小規模の場合</u>																																																																												
	K2 -																																																																													
労務	R1 運転手(特殊)																																																																													
	R2 -																																																																													
	R3 -																																																																													
	R4 -																																																																													
材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油																																																																													
	Z2 -																																																																													
	Z3 -																																																																													
	Z4 -																																																																													
市場単価	S -																																																																													
7・①・9																																																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 6/6																																																																											

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																								
	現 行	改 正																																																																																									
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="border: 2px solid red;"> <caption style="text-align: center;">表3.4 不陸整正(ICT) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ICT建設機械経費加算額 (モータグレーダ)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] ブレード幅 3.1m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 縮固め幅 2.1m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> <td>補足材料有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ICT建設機械経費加算額 (モータグレーダ) は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用である。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	ICT建設機械経費加算額 (モータグレーダ)	賃料	K 2	モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] ブレード幅 3.1m	賃料	K 3	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 縮固め幅 2.1m	賃料	労務	R 1	運転手 (特殊)		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	再生クラッシュラン RC-40	補足材料有りの場合	Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>現行どおり</p> <table border="1"> <caption style="text-align: center;">表3.4 不陸整正(ICT) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ICT建設機械経費賃料加算額 (モータグレーダ)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] ブレード幅 3.1m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 縮固め幅 2.1m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> <td>補足材料有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ICT建設機械経費賃料加算額 (モータグレーダ) は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用である。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	ICT建設機械経費 賃料 加算額 (モータグレーダ)	賃料	K 2	モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] ブレード幅 3.1m	賃料	K 3	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 縮固め幅 2.1m	賃料	労務	R 1	運転手 (特殊)		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	再生クラッシュラン RC-40	補足材料有りの場合	Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>代表機械の修正</p> <p>記載の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K 1	ICT建設機械経費加算額 (モータグレーダ)	賃料																																																																																								
	K 2	モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] ブレード幅 3.1m	賃料																																																																																								
	K 3	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 縮固め幅 2.1m	賃料																																																																																								
労務	R 1	運転手 (特殊)																																																																																									
	R 2	普通作業員																																																																																									
	R 3	土木一般世話役																																																																																									
	R 4	—																																																																																									
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																									
	Z 2	再生クラッシュラン RC-40	補足材料有りの場合																																																																																								
	Z 3	—																																																																																									
	Z 4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K 1	ICT建設機械経費 賃料 加算額 (モータグレーダ)	賃料																																																																																								
	K 2	モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] ブレード幅 3.1m	賃料																																																																																								
	K 3	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 縮固め幅 2.1m	賃料																																																																																								
労務	R 1	運転手 (特殊)																																																																																									
	R 2	普通作業員																																																																																									
	R 3	土木一般世話役																																																																																									
	R 4	—																																																																																									
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																									
	Z 2	再生クラッシュラン RC-40	補足材料有りの場合																																																																																								
	Z 3	—																																																																																									
	Z 4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
9・②・3																																																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3																																																																																								

改正理由	一部改正	改正 現行	備考											
現	行	改	正											
<p>⑥ 透水性アスファルト舗装工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、歩道における透水性アスファルト舗装工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 フィルター層 (1) 透水性舗装におけるフィルター層の平均厚さが40mm以上220mm以下の場合</p> <p>1-1-2 透水性アスファルト舗装 (1) アスファルト混合物が購入方式の場合で、1層当たり平均仕上り厚さは、平均幅員が1.4m未満では50mm以下、平均幅員が1.4m以上では70mm以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 透水性アスファルト舗装 (1) アスファルト混合物が現地プラント方式の場合 (2) アスファルト舗装工及び排水性舗装工における表層の施工 (3) アスファルト混合物の締固め後密度が1.90 t/m³未満、2.10 t/m³以上の場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 フィルター層</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 フィルター層 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>平均厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>40mm以上 60mm未満</td></tr> <tr><td>60mm以上 80mm未満</td></tr> <tr><td>80mm以上 100mm未満</td></tr> <tr><td>100mm以上 120mm未満</td></tr> <tr><td>120mm以上 140mm未満</td></tr> <tr><td>140mm以上 160mm未満</td></tr> <tr><td>160mm以上 180mm未満</td></tr> <tr><td>180mm以上 200mm未満</td></tr> <tr><td>200mm以上 220mm以下</td></tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 透水性舗装におけるフィルター材(歩道部)の敷均し・締固め等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. フィルター材料の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.14)</p> </div> <p style="text-align: center;">9・⑥・1</p>		平均厚さ	40mm以上 60mm未満	60mm以上 80mm未満	80mm以上 100mm未満	100mm以上 120mm未満	120mm以上 140mm未満	140mm以上 160mm未満	160mm以上 180mm未満	180mm以上 200mm未満	200mm以上 220mm以下	<p>現行どおり</p>		<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
平均厚さ														
40mm以上 60mm未満														
60mm以上 80mm未満														
80mm以上 100mm未満														
100mm以上 120mm未満														
120mm以上 140mm未満														
140mm以上 160mm未満														
160mm以上 180mm未満														
180mm以上 200mm未満														
200mm以上 220mm以下														
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3											

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

項目	代表機材規格		備考
機械	K1	振動ローラ [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 3~4t	
	K2	—	
	K3	—	
労務	R1	普通作業員	
	R2	特殊作業員	
	R3	運転手 (特殊)	
	R4	土木一般世話役	
材料	Z1	砂 再生砂	
	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油	
	Z3	—	
	Z4	—	
市場単価	S	—	

3-2 透水性アスファルト舗装

(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

平均幅員	1層当り平均仕上り厚	材料
1.4m未満	実数入力	(表3.4)
1.4m以上		

(注) 1. 表層 (歩道部) の透水性アスファルト混合物敷均し・締固めの他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。
2. アスファルト混合物の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.10)
3. すりつけに使用する混合物は、実状に応じて別途計上する。
4. 幅員にかかわらず機械施工が困難な場合は、平均幅員 1.4m未満を適用する。

積算条件	アスファルト混合物	締固め後密度 (t/m3)
材料	開粒度 ϕ 13	2.05
	各種 (1.90以上 2.00t/m3未満)	1.90以上 2.00未満
	各種 (2.00以上 2.10t/m3未満)	2.00以上 2.10未満

9・⑥・2

現行どおり

項目	代表機材規格		備考
機械	K1	振動ローラ [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 3~4t バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.20m3)	賃料
	K2	振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料
	K3	—	
労務	R1	普通作業員 特殊作業員	
	R2	特殊作業員 普通作業員	
	R3	運転手 (特殊)	
	R4	土木一般世話役	
材料	Z1	砂 再生砂	
	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油	
	Z3	—	
	Z4	—	
市場単価	S	—	

現行どおり

平均幅員	1層当り平均仕上り厚	材料
1.4m未満	実数入力	(表3.4)
1.4m以上 2.4m未満		
2.4m以上		

(注) 1. 表層 (歩道部) の透水性アスファルト混合物敷均し・締固めの他、~~砂の散布~~、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、~~瀝青材飛散保護等~~、その施工に要する全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。~~なお平均幅員が 2.4m 以上の場合、振動ローラ (ハンドガイド式) の運転経費を含む。~~
2. アスファルト混合物の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.10)
3. すりつけに使用する混合物は、実状に応じて別途計上する。
4. 幅員にかかわらず機械施工が困難な場合は、平均幅員 1.4m未満を適用する。

現行どおり

代表機械の追加・修正
(歩掛り改定に伴う)

代表労務の修正
(歩掛り改定に伴う)

記載の追加・修正・削除
(歩掛り改定に伴う)

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.5 透水性アスファルト舗装 代表機材規格一覧

平均幅員	項目	代表機材規格	備考	
1.4m 未満	機械	K 1 振動ローラ（舗装用）[ハンドガイド型] 運転質量 0.5～0.6t		
		K 2 振動コンパクタ[前進型]機械質量 40～60kg		
		K 3 -		
	労務	R 1 普通作業員		
		R 2 特殊作業員		
		R 3 土木一般世話役		
		R 4 -		
	材料	Z 1 アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)		
		Z 2 ガソリン レギュラー スタンド		
		Z 3 軽油 1.2号 バトロール給油		
Z 4 -				
市場単価	S	-		
1.4m 以上	機械	K 1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅 1.4～3.0m		
		K 2 振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型（第1次基準値）] 運転質量 3～4t		
		K 3 -		
	労務	R 1 普通作業員		
		R 2 特殊作業員		
		R 3 土木一般世話役		
		R 4 運転手（特殊）		
	材料	Z 1 アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)		
		Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油		
		Z 3 -		
		Z 4 -		
	市場単価	S	-	

現行どおり

表3.5 透水性アスファルト舗装 代表機材規格一覧

平均幅員	項目	代表機材規格	備考	
1.4m 未満	機械	K 1 振動ローラ（舗装用）[ハンドガイド型] 運転質量 0.5～0.6t		
		K 2 振動コンパクタ[前進型]機械質量 40～60kg		
		K 3 -		
	労務	R 1 普通作業員		
		R 2 特殊作業員		
		R 3 土木一般世話役		
		R 4 -		
	材料	Z 1 アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)		
		Z 2 ガソリン レギュラー スタンド		
		Z 3 軽油 1.2号 バトロール給油		
Z 4 -				
市場単価	S	-		
1.4m 以上 <u>2.4m 未満</u>	機械	K 1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] [ホイール型・排出 ガス対策型（第3次基準値）] 舗装幅 1.4～3.0m		
		K 2 振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策 型（第1次基準値）] 運転質量 3～4t		
		K 3 -		
	労務	R 1 普通作業員		
		R 2 特殊作業員		
		R 3 土木一般世話役運転手（特殊）		
		R 4 運転手（特殊）土木一般世話役		
	材料	Z 1 アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)		
		Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油		
		Z 3 -		
		Z 4 -		
	市場単価	S	-	
	<u>2.4m 以上</u>	機械	<u>K 1</u> アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型（第 3次基準値）] 舗装幅 2.4～6.0m	
			<u>K 2</u> バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・超低騒音型・排 出ガス対策型（第2次基準値）] 山積 0.28m ³ （平積 0.20m ³ ）	賃料
<u>K 3</u> 振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策 型（第3次基準値）] 運転質量 3～4t			賃料	
労務		<u>R 1</u> 普通作業員		
		<u>R 2</u> 特殊作業員		
		<u>R 3</u> 運転手（特殊）		
		<u>R 4</u> 土木一般世話役		
材料		<u>Z 1</u> アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)		
		<u>Z 2</u> 軽油 1.2号 バトロール給油		
		<u>Z 3</u> -		
		<u>Z 4</u> -		
市場単価		<u>S</u>	-	

区分の修正
(歩掛り改定に伴う)
代表機械の修正
(歩掛り改定に伴う)

代表労務の修正
(歩掛り改定に伴う)

区分の追加
代表機材の追加
(歩掛り改定に伴う)

積算上の注意事項			(控え頁) 3/3
----------	--	--	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																														
	現 行	改 正																																																																																															
	<p>3. 施工パッケージ 3-1 ボックスビーム (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.1 ボックスビーム 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>規格・仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">支柱及びレール</td> <td>土中建込 Gb-Am-2E メッキ</td> </tr> <tr> <td>土中建込 Gb-Bm-2E メッキ</td> </tr> <tr> <td>コンクリート建込 Gb-Am-2B メッキ</td> </tr> <tr> <td>コンクリート建込 Gb-Bm-2B メッキ</td> </tr> <tr> <td>各種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">支柱のみ</td> <td>土中建込 Am-2E メッキ</td> </tr> <tr> <td>土中建込 Bm-2E メッキ</td> </tr> <tr> <td>コンクリート建込 Am-2B メッキ</td> </tr> <tr> <td>コンクリート建込 Bm-2B メッキ</td> </tr> <tr> <td>各種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">レールのみ</td> <td>Am メッキ</td> </tr> <tr> <td>Bm メッキ</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、ボックスビームの支柱建込、レール取付、現場内小運搬等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 支柱間隔は2m/本を標準とする。</p> </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 ボックスビーム 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">材料</td> <td>Z1</td> <td>ボックスビーム 土中建込 Gb-Am-2E メッキ</td> <td>支柱及びレールの場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>支柱 Am-2E 高さ125×辺60×厚6×長さ1,960mm メッキ</td> <td>支柱のみの場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ビーム Am 厚4.5×横200×縦200×長さ5,990mm メッキ</td> <td>レールの場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> </div>	作業区分	規格・仕様	支柱及びレール	土中建込 Gb-Am-2E メッキ	土中建込 Gb-Bm-2E メッキ	コンクリート建込 Gb-Am-2B メッキ	コンクリート建込 Gb-Bm-2B メッキ	各種		支柱のみ	土中建込 Am-2E メッキ	土中建込 Bm-2E メッキ	コンクリート建込 Am-2B メッキ	コンクリート建込 Bm-2B メッキ	各種		レールのみ	Am メッキ	Bm メッキ	各種	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	-	K2	-	K3	-	労務	R1	普通作業員	R2	-	R3	-	R4	-	材料	Z1	ボックスビーム 土中建込 Gb-Am-2E メッキ	支柱及びレールの場合		支柱 Am-2E 高さ125×辺60×厚6×長さ1,960mm メッキ	支柱のみの場合		ビーム Am 厚4.5×横200×縦200×長さ5,990mm メッキ	レールの場合	Z2	-		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.1 ボックスビーム 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>作業区分施工内容</th> <th>規格・仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">設置</td> <td rowspan="4">支柱及びレール</td> <td>土中建込 Gb-Am-2E メッキ</td> </tr> <tr> <td>土中建込 Gb-Bm-2E メッキ</td> </tr> <tr> <td>コンクリート建込 Gb-Am-2B メッキ</td> </tr> <tr> <td>コンクリート建込 Gb-Bm-2B メッキ</td> </tr> <tr> <td>各種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">設置</td> <td rowspan="4">支柱のみ</td> <td>土中建込 Am-2E メッキ</td> </tr> <tr> <td>土中建込 Bm-2E メッキ</td> </tr> <tr> <td>コンクリート建込 Am-2B メッキ</td> </tr> <tr> <td>コンクリート建込 Bm-2B メッキ</td> </tr> <tr> <td>各種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">再利用設置</td> <td rowspan="3">レールのみ</td> <td>Am メッキ</td> </tr> <tr> <td>Bm メッキ</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">再利用設置</td> <td>支柱及びレール</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>支柱のみ</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>レールのみ</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">次頁へ移動</p>	作業区分	作業区分施工内容	規格・仕様	設置	支柱及びレール	土中建込 Gb-Am-2E メッキ	土中建込 Gb-Bm-2E メッキ	コンクリート建込 Gb-Am-2B メッキ	コンクリート建込 Gb-Bm-2B メッキ	各種			設置	支柱のみ	土中建込 Am-2E メッキ	土中建込 Bm-2E メッキ	コンクリート建込 Am-2B メッキ	コンクリート建込 Bm-2B メッキ	各種			再利用設置	レールのみ	Am メッキ	Bm メッキ	各種	再利用設置	支柱及びレール	-	支柱のみ	-	レールのみ	-	<p style="text-align: center;">記載の追加・修正</p>
作業区分	規格・仕様																																																																																																
支柱及びレール	土中建込 Gb-Am-2E メッキ																																																																																																
	土中建込 Gb-Bm-2E メッキ																																																																																																
	コンクリート建込 Gb-Am-2B メッキ																																																																																																
	コンクリート建込 Gb-Bm-2B メッキ																																																																																																
各種																																																																																																	
支柱のみ	土中建込 Am-2E メッキ																																																																																																
	土中建込 Bm-2E メッキ																																																																																																
	コンクリート建込 Am-2B メッキ																																																																																																
	コンクリート建込 Bm-2B メッキ																																																																																																
各種																																																																																																	
レールのみ	Am メッキ																																																																																																
	Bm メッキ																																																																																																
	各種																																																																																																
項目	代表機材規格	備考																																																																																															
機械	K1	-																																																																																															
	K2	-																																																																																															
	K3	-																																																																																															
労務	R1	普通作業員																																																																																															
	R2	-																																																																																															
	R3	-																																																																																															
	R4	-																																																																																															
材料	Z1	ボックスビーム 土中建込 Gb-Am-2E メッキ	支柱及びレールの場合																																																																																														
		支柱 Am-2E 高さ125×辺60×厚6×長さ1,960mm メッキ	支柱のみの場合																																																																																														
		ビーム Am 厚4.5×横200×縦200×長さ5,990mm メッキ	レールの場合																																																																																														
	Z2	-																																																																																															
	Z3	-																																																																																															
	Z4	-																																																																																															
市場単価	S	-																																																																																															
作業区分	作業区分施工内容	規格・仕様																																																																																															
設置	支柱及びレール	土中建込 Gb-Am-2E メッキ																																																																																															
		土中建込 Gb-Bm-2E メッキ																																																																																															
		コンクリート建込 Gb-Am-2B メッキ																																																																																															
		コンクリート建込 Gb-Bm-2B メッキ																																																																																															
各種																																																																																																	
設置	支柱のみ	土中建込 Am-2E メッキ																																																																																															
		土中建込 Bm-2E メッキ																																																																																															
		コンクリート建込 Am-2B メッキ																																																																																															
		コンクリート建込 Bm-2B メッキ																																																																																															
各種																																																																																																	
再利用設置	レールのみ	Am メッキ																																																																																															
		Bm メッキ																																																																																															
		各種																																																																																															
再利用設置	支柱及びレール	-																																																																																															
	支柱のみ	-																																																																																															
	レールのみ	-																																																																																															
積算上の注意事項	10・⑥・2		(控え頁) 1/2																																																																																														

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																											
現 行	改 正																																													
	前頁より移動 →	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3. 2 ボックスビーム 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>ボックスビーム 土中建込 Gb-Am-2E メッキ</td> <td>支柱及びレールのみを設置する場合</td> </tr> <tr> <td>支柱 Am-2E 高さ125×辺60×厚6×長さ1,960mm</td> <td>支柱のみのみを設置する場合</td> </tr> <tr> <td>メッキ</td> <td>支柱のみのみを設置する場合</td> </tr> <tr> <td>ビーム Am 厚4.5×横200×縦200×長さ5,990mm</td> <td>レールのみのみを設置する場合</td> </tr> <tr> <td>メッキ</td> <td>レールのみのみを設置する場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	—	R3	—	R4	—	材料	ボックスビーム 土中建込 Gb-Am-2E メッキ	支柱及びレールのみを設置する場合	支柱 Am-2E 高さ125×辺60×厚6×長さ1,960mm	支柱のみのみを設置する場合	メッキ	支柱のみのみを設置する場合	ビーム Am 厚4.5×横200×縦200×長さ5,990mm	レールのみのみを設置する場合	メッキ	レールのみのみを設置する場合	Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		記載の修正
項目	代表機材規格	備考																																												
機械	K1	—																																												
	K2	—																																												
	K3	—																																												
労務	R1	普通作業員																																												
	R2	—																																												
	R3	—																																												
	R4	—																																												
材料	ボックスビーム 土中建込 Gb-Am-2E メッキ	支柱及びレールのみを設置する場合																																												
	支柱 Am-2E 高さ125×辺60×厚6×長さ1,960mm	支柱のみのみを設置する場合																																												
	メッキ	支柱のみのみを設置する場合																																												
	ビーム Am 厚4.5×横200×縦200×長さ5,990mm	レールのみのみを設置する場合																																												
	メッキ	レールのみのみを設置する場合																																												
Z2	—																																													
Z3	—																																													
Z4	—																																													
市場単価	S	—																																												
積算上の注意事項		10・⑥・3	(控え頁) 2/2																																											

改正理由	一部改正	改正 現行																																					
現 行		改 正																																					
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 歩車道境界ブロック</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 歩車道境界ブロック 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>ブロック規格</th> <th>基礎碎石規格</th> <th>均し基礎コンクリート規格</th> <th>養生工の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(表 3.2)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(表 3.4)</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td>再利用設置</td> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、歩車道境界ブロック(道路の車道と歩道等を分離するために用いる)の基礎材、均し基礎コンクリート型枠、均し基礎コンクリート、プレキャストブロックの設置、ブロック据付作業におけるバックホウ(クレーン機能付き)の賃料、コンクリート現場内小運搬の他、敷モルタル、目地モルタル、器具等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 作業区分が「再利用設置」の場合、注1の歩車道境界ブロック本体の製品費は含まない費用とする。</p> <p>3. 均し基礎コンクリートの厚さが15cmを超える場合、又は、均し基礎コンクリート有りでブロック幅(底面)が30cmを超える場合は、均し基礎コンクリート規格は無しとし、「4章①コンクリート工」よりコンクリートを別途計上する。</p> <p style="border: 2px solid red;">4. 基礎碎石の厚さが15cmを超える場合、又は、基礎碎石有りでブロック幅(底面)が30cmを超える場合は、基礎碎石規格は無しとし、「2章⑦基礎・裏込碎石工、基礎・裏込栗石工」より基礎碎石を別途計上する。</p> <p>5. ブロック規格A種、B種、C種の標準使用量は、165個/100mとする。</p> <p>6. 基礎碎石、均し基礎コンクリートの材料ロスを含む。標準ロス率は、基礎碎石が+0.20、均し基礎コンクリートが+0.07とする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">表3.2 ブロック規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">ブロック規格</td> <td>A種(150/170×200×600)</td> </tr> <tr> <td>B種(180/205×250×600)</td> </tr> <tr> <td>C種(180/210×300×600)</td> </tr> <tr> <td>各種(600mm以下, 50kg未満)</td> </tr> <tr> <td>各種(600mm以下, 50kg以上100kg未満)</td> </tr> <tr> <td>各種(600mm超1000mm以下, 50kg以上150kg未満)</td> </tr> <tr> <td>各種(1000mm超2000mm以下, 150kg以上550kg未満)</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">表3.3 基礎碎石規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">基礎碎石規格</td> <td>クラッシュラン C-40</td> </tr> <tr> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> </tr> <tr> <td>碎石(各種)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">表3.4 均し基礎コンクリート規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">均し基礎 コンクリート規格</td> <td>18-8-25(普通)</td> </tr> <tr> <td>18-8-40(普通)</td> </tr> <tr> <td>18-8-25(高炉)</td> </tr> <tr> <td>18-8-40(高炉)</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート(各種)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> </div>		作業区分	ブロック規格	基礎碎石規格	均し基礎コンクリート規格	養生工の有無	設置	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.4)	無し	再利用設置	有り	積算条件	区分	ブロック規格	A種(150/170×200×600)	B種(180/205×250×600)	C種(180/210×300×600)	各種(600mm以下, 50kg未満)	各種(600mm以下, 50kg以上100kg未満)	各種(600mm超1000mm以下, 50kg以上150kg未満)	各種(1000mm超2000mm以下, 150kg以上550kg未満)	積算条件	区分	基礎碎石規格	クラッシュラン C-40	再生クラッシュラン RC-40	碎石(各種)	無し	積算条件	区分	均し基礎 コンクリート規格	18-8-25(普通)	18-8-40(普通)	18-8-25(高炉)	18-8-40(高炉)	生コンクリート(各種)	無し
作業区分	ブロック規格	基礎碎石規格	均し基礎コンクリート規格	養生工の有無																																			
設置	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.4)	無し																																			
再利用設置				有り																																			
積算条件	区分																																						
ブロック規格	A種(150/170×200×600)																																						
	B種(180/205×250×600)																																						
	C種(180/210×300×600)																																						
	各種(600mm以下, 50kg未満)																																						
	各種(600mm以下, 50kg以上100kg未満)																																						
	各種(600mm超1000mm以下, 50kg以上150kg未満)																																						
各種(1000mm超2000mm以下, 150kg以上550kg未満)																																							
積算条件	区分																																						
基礎碎石規格	クラッシュラン C-40																																						
	再生クラッシュラン RC-40																																						
	碎石(各種)																																						
	無し																																						
積算条件	区分																																						
均し基礎 コンクリート規格	18-8-25(普通)																																						
	18-8-40(普通)																																						
	18-8-25(高炉)																																						
	18-8-40(高炉)																																						
	生コンクリート(各種)																																						
	無し																																						

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現	行	改 正	備 考
---	---	--------	--------

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.5 歩車道境界ブロック 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積0.09m ³ （平積0.07m ³ ）吊能力0.9t	・賃料 ・ブロック規格②③⑤⑥の場合
		バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）吊能力2.9t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合
	K 2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	・賃料 ・基礎砕石有りの場合
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	型わく工	・均し基礎コンクリート有りの場合
運転手（特殊）		・基礎砕石有り，かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で，基礎砕石無し，かつ均し基礎コンクリート無しの場合	
材料	Z 1	歩車道境界ブロック A 種(150/170×200×600)	設置の場合
		歩車道境界ブロック B 種(180/205×250×600)	
		歩車道境界ブロック C 種(180/210×300×600)	
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合
Z 3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合	
Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油	ブロック規格①④，かつ基礎砕石無しの場合を除く	
市場単価	S	—	

- ※ブロック規格は、以下のとおりとする。
- ①：A 種(150/170×200×600)
 - ②：B 種(180/205×250×600)
 - ③：C 種(180/210×300×600)
 - ④：各種(600mm 以下，50kg 未満)
 - ⑤：各種(600mm 以下，50kg 以上 100kg 未満)
 - ⑥：各種(600mm 超 1000mm 以下，50kg 以上 150kg 未満)
 - ⑦：各種(1000mm 超 2000mm 以下，150kg 以上 550kg 未満)

10・⑨・3

現行どおり

表3.5 歩車道境界ブロック 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積0.09m ³ （平積0.07m ³ ）吊能力0.9t	・賃料 ・ブロック規格②③⑤⑥の場合
		バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）吊能力2.9t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合
	K 2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（ 第2次基準値2011年規制 ）〕山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	・賃料 ・基礎砕石有りの場合
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	型わく工	・均し基礎コンクリート有りの場合
運転手（特殊）		・基礎砕石有り，かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で，基礎砕石無し，かつ均し基礎コンクリート無しの場合	
材料	Z 1	歩車道境界ブロック A 種(150/170×200×600)	設置の場合
		歩車道境界ブロック B 種(180/205×250×600)	
		歩車道境界ブロック C 種(180/210×300×600)	
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合
Z 3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合	
Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油	ブロック規格①④，かつ基礎砕石無しの場合を除く	
市場単価	S	—	

現行どおり

代表機械の修正
(歩掛り改定に伴う)

積算上の注意事項

(控え頁)

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																												
現	行	改 正	備 考																												
<p>3-2 地先境界ブロック (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 地先境界ブロック 積算条件区分一覧 (積算単位:m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>ブロック規格</th> <th>基礎碎石規格</th> <th>均し基礎コンクリート規格</th> <th>養生工の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設置</td> <td rowspan="2">(表 3.7)</td> <td rowspan="2">(表 3.3)</td> <td rowspan="2">(表 3.4)</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">再利用設置</td> <td rowspan="2">(表 3.7)</td> <td rowspan="2">(表 3.3)</td> <td rowspan="2">(表 3.4)</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、地先境界ブロック(地先境界に道路の舗装止めとして用いる)の基礎材、均し基礎コンクリート型枠、均し基礎コンクリート、プレキャストブロックの設置、ブロック据付作業におけるバックホウ(クレーン機能付き)の賃料、コンクリート現場内小運搬の他、敷モルタル、目地モルタル、器具等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 作業区分が「再利用設置」の場合、注1の地先境界ブロック本体の製品費は含まない費用とする。 3. 均し基礎コンクリートの厚さが15cmを超える場合、又は、均し基礎コンクリート有りでブロック幅(底面)が30cmを超える場合は、均し基礎コンクリート規格は無しとし、「4章①コンクリート工」よりコンクリートを別途計上する。 4. 基礎碎石の厚さが15cmを超える場合、又は、基礎碎石有りでブロック幅(底面)が30cmを超える場合は、基礎碎石規格は無しとし、「2章⑦基礎・裏込碎石工、基礎・裏込栗石工」より基礎碎石を別途計上する。 5. ブロック規格A種、B種、C種の標準使用量は、165個/100mとする。 6. 基礎碎石、均し基礎コンクリートの材料ロスを含む。標準ロス率は、基礎碎石が+0.20、均し基礎コンクリートが+0.07とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 ブロック規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">ブロック規格</td> <td>A種(120×120×600)</td> </tr> <tr> <td>B種(150×120×600)</td> </tr> <tr> <td>C種(150×150×600)</td> </tr> <tr> <td>各種(600mm以下, 50kg未満)</td> </tr> <tr> <td>各種(600mm以下, 50kg以上100kg未満)</td> </tr> <tr> <td>各種(600mm超1000mm以下, 50kg以上150kg未満)</td> </tr> <tr> <td>各種(1000mm超2000mm以下, 150kg以上550kg未満)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">10・⑨・4</p>		作業区分	ブロック規格	基礎碎石規格	均し基礎コンクリート規格	養生工の有無	設置	(表 3.7)	(表 3.3)	(表 3.4)	無し	有り	再利用設置	(表 3.7)	(表 3.3)	(表 3.4)	無し	有り	積算条件	区分	ブロック規格	A種(120×120×600)	B種(150×120×600)	C種(150×150×600)	各種(600mm以下, 50kg未満)	各種(600mm以下, 50kg以上100kg未満)	各種(600mm超1000mm以下, 50kg以上150kg未満)	各種(1000mm超2000mm以下, 150kg以上550kg未満)	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>4. 基礎碎石の厚さが15cmを超える場合、又は、基礎碎石有りでブロック幅(底面)が30cmを超える場合は、基礎碎石規格は無しとし、「2章⑦基礎・裏込碎石工、<u>基礎・裏込栗石工</u>」より基礎碎石を別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		<p style="text-align: center;">記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
作業区分	ブロック規格	基礎碎石規格	均し基礎コンクリート規格	養生工の有無																											
設置	(表 3.7)	(表 3.3)	(表 3.4)	無し																											
				有り																											
再利用設置	(表 3.7)	(表 3.3)	(表 3.4)	無し																											
				有り																											
積算条件	区分																														
ブロック規格	A種(120×120×600)																														
	B種(150×120×600)																														
	C種(150×150×600)																														
	各種(600mm以下, 50kg未満)																														
	各種(600mm以下, 50kg以上100kg未満)																														
	各種(600mm超1000mm以下, 50kg以上150kg未満)																														
	各種(1000mm超2000mm以下, 150kg以上550kg未満)																														
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																												

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	小型バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)]山積0.09m ³ (平積0.07m ³)吊能力0.9t	・賃料 ・ブロック規格⑤⑥の場合
		バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊能力2.9t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合
	K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	・賃料 ・基礎砕石有りの場合
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	型わく工	・均し基礎コンクリート有りの場合
運転手(特殊)		・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合	
材料	Z 1	地先境界ブロックA種(120×120×600)	設置の場合
		地先境界ブロックB種(150×120×600)	
		地先境界ブロックC種(150×150×600)	
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合
Z 3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合	
Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油	ブロック規格①②③④、かつ基礎砕石無しの場合を除く	
市場単価	S	—	

※ブロック規格は、以下のとおりとする。
 ①：A種(120×120×600)
 ②：B種(150×120×600)
 ③：C種(150×150×600)
 ④：各種(600mm以下、50kg未満)
 ⑤：各種(600mm以下、50kg以上100kg未満)
 ⑥：各種(600mm超1000mm以下、50kg以上150kg未満)
 ⑦：各種(1000mm超2000mm以下、150kg以上550kg未満)

10・⑨・5

現行どおり

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	小型バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)]山積0.09m ³ (平積0.07m ³)吊能力0.9t	・賃料 ・ブロック規格⑤⑥の場合
		バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊能力2.9t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合
	K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	・賃料 ・基礎砕石有りの場合
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	型わく工	・均し基礎コンクリート有りの場合
運転手(特殊)		・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合	
材料	Z 1	地先境界ブロックA種(120×120×600)	設置の場合
		地先境界ブロックB種(150×120×600)	
		地先境界ブロックC種(150×150×600)	
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合
Z 3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合	
Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油	ブロック規格①②③④、かつ基礎砕石無しの場合を除く	
市場単価	S	—	

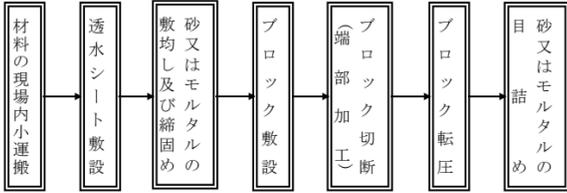
現行どおり

代表機械の修正
(歩掛り改定に伴う)

積算上の注意事項

(控え頁)

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																											
現 行		改 正																																																																																											
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1"> <caption>表3.2 歩車道境界ブロック撤去 地先境界ブロック撤去 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>撤去区分</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">撤去</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>小型バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 0.22m³（平積 0.16m³）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>ブロック工</td> <td>再利用区分が再利用の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		撤去区分	項目	代表機材規格	備考	撤去	機械	K1	小型バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 0.22m ³ （平積 0.16m ³ ）	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	運転手（特殊）		R4	ブロック工	再利用区分が再利用の場合	材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>現行どおり</p> <table border="1"> <caption>表3.2 歩車道境界ブロック撤去 地先境界ブロック撤去 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>撤去区分</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10"><u>撤去</u></td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>小型バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 0.22m³（平積 0.16m³）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td><u>ブロック工特殊作業員</u></td> <td>再利用区分が再利用の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		撤去区分	項目	代表機材規格	備考	<u>撤去</u>	機械	K1	小型バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 0.22m ³ （平積 0.16m ³ ）	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	運転手（特殊）		R4	<u>ブロック工特殊作業員</u>	再利用区分が再利用の場合	材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—	
撤去区分	項目	代表機材規格	備考																																																																																										
撤去	機械	K1	小型バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 0.22m ³ （平積 0.16m ³ ）	賃料																																																																																									
		K2	—																																																																																										
		K3	—																																																																																										
	労務	R1	普通作業員																																																																																										
		R2	土木一般世話役																																																																																										
		R3	運転手（特殊）																																																																																										
		R4	ブロック工	再利用区分が再利用の場合																																																																																									
	材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																										
		Z2	—																																																																																										
		Z3	—																																																																																										
Z4		—																																																																																											
市場単価	S	—																																																																																											
撤去区分	項目	代表機材規格	備考																																																																																										
<u>撤去</u>	機械	K1	小型バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 0.22m ³ （平積 0.16m ³ ）	賃料																																																																																									
		K2	—																																																																																										
		K3	—																																																																																										
	労務	R1	普通作業員																																																																																										
		R2	土木一般世話役																																																																																										
		R3	運転手（特殊）																																																																																										
		R4	<u>ブロック工特殊作業員</u>	再利用区分が再利用の場合																																																																																									
	材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																										
		Z2	—																																																																																										
		Z3	—																																																																																										
Z4		—																																																																																											
市場単価	S	—																																																																																											
積算上の注意事項		<p>記載の削除 代表機械の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>代表労務の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>																																																																																											
		(控え頁)																																																																																											
		1/1																																																																																											

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																
現	行	改 正	備 考																
<p>① 特殊ブロック設置工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、ブロック規格が 30 cm×30 cm 及び 40 cm×40 cm の平板ブロック（透水性ブロック含む）及び視覚障害者誘導用ブロック（点状ブロック、線状ブロック）設置・撤去に適用する。ただし、舗装版等のとりこわし、切断作業は含まない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 特殊ブロック設置（材料込みの新設設置） (2) 再利用設置の場合（設置手間のみの流用品） (3) 撤去のみの場合</p> <p>2. 施工概要 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 歩道部の路盤施工は、必要に応じて別途計上する。 3. 透水シート敷設の有無にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 特殊ブロック舗装 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.1 特殊ブロック舗装 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</caption> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>ブロック規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設置</td> <td>30cm×30cm</td> </tr> <tr> <td>40cm×40cm</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 設置の場合は、特殊ブロックの設置、敷材料敷均し・締固め、敷均し材料費（敷砂又は敷モルタル）、転圧及び目地材の設置、目地材料費（目地砂又は目地モルタル）、後片付け労務、透水シート設置、透水シート材料、ブロック切断機、振動コンパクタ、一輪車、棧木、ほうき、スコップ、コテ、ハンマー等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 撤去の場合は、特殊ブロックの撤去に必要な全ての機械・労務費（損料等を含む）を含む。 3. 資材の運搬距離 30m 程度の人力による現場内小運搬を含む。 4. ブロックの切断ロスを含む。なお、ブロックの標準使用量は、30 cm×30 cm の場合 1,129 枚/100m²、40 cm×40 cm の場合 635 枚/100m² とする。</p>		作業区分	ブロック規格	設置	30cm×30cm	40cm×40cm	撤去	—	<p>現行どおり</p> <p>(2-2) 撤去のみの場合 (2-3) 再利用設置の場合（設置手間のみの流用品）</p> <p>現行どおり</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.1 特殊ブロック舗装 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</caption> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>ブロック規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設置</td> <td>30cm×30cm</td> </tr> <tr> <td>40cm×40cm</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>再利用設置</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 設置<u>または再利用設置</u>の場合は、特殊ブロックの設置、敷材料敷均し・締固め、敷均し材料費（敷砂又は敷モルタル）、転圧及び目地材の設置、目地材料費（目地砂又は目地モルタル）、後片付け労務、透水シート設置、透水シート材料、ブロック切断機、振動コンパクタ、一輪車、棧木、ほうき、スコップ、コテ、ハンマー等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。<u>ただし、再利用設置の場合は、特殊ブロック本体の製品費は含まない。</u> 2. 撤去の場合は、特殊ブロックの撤去に必要な全ての機械・労務費（損料等を含む）を含む。 3. 資材の運搬距離 30m 程度の人力による現場内小運搬を含む。 4. ブロックの切断ロスを含む。なお、ブロックの標準使用量は、30 cm×30 cm の場合 1,129 枚/100m²、40 cm×40 cm の場合 635 枚/100m² とする。</p>	作業区分	ブロック規格	設置	30cm×30cm	40cm×40cm	撤去	—	再利用設置	—	<p>記載の修正</p> <p>記載の追加</p> <p>記載の追加</p>
作業区分	ブロック規格																		
設置	30cm×30cm																		
	40cm×40cm																		
撤去	—																		
作業区分	ブロック規格																		
設置	30cm×30cm																		
	40cm×40cm																		
撤去	—																		
再利用設置	—																		
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																										
現 行		改 正																																																																																										
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 特殊ブロック舗装 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>特殊ブロック 研磨平板 30cm×30cm×6cm 特殊ブロック 研磨平板 40cm×40cm×6cm</td> <td>撤去は除く</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	ブロック工		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	特殊ブロック 研磨平板 30cm×30cm×6cm 特殊ブロック 研磨平板 40cm×40cm×6cm	撤去は除く	Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		→	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 特殊ブロック舗装 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>特殊ブロック 研磨平板 30cm×30cm×6cm 特殊ブロック 研磨平板 40cm×40cm×6cm</td> <td>撤去は除く 設置の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	ブロック工		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	特殊ブロック 研磨平板 30cm×30cm×6cm 特殊ブロック 研磨平板 40cm×40cm×6cm	撤去は除く 設置の場合	Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		記載の修正
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K 1	—																																																																																										
	K 2	—																																																																																										
	K 3	—																																																																																										
労務	R 1	ブロック工																																																																																										
	R 2	普通作業員																																																																																										
	R 3	土木一般世話役																																																																																										
	R 4	特殊作業員																																																																																										
材料	Z 1	特殊ブロック 研磨平板 30cm×30cm×6cm 特殊ブロック 研磨平板 40cm×40cm×6cm	撤去は除く																																																																																									
	Z 2	—																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K 1	—																																																																																										
	K 2	—																																																																																										
	K 3	—																																																																																										
労務	R 1	ブロック工																																																																																										
	R 2	普通作業員																																																																																										
	R 3	土木一般世話役																																																																																										
	R 4	特殊作業員																																																																																										
材料	Z 1	特殊ブロック 研磨平板 30cm×30cm×6cm 特殊ブロック 研磨平板 40cm×40cm×6cm	撤去は除く 設置の場合																																																																																									
	Z 2	—																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																																																																									

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																	
現	行	改 正	備 考																																	
<p>⑬ 橋梁付属施設設置工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、施工パッケージによる橋梁付属施設設置工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>1-1-1 排水樹</p> <p>(1) 橋梁、シェッドの排水樹 (20 kg/個以上~110 kg/個以下) を設置する場合</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>1-1-2 橋名板取付</p> <p>(1) 親柱及び高欄に橋名板 (200 mm×800 mm以下) を設置する場合</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>1-1-3 橋梁用高欄</p> <p>(1) 橋梁用高欄 (鋼製・ダクタイル製) を設置、再利用設置する場合</p> </div> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>1-2-1 排水樹</p> <p>(1) 鋼床版を同時に施工する場合</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>1-2-2 橋梁用高欄</p> <p>(1) 橋梁用ガードレール高欄を設置する場合</p> <p>(2) 側道橋用高欄を設置する場合</p> </div> <p>2. 施工パッケージ</p> <p>2-1 排水樹</p> <p>(1) 条件区分 排水樹における積算条件区分はない。 積算単位は、箇所とする。 (注) 橋梁、シェッドの排水樹の設置、現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等含む) を含む。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表 2.1 排水樹 代表機材材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>橋梁用排水樹 鋼桁用 A タイプ 首下 265 FC250 本体</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">10・⑬・1</p>				項目	代表機材材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	—	R 4	—	材料	Z 1	橋梁用排水樹 鋼桁用 A タイプ 首下 265 FC250 本体	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>1-1-1 排水樹</p> <p>(1) 橋梁、シェッドの排水樹 (<u>20 kg/個以上</u>~110 kg/個以下) を設置する場合</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>1-1-2 橋名板等取付</p> <p>(1) <u>親柱及び高欄</u>、橋桁及び橋台・橋脚に橋名板 (<u>橋歴板</u>) (<u>200300</u> mm×800 mm以下) を設置する場合</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>1-1-3 橋梁用高欄</p> <p>(1) 橋梁用高欄 (<u>鋼製・ダクタイル製</u>橋梁に設置する高欄 (歩行者自転車用欄)、<u>車両用防護欄及び高欄兼用車両用防護欄</u>) を設置、<u>再利用設置</u>する場合</p> <p>(2) <u>橋梁用高欄の材質が鋼製・ダクタイル製・アルミ製の場合</u></p> <p>(3) <u>基礎方式がベースプレート式の場合</u></p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 排水樹</p> <p>(1) 鋼床版を同時に施工する場合</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>1-2-2 橋梁用高欄</p> <p>(1) 橋梁用ガードレール高欄を設置する場合</p> <p>(2) 側道橋用高欄を設置する場合</p> <p>(3) <u>既設地覆を削孔してアンカーを設置する場合</u></p> <p>(4) <u>再利用設置の場合</u></p> </div> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(1) 排水樹</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[資材搬入] --> B[排水樹設置] B --> C[後片付け] </pre> </div> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">次頁へ移動</p> <p style="text-align: center;">次々頁へ移動</p>	<p>記載の追加・修正・削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材材規格	備考																																		
機械	K 1	—																																		
	K 2	—																																		
	K 3	—																																		
労務	R 1	普通作業員																																		
	R 2	土木一般世話役																																		
	R 3	—																																		
	R 4	—																																		
材料	Z 1	橋梁用排水樹 鋼桁用 A タイプ 首下 265 FC250 本体																																		
	Z 2	—																																		
	Z 3	—																																		
	Z 4	—																																		
市場単価	S	—																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 1/5																																	

改正理由	一部改正	改正 現行					
現 行	改 正		備 考				
現行なし	→	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>(2) 橋名板等取付</p> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> </div>					
前頁から移動	→	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>(3) 橋梁用高欄</p> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> </div>					
		<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>2.3. 施工パッケージ</p> <p>2.3-1 排水樹</p> <p>(1) 条件区分</p> <p><u>排水樹における積算条件区分はない。条件区分は、次表を標準とする。</u></p> <p><u>積算単位は、箇所とする。</u></p> <p style="text-align: center;">表3.1 排水樹 積算条件区分一覧 (積算単位：箇所)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">排水樹の種類</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">排水樹A</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">排水樹B 20kg/個未満</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">排水樹B 20kg/個以上 110kg/個以下</td></tr> </table> <p>(注) <u>1. 橋梁、シェッドの排水樹の設置、現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等含む）を含む。</u></p> <p><u>2. 排水樹Aは、繊維強化プラスチック（FRP）製とする。</u></p> <p><u>3. 排水樹Bは、FRP製以外（普通鉄鉄（ねずみ鉄鉄）製等とする。</u></p> <p style="text-align: center;">10・⑬・2</p> </div>		排水樹の種類	排水樹A	排水樹B 20kg/個未満	排水樹B 20kg/個以上 110kg/個以下
排水樹の種類							
排水樹A							
排水樹B 20kg/個未満							
排水樹B 20kg/個以上 110kg/個以下							
積算上の注意事項			(控え頁) 2/5				

記載の追加
(歩掛り改定に伴う)

記載の追加・修正・削除
(歩掛り改定に伴う)

改正理由	一部改正	改正 現行	
現	行	改	正
		備	考
		語句の修正	代表材料の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)
		記載の追加 (歩掛り改定に伴う)	
積算上の注意事項			(控え頁) 3/5

前々頁から移動



(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表2-13.2 排水樹 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	—	
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	—	
	R 4	—	
材料	Z 1	橋梁用排水樹 鋼桁用 A タイプ 首下 265 FC250 本体 13.6kg/個	排水樹 B 20kg/個未満の場合
		橋梁用排水樹 鋼桁用 A タイプ 首下 265 FC250 本体 82.2kg/個	排水樹 B 20kg/個以上 110kg/個以下の場合
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

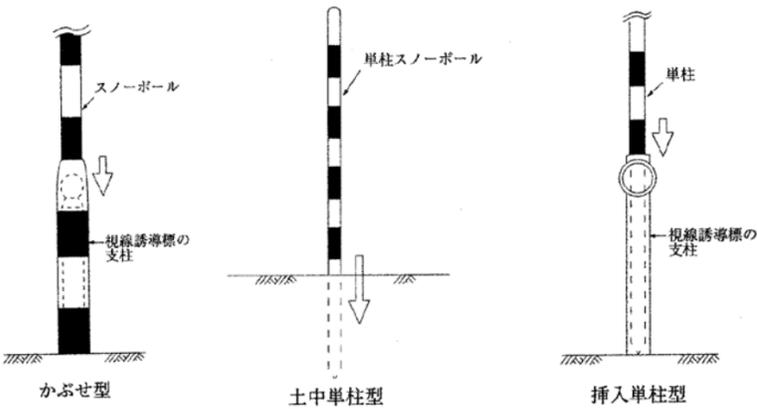
現行なし

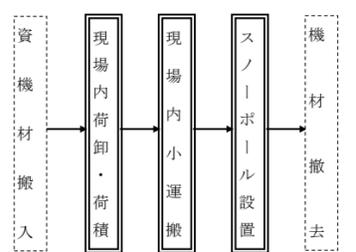
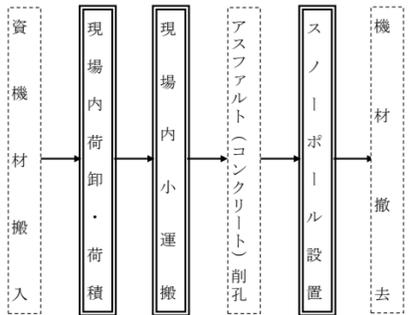
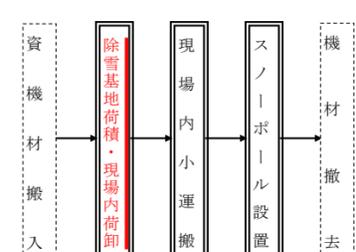
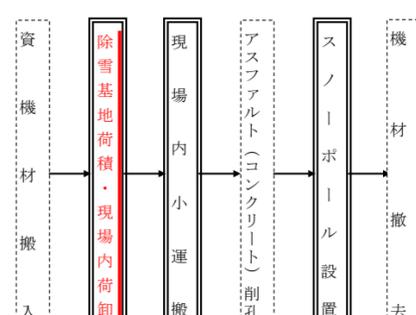


3-2 排水樹A (材料費)
(1) 条件区分
排水樹A (材料費) における積算条件区分はない。
積算単位は、箇所とする。

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																										
現	行	改	正																																																																																									
<p>2-2 橋名板取付</p> <p>(1) 条件区分 橋名板取付における積算条件区分はない。 積算単位は、箇所とする。</p> <p>(注) 1. 現場内小運搬等、橋名板取付に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等含む）を含む。ただし、取付材料（ボルト等）は含まない。 2. 取付ボルト等の材料費は、必要により別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.2 橋名板取付 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>銘板 300×200×13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">10・⑬・2</p>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	—		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	銘板 300×200×13		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>2.3-2.3 2.3-2.3 橋名板等取付</p> <p>(1) 条件区分 橋名板等取付における積算条件区分はない。 積算単位は、<u>箇所</u>とする。</p> <p>(注) 1. 現場内小運搬、<u>電気ドリル等の工具費、電力に関する経費等</u>、橋名板（<u>橋歴板</u>）取付に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等含む）を含む。<u>ただし、取付材料（ボルト等）は含まない。</u> <u>2. 取付ボルト等の材料費は、必要により別途計上する。</u> <u>2. 取付箇所が高所であり高所作業車を必要とする場合は、別途考慮する。</u></p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2-23.3 橋名板等取付 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>銘板 300×200×13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">10・⑬・4</p>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	—		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	銘板 300×200×13		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>記載の追加・修正・削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の追加・修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K 1	—																																																																																										
	K 2	—																																																																																										
	K 3	—																																																																																										
労務	R 1	普通作業員																																																																																										
	R 2	—																																																																																										
	R 3	—																																																																																										
	R 4	—																																																																																										
材料	Z 1	銘板 300×200×13																																																																																										
	Z 2	—																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K 1	—																																																																																										
	K 2	—																																																																																										
	K 3	—																																																																																										
労務	R 1	普通作業員																																																																																										
	R 2	—																																																																																										
	R 3	—																																																																																										
	R 4	—																																																																																										
材料	Z 1	銘板 300×200×13																																																																																										
	Z 2	—																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 4/5																																																																																									

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																															
現	行	改 正	備 考																																																															
<p>2-3 橋梁用高欄 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.3 橋梁用高欄 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>設置方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設 置</td> <td>組立式</td> </tr> <tr> <td>一体式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">再利用設置</td> <td>組立式</td> </tr> <tr> <td>一体式</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 設置の場合 (材料込みの新設設置) 現場内小運搬等、橋梁用高欄の設置に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等含む) を含む。ただし、橋梁用高欄一体式 (材料費) は含まない。 2. 再利用設置の場合 (設置手間のみ、材料は流用品) ・上記1. の設置費のみを含む。(橋梁用高欄組立式・一体式 (材料費) は含まない。) ・撤去に要する費用は含まない。 3. 組立式とは、支柱と横枠部を分割出来る市販品、一体式とは、形鋼等による工場製作品をいう。 4. 橋梁用高欄が一体式の場合の材料費は、m当り単価を別途計上する。 5. 基礎は、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.4 橋梁用高欄 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t</td> <td>一体式の場合</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td>一体式の場合</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>高欄 (鋼製) B種 丸・縦棧型 ビーム数 3本 高さ 1,000mm スパン 2.0m めっき</td> <td>組立式の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>一体式の場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2-4 橋梁用高欄一体式 (材料費) (1) 条件区分 橋梁用高欄一体式 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。</p> <p style="text-align: center;">10・⑬・3</p>		作業区分	設置方法	設 置	組立式	一体式	再利用設置	組立式	一体式	項目	代表機労材規格		備考	機械	K1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t	一体式の場合	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	運転手 (特殊)	一体式の場合	R4	—		材料	Z1	高欄 (鋼製) B種 丸・縦棧型 ビーム数 3本 高さ 1,000mm スパン 2.0m めっき	組立式の場合	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油	一体式の場合	Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>2-3-3-4 橋梁用高欄 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-3.3.4 橋梁用高欄 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>設置方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 置</td> <td>組立式</td> </tr> <tr> <td>再利用設置</td> <td>一体式</td> </tr> <tr> <td>再利用設置</td> <td>組立式</td> </tr> <tr> <td>再利用設置</td> <td>一体式</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 設置の場合 (材料込みの新設設置) 現場内小運搬、<u>高欄組立工具類</u>等、橋梁用高欄の設置に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等含む) を含む。ただし、橋梁用高欄一体式 (材料費) は含まない。 2. 再利用設置の場合 (設置手間のみ、材料は流用品) ・上記1. の設置費のみを含む。(橋梁用高欄組立式・一体式 (材料費) は含まない。) ・撤去に要する費用は含まない。 3.2. 組立式とは、支柱と横枠部を分割出来る市販品、一体式とは、形鋼等による工場製作品をいう。 4.3. 橋梁用高欄が一体式の場合の材料費は、m当り単価を別途計上する。 5.4. <u>基礎は、別途計上する。地覆にかかわる鉄筋組立、コンクリート工及び型枠の設置・撤去は含まない。</u></p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表2-43.5 橋梁用高欄 代表機労材規格一覧</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">2-3-4-5 橋梁用高欄一体式 (材料費)</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">10・⑬・5</p>		作業区分	設置方法	設 置	組立式	再利用設置	一体式	再利用設置	組立式	再利用設置	一体式	<p>区分の修正・削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加・修正・削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
作業区分	設置方法																																																																	
設 置	組立式																																																																	
	一体式																																																																	
再利用設置	組立式																																																																	
	一体式																																																																	
項目	代表機労材規格		備考																																																															
機械	K1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t	一体式の場合																																																															
	K2	—																																																																
	K3	—																																																																
労務	R1	普通作業員																																																																
	R2	土木一般世話役																																																																
	R3	運転手 (特殊)	一体式の場合																																																															
	R4	—																																																																
材料	Z1	高欄 (鋼製) B種 丸・縦棧型 ビーム数 3本 高さ 1,000mm スパン 2.0m めっき	組立式の場合																																																															
	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油	一体式の場合																																																															
	Z3	—																																																																
	Z4	—																																																																
市場単価	S	—																																																																
作業区分	設置方法																																																																	
設 置	組立式																																																																	
再利用設置	一体式																																																																	
再利用設置	組立式																																																																	
再利用設置	一体式																																																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 5/5																																																															

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
<p>⑩ スノーポール設置・撤去工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、積雪寒冷地の冬期視線誘導対策におけるスノーポールの設置、撤去、設置・撤去に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 既存の視線誘導標にスノーポールを取付ける「かぶせ型タイプ」の場合 (2) 単柱を土中に差し込む「土中単柱型タイプ」の場合 (3) 既存の視線誘導標支柱のサヤ管等に単柱を挿入する「挿入単柱型タイプ」の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 二段式デリニエータポール等の引上げの場合</p>		<p>現行どおり</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 二段式デリニエータポール等の引上げの場合 (2) ガードレール等既設構造物に固定するなどして設置する「添柱型タイプ」の場合</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
 <p style="text-align: center;">図1-1 スノーポールの参考図</p>			
10・⑩・1			
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2

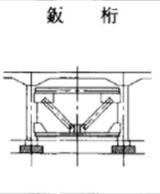
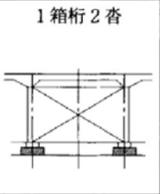
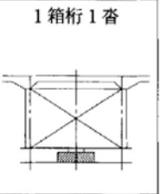
改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>2-1 「かぶせ型タイプ」, 「挿入単柱型タイプ」</p>  <p>2-2 「土中単柱型タイプ」</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 土中単柱型で、アスファルト(コンクリート)削孔は必要に応じて別途計上する。</p>	<p style="text-align: center;">改 正</p> <p>現行どおり</p> <p><u>2-1 設置</u> 2-1 (1) 「かぶせ型タイプ」, 「挿入単柱型タイプ」</p>  <p><u>2-2 (2)</u> 「土中単柱型タイプ」</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 土中単柱型で、アスファルト(コンクリート)削孔は必要に応じて別途計上する。</p> <p><u>2-2 撤去</u></p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 「かぶせ型タイプ」, 「挿入単柱型タイプ」, 「土中単柱型タイプ」に適用する。</p>	<p>記載の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
	<p>現行なし →</p>		
積算上の注意事項	10・⑩・2		(控え頁) 2/2

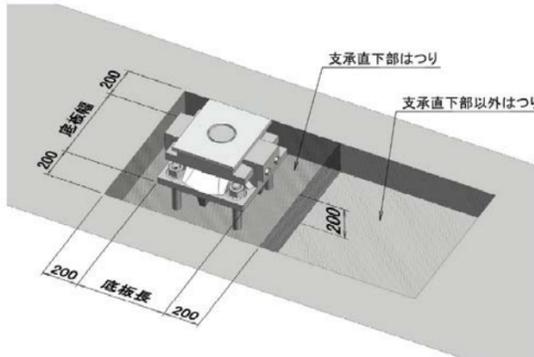
改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																				
現	行	改 正	備 考																																																				
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">積算条件</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">DID 区間の有無</th> <th style="text-align: center;">運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16" style="text-align: center; vertical-align: middle;">有り</td><td>6.0km 以下</td></tr> <tr><td>6.5km 以下</td></tr> <tr><td>7.5km 以下</td></tr> <tr><td>8.5km 以下</td></tr> <tr><td>9.5km 以下</td></tr> <tr><td>11.0km 以下</td></tr> <tr><td>12.5km 以下</td></tr> <tr><td>14.5km 以下</td></tr> <tr><td>16.5km 以下</td></tr> <tr><td>19.0km 以下</td></tr> <tr><td>22.0km 以下</td></tr> <tr><td>25.5km 以下</td></tr> <tr><td>30.0km 以下</td></tr> <tr><td>36.0km 以下</td></tr> <tr><td>46.0km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、舗装路面の切削作業によって発生するアスファルト敷の運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛かる費用を含む。 3. タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。 4. 敷処分は含まない。 5. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。 6. DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 7. 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <caption style="text-align: center;">表3.4 搬運機（路面切削）代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10 t 積載</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 運転手（一般）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1.2 号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		積算条件		DID 区間の有無	運搬距離	有り	6.0km 以下	6.5km 以下	7.5km 以下	8.5km 以下	9.5km 以下	11.0km 以下	12.5km 以下	14.5km 以下	16.5km 以下	19.0km 以下	22.0km 以下	25.5km 以下	30.0km 以下	36.0km 以下	46.0km 以下	60.0km 以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10 t 積載	タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 運転手（一般）		R 2 -		R 3 -		R 4 -		材料	Z 1 軽油 1.2 号 バトロール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>記載の追加・修正</p> <p>5. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる <u>とき場合は</u>、平均値とする。 子6. 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。 子7. DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 <u>8. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。</u></p>
積算条件																																																							
DID 区間の有無	運搬距離																																																						
有り	6.0km 以下																																																						
	6.5km 以下																																																						
	7.5km 以下																																																						
	8.5km 以下																																																						
	9.5km 以下																																																						
	11.0km 以下																																																						
	12.5km 以下																																																						
	14.5km 以下																																																						
	16.5km 以下																																																						
	19.0km 以下																																																						
	22.0km 以下																																																						
	25.5km 以下																																																						
	30.0km 以下																																																						
	36.0km 以下																																																						
	46.0km 以下																																																						
	60.0km 以下																																																						
項目	代表機材規格	備考																																																					
機械	K 1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10 t 積載	タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む																																																					
	K 2 -																																																						
	K 3 -																																																						
労務	R 1 運転手（一般）																																																						
	R 2 -																																																						
	R 3 -																																																						
	R 4 -																																																						
材料	Z 1 軽油 1.2 号 バトロール給油																																																						
	Z 2 -																																																						
	Z 3 -																																																						
	Z 4 -																																																						
市場単価	S -																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																				

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																																																												
	現 行	改 正																																																																																																																																																													
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>表3.2 舗装版破碎 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>障害等の有無</th> <th>騒音振動対策</th> <th>舗装版厚</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16">無し</td> <td rowspan="8">不要</td> <td rowspan="8">15cm 以下</td> <td>機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m³ (平積 0.35m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr><td>R3</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z1</td><td>軽油 1.2号 バトロール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>S</td><td>市場単価</td><td></td></tr> <tr><td>機械</td><td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m³ (平積 0.35m³)</td><td>賃料</td></tr> <tr><td>K2</td><td>大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量 600~800kg 級</td><td></td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr><td>R3</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z1</td><td>軽油 1.2号 バトロール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>S</td><td>市場単価</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="16">有り</td> <td rowspan="8">必要</td> <td rowspan="8">—</td> <td>機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m³ (平積 0.35m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr><td>K2</td><td>バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置 (建物用)] 開口幅 735~850mm 破砕力 550~980kN</td><td></td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr><td>R3</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z1</td><td>軽油 1.2号 バトロール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>S</td><td>市場単価</td><td></td></tr> <tr><td>機械</td><td>K1 空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 3.5~3.7m³/min</td><td>賃料</td></tr> <tr><td>K2</td><td>さく岩機 (コンクリートブレーカ) 20kg 級</td><td></td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z1</td><td>軽油 1.2号 バトロール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>S</td><td>市場単価</td><td></td></tr> </tbody> </table>	障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	項目	代表機材規格	備考	無し	不要	15cm 以下	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	賃料	K2	—		K3	—		R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	運転手(特殊)		R4	—		Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		S	市場単価		機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	賃料	K2	大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量 600~800kg 級		K3	—		R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	運転手(特殊)		R4	—		Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		S	市場単価		有り	必要	—	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	賃料	K2	バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置 (建物用)] 開口幅 735~850mm 破砕力 550~980kN		K3	—		R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	運転手(特殊)		R4	—		Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		S	市場単価		機械	K1 空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 3.5~3.7m ³ /min	賃料	K2	さく岩機 (コンクリートブレーカ) 20kg 級		K3	—		R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	—		R4	—		Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		S	市場単価		改 正	
障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																										
無し	不要	15cm 以下	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	賃料																																																																																																																																																										
			K2	—																																																																																																																																																											
			K3	—																																																																																																																																																											
			R1	普通作業員																																																																																																																																																											
			R2	土木一般世話役																																																																																																																																																											
			R3	運転手(特殊)																																																																																																																																																											
			R4	—																																																																																																																																																											
			Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																											
	Z2	—																																																																																																																																																													
	Z3	—																																																																																																																																																													
	Z4	—																																																																																																																																																													
	S	市場単価																																																																																																																																																													
	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	賃料																																																																																																																																																												
	K2	大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量 600~800kg 級																																																																																																																																																													
	K3	—																																																																																																																																																													
	R1	普通作業員																																																																																																																																																													
R2	土木一般世話役																																																																																																																																																														
R3	運転手(特殊)																																																																																																																																																														
R4	—																																																																																																																																																														
Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																														
Z2	—																																																																																																																																																														
Z3	—																																																																																																																																																														
Z4	—																																																																																																																																																														
S	市場単価																																																																																																																																																														
有り	必要	—	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	賃料																																																																																																																																																										
			K2	バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置 (建物用)] 開口幅 735~850mm 破砕力 550~980kN																																																																																																																																																											
			K3	—																																																																																																																																																											
			R1	普通作業員																																																																																																																																																											
			R2	土木一般世話役																																																																																																																																																											
			R3	運転手(特殊)																																																																																																																																																											
			R4	—																																																																																																																																																											
			Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																											
	Z2	—																																																																																																																																																													
	Z3	—																																																																																																																																																													
	Z4	—																																																																																																																																																													
	S	市場単価																																																																																																																																																													
	機械	K1 空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 3.5~3.7m ³ /min	賃料																																																																																																																																																												
	K2	さく岩機 (コンクリートブレーカ) 20kg 級																																																																																																																																																													
	K3	—																																																																																																																																																													
	R1	特殊作業員																																																																																																																																																													
R2	普通作業員																																																																																																																																																														
R3	—																																																																																																																																																														
R4	—																																																																																																																																																														
Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																														
Z2	—																																																																																																																																																														
Z3	—																																																																																																																																																														
Z4	—																																																																																																																																																														
S	市場単価																																																																																																																																																														
	現 行	改 正																																																																																																																																																													
	<p>現行どおり</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>表3.2 舗装版破碎 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>障害等の有無</th> <th>騒音振動対策</th> <th>舗装版厚</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16">無し</td> <td rowspan="8">不要</td> <td rowspan="8">15cm 以下</td> <td>機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m³ (平積 0.35m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr><td>R3</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z1</td><td>軽油 1.2号 バトロール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>S</td><td>市場単価</td><td></td></tr> <tr><td>機械</td><td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m³ (平積 0.35m³)</td><td>賃料</td></tr> <tr><td>K2</td><td>大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量 600~800kg 級</td><td></td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr><td>R3</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z1</td><td>軽油 1.2号 バトロール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>S</td><td>市場単価</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="16">有り</td> <td rowspan="8">必要</td> <td rowspan="8">—</td> <td>機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m³ (平積 0.35m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr><td>K2</td><td>バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置 (建物用)] 開口幅 735~850mm 破砕力 550~980kN</td><td></td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr><td>R3</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z1</td><td>軽油 1.2号 バトロール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>S</td><td>市場単価</td><td></td></tr> <tr><td>機械</td><td>K1 空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 3.5~3.7m³/min</td><td>賃料</td></tr> <tr><td>K2</td><td>さく岩機 (コンクリートブレーカ) 20kg 級</td><td></td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z1</td><td>軽油 1.2号 バトロール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>S</td><td>市場単価</td><td></td></tr> </tbody> </table>	障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	項目	代表機材規格	備考	無し	不要	15cm 以下	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	賃料	K2	—		K3	—		R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	運転手(特殊)		R4	—		Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		S	市場単価		機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	賃料	K2	大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量 600~800kg 級		K3	—		R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	運転手(特殊)		R4	—		Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		S	市場単価		有り	必要	—	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	賃料	K2	バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置 (建物用)] 開口幅 735~850mm 破砕力 550~980kN		K3	—		R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	運転手(特殊)		R4	—		Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		S	市場単価		機械	K1 空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 3.5~3.7m ³ /min	賃料	K2	さく岩機 (コンクリートブレーカ) 20kg 級		K3	—		R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	—		R4	—		Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		S	市場単価		改 正	
障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																										
無し	不要	15cm 以下	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	賃料																																																																																																																																																										
			K2	—																																																																																																																																																											
			K3	—																																																																																																																																																											
			R1	普通作業員																																																																																																																																																											
			R2	土木一般世話役																																																																																																																																																											
			R3	運転手(特殊)																																																																																																																																																											
			R4	—																																																																																																																																																											
			Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																											
	Z2	—																																																																																																																																																													
	Z3	—																																																																																																																																																													
	Z4	—																																																																																																																																																													
	S	市場単価																																																																																																																																																													
	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	賃料																																																																																																																																																												
	K2	大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量 600~800kg 級																																																																																																																																																													
	K3	—																																																																																																																																																													
	R1	普通作業員																																																																																																																																																													
R2	土木一般世話役																																																																																																																																																														
R3	運転手(特殊)																																																																																																																																																														
R4	—																																																																																																																																																														
Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																														
Z2	—																																																																																																																																																														
Z3	—																																																																																																																																																														
Z4	—																																																																																																																																																														
S	市場単価																																																																																																																																																														
有り	必要	—	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	賃料																																																																																																																																																										
			K2	バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置 (建物用)] 開口幅 735~850mm 破砕力 550~980kN																																																																																																																																																											
			K3	—																																																																																																																																																											
			R1	普通作業員																																																																																																																																																											
			R2	土木一般世話役																																																																																																																																																											
			R3	運転手(特殊)																																																																																																																																																											
			R4	—																																																																																																																																																											
			Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																											
	Z2	—																																																																																																																																																													
	Z3	—																																																																																																																																																													
	Z4	—																																																																																																																																																													
	S	市場単価																																																																																																																																																													
	機械	K1 空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 3.5~3.7m ³ /min	賃料																																																																																																																																																												
	K2	さく岩機 (コンクリートブレーカ) 20kg 級																																																																																																																																																													
	K3	—																																																																																																																																																													
	R1	特殊作業員																																																																																																																																																													
R2	普通作業員																																																																																																																																																														
R3	—																																																																																																																																																														
R4	—																																																																																																																																																														
Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																														
Z2	—																																																																																																																																																														
Z3	—																																																																																																																																																														
Z4	—																																																																																																																																																														
S	市場単価																																																																																																																																																														
	現 行	改 正																																																																																																																																																													
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																																																																																												



代表機械の修正

改正理由	一部改正	改正 現行																																	
現	行	改	正																																
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 支承受替(鋼橋)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 支承受替(鋼橋) 積算条件区分一覧 (積算単位: 基)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>支承形式</th> <th>現場条件</th> <th>下部工ブラケット取付の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">I</td> <td rowspan="2">-</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">II</td> <td rowspan="2">鈑桁</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1箱桁2脊</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1箱桁1脊</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">III</td> <td rowspan="2">鈑桁</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1箱桁2脊</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1箱桁1脊</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">IV</td> <td rowspan="2">-</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、橋梁補修工における鋼橋の鋼製支承からの支承受替、仮置場又は運搬用トラックまでの搬送、桁付ブラケット取付、支承直下部の沓座コンクリートのはつりの他、電力に関する経費、コンクリートブレーカ、ピックハンマ、電気溶接機、油圧ジャッキ、手動油圧ポンプ、ガス切断機、ディスクサンダ、電気ドリルの損料、空気圧縮機の賃料及び運転経費、鉄筋、型枠材、溶接棒、酸素、アセチレン、無収縮モルタル、チゼル、ドリル刃、ディスクサンドペーパー等の材料費、損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、支承(材料費)は含まない。</p> <p>2. 反力受け架台として下部工ブラケットを取付ける場合は、下部工ブラケット取付の有無「有り」とし、「3-6 下部工ブラケット取付」により別途計上すること。</p> <p>3. 支承の材料費は別途計上する。</p> <p style="border: 2px solid red;">4. 現場補修塗装は別途考慮する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>現場条件</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>鈑 桁</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>1箱桁2脊</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>1箱桁1脊</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">図3.1 現場条件</p> <p style="text-align: center;">11・⑫・3</p>		支承形式	現場条件	下部工ブラケット取付の有無	I	-	無し	有り	II	鈑桁	無し	有り	1箱桁2脊	無し	有り	1箱桁1脊	無し	有り	III	鈑桁	無し	有り	1箱桁2脊	無し	有り	1箱桁1脊	無し	有り	IV	-	無し	有り	<p>現行どおり</p> <p style="color: red; font-size: small;">4. 桁付ブラケットの材料費(製作費含む)は、別途計上する。</p> <p style="color: red; font-size: small;">+5. 現場補修塗装は別途考慮する。</p> <p>現行どおり</p>		<p>備考</p> <p style="color: red;">記載の修正</p>
支承形式	現場条件	下部工ブラケット取付の有無																																	
I	-	無し																																	
		有り																																	
II	鈑桁	無し																																	
		有り																																	
	1箱桁2脊	無し																																	
		有り																																	
	1箱桁1脊	無し																																	
		有り																																	
III	鈑桁	無し																																	
		有り																																	
	1箱桁2脊	無し																																	
		有り																																	
	1箱桁1脊	無し																																	
		有り																																	
IV	-	無し																																	
		有り																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 1/6																																

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																															
	<p>現 行</p> <p>3-3 支承(材料費) (1) 条件区分 支承(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、個とする。</p> <p>3-4 沓座コンクリートはつり(支承直下部以外) (1) 条件区分 沓座コンクリートはつり(支承直下部以外)における積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。 (注) 支承取替工における支承直下部以外の沓座コンクリートはつりの他、コンクリートブレーカ、ピックハンマの損料、空気圧縮機の賃料及び運転経費、チゼルの材料費、損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p>  <p>図3.2 参考図(沓座コンクリートはつり)</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1"> <caption>表3.4 沓座コンクリートはつり(支承直下部以外) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>橋りょう世話役</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>11・⑫・5</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	-	K2	-	K3	-	労務	R1	特殊作業員	R2	普通作業員	R3	橋りょう世話役	R4	-	材料	Z1	-	Z2	-	Z3	-	Z4	-	市場単価	S	-	<p>改 正</p> <p>現 行</p> <p>現行どおり</p> <p>3-4 桁付ブラケット(材料費) (1) 条件区分 桁付ブラケット(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、基とする。 (注) 桁付ブラケット材料費(製作費含む)は、共通仮設費及び現場管理費の対象外とする。</p> <p>3-45 沓座コンクリートはつり(支承直下部以外)</p> <p>現行どおり</p> <p>次頁へ移動</p>	<p>備考</p> <p>記載の追加</p> <p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																
機械	K1	-																																
	K2	-																																
	K3	-																																
労務	R1	特殊作業員																																
	R2	普通作業員																																
	R3	橋りょう世話役																																
	R4	-																																
材料	Z1	-																																
	Z2	-																																
	Z3	-																																
	Z4	-																																
市場単価	S	-																																
積算上の注意事項			(控え頁) 2/6																															

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																														
現	行	改	正																																																																																													
前頁より移動																																																																																																
<p>3-5 支承アンカーボルト削孔・定着 新規に支承アンカーボルト削孔及びアンカー定着が必要な場合は、下記により別途計上する。</p> <p>(1) 支承アンカーボルト削孔 支承アンカーボルト削孔は、「@落橋防止装置工」による。</p> <p>(2) アンカー定着 アンカー定着は、「@落橋防止装置工」による。</p> <p>3-6 下部工ブラケット取付</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 下部工ブラケット取付 積算条件区分一覧 (積算単位：基)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th colspan="2">ブラケット単部材質量</th></tr> <tr><td>600kg 以下</td><td></td></tr> <tr><td>600kg を超え 2,000kg 以下</td><td></td></tr> </table> <p>(注) 1. 支承取替工における下部工ブラケット取付、仮置き場からの小運搬の他、電力に関する経費、組立工具、吊上げ設備、クレーン付きトラック運転及び部材取付用消耗材料の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>2. ブラケット質量、作業半径、吊上げ高さ等を勘案し、必要に応じてラフテレーンクレーン（賃料）を計上する。なお、ラフテレーンクレーンは、現場条件に適合した規格を選定すること。</p> <p>3. 下部工ブラケットの材料費（製作費含む）は、別途計上する。</p> <p>4. アンカーボルト定着後の引抜及び定着長測定等の試験費は、別途計上する。</p> <p>5. 下部工ブラケット撤去は、別途考慮する。</p> <p>6. アンカーボルト削孔は、「@落橋防止装置工」により別途計上する。</p> <p>7. アンカー定着は、「@落橋防止装置工」により別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 下部工ブラケット取付 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>橋りょう特殊工</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R3</td><td>橋りょう世話役</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">11・⑫・6</p>	ブラケット単部材質量		600kg 以下		600kg を超え 2,000kg 以下		項目	代表機材規格		備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	橋りょう特殊工		R2	普通作業員		R3	橋りょう世話役		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 沓座コンクリートはつり(支承直下部以外) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R3</td><td>橋りょう世話役</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>3-5.6 支承アンカーボルト削孔・定着</p> <p>3-6.7 下部工ブラケット取付</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">次頁へ移動</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	橋りょう世話役		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
ブラケット単部材質量																																																																																																
600kg 以下																																																																																																
600kg を超え 2,000kg 以下																																																																																																
項目	代表機材規格		備考																																																																																													
機械	K1	—																																																																																														
	K2	—																																																																																														
	K3	—																																																																																														
労務	R1	橋りょう特殊工																																																																																														
	R2	普通作業員																																																																																														
	R3	橋りょう世話役																																																																																														
	R4	—																																																																																														
材料	Z1	—																																																																																														
	Z2	—																																																																																														
	Z3	—																																																																																														
	Z4	—																																																																																														
市場単価	S	—																																																																																														
項目	代表機材規格		備考																																																																																													
機械	K1	—																																																																																														
	K2	—																																																																																														
	K3	—																																																																																														
労務	R1	特殊作業員																																																																																														
	R2	普通作業員																																																																																														
	R3	橋りょう世話役																																																																																														
	R4	—																																																																																														
材料	Z1	—																																																																																														
	Z2	—																																																																																														
	Z3	—																																																																																														
	Z4	—																																																																																														
市場単価	S	—																																																																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 3/6																																																																																													

改正理由	一部改正	改正 現行																																														
現	行	改 正	備 考																																													
<p style="text-align: right;">前頁より移動</p> <p>3-7 下部工ブラケット (材料費)</p> <p>(1) 条件区分 下部工ブラケット (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、基とする。 (注) 下部工ブラケット材料費 (製作費含む) は、共通仮設費及び現場管理費の対象外とする。</p> <p>3-8 足場</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 足場 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>供用月数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1ヶ月以下</td></tr> <tr><td>1ヶ月を超え2ヶ月以下</td></tr> <tr><td>2ヶ月を超え3ヶ月以下</td></tr> <tr><td>3ヶ月を超え4ヶ月以下</td></tr> <tr><td>4ヶ月を超え5ヶ月以下</td></tr> <tr><td>5ヶ月を超え6ヶ月以下</td></tr> <tr><td>6ヶ月を超え7ヶ月以下</td></tr> <tr><td>7ヶ月を超え8ヶ月以下</td></tr> <tr><td>8ヶ月を超え9ヶ月以下</td></tr> <tr><td>9ヶ月を超え10ヶ月以下</td></tr> <tr><td>10ヶ月を超え11ヶ月以下</td></tr> <tr><td>11ヶ月を超え12ヶ月以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、支承取替工における橋脚回り吊足場の設置及び撤去の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 2. 支承取替における足場は、図3.3に示す橋脚回り吊足場を標準とする。 なお、現場条件等により、これにより難い場合は別途考慮するものとする。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">図3.3 橋脚回り吊足場</p> </div>		供用月数	1ヶ月以下	1ヶ月を超え2ヶ月以下	2ヶ月を超え3ヶ月以下	3ヶ月を超え4ヶ月以下	4ヶ月を超え5ヶ月以下	5ヶ月を超え6ヶ月以下	6ヶ月を超え7ヶ月以下	7ヶ月を超え8ヶ月以下	8ヶ月を超え9ヶ月以下	9ヶ月を超え10ヶ月以下	10ヶ月を超え11ヶ月以下	11ヶ月を超え12ヶ月以下	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 下部工ブラケット取付 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>橋りょう特殊工</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>橋りょう世話役</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-7.8 下部工ブラケット (材料費)</p> <p>3-8.9 足場</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">次頁へ移動</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	橋りょう特殊工	R2	普通作業員	R3	橋りょう世話役	R4	—	材料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
供用月数																																																
1ヶ月以下																																																
1ヶ月を超え2ヶ月以下																																																
2ヶ月を超え3ヶ月以下																																																
3ヶ月を超え4ヶ月以下																																																
4ヶ月を超え5ヶ月以下																																																
5ヶ月を超え6ヶ月以下																																																
6ヶ月を超え7ヶ月以下																																																
7ヶ月を超え8ヶ月以下																																																
8ヶ月を超え9ヶ月以下																																																
9ヶ月を超え10ヶ月以下																																																
10ヶ月を超え11ヶ月以下																																																
11ヶ月を超え12ヶ月以下																																																
項目	代表機材規格	備考																																														
機械	K1	—																																														
	K2	—																																														
	K3	—																																														
労務	R1	橋りょう特殊工																																														
	R2	普通作業員																																														
	R3	橋りょう世話役																																														
	R4	—																																														
材料	Z1	—																																														
	Z2	—																																														
	Z3	—																																														
	Z4	—																																														
市場単価	S	—																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 4/6																																													

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現行	改正	備考
----	----	----

3. 足場面積は、現場条件、施工条件等を考慮して必要面積を算定するものとするが、一般には次により算定する。

$$\text{足場面積A (m}^2\text{)} = (L + 1.0 \times 2) \times 1.5 \times 2 \times n$$

L : 橋台及び橋脚の長さ (m)
n : 橋台及び橋脚の数 (ただし、橋台の場合は 1/2 とする。)

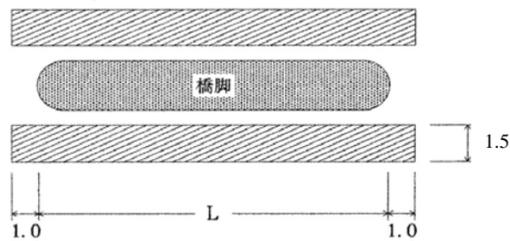


図3.4 足場面積

(2) 代表機材規格

下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.8 足場 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	K1	-
	K2	-
	K3	-
労務	R1	橋りょう特殊工
	R2	-
	R3	-
	R4	-
材料	Z1	-
	Z2	-
	Z3	-
	Z4	-
市場単価	S	-

3-9 その他の足場、防護工及び登り栈橋

支取替工における足場は、橋脚回り吊足場を標準とするが、現場状況、施工状況に応じて各種足場を使用することができる。

- (1) 枠組足場
枠組足場は、「土木工事標準歩掛第2編6章仮設工⑤足場工」による。
- (2) 単管足場
単管足場は、「土木工事標準歩掛第2編6章仮設工⑤足場工」による。
- (3) 防護工
防護工は、必要に応じて別途考慮する。
- (4) 登り栈橋
登り栈橋は、「土木工事標準歩掛第2編16章橋梁①鋼橋架設工」による。

11・⑫・8

前頁より移動

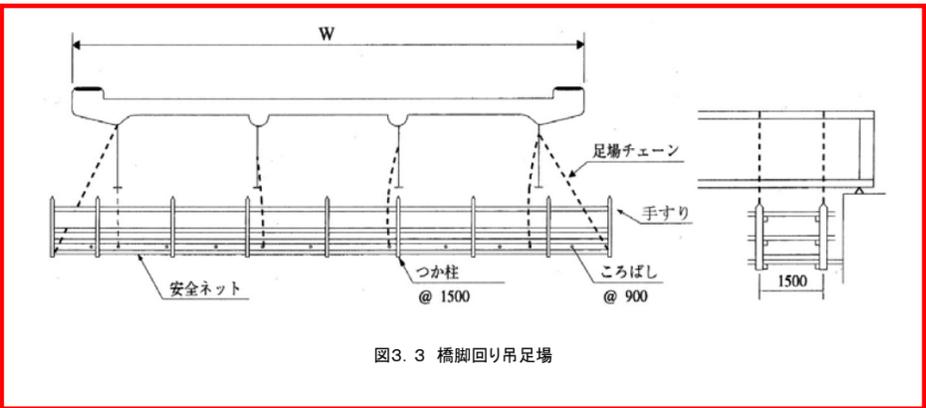


図3.3 橋脚回り吊足場

現行どおり

次頁へ移動

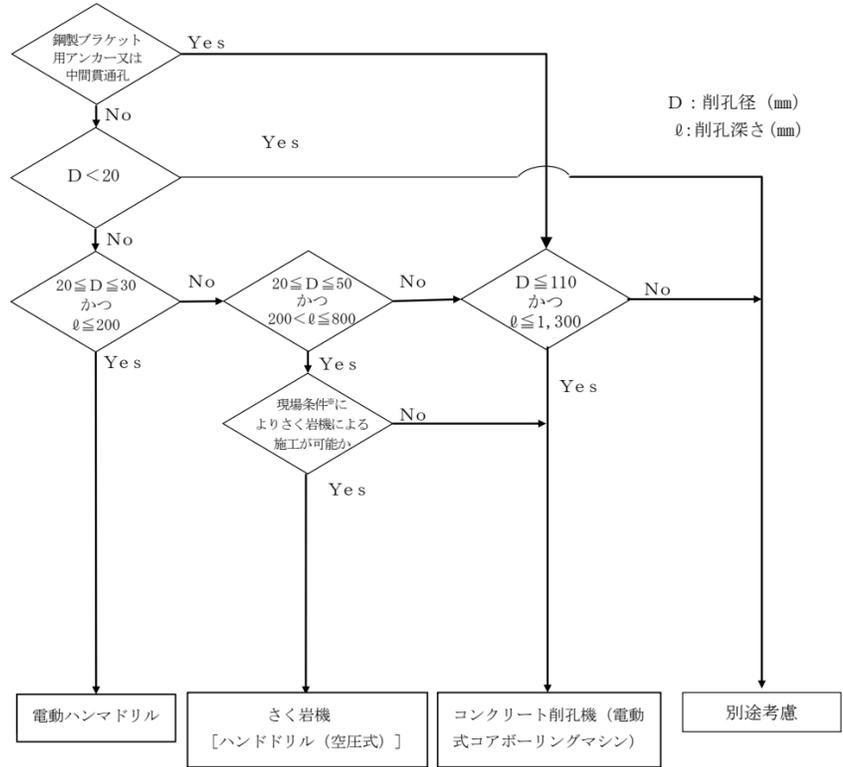
積算上の注意事項		(控え頁) 5/6
----------	--	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現 行	改 正	備 考	
<p>⑭ 落橋防止装置工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、落橋防止装置設置（桁かかり長、落橋防止構造、変位制限構造及び段差防止構造）に伴う、橋台・橋脚のコンクリート削孔、アンカー施工及び充填補修作業に適用する。なお、「⑦⑧⑨⑩橋梁補強工」には適用しない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 コンクリート削孔（電動式コアボーリングマシン）</p> <p>(1) 鋼製ブラケット用アンカー又は中間貫通孔のコンクリート削孔の場合</p> <p>(2) 削孔径 20mm 以上 110mm 以下かつ削孔深さ 1,300mm 以下の場合</p> <p>1-1-2 コンクリート削孔（電動ハンマドリル）</p> <p>(1) 沓座拡幅、コンクリートブロックによる落橋防止等のさし筋におけるコンクリート削孔（削孔径 20mm 以上 30mm 以下かつ削孔深さ 200mm 以下）の場合</p> <p>1-1-3 コンクリート削孔（さく岩機 [ハンドドリル (空圧式)]）</p> <p>(1) 沓座拡幅、コンクリートブロックによる落橋防止等のさし筋におけるコンクリート削孔（削孔径 20mm 以上 50mm 以下かつ削孔深さ 200mm を超え 800mm 以下）の場合</p> <p>(2) 作業スペース、騒音・振動による制限及び既設配筋間隔等による施工障害が無く、さく岩機 [ハンドドリル (空圧式)] による施工が可能な場合</p> <p>1-1-4 アンカー</p> <p>(1) エポキシ樹脂系注入材によるアンカー定着作業の場合</p> <p>1-1-5 充填補修</p> <p>(1) セメント系グラウト材による不達孔の充填補修作業の場合</p> <hr/> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 コンクリート削孔（電動ハンマドリル）、コンクリート削孔（さく岩機 [ハンドドリル (空圧式)]）</p> <p>(1) 鋼製ブラケット用アンカー又は中間貫通孔のコンクリート削孔の場合</p> <p>(2) 上方向のコンクリート削孔の場合</p> <p>1-2-2 アンカー</p> <p>(1) 上方向のアンカー施工の場合</p> <p>(2) アンカー注入材がエポキシ樹脂系以外の場合</p> <p>(3) PC 中間貫通鋼材の場合</p> <p>(4) 沓座拡幅のアンカーボルト挿入工の場合</p> <p>(5) 注入材が不要なアンカー材を使用する場合</p> <p>1-2-3 充填補修</p> <p>(1) 不達孔の補修材がセメント系グラウト材以外の場合</p>		<p>現行どおり</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、落橋防止装置設置（桁かかり長、落橋防止構造、変位制限構造及び段差防止構造）に伴う、橋台・橋脚のコンクリート削孔、アンカー施工、及び充填補修及び鋼構造の現場孔明作業に適用する。なお、「⑦⑧⑨⑩橋梁補強工」には適用しない。</p> <p>現行どおり</p> <p><u>1-1-6 現場孔明（鋼構造）</u> <u>(1) 鋼構造の現場孔明作業の場合</u></p> <p>現行どおり</p> <p>1-2-2 アンカー</p> <p>(1) 上方向のアンカー施工の場合</p> <p>(2) アンカー注入材がエポキシ樹脂系以外の場合</p> <p>(3) PC 中間貫通鋼材の場合</p> <p>(4) 沓座拡幅のアンカーボルト挿入工の場合</p> <p>(5) 注入材が不要なアンカー材を使用する場合</p> <p><u>(6) コンクリート構造物以外の場合</u></p> <p>1-2-3 充填補修</p> <p>(1) 不達孔の補修材がセメント系グラウト材以外の場合</p> <p><u>(2) コンクリート構造物以外の場合</u></p> <p>次頁へ移動</p>	<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
<p>2. 施工概要 施工フローは下記を標準とする。</p> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>			
積算上の注意事項	11・⑭・1		(控え頁) 1/6

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現行	改正	備考
----	----	----

3. コンクリート削孔工法の選定
 コンクリート削孔工法の選定フローは、下記による。

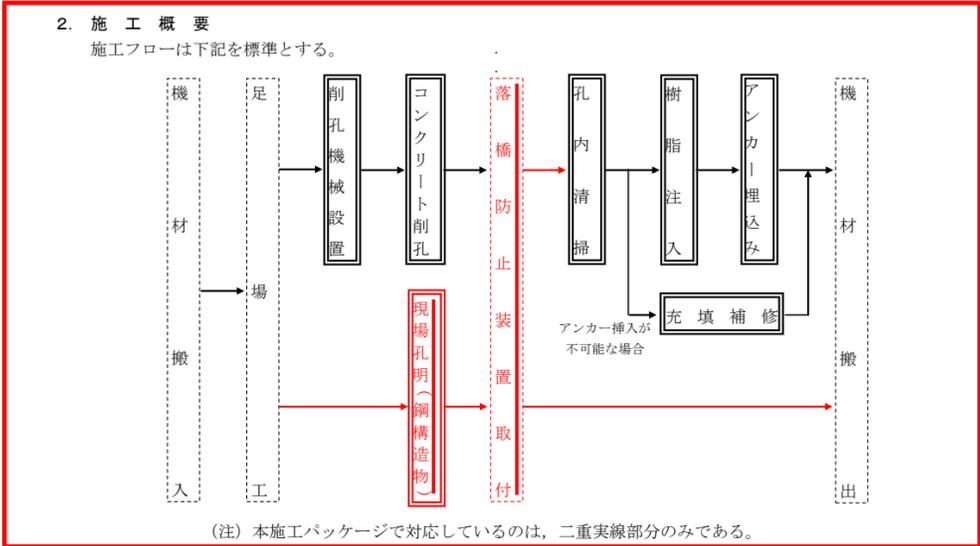


*現場条件とは、作業スペース、騒音・振動による制限及び既設配筋間隔等による施工障害とする。

図3-1 コンクリート削孔工法の選定

11・⑭・2

前頁より移動



(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。

現行どおり

記載の追加
 (歩掛り改定に伴う)

積算上の注意事項		(控え頁) 2/6
----------	--	--------------

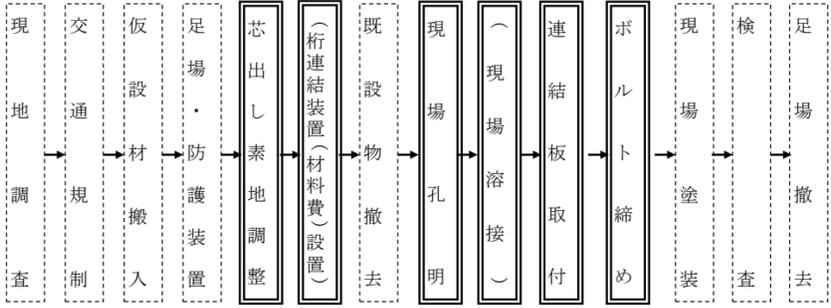
改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																										
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>4. 施工パッケージ 4-1 コンクリート削孔（電動式コアボーリングマシン） (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 コンクリート削孔(電動式コアボーリングマシン) 積算条件区分一覧 (積算単位：孔)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">アンカー材径</th> <th style="width: 50%;">削孔深さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">17mm 以下</td> <td style="text-align: center;">500mm 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">500mm を超え 1,000mm 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">17mm を超え 23mm 以下</td> <td style="text-align: center;">500mm 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">500mm を超え 1,000mm 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">23mm を超え 30mm 以下</td> <td style="text-align: center;">500mm 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">500mm を超え 1,000mm 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">30mm を超え 43mm 以下</td> <td style="text-align: center;">500mm 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">500mm を超え 1,000mm 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,000mm を超え 1,300mm 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">43mm を超え 54mm 以下</td> <td style="text-align: center;">500mm 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">500mm を超え 1,000mm 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,000mm を超え 1,300mm 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">54mm を超え 67mm 以下</td> <td style="text-align: center;">500mm 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">500mm を超え 1,000mm 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,000mm を超え 1,300mm 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">67mm を超え 80mm 以下</td> <td style="text-align: center;">500mm 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">500mm を超え 1,000mm 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,000mm を超え 1,300mm 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">80mm を超え 100mm 以下</td> <td style="text-align: center;">500mm 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">500mm を超え 1,000mm 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,000mm を超え 1,300mm 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、落橋防止装置工におけるコンクリート穿孔機（電動式コアボーリングマシン）によるコンクリート削孔の他、削孔機損料、工事用水中モータポンプ損料、コンクリート穿孔機（電動式コアボーリングマシン）固定用アンカー打込みに必要な費用及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 不達孔（削孔ロス）を含み、不達孔の有無にかかわらず適用出来る。 3. コンクリート穿孔機（電動式コアボーリングマシン）の施工に伴う泥水処理（産業廃棄物の運搬、処理費）が必要な場合は、別途計上する。 4. 足場が必要な場合は、別途計上する。 5. アンカー材径に適用する削孔径と使用ビット径は表4.2を標準とする。 6. 橋脚の主鉄筋を切断しないように事前に鉄筋位置の確認を行う場合には、共通仮設費の技術管理費にて別途計上する。 7. 不達穴の補修費用は、4-7充填補修で別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 アンカー材径と適用削孔径及び使用ビット径</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">アンカー材径(mm)</th> <th style="width: 5%;">17以下</th> <th style="width: 5%;">17を超え 23以下</th> <th style="width: 5%;">23を超え 30以下</th> <th style="width: 5%;">30を超え 43以下</th> <th style="width: 5%;">43を超え 54以下</th> <th style="width: 5%;">54を超え 67以下</th> <th style="width: 5%;">67を超え 80以下</th> <th style="width: 5%;">80を超え 100以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適用削孔径(mm)</td> <td>27以下</td> <td>27を超え 33以下</td> <td>33を超え 40以下</td> <td>40を超え 53以下</td> <td>53を超え 64以下</td> <td>64を超え 77以下</td> <td>77を超え 90以下</td> <td>90を超え 110以下</td> </tr> <tr> <td>使用ビット径(mm)</td> <td>27.6</td> <td>33.1</td> <td>40.0</td> <td>53.1</td> <td>64.7</td> <td>77.4</td> <td>90.8</td> <td>110.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 削孔径はアンカー材径+10mm以上を確保出来るビット径とする。</p>	アンカー材径	削孔深さ	17mm 以下	500mm 以下	500mm を超え 1,000mm 以下	17mm を超え 23mm 以下	500mm 以下	500mm を超え 1,000mm 以下	23mm を超え 30mm 以下	500mm 以下	500mm を超え 1,000mm 以下	30mm を超え 43mm 以下	500mm 以下	500mm を超え 1,000mm 以下	1,000mm を超え 1,300mm 以下	43mm を超え 54mm 以下	500mm 以下	500mm を超え 1,000mm 以下	1,000mm を超え 1,300mm 以下	54mm を超え 67mm 以下	500mm 以下	500mm を超え 1,000mm 以下	1,000mm を超え 1,300mm 以下	67mm を超え 80mm 以下	500mm 以下	500mm を超え 1,000mm 以下	1,000mm を超え 1,300mm 以下	80mm を超え 100mm 以下	500mm 以下	500mm を超え 1,000mm 以下	1,000mm を超え 1,300mm 以下	アンカー材径(mm)	17以下	17を超え 23以下	23を超え 30以下	30を超え 43以下	43を超え 54以下	54を超え 67以下	67を超え 80以下	80を超え 100以下	適用削孔径(mm)	27以下	27を超え 33以下	33を超え 40以下	40を超え 53以下	53を超え 64以下	64を超え 77以下	77を超え 90以下	90を超え 110以下	使用ビット径(mm)	27.6	33.1	40.0	53.1	64.7	77.4	90.8	110.0	<p style="text-align: center;">改 正</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">7. 不達穴の補修費用は、4-7充填補修で別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p style="text-align: center;">備 考</p> <p style="text-align: center;">記載の修正</p>
アンカー材径	削孔深さ																																																												
17mm 以下	500mm 以下																																																												
	500mm を超え 1,000mm 以下																																																												
17mm を超え 23mm 以下	500mm 以下																																																												
	500mm を超え 1,000mm 以下																																																												
23mm を超え 30mm 以下	500mm 以下																																																												
	500mm を超え 1,000mm 以下																																																												
30mm を超え 43mm 以下	500mm 以下																																																												
	500mm を超え 1,000mm 以下																																																												
	1,000mm を超え 1,300mm 以下																																																												
43mm を超え 54mm 以下	500mm 以下																																																												
	500mm を超え 1,000mm 以下																																																												
	1,000mm を超え 1,300mm 以下																																																												
54mm を超え 67mm 以下	500mm 以下																																																												
	500mm を超え 1,000mm 以下																																																												
	1,000mm を超え 1,300mm 以下																																																												
67mm を超え 80mm 以下	500mm 以下																																																												
	500mm を超え 1,000mm 以下																																																												
	1,000mm を超え 1,300mm 以下																																																												
80mm を超え 100mm 以下	500mm 以下																																																												
	500mm を超え 1,000mm 以下																																																												
	1,000mm を超え 1,300mm 以下																																																												
アンカー材径(mm)	17以下	17を超え 23以下	23を超え 30以下	30を超え 43以下	43を超え 54以下	54を超え 67以下	67を超え 80以下	80を超え 100以下																																																					
適用削孔径(mm)	27以下	27を超え 33以下	33を超え 40以下	40を超え 53以下	53を超え 64以下	64を超え 77以下	77を超え 90以下	90を超え 110以下																																																					
使用ビット径(mm)	27.6	33.1	40.0	53.1	64.7	77.4	90.8	110.0																																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 3/6																																																										

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																															
現	行	改 正	備 考																															
<p>4-2 コンクリート削孔（電動ハンマドリル）</p> <p>(1) 条件区分 コンクリート削孔（電動ハンマドリル）における積算条件区分はない。 積算単位は、孔とする。</p> <p>(注) 1. 沓座幅、コンクリートブロックによる落橋防止等のさし筋における電動ハンマドリルによるコンクリート削孔の他、ビット、電動ハンマドリル損料及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 不達孔（削孔ロス）を含み、不達孔の有無にかかわらず適用出来る。 3. 上方向のコンクリート削孔には適用しない。 4. 足場が必要な場合は、別途計上する。 5. 不達穴の補修費用は、4-7充填補修で別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K 1</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	-	K 2	-	K 3	-	労務	R 1	土木一般世話役	R 2	特殊作業員	R 3	-	R 4	-	材料	Z 1	-	Z 2	-	Z 3	-	Z 4	-	市場単価	S	-	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>5. 不達穴の補修費用は、4-7充填補修で別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	記載の修正
項目	代表機材規格	備考																																
機械	K 1	-																																
	K 2	-																																
	K 3	-																																
労務	R 1	土木一般世話役																																
	R 2	特殊作業員																																
	R 3	-																																
	R 4	-																																
材料	Z 1	-																																
	Z 2	-																																
	Z 3	-																																
	Z 4	-																																
市場単価	S	-																																
積算上の注意事項			(控え頁) 4/6																															

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																		
現	行	改 正	備 考																																		
<p>4-3 コンクリート削孔（さく岩機 [ハンドドリル (空圧式)]）</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.5 コンクリート削孔(さく岩機[ハンドドリル(空圧式)]) 積算条件区分一覧 (積算単位：孔)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th style="text-align: center;">削孔深さ</th></tr> <tr><td style="text-align: center;">200mm を超え 500mm 以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">500mm を超え 800mm 以下</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、沓座幅、コンクリートブロックによる落橋防止等のさし筋におけるさく岩機 [ハンドドリル (空圧式)] によるコンクリート削孔の他、ロッド、ビット、さく岩機損料空気圧縮機の費用及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 不達孔（削孔ロス）を含み、不達孔の有無にかかわらず適用出来る。 3. 上方向のコンクリート削孔には適用しない。 4. 足場が必要な場合は、別途計上する。 5. 不達穴の補修費用は、4-7 充填補修で別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表4.6 コンクリート削孔(さく岩機[ハンドドリル(空圧式)]) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td><td style="text-align: center;">K 1</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">K 2</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">K 3</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td><td style="text-align: center;">R 1</td><td style="text-align: center;">特殊作業員</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">R 2</td><td style="text-align: center;">土木一般世話役</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">R 3</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">R 4</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td><td style="text-align: center;">Z 1</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">Z 2</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">Z 3</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">Z 4</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">市場単価</td><td style="text-align: center;">S</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> </tbody> </table>		削孔深さ	200mm を超え 500mm 以下	500mm を超え 800mm 以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	-	K 2	-	K 3	-	労務	R 1	特殊作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	-	R 4	-	材料	Z 1	-	Z 2	-	Z 3	-	Z 4	-	市場単価	S	-	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">5. 不達穴の補修費用は、4-7 充填補修で別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	記載の修正
削孔深さ																																					
200mm を超え 500mm 以下																																					
500mm を超え 800mm 以下																																					
項目	代表機材規格	備考																																			
機械	K 1	-																																			
	K 2	-																																			
	K 3	-																																			
労務	R 1	特殊作業員																																			
	R 2	土木一般世話役																																			
	R 3	-																																			
	R 4	-																																			
材料	Z 1	-																																			
	Z 2	-																																			
	Z 3	-																																			
	Z 4	-																																			
市場単価	S	-																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 5/6																																		

改正理由	一部改正	改正 現行																																															
現 行	改 正		備 考																																														
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100px; margin: auto;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">現行なし</p> </div>	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p>4-9 現場孔明（鋼構造物）</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.10 現場孔明(鋼構造物) 積算条件区分一覧 (積算単位：本)</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">作業条件</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">10本以上/箇所</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">作業性の悪い箇所等</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、現場孔明の他、電気ドリル及びドリル刃損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 作業条件の「作業性の悪い箇所等」は、作業性の悪い箇所の他、構造的に複雑なもの、1箇所当りの孔明本数の少ない場合（10本未満/箇所）とする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表4.11 現場孔明(鋼構造物) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 定格容量 1kVA</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">11・⑭・9</p> </div>	作業条件	10本以上/箇所	作業性の悪い箇所等	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 定格容量 1kVA		K2	—		K3	—		労務	R1	橋りょう特殊工		R2	橋りょう世話役		R3	—		R4	—		材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>新規追加 (歩掛り改定に伴う) ※桁連結工より移動</p>
作業条件																																																	
10本以上/箇所																																																	
作業性の悪い箇所等																																																	
項目	代表機材規格		備考																																														
機械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 定格容量 1kVA																																															
	K2	—																																															
	K3	—																																															
労務	R1	橋りょう特殊工																																															
	R2	橋りょう世話役																																															
	R3	—																																															
	R4	—																																															
材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド																																															
	Z2	—																																															
	Z3	—																																															
	Z4	—																																															
市場単価	S	—																																															
積算上の注意事項			(控え頁) 6/6																																														

工種	桁連結工
----	------

改正理由	廃止	改正 現行	
現行		改正	
<p>① 桁連結工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、桁連結工における芯出し素地調整、現場孔明、連結板取付、現場溶接（溶接脚長8～12mmの場合）、ボルト締めに適する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 現場溶接は必要に応じて別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">11・①・1</p>		<div style="border: 2px solid black; padding: 20px; display: inline-block;">削除</div>	
積算上の注意事項			(控え頁) 1/5

施工パッケージの廃止

改正理由	廃止	改正 現 行	備 考																																																																																																																																																																																	
現	行	改 正	考																																																																																																																																																																																	
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 桁連結装置（材料費）</p> <p>(1) 条件区分 桁連結装置（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、tとする。 (注) 桁連結装置の材料費（製作費含む）は、共通仮設費及び現場管理費の対象外とする。ただし、取付用アンカーボルト・高力ボルト類は別途計上とし、共通仮設費及び現場管理費の対象とする。</p> <p>3-2 芯出し素地調整</p> <p>(1) 条件区分 芯出し素地調整における積算条件区分はない。 積算単位は、m2とする。 (注) 1. 桁連結工における芯出し素地調整の他、工具損料等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 鋼材の取付部等は2種ケレン相当、その他の部分については3種程度のケレン作業を標準とする。なお、これにより難い場合は、別途考慮するものとする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 芯出し素地調整 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">K1</th> <th style="width: 10%;">K2</th> <th style="width: 10%;">K3</th> <th style="width: 10%;">R1</th> <th style="width: 10%;">R2</th> <th style="width: 10%;">R3</th> <th style="width: 10%;">R4</th> <th style="width: 10%;">Z1</th> <th style="width: 10%;">Z2</th> <th style="width: 10%;">Z3</th> <th style="width: 10%;">Z4</th> <th style="width: 10%;">S</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td style="text-align: center;">K1</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K2</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td style="text-align: center;">R1</td> <td colspan="2">普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R2</td> <td colspan="2">橋りょう特殊工</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R3</td> <td colspan="2">橋りょう世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R4</td> <td colspan="2">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">Z1</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z2</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z4</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-3 現場孔明</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 現場孔明 積算条件区分一覧 (積算単位：本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">作業条件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10本以上/箇所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">作業性の悪い箇所等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、桁連結工における現場孔明の他、電気ドリル及びドリル刃損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 作業条件の「作業性の悪い箇所等」は、作業性の悪い箇所の他、構造的に複雑なもの、1箇所当りの孔明本数の少ない場合（10本未満/箇所）とする。</p> <p style="text-align: center;">11・㊸・2</p>		項目	K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	S	備考	機械	K1	-												K2	-												K3	-												労務	R1	普通作業員												R2	橋りょう特殊工												R3	橋りょう世話役												R4	-												材料	Z1	-												Z2	-												Z3	-												Z4	-												市場単価	S	-												作業条件	10本以上/箇所	作業性の悪い箇所等	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block; font-size: 24px; font-weight: bold;">削除</div>	<p>施工パッケージの廃止</p>
項目	K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	S	備考																																																																																																																																																																							
機械	K1	-																																																																																																																																																																																		
	K2	-																																																																																																																																																																																		
	K3	-																																																																																																																																																																																		
労務	R1	普通作業員																																																																																																																																																																																		
	R2	橋りょう特殊工																																																																																																																																																																																		
	R3	橋りょう世話役																																																																																																																																																																																		
	R4	-																																																																																																																																																																																		
材料	Z1	-																																																																																																																																																																																		
	Z2	-																																																																																																																																																																																		
	Z3	-																																																																																																																																																																																		
	Z4	-																																																																																																																																																																																		
市場単価	S	-																																																																																																																																																																																		
作業条件																																																																																																																																																																																				
10本以上/箇所																																																																																																																																																																																				
作業性の悪い箇所等																																																																																																																																																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 2/5																																																																																																																																																																																	

改正理由	廃止	改正 現行																																																																																									
現	行	改	正																																																																																								
<p>2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 現場孔明 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 定格容量 1kVA</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4 連結板取付 (1) 条件区分 連結板取付における積算条件区分はない。 積算単位は、箇所とする。 (注) 桁連結工における連結板の取付け、現場内小運搬等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 連結板取付 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">11・②・3</p>		項目	代表機材規格		備考	機械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 定格容量 1kVA		K2	—		K3	—		労務	R1	橋りょう特殊工		R2	橋りょう世話役		R3	—		R4	—		材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		項目	代表機材規格		備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	橋りょう特殊工		R2	橋りょう世話役		R3	普通作業員		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">削除</div>	<p>施工パッケージの廃止</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 定格容量 1kVA																																																																																									
	K2	—																																																																																									
	K3	—																																																																																									
労務	R1	橋りょう特殊工																																																																																									
	R2	橋りょう世話役																																																																																									
	R3	—																																																																																									
	R4	—																																																																																									
材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																									
	Z2	—																																																																																									
	Z3	—																																																																																									
	Z4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K1	—																																																																																									
	K2	—																																																																																									
	K3	—																																																																																									
労務	R1	橋りょう特殊工																																																																																									
	R2	橋りょう世話役																																																																																									
	R3	普通作業員																																																																																									
	R4	—																																																																																									
材料	Z1	—																																																																																									
	Z2	—																																																																																									
	Z3	—																																																																																									
	Z4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 3/5																																																																																								

改 正 理 由	現 行	改 正	備 考																																			
	<p style="text-align: center;">廃止</p> <p>3-5 現場溶接 (1) 条件区分 現場溶接における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 1. 桁連結工における鋼製部材の現場溶接作業の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 溶接棒の材料ロスを含む。なお、溶接棒の標準使用量は、3.4kg/5.6mとする。 3. 溶接脚長は8～12mmの場合とする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 現場溶接 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 70%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 電気溶接機 [ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式] 最大溶接電流 250A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 溶接工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 溶接棒 軟鋼用 径5.0mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-6 ボルト締め (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 ボルト締め 積算条件区分一覧 (積算単位：本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">作業条件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10本以上/箇所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">作業性の悪い箇所等</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、桁連結工におけるボルト締めの他、トルクレンチ等工具損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 作業条件の「作業性の悪い箇所等」は、作業性の悪い箇所の他、構造的に複雑なもの、1箇所当たりのボルト本数の少ない場合（10本未満/箇所）とする。</p> <p style="text-align: center;">11・④・4</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 電気溶接機 [ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式] 最大溶接電流 250A		K2 -		K3 -		労務	R1 溶接工		R2 -		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z2 溶接棒 軟鋼用 径5.0mm		Z3 -		Z4 -		市場単価	S	-		作業条件	10本以上/箇所	作業性の悪い箇所等	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">削除</p> </div>	<p>施工パッケージの廃止</p>
項目	代表機材規格	備考																																				
機械	K1 電気溶接機 [ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式] 最大溶接電流 250A																																					
	K2 -																																					
	K3 -																																					
労務	R1 溶接工																																					
	R2 -																																					
	R3 -																																					
	R4 -																																					
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																					
	Z2 溶接棒 軟鋼用 径5.0mm																																					
	Z3 -																																					
	Z4 -																																					
市場単価	S	-																																				
作業条件																																						
10本以上/箇所																																						
作業性の悪い箇所等																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 4/5																																			

改正理由	廃止	改正 現行	備考																																												
現行		改正	備考																																												
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 ボルト締 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 定格容量 1kVA</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-7 塗装工 塗装は「土木工事標準単価 橋梁塗装工」によるものとし下塗り1回、中塗り1回、上塗り1回を標準とするが、ケレンの度合によって下塗り2回を考慮すること。</p> <p>3-8 足場工及び防護工 「⑩沓座拡幅工 3-12 足場及び防護設置・撤去」と同様にするが、面積は橋台幅×1.5mとする。</p> <p style="text-align: center;">11・⑩・5</p>		項目	代表機材規格		備考	機械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 定格容量 1kVA		K2	—		K3	—		労務	R1	橋りょう特殊工		R2	普通作業員		R3	—		R4	—		材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">削除</div>	<p>施工パッケージの廃止</p>
項目	代表機材規格		備考																																												
機械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 定格容量 1kVA																																													
	K2	—																																													
	K3	—																																													
労務	R1	橋りょう特殊工																																													
	R2	普通作業員																																													
	R3	—																																													
	R4	—																																													
材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド																																													
	Z2	—																																													
	Z3	—																																													
	Z4	—																																													
市場単価	S	—																																													
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>5/5</p>																																												

改正理由	一部改正	改正 現行	
現 行	改 正	備 考	
<p>2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 「管路部」とは、電線を管路材に収容する部分をいう。 2. 「特殊部」とは、分岐部、接続部並びに地上機器部等を総称していう。 3. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 4. 舗装版切断は、「11章③舗装版切断工」による。 5. 基礎砕石工は、「2章⑦基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石工」による。 6. 型枠工(均し)、型枠工は、「4章②型枠工」による。 7. コンクリート工(均し)、コンクリート工は、「4章①コンクリート工」による。 8. 鉄筋工は、「市場単価 鉄筋工」による。</p> <p>12・①・2</p>	<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の削除 (歩掛の改定に伴う)</p>	
積算上の注意事項		(控え頁) 1/3	

改正理由	一部改正	改正 現行																												
現 行		改 正																												
<p>3-4 運搬(電線共同溝) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 運搬(電線共同溝) 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積載区分</th> <th>DID 区間の有無</th> <th>運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="7" style="text-align: center;">(表 3.6)</td> <td rowspan="7" style="text-align: center;">無し</td> <td>0.5km 以下</td> </tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.5km 以下</td></tr> <tr><td>6.5km 以下</td></tr> <tr><td>11.5km 以下</td></tr> <tr><td>26.5km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> <tr><td rowspan="7"></td> <td rowspan="7" style="text-align: center;">有り</td> <td>0.5km 以下</td> </tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.5km 以下</td></tr> <tr><td>6.0km 以下</td></tr> <tr><td>10.5km 以下</td></tr> <tr><td>22.5km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、電線共同溝工における舗装版破砕によって発生するアスファルト塊及び床掘りによって発生する土砂の運搬の他、運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛かる費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、<u>タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。</u>なお、積込作業は含まない。</p> <p>2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは平均値とする。</p> <p>3. DID(人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告書資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。</p> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">表3.6 積載区分</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">積載区分</td> <td style="text-align: center;">土砂</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">アスファルト塊</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">12・①・6</p>		積載区分	DID 区間の有無	運搬距離	(表 3.6)	無し	0.5km 以下	2.0km 以下	3.5km 以下	6.5km 以下	11.5km 以下	26.5km 以下	60.0km 以下		有り	0.5km 以下	2.0km 以下	3.5km 以下	6.0km 以下	10.5km 以下	22.5km 以下	60.0km 以下	積算条件	区分	積載区分	土砂	アスファルト塊	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <hr style="width: 50%; margin: 20px auto;"/> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="margin-top: 10px;">(注) 1. 上表は、電線共同溝工における舗装版破砕によって発生するアスファルト塊及び床掘りによって発生する土砂の運搬の他、運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛かる費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、<u>タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。</u> なお、積込作業は含まない。</p> <p><u>2. タイヤ損耗の「良好」「普通」「不良」にかかわらず適用出来る。</u></p> <p>3. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは平均値とする。</p> <p>4. DID(人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告書資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。</p> <p><u>5. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。</u></p>		<p>備考</p> <p style="margin-top: 100px;">記載の修正</p>
積載区分	DID 区間の有無	運搬距離																												
(表 3.6)	無し	0.5km 以下																												
		2.0km 以下																												
		3.5km 以下																												
		6.5km 以下																												
		11.5km 以下																												
		26.5km 以下																												
		60.0km 以下																												
	有り	0.5km 以下																												
		2.0km 以下																												
		3.5km 以下																												
		6.0km 以下																												
		10.5km 以下																												
		22.5km 以下																												
		60.0km 以下																												
積算条件	区分																													
積載区分	土砂																													
	アスファルト塊																													
積算上の注意事項			(控え頁) 2/3																											

改正理由	一部改正	改正 現 行	
------	------	-----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.11 管路材設置 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t	・ 賃料 ・ 設置区分が多条管の場合
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	特殊作業員	
	R 4	運転手 (特殊)	設置区分が多条管の場合
材料	Z 1	管路材 ポリエチレン被覆軽量鋼管 φ100mm	作業区分が露出部の場合
		管路材 直管 φ100mm (SUDII-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分が単管の場合
		管路材 直管 φ150mm (フリーアクセス-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がFA管の場合
		管路材 直管 φ200mm (ボディ-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm)設置(さや管含む)の場合
		管路材 直管 φ250mm (ボディ-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ250mm)設置(さや管含む)の場合
		管路材 多条管 φ100mm (非難燃)	設置区分が多条管の場合
	Z 2	管路材 直管 φ50mm (SU 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm, φ250mm)設置(さや管含む)の場合
		軽油 1.2号 パトロール給油	設置区分が多条管の場合
	Z 3	管路材 直管 φ30mm (SU 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm, φ250mm)設置(さや管含む)の場合
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

12・①・11

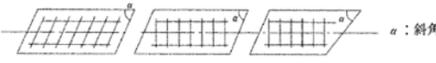
(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

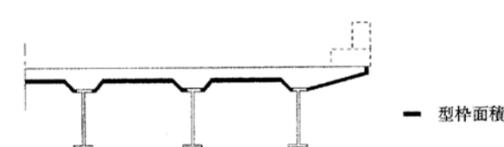
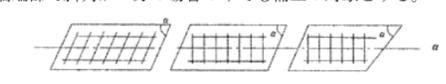
表3.11 管路材設置 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t	・ 賃料 ・ 設置区分が多条管の場合
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	特殊作業員	
	R 4	運転手 (特殊)	設置区分が多条管の場合
材料	Z 1	管路材 ポリエチレン被覆軽量鋼管 φ100mm 管路材 FEP (波付硬質ポリエチレン管) φ100mm (非難燃)	作業区分が露出部の場合
		管路材 直管 φ100mm (SUDII-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分が単管の場合
		管路材 直管 φ150mm (フリーアクセス-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がFA管の場合
		管路材 直管 φ200mm (ボディ-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm)設置(さや管含む)の場合
		管路材 直管 φ250mm (ボディ-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ250mm)設置(さや管含む)の場合
		管路材 多条管 φ100mm (非難燃)	設置区分が多条管の場合
	Z 2	管路材 直管 φ50mm (SU 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm, φ250mm)設置(さや管含む)の場合
		軽油 1.2号 パトロール給油	設置区分が多条管の場合
	Z 3	管路材 直管 φ30mm (SU 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm, φ250mm)設置(さや管含む)の場合
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

代表材料の修正

積算上の注意事項			(控え頁) 3/3
----------	--	--	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行																			
現 行		改 正																			
<p style="text-align: center;">13章. 橋 梁 工</p> <p>① 鋼橋床版工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、鋼橋床版工のうち足場工及び防護工、型枠工、鉄筋工、コンクリート工、養生工に適用する。</p> <p>2. 施工パッケージ 2-1 足場工及び防護工 「土木工事標準歩掛第2編 16章①-1 鋼橋架設工 14. 足場工、防護工及び登り桟橋工」による。</p> <p>2-2 型枠（鋼橋床版） (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 型枠（鋼橋床版）積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>型枠の補正係数（K）</th> <th>吊金具取付（材料費含む）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">補正なし</td> <td>工場</td> </tr> <tr> <td>現場</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">0.05以下</td> <td>工場</td> </tr> <tr> <td>現場</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">0.06以上0.10以下</td> <td>工場</td> </tr> <tr> <td>現場</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、型枠の製作、設置、撤去及びケレン、はく離剤塗布の他、セパレータ、フォームタイ、パイプサポート、吊チェーン、ターンバックル、パイプ、鋼製ビームの経費及び現場で吊金具（ボルトを含む）取付を行う場合に要する費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 型枠用合板の標準使用量は、70.5枚/100m²とする。ただし、900×1800mm/枚とする。 3. 正割材の標準使用量は、2.6m³/100m²とする。 4. 型枠用合板、正割材の償却率を考慮している。（標準償却率 33%） 5. 吊金具取付で工場を選択する場合は、吊金具取付の費用（材料費含む）は計上されない。 6. 型枠材料は合板製とし、鋼製ビームによる吊金具支保とする。 7. 橋梁型式による補正係数 補正係数 = K K = K₁ + K₂ K₁, K₂: 橋梁形式による補正係数</p> <p style="text-align: center;">表2.2 補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>橋 梁 型 式</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>K₁ 斜橋（斜角α=75°未満）</td> <td>+0.05</td> </tr> <tr> <td>K₂ 曲線橋（曲率半径500m未満）</td> <td>+0.05</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(1) 斜橋による補正 橋端部が斜である橋梁（平面的に斜である橋梁（図2-1 参照））では斜角（α）によるものとし、一番小さい斜角で対処する。 また、橋端部で斜角が一方の場合のみでも補正の対象とする。</p>  <p style="text-align: center;">図2-1 斜橋の例</p> </div> <p style="text-align: center;">13・①・1</p>		型枠の補正係数（K）	吊金具取付（材料費含む）	補正なし	工場	現場	0.05以下	工場	現場	0.06以上0.10以下	工場	現場	橋 梁 型 式	補正係数	K ₁ 斜橋（斜角α=75°未満）	+0.05	K ₂ 曲線橋（曲率半径500m未満）	+0.05	<p>現行どおり</p> <p>→ 次頁へ移動</p>		備 考
型枠の補正係数（K）	吊金具取付（材料費含む）																				
補正なし	工場																				
	現場																				
0.05以下	工場																				
	現場																				
0.06以上0.10以下	工場																				
	現場																				
橋 梁 型 式	補正係数																				
K ₁ 斜橋（斜角α=75°未満）	+0.05																				
K ₂ 曲線橋（曲率半径500m未満）	+0.05																				
積算上の注意事項			(控え頁) 1/4																		

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																														
現 行	改 正																																
<p style="text-align: right;">前頁より移動</p> <p>(2) 曲線橋による補正 曲線半径 (R) は、道路中心線による。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>(3) 補正係数がスパンによって異なる場合は、スパン毎の補正係数を平均する。 なお、補正係数は小数点以下3位を四捨五入する。</p> $\text{平均補正係数} = \frac{L_1 \times K_1 \times n_1 + L_2 \times K_2 \times n_2 + \dots + L_m \times K_m \times n_m}{L_1 \times n_1 + L_2 \times n_2 + \dots + L_m \times n_m}$ <p>L : 桁長 K : 補正係数 n : 径間数 m : スパン数</p> </div> <p>8. 型枠面積 橋梁床版工の型枠工の面積数量は、下図のとおり計上する。</p>  <p style="text-align: center;">図2-2 標準床版断面</p> <p>9. 仮設支保材供用日数 仮設支保材 (鋼製ビーム等) の供用日数は42日を標準とする。</p> <p>10. 地覆型枠が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>11. 足場工が必要な場合は、別途計上する。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表2.3 型枠(鋼橋床版) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1</td> <td>型わく工</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1</td> <td>正割材 杉 4m×6cm×6cm 特1等</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>コンクリート型枠用合板 JAS 板面品質 B-C 12×900×1800</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>2-3 鉄 筋 工 鉄筋工は「市場単価 鉄筋工」により別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">13・①・2</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	-	K2	-	K3	-	労務	R1	型わく工	R2	普通作業員	R3	土木一般世話役	R4	-	材料	Z1	正割材 杉 4m×6cm×6cm 特1等	Z2	コンクリート型枠用合板 JAS 板面品質 B-C 12×900×1800	Z3	-	Z4	-	市場単価	S	-	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>(1) 斜橋による補正 橋端部が斜である橋梁 (平面的に斜である橋梁 (図2-1 参照)) では斜角 (α) によるものとし、一番小さい斜角で対処する。 また、橋端部で斜角が一方の場合のみでも補正の対象とする。</p>  <p style="text-align: center;">図2-1 斜橋の例</p> </div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>(3) 補正係数がスパンによって異なる場合は、スパン毎の補正係数を平均する。 なお、補正係数は小数点以下3位を四捨五入する。</p> $\text{平均補正係数} = \frac{L_1 \times K_1 + L_2 \times K_2 + \dots + L_n \times K_n}{L_1 + L_2 + \dots + L_n}$ <p>L : 桁支間長 K : 補正係数 n : 径間数 m : スパン数</p> </div> <p style="text-align: center;">次頁へ移動</p>	記載の修正・削除
項目	代表機材規格	備考																															
機械	K1	-																															
	K2	-																															
	K3	-																															
労務	R1	型わく工																															
	R2	普通作業員																															
	R3	土木一般世話役																															
	R4	-																															
材料	Z1	正割材 杉 4m×6cm×6cm 特1等																															
	Z2	コンクリート型枠用合板 JAS 板面品質 B-C 12×900×1800																															
	Z3	-																															
	Z4	-																															
市場単価	S	-																															
積算上の注意事項			(控え頁) 2/4																														

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																														
	現 行	改 正																																																															
	<p>2-4 コンクリート工 コンクリート工は「4章①コンクリート工」による。</p> <p>2-5 養生（鋼橋床版） （1）条件区分 養生（鋼橋床版）における積算条件区分はない。 積算単位は、m2とする。 （注）1. 鋼橋床版工における養生、ポンプ運転経費の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 養生マットの標準使用量は、110m2/100m2（養生面積）とする。 3. 養生マットの償却率を考慮している。（標準償却率 25%） 4. 養生面積は床版面積とする。 5. 養生工は、養生履材の被覆、水散布養生程度のものとし、電気養生等の特別な養生を必要とする場合は別途計上する。</p> <p>（2）代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.4 養生（鋼橋床版）代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td></tr> <tr><td>K2</td><td>—</td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td></tr> <tr><td>R2</td><td>—</td></tr> <tr><td>R3</td><td>—</td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>養生マット 幅1.0m×長さ30m×厚さ12mm</td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">13・①・3</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	—	R3	—	R4	—	材料	Z1	養生マット 幅1.0m×長さ30m×厚さ12mm	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>（2）代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.3 型枠（鋼橋床版）代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td></tr> <tr><td>K2</td><td>—</td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>型わく工</td></tr> <tr><td>R2</td><td>普通作業員</td></tr> <tr><td>R3</td><td>土木一般世話役</td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>正割材 杉 4m×6cm×6cm 特1等</td></tr> <tr><td>Z2</td><td>コンクリート型枠用合板 JAS 板面品質 B-C 12×900×1800</td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>2-3 鉄筋工 鉄筋工は「市場単価 鉄筋工」により別途計上する。</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	型わく工	R2	普通作業員	R3	土木一般世話役	R4	—	材料	Z1	正割材 杉 4m×6cm×6cm 特1等	Z2	コンクリート型枠用合板 JAS 板面品質 B-C 12×900×1800	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	
項目	代表機材規格	備考																																																															
機械	K1	—																																																															
	K2	—																																																															
	K3	—																																																															
労務	R1	普通作業員																																																															
	R2	—																																																															
	R3	—																																																															
	R4	—																																																															
材料	Z1	養生マット 幅1.0m×長さ30m×厚さ12mm																																																															
	Z2	—																																																															
	Z3	—																																																															
	Z4	—																																																															
市場単価	S	—																																																															
項目	代表機材規格	備考																																																															
機械	K1	—																																																															
	K2	—																																																															
	K3	—																																																															
労務	R1	型わく工																																																															
	R2	普通作業員																																																															
	R3	土木一般世話役																																																															
	R4	—																																																															
材料	Z1	正割材 杉 4m×6cm×6cm 特1等																																																															
	Z2	コンクリート型枠用合板 JAS 板面品質 B-C 12×900×1800																																																															
	Z3	—																																																															
	Z4	—																																																															
市場単価	S	—																																																															
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																																																														

前頁より移動

現行どおり

次頁へ移動

